

ORACLE®

PEOPLESOFT

PeopleSoft HCM 9.2: ヒューマン リソース管理プロファイル管理

February 2016

ORACLE®

ライセンス制約の保証と結果的に生じる損害の免責

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アSEMBル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

保証免責

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

制限付権利

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

危険な用途への使用について

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことにより起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

商標と登録商標について

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

第三者のコンテンツ、製品、サービスに対する免責

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWeb サイト(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>)を参照してください。

Oracle Supportへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Supportを通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>)か、聴覚に障害のあるお客様は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>)を参照してください。

目次

はじめに.....	xi
PeopleSoft オンライン ヘルプおよび PeopleBook について.....	xi
PeopleSoft ホスト オンライン ヘルプ.....	xi
ローカルにインストールされたヘルプ.....	xi
ダウンロード可能な PeopleBook のPDF ファイル.....	xii
共通のヘルプ ドキュメント.....	xii
フィールドおよびコントロールの定義.....	xii
表記規則.....	xii
ISO の国コードおよび通貨コード.....	xiii
地域および業種の識別子.....	xiii
翻訳および埋込みヘルプ.....	xiv
PeopleSoft オンライン ヘルプの使用および管理.....	xiv
PeopleSoft HCM アプリケーションの基礎.....	xv
PeopleSoft HCM の関連リンク.....	xv
連絡先.....	xv
フォロー.....	xv
第1章: プロファイル管理 - はじめに.....	17
プロファイル管理の概要.....	17
プロファイル管理ビジネス プロセス.....	20
プロファイル管理の統合.....	21
プロファイル管理の導入.....	22
第2章: コンテンツ カタログの設定.....	25
コンテンツ カタログについて.....	25
コンテンツ カタログの設定について.....	27
コンテンツ タイプとプロパティの設定.....	31
コンテンツ タイプとプロパティの設定に使用するページ.....	31
コンテンツ タイプのプロパティについて.....	31
自由形式コンテンツ タイプについて.....	31
「コンテンツ タイプ」ページ.....	32
「関係ルール」ページ.....	36
コンテンツ アイテムの定義.....	37
コンテンツ アイテムの定義に使用するページ.....	37
「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページ.....	38
「アイテム評価説明」ページ.....	39
「コンテンツ アイテム - 関係」ページ.....	40
「コンテンツ アイテム - グループ メンバー」ページ.....	41
コンテンツ グループの定義.....	42
コンテンツ グループおよびメンバーの定義に使用するページ.....	42
「コンテンツ グループ タイプ」ページ.....	43
「コンテンツ グループ メンバー」ページ.....	44

評価モデルの定義.....	45
評価モデルの定義に使用するページ.....	45
評価モデルについて.....	45
(USF) 評価モデルについて.....	46
「評価モデル」ページ.....	46
「評価説明の確認」ページ.....	51
第3章: プロファイル管理の設定.....	53
プロファイル管理について.....	53
プロファイル管理の設定.....	58
プロファイルを設定するために使用する共通の要素.....	60
プロファイル管理の設定.....	60
プロファイル管理の設定に使用するページ.....	60
「プロファイル管理インストール設定」ページ.....	60
カスタム プロンプトの定義.....	62
カスタム プロンプトを定義するために使用するページ.....	63
カスタム プロンプトについて.....	63
「カスタム プロンプト」ページ.....	64
インスタンス識別子の定義.....	66
インスタンス識別子の定義に使用するページ.....	67
インスタンス識別子について.....	67
インスタンス識別子の統合について.....	71
「インスタンス識別子」ページ.....	71
プロファイル識別タイプとプロファイル関連先の設定.....	74
プロファイル識別タイプとプロファイル関連先の定義に使用するページ.....	74
プロファイル識別タイプとプロファイル関連先の定義に使用する共通の要素.....	75
「プロファイル識別タイプ」ページ.....	75
「プロファイル関連先」ページ.....	78
プロファイル タイプの設定.....	79
プロファイル タイプの設定に使用するページ.....	79
「プロファイル タイプ - 属性」ページ.....	80
「プロファイル タイプ - 識別タイプ」ページ.....	82
「プロファイル タイプ - コンテンツ」ページ.....	84
「コンテンツ セクションの追加」ページ.....	87
「コンテンツ セクション」ページ.....	88
「プロファイル タイプ - 関連先」ページ.....	95
「プロファイル タイプのコピー」ページ.....	96
「デフォルト プロファイル タイプの割当」ページ.....	96
プロファイル グループ タイプとプロファイル グループの作成.....	98
プロファイル グループ タイプとプロファイル グループの作成に使用するページ.....	98
プロファイル グループとプロファイル グループ タイプについて.....	98
前提条件.....	100
「プロファイル グループ タイプ」ページ.....	100
「プロファイル グループ - グループ定義」ページ.....	101
「プロファイル グループ - グループ メンバー」ページ.....	103

「プロファイル グループの作成」ページ.....	105
プロファイル アクションの有効化.....	105
プロファイル アクションを有効化するために使用するページ.....	106
プロファイル アクションについて.....	106
「プロファイル アクション」ページ.....	110
BI Publisher のレポートおよびプロファイルを使用するための設定.....	112
BI Publisher のレポートとテンプレートの表示および修正に使用するページ.....	112
BI Publisher のレポートとテンプレートについて.....	112
前提条件.....	114
「テンプレート」ページ.....	114
既存テンプレートの修正.....	115
第4章: プロファイルの検索/比較の設定.....	117
プロファイルの検索/比較について.....	117
検索の設定.....	122
検索タイプの設定に使用するページ.....	123
「検索設定の定義」ページ.....	123
検索用索引の作成.....	125
検索用索引の作成に使用するページ.....	125
検索用索引について.....	126
索引の管理について.....	129
個人プロファイルの SES プロファイル記入票のセキュリティについて.....	131
前提条件.....	132
「直属部下テーブル作成」ページ.....	133
検索用索引の作成ページ.....	133
第5章: プロファイル管理.....	135
プロファイル管理について.....	135
前提条件.....	136
プロファイルの管理.....	137
プロファイルの管理に使用するページ.....	137
プロファイルとプロファイル タイプについて.....	140
プロファイルのコピー、インポート、シンジケートについて.....	143
前提条件.....	145
プロファイル管理に使用されている共通の要素.....	145
「個人プロファイル」ページ.....	147
「非個人プロファイル」ページ.....	152
「プロファイル グループの更新」ページ.....	157
「プロファイル コメント」ページ.....	158
「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」ページ、「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページまたは「表示 - <コンテンツ タイプ>」ページ.....	160
「更新 - <関連するコンテンツ アイテム>」ページ.....	162
「プロファイル アイテム履歴の表示」ページ.....	163
「プロファイルのシンジケート」ページ.....	164
「プロファイルのシンジケート」ページまたは「プロファイル アイテムのインポート」ページ.....	164
「プロファイル 識別タイプ」ページ.....	167

「プロフィール関連先」ページ.....	169
「個人プロフィール - 変更サマリ」ページ.....	169
「非個人プロフィール - 変更サマリ」ページ.....	171
「シンジケート例外」ページ.....	172
「例外の詳細」ページ.....	173
プロフィール変更の承認.....	175
プロフィールの承認に使用するページ.....	175
プロフィール承認処理について.....	175
「承認トランザクションの選択」ページ.....	176
「プロフィールの承認」ページ.....	178
プロフィールの検索と比較.....	179
プロフィールの検索/比較に使用するページ.....	180
プロフィールの検索/比較について.....	181
プロフィールの検索/比較のスコアについて.....	184
「プロフィールの検索」ページ.....	197
「検索条件」ページ.....	198
関連アイテム条件ページ.....	202
「検索結果」ページ.....	202
「プロフィールの比較」ページ.....	204
「比較結果」ページ.....	205
希望任務リストの管理.....	207
希望任務リストの管理に使用するページ.....	207
希望任務リストについて.....	207
希望任務リストを管理するために使用される共通の要素.....	208
「個人別希望任務リスト」ページ.....	208
「プロフィール別希望任務リスト」ページ.....	209
研修の追跡管理.....	210
従業員研修の追跡に使用するページ.....	210
従業員研修を追跡する方法について.....	211
「専門研修」ページ.....	211
第6章: プロファイルの適合性の分析.....	213
プロフィールの比較について.....	213
プロフィール適合について.....	214
点数の割当てと重要度.....	214
複数評価.....	217
適合性評価タイプの設定.....	218
適合性評価タイプの設定に使用するページ.....	218
「適合性評価タイプ」ページ.....	218
従業員プロフィールの適合性.....	219
従業員とプロフィールの適合性分析に使用するページ.....	220
前提条件.....	220
「従業員プロフィール適合 - サマリ」ページ.....	221
「従業員プロフィール適合 - コンピテンシーの適合性」ページ.....	222
「コンピテンシー適合性詳細」ページ.....	224

「従業員プロフィール適合 - その他アイテムの適合」ページ.....	225
「従業員プロフィール適合 - 適合性差異の測定」ページ.....	226
プロジェクトに対するチームの適合性の分析.....	228
プロジェクトに対するチームの適合性の分析に使用するページ.....	228
前提条件.....	229
「チーム作成」ページ.....	229
「業務に対するチームの適合性 - コンピテンシーの適合性」ページ.....	230
「業務に対するチームの適合性 - その他アイテムの適合」ページ.....	232
第7章: コンテンツ カタログ レポートとプロフィール レポートの実行.....	233
コンテンツ カタログ アイテムのレポート.....	233
コンテンツ カタログ レポートの実行に使用するページ.....	233
「コンテンツ カタログ リスト」ページ.....	233
「コンピテンシー サマリ」ページ.....	234
プロフィール レポートの実行.....	235
プロフィール レポートの実行に使用するページ.....	235
「個人プロフィール レポート」ページ.....	237
「非個人プロフィール レポート」ページ.....	238
第8章: (GBR) 国家職業検定資格 (NVQ) の管理.....	241
国家職業検定資格 (NVQ) について.....	241
NVQ 情報の設定.....	242
NVQ 報奨団体の設定に使用するページ.....	243
NVQ の設定について.....	243
「NVQ 報奨団体」ページ.....	244
従業員の NVQ の処理.....	245
従業員の NVQ の処理に使用するページ.....	245
「NVQ 登録」ページ.....	245
「NVQ 評価」ページ.....	247
「NVQ ユニット プラン」ページ.....	248
「ユニット詳細」ページ.....	249
「エレメント詳細」ページ.....	250
NVQ の表示ページまたはNVQ ユニットの表示ページ.....	251
NVQ サマリの確認.....	252
NVQ 情報の確認に使用するページ.....	252
「従業員別 NVQ」ページ.....	253
「資格別 NVQ」ページ.....	253
NVQ レポートの実行.....	254
NVQ レポートの実行に使用するページ.....	254
「NVQ プランの初期化」ページ (NVQ005).....	255
付録A: コンテンツ タイプとプロフィール タイプのプロパティ.....	257
プロパティについて.....	257
コンテンツ タイプのプロパティ.....	257
プロフィール タイプのプロパティ.....	261
プロパティの初期化と検証.....	268

はじめに

PeopleSoft オンライン ヘルプおよび PeopleBook について

PeopleSoft オンライン ヘルプは、PeopleSoft アプリケーションおよび PeopleTools の全てのヘルプ コンテンツを表示できる Web サイトです。このヘルプでは、標準ナビゲーションと全文検索、さらに状況依存オンライン ヘルプが PeopleSoft ユーザーに提供されます。

PeopleSoft ホスト オンライン ヘルプ

オラクル社の PeopleSoft ホスト オンライン ヘルプ Web サイトの PeopleSoft オンライン ヘルプにアクセスすると、Oracle ホスト サーバーのすべてのヘルプ Web サイトおよび状況依存ヘルプに直接アクセスできます。ホスト オンライン ヘルプは定期的に更新されるため、ユーザーは最新のドキュメントにアクセスできます。ホストの Web サイト コンテンツにはアプリケーションの保守に関するドキュメントがすぐに反映されるため、これらの個別のドキュメント記録を My Oracle Support で確認する必要がなくなります。ホスト オンライン ヘルプの Web サイトは英語版のみ使用可能です。

注: 最新リリースのホスト オンライン ヘルプのみが定期的に更新されます。新しいリリースが登録されても、前のリリースは引き続き利用できますが、更新はされません。

ローカルにインストールされたヘルプ

組織においてファイアウォールの制限により、ホスト オンライン ヘルプの Web サイトを利用できない場合は、PeopleSoft オンライン ヘルプをローカルでインストールできます。ローカルでヘルプをインストールした場合は、ユーザーがアクセス可能なドキュメントをより詳細に管理したり、自分の組織のカスタムドキュメントへのリンクをヘルプ ページに組み込むことができます。

また、PeopleSoft オンライン ヘルプをローカルにインストールすると、全文検索にあらゆる検索エンジンを使用することができます。Oracle Secure Enterprise Search を設定して全文検索を行う手順については、ご使用のインストールドキュメントに記載されています。

ご使用のデータベース プラットフォーム向けの『*PeopleTools Installation*』の「Installing PeopleSoft Online Help」を参照してください。Secure Enterprise Search を使用しない場合は、選択した検索エンジンのドキュメントを参照してください。

注: ローカルでインストールしたヘルプ Web サイトで検索エンジンにアクセスするには、「Search」フィールドを有効にする必要があります。手順については、オンライン ヘルプ サイトの「Contents」サイドバーで「About This Help」、「Managing Locally Installed PeopleSoft Online Help」、「Enabling the Search Button and Field」を選択してください。

ダウンロード可能な PeopleBook の PDF ファイル

従来の PeopleBook 形式であり、ダウンロード可能な PDF 版のヘルプ コンテンツにアクセスすることもできます。PeopleBook PDF のコンテンツは PeopleSoft オンライン ヘルプのコンテンツと同じですが、構造は異なり、オンライン ヘルプで使用できるインタラクティブなナビゲーション機能はありません。

共通のヘルプドキュメント

共通のヘルプドキュメントには、複数のアプリケーションに適用される情報が含まれています。共通のヘルプの 2 つの主要なタイプは、次のとおりです。

- アプリケーションの基礎
- PeopleSoft アプリケーションの使い方

ほとんどの製品ファミリーでは、システムの設定や設計に関する基本的な情報を説明する、一連のアプリケーションの基礎ヘルプトピックが提供されます。この情報は、PeopleSoft 製品ファミリーの多くの、または全てのアプリケーションに適用されます。単一のアプリケーション、製品ファミリー内のアプリケーションの組合せ、または製品ファミリー全体のいずれを実装化に関係なく、該当するアプリケーションの基礎ヘルプのコンテンツについて理解している必要があります。これらは、基本的な実装タスクの開始点となります。

また、『*PeopleTools: Applications User's Guide*』では、PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャのさまざまな要素が紹介されています。また、そこではシステムをナビゲートする際に、ナビゲーションの階層、コンポーネントおよびページを使用して基本的な機能を実行する方法についても説明しています。アプリケーションや導入内容は異なる場合がありますが、このユーザーズ ガイドのトピックでは PeopleSoft アプリケーションの使用方法に関する一般的な情報が説明されています。

フィールドおよびコントロールの定義

PeopleSoft のドキュメントには、アプリケーション ページに表示されるほとんどのフィールドおよびコントロールの定義が含まれています。これらの定義で、フィールドまたはコントロールの使用法や、移入される値の発生元、さらに特定の値を選択したときの結果などが説明されています。フィールドまたはコントロールが定義されていない場合は、追加の説明が必要ないか、ドキュメントの共通要素のセクションに既に記載されています。たとえば、日付フィールドは追加の説明がほとんど必要ないため、ドキュメント内で定義が複数のページにわたって記載されないことがあります。

表記規則

次の表に、オンライン ヘルプで使用される表記規則を示します。

表記規則	説明
キー + キー	キー操作の組合せを示します。たとえば、キーの間のプラス記号 (+) は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押す必要があることを意味します。Alt+W の場合、Alt キーを押しながら W キーを押します。

表記規則	説明
... (省略記号)	PeopleCode 構文で、先行する項目または一連の項目を任意の回数繰り返すことができることを示します。
{ } (波かっこ)	PeopleCode 構文で、2つのオプションからの選択肢を示します。オプションはパイプ () で区切られます。
[] (角かっこ)	PeopleCode 構文で、オプションの項目を示します。
& (アンパサンド)	PeopleCode 構文でパラメータの前にアンパサンドが記述されている場合は、そのパラメータがインスタンス作成済みのオブジェクトであることを示します。 また、アンパサンドは全ての PeopleCode 変数の前に付きます。
⇒	この継続文字は、コードの行の最後、ページのマージンで折り返された場所に挿入されます。コードは、継続文字がない1つの連続した行のコードとして表示または入力される必要があります。

ISO の国コードおよび通貨コード

PeopleSoft オンライン ヘルプのトピックでは、国別の情報や通貨金額を識別するために国際標準化機構 (ISO) の国コードおよび通貨コードを使用しています。

PeopleSoft ドキュメントでは、ISO 国コードは国の識別子として表示される場合があり、ISO 通貨コードは通貨の識別子として表示される場合があります。ドキュメントでの ISO 国コードの参照は、全ての ISO 国コードがアプリケーションに含まれていることを意味しません。"(FRA) Hiring an Employee" は、国固有の見出しの例です。

PeopleSoft の通貨コード テーブル (CURRENCY_CD_TBL) には、サンプルの通貨コード データが含まれています。通貨コード テーブルは、ISO 標準 4217 "Codes for the representation of currencies" に基づいており、さらに国テーブル (COUNTRY_TBL) の ISO 国コードにも依存します。通貨コードおよび国情報を管理するページへのナビゲーションは、使用している PeopleSoft アプリケーションによって異なります。通貨コード テーブルおよび国テーブルを管理するページにアクセスするには、アプリケーションのオンライン ヘルプで詳細を確認してください。

地域および業種の識別子

特定の地域や業種に対してのみ適用される情報は、その前に標準の識別子がかっこ書きで付きます。通常、この識別子はセクション見出しの先頭に記述されますが、注意書きや他のテキストの先頭に記述されることもあります。

地域固有の見出しの例として、"(Latin America) Setting Up Depreciation" があります。

地域識別子

地域は地域名によって識別します。PeopleSoft オンライン ヘルプでは、次の地域識別子が使用される場合があります。

- Asia Pacific
- Europe
- Latin America
- North America

業種の識別子

業種は、業種名または業種の略称によって識別します。PeopleSoft オンライン ヘルプには、次の業種識別子が現れることがあります。

- USF (U.S. Federal)
- E&G (Education and Government)

翻訳および埋込みヘルプ

PeopleSoft 9.2 ソフトウェア アプリケーションには、翻訳済の埋込みヘルプが組み込まれています。9.2 リリースでは、埋込みヘルプの翻訳作業に重点を置いて、他の Oracle アプリケーションとの協調を図っています。従来のオンライン ヘルプおよび PeopleBooks ドキュメントを翻訳する予定はありません。かわりに、アプリケーション内の重要局面では埋込みヘルプ ウィジェットを介して翻訳済ヘルプを直接提供します。また、アプリケーションとヘルプ翻訳を 1 対 1 で対応付けています。つまり、ソフトウェアと埋込みヘルプ翻訳のフットプリントは同じであり、これまで成し遂げられなかったことを実現しています。

PeopleSoft オンライン ヘルプの使用および管理

次のトピックに関する情報を参照するには、PeopleSoft オンライン ヘルプの任意のページのユニバーサル ナビゲーション ヘッダーで [ヘルプ] リンクをクリックします。

- PeopleSoft オンライン ヘルプの新機能。
- PeopleSoft オンライン ヘルプのアクセシビリティ。
- PeopleSoft オンライン ヘルプのアクセス、ナビゲーションおよび検索。
- ローカルにインストールされた PeopleSoft オンライン ヘルプ Web サイトの管理。

PeopleSoft HCM アプリケーションの基礎

システムのセットアップと設計についてのその他の基本的な情報は、「[アプリケーションの基礎](#)」というドキュメントを参照してください。

PeopleSoft HCM の関連リンク

[PeopleSoft 情報ポータル](#)

[My Oracle Support](#)

[Oracle University の PeopleSoft 研修](#)

[YouTube での PeopleSoft ビデオ機能の概要](#)

[PeopleSoft ビジネス プロセス マップ \(Microsoft Visio 形式\)](#)

連絡先

ご意見は、PSOFT-INFODEV_US@ORACLE.COM までお送りください。ご使用の PeopleTools およびアプリケーションのリリース番号を含めてください。

フォロー



[Facebook](#)。



[YouTube](#)



[Twitter@PeopleSoft_Info](#)。



[PeopleSoft ブログ](#)



[LinkedIn](#)

プロフィール管理 - はじめに

プロフィール管理の概要

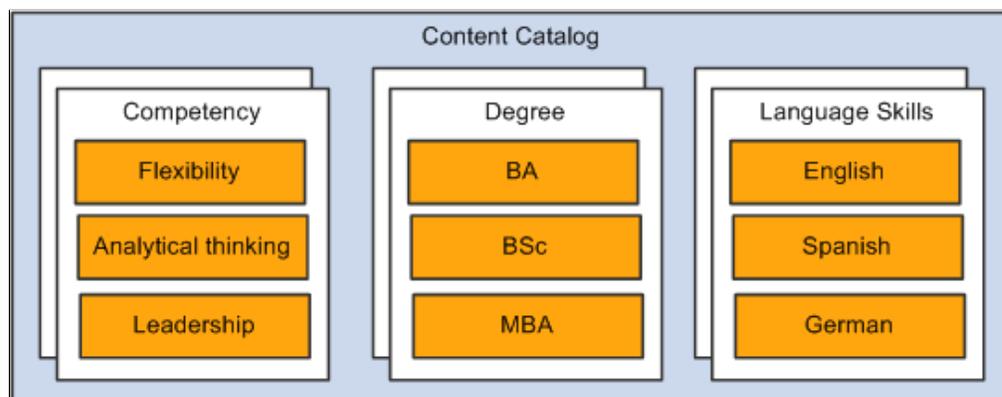
プロフィールは、職務または個人の属性を記述するために組織で広く使用されます。プロフィールには、職務または個人のコンピテンシー、資格および技能がまとめられるのが一般的です。プロフィールの使用は、従業員の技能、コンピテンシー、および資格の管理に役立ちます。また、キャリアプランでは必要な研修の特定やパフォーマンスの管理、採用プロセスでは職務要件と適格応募者の検索にも役立ちます。プロフィール管理ビジネス プロセスは、業種や組織の要件を満たすプロフィールの作成と管理に必要なフレームワークを提供します。プロフィールの検索/比較機能を使用すると、ユーザー定義の条件に一致するプロフィールを検索し、プロフィールを簡単に比較できます。

コンテンツ カタログ

コンテンツ カタログには、コンピテンシーや資格およびその他のデータが登録されています。プロフィール管理責任者、管理者および従業員は、それらのデータをプロフィールに追加します。

画像: コンピテンシー、学位および語学力を含むコンテンツ カタログの例

次の図は、コンピテンシー (柔軟性、分析思考、リーダーシップなど)、学位 (文学士、理学士、修士号など)、および語学力 (英語、スペイン語、ドイツ語など) のリストが含まれているコンテンツ カタログを示しています。



コンテンツ カタログに含まれる情報は、コンテンツ タイプ別に編成されています。コンピテンシー、語学力、学位、免許および資格などの一般的なコンテンツ タイプには、標準のコンテンツ タイプ セットが提供されています。プロフィール管理責任者は、標準のコンテンツ タイプにアイテムを追加します。

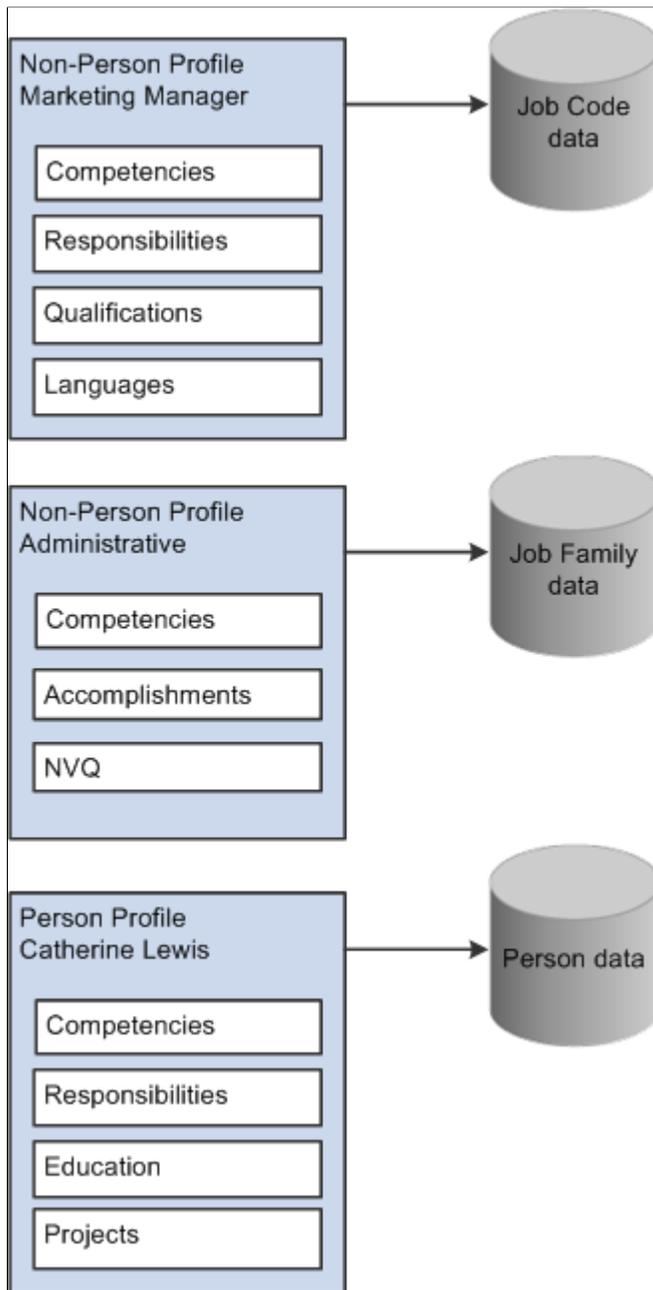
もちろん、標準のコンテンツ タイプしか使用できないわけではありません。追加のコンテンツ タイプを定義し、新しいコンテンツ タイプにアイテムをロードすることで、コンテンツ カタログを拡張できます。これにより、組織独自の要件に応じてコンテンツ カタログを設定し、その情報をプロフィールで活用することが可能です。

個人プロフィールと非個人プロフィール

追跡したい属性を追加するためにコンテンツ カタログを設定するのと同様に、組織の要件に適したプロフィールを定義します。

画像: 職務コード、職務系列および個人のプロフィールの例

次の図は、プロフィール管理でプロフィール コンテンツを設定し、プロフィールをシステムの任意のオブジェクトにリンクする方法を示しています。職務コードは、マーケティング管理者のコンピテンシー、責務、資格および語学力を記述するプロフィールにリンクされます。職務系列は、一般事務職のコンピテンシー、資格および国家職業検定資格 (NVQ) を記述するプロフィールにリンクされます。個人レコードは、個人のコンピテンシー、責務、学歴およびプロジェクトを記述するプロフィールにリンクされます。



コンテンツ カタログ内のコンテンツ タイプを利用して、プロフィールの構造を定義するプロフィール タイプを作成します。プロフィール タイプでは、プロフィールに使用されるコンテンツ タイプとプロパティ、およびそのコンテンツに関連付けられた承認処理を定義します。また、そのプロフィールを個人 ID にリンクして個人プロフィールを作成するか、職務コードやポジションなどのビジネス エンティティにリンクして非個人プロフィールを作成するかも、プロフィール タイプで定義します。

業務上の必要に応じて、必要な数のプロフィール タイプを定義できます。システム データとして 4 つのプロフィール タイプが提供されています。CLUSTER、ROLE および JOB の各プロフィール タイプは、非個人プロフィールを作成する際に使用し、PERSON プロフィール タイプは従業員を記述するプロフィールを作成する際に使用します。

プロフィール管理には、プロフィール コンテンツの管理負荷を軽減するシンジケートとインポートの機能があります。プロフィール管理責任者は、共通のプロフィール コンテンツを一度設定しておく、関連するプロフィールでそのコンテンツを再利用できます。シンジケートには、ソース プロフィールを変更すればシンジケートされたコンテンツを含むターゲット プロフィールも自動的に更新されるという追加の利点もあります。

プロフィール管理ではオプションとして承認処理を行うことができます。必要な場合は、HCM 標準の承認フレームワークを使用して承認処理を設定し、それを利用して個人プロフィールおよび非個人プロフィールの特定のセクションに対する変更を管理します。このような場面で処理する承認処理が標準で提供されていますが、必要に応じて定義を修正、あるいは新しく作成することもできます。

- 従業員による個人プロフィールの変更 (eDevelopment-人材開発を使用) は、承認を行う管理者に送信されます。
- 管理者による非個人プロフィールの変更 (eDevelopment-人材開発を使用) は、承認を行うプロフィール管理責任者に送信されます。

プロフィールの検索/比較

プロフィール管理のプロフィールの検索/比較機能を使用すると、コンテンツ カタログおよびプロフィールを対象とした検索を行えます。検索タイプの例を次に示します。

- 従業員のプロフィールに一致する任務プロフィールを検索する。
- 人材募集のプロフィールに一致する従業員を検索する。
- 任務プロフィールを選択し、類似の任務プロフィールを検索する。

検索はロールにリンクされているため、従業員、管理者、プロフィール管理責任者のそれぞれのロールに応じた検索のセットを作成できます。

プロフィールの検索/比較では、Oracle の Secure Enterprise Search (SES) 検索エンジンを使用し、検索条件に基づいてプロフィール データの検索を実行します。一致するプロフィールのリストが、条件との一致精度に応じてランク付けされて返されます。

比較機能を使用すると、ある 1 つのソース プロフィールと 1 つ以上のターゲット プロフィールとをオンラインで比較できます。ソース プロフィールとターゲット プロフィールのコンテンツが、隣接する列に表示されるので、プロフィール管理責任者はプロフィール間の相違を確認することができます。

注: SES 用語の詳細と、アプリケーション固有アイテムを作成および導入する方法を学習するには、製品ドキュメントの『*PeopleTools: Search Technology*』を参照してください

プロフィール管理ビジネス プロセス

PeopleSoft HR プロフィール管理で提供されるビジネス プロセスは次のとおりです。

- 個人プロフィールと非個人プロフィールの管理。

プロフィール管理責任者は、使用可能なプロフィール タイプに基づいてプロフィールを作成し、コンテンツ カタログからアイテムを選択します。また、従業員用の個人プロフィールを作成および管理します。さらに、職務コードやポジション、職務系列などのエンティティ用の非個人プロフィールを作成および管理することもできます。

- 希望任務リストの管理。

希望任務リストとは、従業員に関連付けられている非個人プロフィールの集まりです。従業員はこれを利用して、希望するプロフィールを特定することができます。プロフィール管理責任者は、従業員の希望任務リストに対してプロフィールの追加と削除を行うことができます。

- プロフィール承認の管理。

承認管理を使用すると、プロフィール管理責任者は承認ワークフロー エンジンによって送信されたプロフィール変更を表示し、その変更を承認または却下できます。以前に承認または却下した変更について、承認情報を表示することもできます。

- プロフィールの検索/比較。

プロフィール管理責任者は、自分のロールに設定されている一連の検索を使用できます。プロフィール管理責任者は検索タイプに応じた検索を使用して、ソース プロフィールに一致する、または手動で入力した検索条件に一致するターゲット プロフィールを特定します。検索結果では、検索エンジンが算出したプロフィール スコアに基づいて、最も一致したものが検出されます。プロフィール管理責任者は、検索結果にリストされたプロフィールを比較するか、プロフィールの比較を使用して、選択したプロフィールを比較できます。

- 個人コンピテンシーおよびその他のコンテンツ タイプと、非個人プロフィールの対応するコンテンツとの適合性分析。

プロフィール管理責任者は、個人コンピテンシーおよびその他のコンテンツ タイプを非個人プロフィールに必要なコンピテンシーおよびコンテンツ タイプと比較したり、チームのコンピテンシーおよびその他のコンテンツ タイプを非個人プロフィールに必要なコンピテンシーおよびコンテンツ タイプと比較できます。

- (GBR) 国家職業検定資格 (NVQ) の管理。

プロフィール管理には、NVQ に登録されている従業員の追跡とレポート作成を行うためのコンテンツタイプとプロフィールタイプが用意されています。

これらのビジネス プロセスについては、このドキュメントのビジネス プロセスのトピックで説明します。

プロフィール管理の統合

プロフィール管理は、次のような PeopleSoft HR の他のビジネス プロセスと統合されます。

- キャリア プランと後任計画。
- 教育・研修管理。
- 人事・労務管理。

これには、米国連邦政府の職員と軍の階級処理のために従業員情報を追加するプロセスも含まれています。

- フランス公的機関管理。

また、次のような他の PeopleSoft HCM アプリケーションとも統合されます

- eDevelopment-人材開発

eDevelopment-人材開発には、プロフィール管理の管理責任者機能を補完する、従業員と管理者のセルフサービス オプションがあります。

- ePerformance - パフォーマンス管理
- タレント獲得管理
- 応募者ゲートウェイ
- Campus Self Service

プロフィール管理は次のものとも統合されます。

- PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメント、Financials、CRM および Enterprise パフォーマンス マネジメント。

たとえば、エンタープライズ ラーニング マネジメントおよびエンタープライズ パフォーマンス マネジメントでは、それらの製品によって設定されたプロフィール コンテンツを活用します。Financials 要員管理/人員配置では、旧バージョン EIPS (PERSON_COMPETENCY_SYNC や PERSON_ACCOMP_SYNC など) を介してコンピテンシーおよび資格のデータを活用します。

注: Financials/CRM インテグレーションでは、旧バージョンのコンピテンシーおよび資格の構造にのみ基づいて旧バージョン コンテンツを参照します。プロフィール管理に追加される新しいコンテンツは、Financials または CRM では活用されません。

- サードパーティのアプリケーション。

プロフィール管理をサードパーティのコンテンツ プロバイダと統合して、コンピテンシー コンテンツをコンテンツ カタログにロードすることができます。プロフィール データは、Clarivia と統合できます ([「Clarivia との統合について」](#) ([「アプリケーションの基礎」](#)) を参照してください)。

統合に関する注意事項については、このドキュメントの導入のトピックで説明します。

プロフィール管理の導入

PeopleSoft セットアップ マネージャを使用すると、導入する機能に基づいて、実行する必要のある設定タスクのリストを生成できます。この設定タスクには、設定する必要のあるコンポーネントが、コンポーネントテーブルにデータを入力する順番にリストされ、関連するドキュメントへのリンクも含まれます。

プロフィール管理には、既存システムからプロフィール管理のテーブルヘデータをロードするコンポーネント インターフェイスも用意されています。テーブルへのデータのロードには、これらのコンポーネント インターフェイスとともに Excel to Component Interface ユーティリティを使用します。

次の表は、コンポーネント インターフェイスを持つすべてのコンポーネントの一覧です。

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	用途
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_COMP	コンピテンシー コンテンツ カタログ アイテムを追加または更新します。
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_CRITERIA	条件コンテンツ カタログ アイテムを追加または更新します。
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_ELEMENT	エレメント コンテンツ カタログ アイテムを追加または更新します。
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_GOAL	目標コンテンツ カタログ アイテムを追加または更新します。
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_HON	表彰/報奨コンテンツ カタログ アイテムを追加または更新します。
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_LIC	免許/資格コンテンツ カタログ アイテムを追加または更新します。
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_RESP	責務コンテンツ カタログ アイテムを追加または更新します。
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_SUBCOMP	サブ コンピテンシー コンテンツ カタログ アイテムを追加または更新します。

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	用途
JPM_NON_PERS_PROFL	CI_JPM_NONPERS_PROFILE	<p>非個人プロファイルを追加または更新します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ExcelToCI アクション CREATE を使用して、新しいプロファイルを追加します。 • ExcelToCI アクション UPDATE を使用して、新しいプロファイルのアイテムまたは識別子を追加します。 • ExcelToCI アクション UPDATEDATA を使用して、既存のプロファイル アイテムを更新します。
JPM_PERSON_PROFILE	CI_JPM_PERSON_PROFILE	<p>個人プロファイルを追加または更新します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ExcelToCI アクション CREATE を使用して、新しいプロファイルを追加します。 • ExcelToCI アクション UPDATE を使用して、新しいプロファイル アイテムを追加します。 • ExcelToCI アクション UPDATEDATA を使用して、既存のプロファイル アイテムを更新します。

「[コンテンツ カタログ](#)について」を参照してください。

その他の情報ソース

導入プランの作成段階では、導入のドキュメンテーション、データ モデル、ビジネス プロセス マップなど、PeopleSoft 内にあるすべての情報を活用するようにしてください。

以下の製品ドキュメントを参照してください。

『*PeopleTools: Component Interfaces*』

および

『*PeopleTools: Setup Manager*』

関連リンク

「[アプリケーションの基礎](#)」

第2章

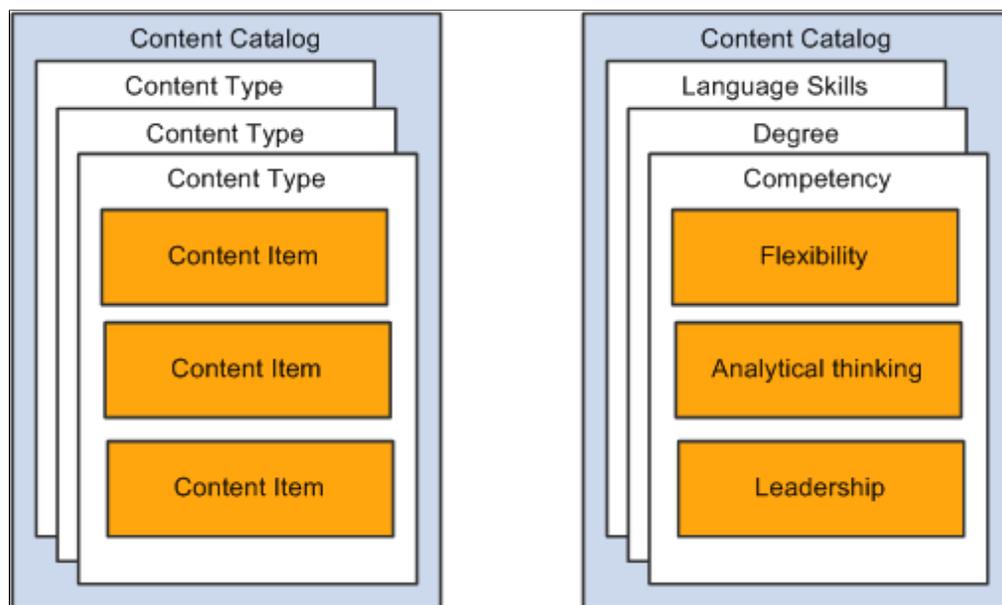
コンテンツ カタログの設定

コンテンツ カタログについて

コンテンツ カタログとは、個人プロフィールまたは非個人プロフィールに関連付けることのできるデータのリポジトリです。ePerformance-パフォーマンス管理、タレント獲得管理、応募者ゲートウェイ、ラーニング マネジメントなど他のアプリケーションによって使用されます。

画像: PeopleSoft HCM コンテンツ カタログの汎用的な構造

PeopleSoft HCM では、コンテンツ カタログは様々なタイプの情報を設定するための汎用的な構造となっています。次の図は、複数のコンテンツ タイプを含むコンテンツ カタログとコンテンツ アイテムを含むコンテンツ タイプの汎用的な構造を示しています。また、語学力、学位およびコンピテンシーのコンテンツ タイプを含むコンテンツ カタログの例も示しています。



コンテンツ カタログでは、タイプの異なる情報 (コンピテンシー、学位、語学力など) をコンテンツ タイプとして定義し、各コンテンツ タイプのデータをコンテンツ アイテムとして設定します。たとえば、DEG (学位) というコンテンツ タイプには、文学士 (BA) というコンテンツ アイテムがあります。

コンテンツ カタログの構造を利用すると、組織のプロフィールに新しいコンテンツ タイプを簡単に追加できます。

コンテンツ カタログのシステム データ

PeopleSoft アプリケーションでは、一連のコンテンツ タイプがあらかじめ設定されたコンテンツ カタログを用意しています。組織の要件に適するように、このコンテンツ カタログにコンテンツ タイプとコンテンツ アイテムを追加できます。

注: PeopleSoft が提供するコンテンツ アイテムは、あくまでもサンプル データです。

システム データとして、次のコンテンツ タイプが提供されます。

コンテンツ タイプ	説明
AREA STUDY	専攻分野
COMPETENCY	コンピテンシー
CRITERIA	エレメント基準
DEG	学位
EDLVLACHV	学歴
EG SPCL PROJ	(E&G) 教育/公的機関の特別プロジェクト
ELEMENT	コンピテンシー エレメント
GEOG_PREF	希望勤務地域
GOAL	目標
HON	表彰/報奨
INITIATIVE	イニシアチブ
INTL_PREF	希望海外勤務地
LIC	免許/資格
LNG	語学力
LOCATION	現在の勤務地
LOCATN_PREF	希望勤務地
MEM	会員資格
MISSION	ミッション

コンテンツ タイプ	説明
NVQ	NVQ
NVQ UNIT	NVQ ユニット
NVQ ELEMENT	NVQ エlement
RANK	軍の階級。
RESP	責務
SPECL PROJ	特別プロジェクト
SUB COMP	サブ コンピテンシー
TRAVEL	希望出張地
TST	テスト/検査

注: RANK は、軍関係の顧客がプロフィールに階級を記録するためのコンテンツ タイプです。イベント マネージャを使用してプロフィール管理と職務データを統合することができるため、職務データで個人の階級が更新された場合にはプロフィールも自動的に更新されます。

「従業員、非従業員、および関係者の雇用データの追加」 (「PeopleSoft ヒューマン リソース管理人事・労務管理」) を参照してください。

「イベント設定について」 (「イベントと通知フレームワーク」) を参照してください。

コンテンツ カタログの設定について

コンテンツ カタログを設定するには、次の項目を定義します。

- コンテンツ タイプ。
- コンテンツ アイテム。
- (オプション) コンテンツ グループ タイプとコンテンツ グループ。

コンテンツ グループを使用すると、コンテンツ タイプ内のコンテンツ アイテムをカテゴリに分類することができます。

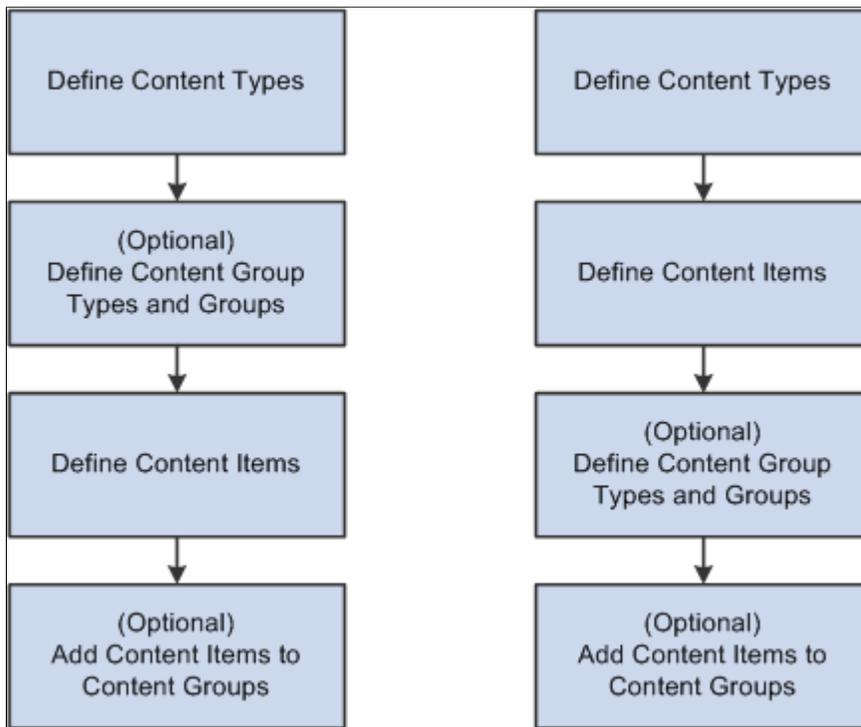
注: コンテンツ カタログで評価モデルを使用する場合は、コンテンツ アイテムに評価モデルを関連付けるために、あらかじめ「評価モデル」ページで定義しておく必要があります。

「評価モデルの定義」を参照してください。

コンテンツ カタログを設定する最初の手順は、コンテンツ タイプの設定です。その次に、コンテンツ グループとコンテンツ アイテムを設定する順序は任意です。コンテンツ アイテムの分類方法がわかっている場合は、先にコンテンツ グループを作成してからコンテンツ アイテムを設定します。逆に、追加するコンテンツ アイテムは決定していてアイテムの分類が未定の場合は、先にコンテンツ アイテムを設定してからグループを作成し、グループにアイテムを追加します。

画像: コンテンツ グループを設定してからコンテンツ アイテムを設定するか、またはコンテンツ アイテムを先に設定

次の図は、コンテンツ カタログを設定する 2 つの方法 (コンテンツ グループを設定してからアイテムを設定する方法と、アイテムを設定してからコンテンツ グループを設定する方法) を示しています。



コンテンツ タイプとコンテンツ アイテム

コンテンツ タイプ コンポーネント (JPM_CAT_TYPES) には次の 2 つのページがあります。

- 「コンテンツ タイプ」ページには、各コンテンツ タイプのプロパティ (フィールド) がリストされます。
プロパティごとに、フィールドの属性を定義します。これにより、「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページにフィールドがどのように表示されるかが決まります。
- 「関係ルール」ページでは、このコンテンツ タイプがカタログ内の他のコンテンツ タイプとどのように関連付けられるかを定義します。

コンテンツ アイテムを設定するコンポーネントはすべてのコンテンツ タイプで同じですが、表示されるページとフィールドは、コンテンツ タイプの定義によって異なります。コンテンツ アイテム コンポーネント (JPM_CAT_ITEMS) には次の 3 つのページがあります。

- 「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページでは、コンテンツ アイテムの主な詳細を設定します。
- 「関係」ページでは、コンテンツ アイテム間の関連を定義します。

コンテンツ タイプに関係ルールが定義されていない場合、このページは表示されません。

- グループ メンバー ページでは、このコンテンツ アイテムが属するグループを定義します。

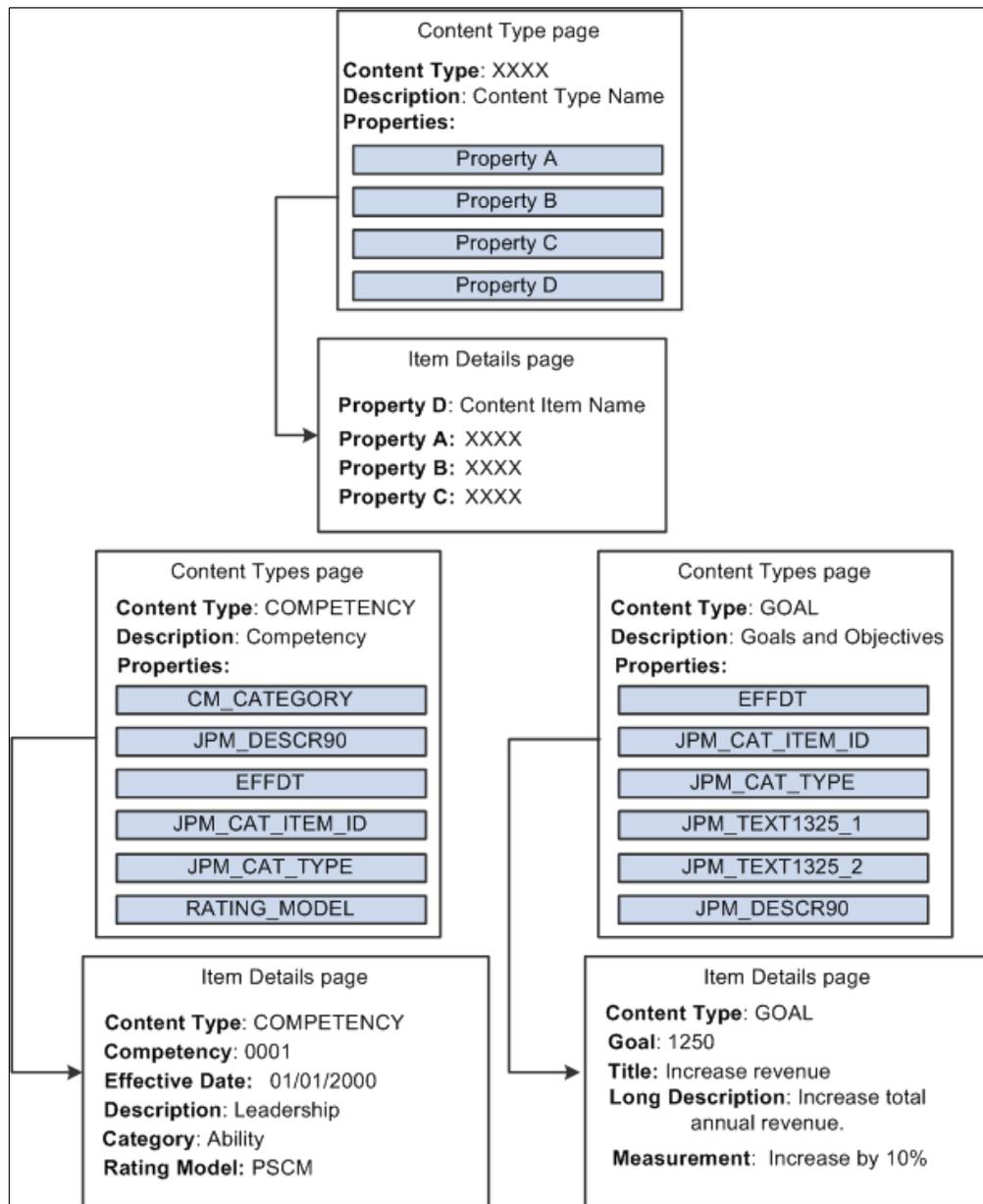
コンテンツ タイプにグループがない場合、このページは表示されません。

「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページのフィールドは、「コンテンツ タイプ」ページで選択したプロパティによって大きく異なります。

注: これらのフィールドは、プロフィールのアイテムの設定または表示に影響を与えません。

画像: コンテンツ タイプのプロパティによって、コンテンツ アイテムを定義するフィールドが変わります

次の図は、コンテンツ タイプ ページで選択したプロパティによって、「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページのフィールドがどのように変わるかを示したものです。この図には、汎用のコンテンツ タイプと2つのコンテンツ タイプの例 (コンピテンシーと目標) を示しています。



注: プロファイル タイプの一部のプロパティでは、プロフィールの検索/比較機能に使用する検索用索引にコードベースのデータしか保存されません。

コンテンツ タイプとプロパティの設定

コンテンツ タイプとプロパティを設定するには、コンテンツ タイプ コンポーネント (JPM_CAT_TYPES) を使用します。

次の各トピックでは、コンテンツ タイプ プロパティの概要、自由形式コンテンツ タイプおよびコンテンツ タイプの設定方法について説明します。

コンテンツ タイプとプロパティの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「コンテンツ タイプ」ページ	JPM_CAT_TYPES	コンテンツ タイプのプロパティを定義します。コンテンツ タイプに対して選択するプロパティによって、「 コンテンツ アイテム - アイテム詳細 」ページに表示されるフィールドと、各フィールドの属性が異なります。
「関係ルール」ページ	JPM_CAT_TYPE_RLAT	コンテンツ タイプ間の関係を設定および照会します。

コンテンツ タイプのプロパティについて

コンテンツ タイプは、コンテンツ カタログに追加できる広い意味でのアイテム グループです。コンテンツ タイプ内で、このタイプのアイテムすべてが持つ任意または必須のプロパティを指定します。標準のコンテンツ タイプの多くが、コンピテンシー管理アプリケーションで発生した旧バージョン コンテンツを定義しています。これらのコンテンツ タイプの多くには、他の製品の機能を制御する追加の属性が含まれています。新しいコンテンツ タイプを定義するときには、デフォルト値以外の属性および RATING_MODEL を追加しないでください。コンテンツ タイプに対して定義したプロパティは、「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページでフィールドとして表示されます。デフォルト ラベル テキストの変更や、デフォルト値の選択が可能に他に、「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページでこのフィールドを入力可能、入力不可または非表示のいずれにするかを指定できます。

関連リンク

[コンテンツ タイプのプロパティ](#)

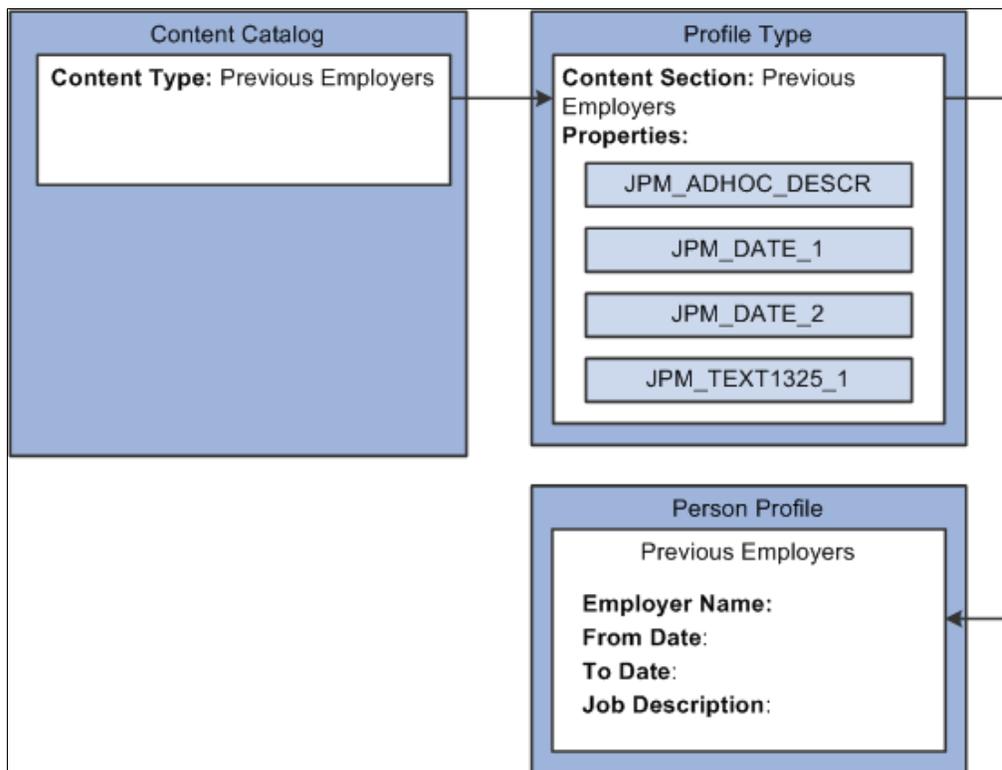
自由形式コンテンツ タイプについて

組織の要件によっては、データの量やメンテナンス性のために、プロフィール コンテンツの特定のタイプがコンテンツ カタログでの格納に不適切な場合があります。たとえば、個人プロフィールに、従業員の前勤務先を記録するセクションを追加するとします。しかし、勤務先はデータベースに格納されておらず、この情報は個人プロフィールにしか適用できません。このようなタイプの情報については、基本的に空の

プレースホルダである自由形式のコンテンツ タイプを定義できます。自由形式のコンテンツ タイプにはフィールドが含まれず、コンテンツ アイテムを作成できません。

画像: 個人プロフィールに前勤務先情報を記録するための自由形式コンテンツ タイプの例

プロフィール タイプに自由形式コンテンツ タイプを追加する場合は、その特定のプロフィール タイプについて入力される情報を定義するプロパティ (フィールド) を追加します。次の図は、自由形式コンテンツ タイプを使用して、前勤務先とその雇用日や職務内容などの関連情報を記録する方法を示しています。



この例で、前勤務先を示すコンテンツ タイプ定義にはフィールドもコンテンツ アイテムもありません。プロフィール タイプにこのコンテンツ タイプを追加すると、勤務先名、勤務の開始日と終了日および説明の各フィールドが職務内容に追加されます。「個人プロフィール」ページで、従業員はこれらのフィールドに前勤務先の情報を追加します。データベースにはレコードとして定義されていないため、勤務先を検証することはできません。

自由形式コンテンツ タイプを作成するには、「コンテンツ タイプ」ページで「自由形式タイプ」チェックボックスを選択します。

注: プロファイルの検索/比較機能を使用している場合は、自由形式のコンテンツ セクションを追加できません。

「コンテンツ タイプ」ページ

コンテンツ タイプのプロパティを定義するには、「コンテンツ タイプ」ページ (JPM_CAT_TYPES) を使用します。

コンテンツ タイプに対して選択するプロパティによって、「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページに表示されるフィールドと、各フィールドの属性が異なります。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「コンテンツ カタログ」、「コンテンツ タイプ」、「コンテンツ タイプ」

画像: 「コンテンツ タイプ」ページ: 「プロパティ」タブ

次の例では、「コンテンツ タイプ」ページ: 「プロパティ」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Field Name	*Label Text	Sys Data	Key Field	Required		
EFFDT	Effective Date	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>
EFF_STATUS	Status	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>
JPM_CAT_ITEM_ID	Content Item ID	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>
JPM_CAT_TYPE	Content Type	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>
JPM_DESCR90	Description	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>

システム データ

このチェック ボックスが選択されているのは、システム標準のコンテンツ タイプです。

自由形式タイプ

自由形式コンテンツ タイプを作成する場合は、このチェック ボックスを選択します。自由形式コンテンツ タイプには、プロパティまたはコンテンツ アイテムを定義できません。

「[自由形式コンテンツ タイプについて](#)」を参照してください。

「プロパティ」タブ

このスクロール領域で選択するプロパティは、「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページでフィールドとして表示されます。プロパティを使用して、このコンテンツ タイプのコンテンツ アイテムを定義します。

自由形式タイプとして定義されていないすべてのコンテンツ タイプには、自動的に次の 5 つのプロパティが設定されます。

- コンテンツ タイプ (JPM_CAT_TYPE)
- コンテンツ アイテム ID (JPM_CAT_ITEM_ID)
- 有効日 (EFFDT)

- 有効日現在のステータス (EFF_STATUS)
- 説明 (JPM_DESCR90)

新しいコンテンツ タイプを作成するとき、これらのプロパティはグリッドに自動的にロードされます。編集できるのはラベル テキストと、「コンテンツ アイテム ID」および「説明」の最大長のみです。

アイテムで定義しているコンテンツの評価をプロファイルで追跡する場合は、必要に応じて RATING_MODEL プロパティを追加できます。

プロパティ

有効値のリストから、このコンテンツ タイプに追加するプロパティを選択します。システム データとして提供されているコンテンツ タイプの場合、標準のプロパティを削除することはできませんが、他のプロパティを追加することは可能です。

「[コンテンツ タイプのプロパティ](#)」を参照してください。

ラベル テキスト

選択したプロパティのデフォルトのラベル テキストが表示されますが、よりわかりやすいラベルに変更できます。ここで定義するラベル テキストが、「アイテム詳細」ページで表示されます。

注: 「アイテム詳細」ページでフィールドにどんな情報を入力すべきかユーザーが正しく理解できるように、プロファイルには意味のあるラベルを選ぶことをお勧めします。

システム データ (システム データ)

このフィールドは表示専用です。PeopleSoft は、一部のコンテンツ タイプをシステム データとして提供します。プロパティがこのようなシステム データの一部として提供されている場合、このチェック ボックスが自動的に選択されます。

キー フィールド

このフィールドは表示専用です。プロパティがレコードのキー フィールドである場合、このチェック ボックスが選択されます。

必須

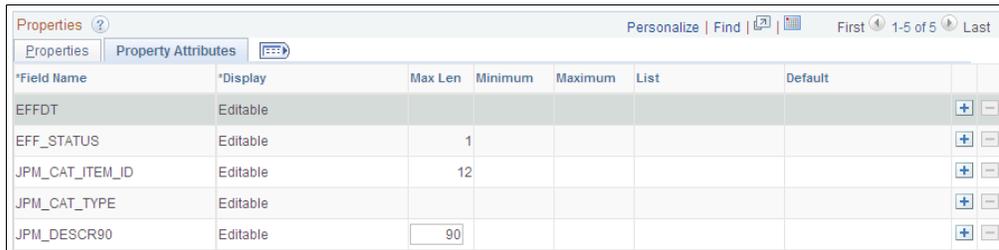
「アイテム詳細」ページでアイテムを定義する際このプロパティを必須にする場合に選択します。

「プロパティ属性」タブ

「コンテンツ タイプ」ページの「プロパティ属性」タブにアクセスします。

画像: 「コンテンツ タイプ」ページ: 「プロパティ属性」タブ

次の例では、「コンテンツ タイプ」ページ: 「プロパティ属性」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



*Field Name	*Display	Max Len	Minimum	Maximum	List	Default
EFFDT	Editable					
EFF_STATUS	Editable		1			
JPM_CAT_ITEM_ID	Editable		12			
JPM_CAT_TYPE	Editable					
JPM_DESCR90	Editable			90		

表示

このプロパティを「アイテム詳細」ページで入力可能 (*編集可能*)、入力不可 (*表示専用*) または非表示 (*非表示*) のいずれにするかを選択します。

最大長 (最大長)

このプロパティのフィールド長を入力します。

注: *JPM_DESCR90* フィールド値には最大 90 文字を入力できますが、旧バージョンコンテンツ タイプに対しては説明の長さを最大 30 文字にすることをお勧めします。ただし、上書き可能です。説明の長さが指定の最大長を超えている場合は、特定のアプリケーションによって参照される際に説明が切り捨てられる可能性があります。

「最小値」および「最大値」

数値属性の場合に、最小値と最大値を入力します。

リスト

このオプションは、属性 *EP_SUB_LEVEL* にのみ使用できます。このプロパティは、ePerformance-パフォーマンス管理に使用されます。

カスタム リスト値テーブルに定義されたカスタム リストを選択します。このフィールドは、(*EP_SUB_LEVEL* のように) フィールドにカスタム リストが定義されている場合にのみ表示されます。リスト値を選択すると、指定されたカスタム リスト値に関連付けられたリスト値から、「デフォルト」フィールドの値が動的に作成されます。

「[カスタム プロンプト](#)」ページを参照してください。

デフォルト

このプロパティのデフォルト値を入力します。「アイテム詳細」ページでは、この値がフィールドのデフォルトになります。プロパティを表示専用または非表示にした場合は、デフォルト値を選択する必要があります。「デフォルト」フィールドを使用できる

のは、あらかじめ定義された値を持つプロパティか、プロンプトテーブルに関連付けられているプロパティのみです。

「関係ルール」ページ

コンテンツ タイプ間の関係を設定および確認するには、「関係ルール」ページ (JPM_CAT_TYPE_RLAT) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「コンテンツ カタログ」、「コンテンツ タイプ」、「関係ルール」

画像: 「関係ルール」ページ

次の例では、「関係ルール」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Relationship	*Related Content Type	Description	System Data
Is a child of	COMPETENCY	Competencies	<input checked="" type="checkbox"/>

コンテンツ タイプが他のコンテンツ タイプに関連付けられる場合は、このページで関係を定義します。コンテンツ タイプに関係ルールがない場合、ページは空白にしておきます。

関係

「関連タイプの親」または「関連タイプの子」のいずれかを選択します。子アイテムは、親アイテムの下でプロフィールに追加されます。これらの関係は階層構造になります。

(GBR)「サポート」または「関連タイプによりサポート」は、NVQ と NVQ ユニットのコンテンツ タイプに適用されます。これらのアイテムは、相互に階層関係にはならず (つまり、サポートするアイテムがサポートされるアイテムの下に追加されない)、このタイプのアイテムを同じプロフィールと一緒に適用し、一緒に確認できます。

関連コンテンツ タイプ

このコンテンツ タイプが関連付けられるコンテンツ タイプを選択します。

システム データ

このフィールドは表示専用です。このコンテンツ タイプが PeopleSoft アプリケーションの標準のシステムデータである場合、このチェック ボックスが自動的に選択されます。

ここで関係を作成してコンテンツ タイプを保存すると、関連コンテンツ タイプには逆の関係が自動的に設定されます。たとえば、コンテンツ タイプ A を設定し、次の関係を定義するとします。

コンテンツ タイプ A は、コンテンツ タイプ B に対して「関連タイプの親」。

コンテンツ タイプ B の定義が自動的に更新され、次の関係が定義されます。

コンテンツ タイプ B は、コンテンツ タイプ A に対して「関連タイプの子」。

2 つのコンテンツ タイプ間に 2 種類の関係を作成したり、コンテンツ タイプとそれ自身の間に関係を作成したりすることはできません。そのような定義を試行した場合、重複挿入のエラーになります。たとえば、コンテンツ タイプ COMPETENCY が、コンテンツ タイプ SUB_COMP に対して「関連タイプの親」と「関連タイプの子」の両方の関係を持つことはできません。

コンテンツ アイテムの定義

コンテンツ アイテムを設定するには、コンテンツ アイテム コンポーネント (JPM_CAT_ITEMS) を使用します。

次の各トピックでは、コンテンツ アイテムを定義する方法について説明します。

コンテンツ アイテムの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「 コンテンツ アイテム - アイテム詳細 」ページ	JPM_CAT_ITEMS	選択したコンテンツ タイプにコンテンツ アイテムの詳細を定義します。
「 アイテム評価説明 」ページ	JPM_CAT_ITMRD_SEC	コンテンツ アイテムの評価の評価レベル説明を入力します。 「評価レベル説明」リンクが表示されるのは、コンテンツ タイプ定義に RATING_MODEL プロパティが含まれ、評価モデルが選択されている場合のみです。
「 コンテンツ アイテム - 関係 」ページ	JPM_CAT_ITEM_RLAT	コンテンツ アイテム間の関係を設定および照会します。
「 コンテンツ アイテム - グループ メンバー 」ページ	JPM_CAT_ITEM_GMEMB	既存のコンテンツ グループにコンテンツ アイテムを追加します。このページから、選択したコンテンツ グループのすべてのメンバーを表示することもできます。

「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページ

選択したコンテンツ タイプのコンテンツ アイテムの詳細を定義するには、「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページ (JPM_CAT_ITEMS) を使用します。

注: 資格関連のコンテンツ タイプの新しいコンテンツ アイテム ID (*DEG*, *HON*, *LIC*, *LNG*, *MEM*, *TST* および *NVQ*) を作成する場合、ID はすべての資格コンテンツ タイプで一意である必要があります。たとえば、コンテンツ アイテム ID *BA* を使用する *DEG* コンテンツ タイプがすでに存在する場合は、*LIC* または *TST* コンテンツ タイプにコンテンツ アイテム ID *BA* を使用することはできません。ただし、*GOAL* アイテムの場合は、資格関連のコンテンツ タイプリストに含まれていないため、コンテンツ アイテム ID *BA* を使用できます。

ユーザー定義のコンテンツ アイテム ID は、コンテンツ タイプ全体で一意である必要はありません。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「コンテンツ カタログ」、「コンテンツ アイテム」、「コンテンツ アイテム」

画像: 「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページ

次の例では、「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Item Details' page for a Competency item. The page is divided into several sections:

- Item Details:** Content Type: COMPETENCY, Competencies; Competency: 0211.
- Content Items Details:** Find | View All; First 1 of 1 Last.
- *Effective Date:** 01/01/1900
- *Status:** Active
- *Description:** Motivate & lead people
- Long Description:** Motivates those who work around him/her. Provides excitement and
- Short Description:** Motivates
- *Category:** Ability
- Content Supplier:** Customer Defined
- *Rating Model:** PSCM (with a link to Proficiency Descriptions)
- ePerformance Description:** Motivates those who work around him/her. Provides excitement and purpose to accomplish stated goals.
- Updated on:** 01/24/06 1:15:52PM
- Last Update User ID:** SYSTEM

注: このページのフィールドは、コンテンツ タイプのプロパティによって異なります。コンテンツ タイプの各プロパティが「アイテム詳細」ページのフィールドになり、各フィールドには「コンテンツ タイプ」ページの「ラベル テキスト」フィールドで入力したラベルを使用して自動的にラベルが付けられます。

評価レベル説明

このリンクが表示されるのは、コンテンツ タイプ定義に `RATING_MODEL` プロパティが含まれ、評価モデルが選択されている場合のみです。このリンクをクリックして、「アイテム評

「評価説明」ページにアクセスすると、このコンテンツ アイテムの評価の説明を入力することができます。

評価レベル説明は省略可能です。これは、ePerformance-パフォーマンス管理でのみ使用されます。評価レベル説明を使用すると、特定のアイテムについて評価の説明を設定できます。ただし、従業員や管理者は、評価レベル説明がなくてもコンテンツ アイテムを評価できます。

注: 評価レベル説明が関連付けられているアイテムに対する評価モデルを変更すると、既存の評価レベル説明が削除されたことを示す警告が表示されます。

評価モデルは、「評価モデル」ページで定義します。

「[評価モデルの定義](#)」を参照してください。

関連リンク

[コンテンツ タイプのプロパティ](#)

[コンテンツ カタログの設定について](#)

「アイテム評価説明」ページ

コンテンツ アイテムの評価の評価レベル説明を定義するには、「アイテム評価説明」ページ (JPM_CAT_ITMRD_SEC) を使用します。

「評価レベル説明」リンクが表示されるのは、コンテンツ タイプ定義に RATING_MODEL プロパティが含まれ、評価モデルが選択されている場合のみです。

ナビゲーション

「アイテム詳細」ページで「評価レベル説明」リンクをクリックします。

画像: 「アイテム評価説明」ページ

次の例では、「アイテム評価説明」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a dialog box titled "Item Rating Descriptions". At the top, it displays several fields: "Content Type" set to "COMPETENCY", "Competency" set to "0502", "Effective Date" set to "01/01/1900", "Status" set to "Active", and "Rating Model" set to "PSCM". Below this is a section titled "Proficiency Descriptions" which includes a search bar with "Find | View All" and navigation buttons for "First", "4 of 5", and "Last". A dropdown menu for "*Review Rating" is set to "4-Very Good". Below the dropdown is a text area for "Description" containing the text: "Grows personal networks within the immediate and larger organization. Regularly contributes ideas to improve the department's functioning." At the bottom of the dialog are "OK" and "Cancel" buttons.

評価レベル

評価レベルを選択します。「コンテンツ アイテム - アイテム詳細」ページで割り当てた評価モデルに設定されているレベルが、ドロップダウン リストに表示されます。たとえば、コミュニケーション能力で「専門」(評価 5) であること、または「優」(評価 4) であることが、どのようなことを意味するかを定義できます。これによって、組織内の全員が各評価について共通の理解を持つことができます。

「コンテンツ アイテム - 関係」ページ

コンテンツ アイテム間の関係を設定し、確認するには、「コンテンツ アイテム - 関係」ページ (JPM_CAT_ITEM_RLAT) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「コンテンツ カタログ」、「コンテンツ アイテム」、「関係」

画像: 「コンテンツ アイテム - 関係」ページ

次の例では、「コンテンツ アイテム - 関係」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Relationship	Related Content Type	*Content Item ID	Description	Status
Is a parent of	ELEMENT			Active
Is a parent of	LIC			Active
Is a parent of	SUB_COMP			Active

「関係」ページは、「コンテンツ タイプ - 関係ルール」ページでそのコンテンツ タイプの関係ルールが定義されている場合にのみ表示されます。コンテンツ タイプに定義された関係ルールがない場合、このページは表示されません。

注: コンテンツ アイテムのレベルで、関係の定義は必須ではありません。

関連アイテム

関係

コンテンツ タイプに定義されている関係ルールが表示されます。

コンテンツ アイテム間に、コンテンツ タイプの関係ルールと異なる関係を定義することはできません。たとえば、COMPETENCY タイプは、SUB_COMP タイプの親という関係にあります。したがって、コンピテンシー コンテンツ アイテムを定義する際に、コンピテンシーとサブ コンピテンシーの間に子の関係を設定することはできません。

関連コンテンツ タイプ

関連アイテムのコンテンツ タイプが表示されます。

コンテンツ アイテム ID

このアイテムと関連付けるアイテムを選択します。選択できるのは、「関連コンテンツ タイプ」フィールドで定義されているタイプのアイテムのみです。

「コンテンツ アイテム - グループ メンバー」ページ

既存のコンテンツ グループにコンテンツ アイテムを追加するには、「コンテンツ アイテム - グループ メンバー」ページ (JPM_CAT_ITEM_GMEMB) を使用します。

このページから、選択したコンテンツ グループのすべてのメンバーを表示することもできます。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「プロフィール管理」, 「コンテンツ カタログ」, 「コンテンツ アイテム」, 「グループ メンバー」

画像: 「コンテンツ アイテム - グループ メンバー」ページ

次の例では、「コンテンツ アイテム - グループ メンバー」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Content Group Type	Description	*Group	Description	Content Group Members
COMP TYPE	Competency Types	LDRSHP	Leadership	View

グループ メンバー ページは、コンテンツ タイプにコンテンツ グループが設定されている場合に使用できます。コンテンツ グループがない場合、このページは表示されません。コンテンツ グループは、「コンテンツ グループ タイプ」ページで定義します。

コンテンツ グループ タイプ

コンテンツ グループ タイプを選択します。

グループ

グループのリストからグループを選択します。

「コンテンツ グループ メンバー」および「表示」

「表示」リンクをクリックして「コンテンツ グループ メンバー」ページにアクセスすると、選択したグループのコンテンツ アイテムがリストされます。

コンテンツ グループの定義

コンテンツ グループを設定するには、コンテンツ グループ コンポーネント (JPM_CAT_GROUPS) とコンテンツ グループ メンバー コンポーネント (JPM_CAT_GMEMB) を使用します。

次の各トピックでは、コンテンツ グループを定義する方法について説明します。

コンテンツ グループおよびメンバーの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「コンテンツ グループ タイプ」ページ	JPM_CAT_GROUPS	コンテンツ グループ タイプと、各コンテンツ グループ タイプ内のグループを定義します。

ページ名	定義名	用途
「コンテンツグループメンバー」ページ	JPM_CAT_GMEMB	コンテンツグループメンバーの定義「コンテンツグループタイプ」ページで作成したコンテンツグループにコンテンツアイテムを追加したり、コンテンツグループの既存のアイテムメンバーを表示します。

「コンテンツグループタイプ」ページ

コンテンツグループタイプおよび各コンテンツグループタイプ内のグループを定義するには、「コンテンツグループタイプ」ページ (JPM_CAT_GROUPS) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「コンテンツカタログ」、「コンテンツグループタイプ」、「コンテンツグループタイプ」

画像: 「コンテンツグループタイプ」ページ

次の例では、「コンテンツグループタイプ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Content Group Types			
Content Type COMPETENCY		Competencies	
Group Type COMP TYPE		<input checked="" type="checkbox"/> System Data	
Description	Competency Types		
Content Group Types			
		Personalize Find View All	First 1-10 of 39 Last
*Content Group	*Description	Short Description	Content Group Members
ACCNT	Accountability	Accntabity	Add/View
ADMIN	Administration	Admin	Add/View
BANK	Banking Experience	Banking	Add/View
BUSPLN	Business Planning	Bus Planng	Add/View
COMM	Communication	Communictn	Add/View
COOP	Cooperative	Cooperativ	Add/View
CORP	Corporate	Corporate	Add/View
DRV	Drive and Ambition	Drive	Add/View
EDUC	Education	Education	Add/View
ENTRPR	Entrepreunerial	Entrepren	Add/View

コンテンツグループタイプ

このグループボックスに、選択したコンテンツグループタイプに定義されているすべてのコンテンツグループがリストされます。

コンテンツグループ

コンテンツグループの名称を入力します。

コンテンツ グループ メンバー

「追加/表示」リンクをクリックして「コンテンツ グループ メンバー」ページにアクセスすると、グループに属するコンテンツ アイテムがリストされます。

「コンテンツ グループ メンバー」ページ

コンテンツ グループ メンバーを定義するには、「コンテンツ グループ メンバー」ページ (JPM_CAT_GMEMB) を使用します。

「コンテンツ グループ タイプ」ページで作成したコンテンツ グループにコンテンツ アイテムを追加したり、コンテンツ グループの既存のアイテム メンバーを表示します。

ナビゲーション

- 「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「プロフィール管理」, 「コンテンツ カタログ」, 「コンテンツ グループ メンバー」, 「コンテンツ グループ メンバー」
- 「コンテンツ グループ タイプ」ページで「追加/表示」リンクをクリック。
- コンテンツ アイテム - グループ メンバー ページで「表示」リンクをクリック。

画像: 「コンテンツ グループ メンバー」ページ

次の例では、「コンテンツ グループ メンバー」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Content Group Members			
Content Type	COMPETENCY	Competencies	
Content Group Type	COMP TYPE	Competency Types	
Content Group	ACCNT	Accountability	
Content Group Members Personalize 			
1-8 of 8			
*Item ID	Description	View	
0156	Recognized as job expert	View	
0201	Accountability for decisions	View	
0202	Understands decision process	View	
0203	Displays confidence & maturity	View	
0241	Works well under pressure	View	
0802	Exhibits no racism or sexism	View	
FJC010	HR Policies & Procedures	View	
HXCMP1	Comp Mgmt Test	View	

このページを使用して、コンテンツ グループのメンバーであるアイテムを表示、追加または削除します。

表示

このリンクをクリックして、アイテム定義を表示します。リンクをクリックすると、コンテンツ アイテム コンポーネントが表示されます。

評価モデルの定義

評価モデルを設定するには、評価モデル コンポーネント (RATING_MDL_TBL) を使用します。

次の各トピックでは、評価モデル、(USF) 評価モデルの概要を示し、評価モデルを定義する方法について説明します。

評価モデルの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「評価モデル」ページ	RATING_MDL_TBL	従業員の能力レベルの決定に使用する値を含む評価モデルを設定します。
「評価説明の確認」ページ	RE VW_RATING_SEC	評価レベル説明の追加。

評価モデルについて

評価モデルにより、従業員のパフォーマンス、つまり能力レベルの評価の際に使用する値が定義されます。評価モデルを使用して、従業員のパフォーマンスを評価する際に使用される A、B、C、D などの評価レベルを定義します。それぞれの評価レベルに対し、評価レベル値、点数、評価ランク (点数の範囲) を設定できます。

評価モデルは、次のような HCM 内のアプリケーションで使用されます。

- プロファイル管理ビジネス プロセス。

プロフィール管理では、個人プロフィール上のアイテムに関する従業員の能力レベルを評価する際に評価モデルを使用します。非個人プロフィールの場合には、プロフィールのアイテムに必要とされる能力レベルを指定できます。RATING_MODEL プロパティには、評価モデル テーブルが関連付けられています。評価モデルを使用して測定される組織のコンテンツ タイプとプロフィール タイプに、このプロパティを追加し、コンテンツ アイテムのレベルで使用される評価モデルを指定します。COMPETENCY コンテンツ タイプには、RATING_MODEL プロパティが含まれています。

- ePerformance-パフォーマンス管理。

ePerformance-パフォーマンス管理では、記入票の評価セクションやパフォーマンスの総合評価の値を定義する際にも評価モデルを使用することができます。評価モデルに設定すべき値は、記入票の総合評価 (記入票の「総合評価」) で使用する計算方法によって異なります。記入票テンプレートを定義する際に、記入票の各セクションおよび評価対象の各項目に適用する評価モデルを選択します。記

入票全体で同じ評価モデルを使用することも、項目やセクションごとに違う評価モデルを使用することもできます。

- 記入票の管理ビジネス プロセス。
- キャリア プランと後任計画のビジネス プロセス。
- 基本報酬管理と予算計画のビジネス プロセス。

関連リンク

「プロファイル管理の利用」(「ePerformance-パフォーマンス管理」)

PeopleSoft ヒューマン リソース管理記入票の管理

PeopleSoft ヒューマン リソース管理基本報酬管理と予算計画

「キャリア プランの作成」(「PeopleSoft ヒューマン リソース管理キャリア プランと後任計画」)

(USF) 評価モデルについて

PeopleSoft HR 製品には、特定の用途を持つ 2 つの評価モデルが標準で用意されています。

- GUSF (USF 用目標ステータス)。
- PIP (業績向上計画)。

これらの評価モデルでは、評価ではなく、記入票の目標および業績向上計画に割り当てることができるステータスを定義します。GUSF 値は、「未達成」、「達成」、「目標以上」です。PIP 値は、「進行中」、「満足」、「不満足」です。

「評価モデル」ページ

従業員の能力レベルの決定に使用する値を含む評価モデルを設定するには、「評価モデル」ページ (RATING_MDL_TBL) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「コンテンツ カタログ」、「評価モデル」、「評価モデル」

画像: 「評価モデル」ページ: 「一般」タブ

次の例では、「評価モデル」ページ: 「一般」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Rating	*Description	Short Description	Numeric Rating	Career Strength/ Development	Rating Explanation
0	0-None	None	0.00	Development	
1	1-Little	Little	1.00	Development	
2	2-Fair	Fair	2.00	Development	
3	3-Good	Good	3.00	Strength	
4	4-Very Good	Very Good	4.00	Strength	
5	5-Expert	Expert	5.00	Strength	

評価モデルの名称

評価ランク

この評価モデルを評価ランクの評価モデルとして定義する場合は、このチェック ボックスを選択します。

注: 日本機能の昇格候補者一覧や昇給プロセスを使用する場合は、ePerformance-パフォーマンス管理の記入票で、総合的な評価レベルに対して評価ランクの評価モデルを使用する必要があります。

「日本の給与の更新について」 (「PeopleSoft ヒューマン リソース管理基本報酬管理と予算計画」) を参照してください。

OPM パターン (Office of Personnel Management パターン)

(USF) この評価モデルに適用するパターンを選択します。このフィールドは、米国連邦政府ユーザーにのみ表示されます。

「一般」タブ

この評価モデルを使用する際に従業員の評価に使用できる評価レベルをすべて定義します。少なくとも 2 つの評価レベルを定義する必要があります。行は必要に応じていくつでも挿入できます。

レベル

評価を表す半角英数字のコードを入力します。これは、定性評価と呼ばれることもあります。

評価レベル値

このフィールドは、ePerformance-パフォーマンス管理でのみ使用されます。必要な場合は、評価を表す数値を入力します。入力値は次の2つの目的に使用されます。

- 平均計算方法を使用する記入票のセクションに対しては、この値がセクションの平均または加重平均の計算に使用されます。また、(サブ項目がある場合は) この値を使用してセクションの各項目の平均評価レベルが計算されます。
- テンプレート定義コンポーネントの構成ページ (EP_TMPL_DEFN3) の「評価レベル値」チェック ボックスを選択すると、ここで入力する値が記入票上の評価の隣に表示されます。この機能は、評価レベルがアルファベットのときに便利です。

得意/要育成分野

プロフィール管理のページを使用してキャリア プラン ビジネス プロセスのコンピテンシーを定義する際に、この値が使用されます。次のものから選択します。

要育成: スキルの向上、育成または研修が必要な分野であることを評価レベルが示している場合。

得意分野: 得意分野であることを評価レベルが示している場合。

[「キャリア プランの作成」](#) ([「PeopleSoft ヒューマン リソース管理 キャリア プランと後任計画」](#)) を参照してください。



クリックすると、「[評価説明の確認](#)」ページが表示されます。

「点数」タブ

「評価モデル」ページ: 「点数」タブにアクセスします。

画像: 「評価モデル」ページ: 「点数」タブ

次の例では、「評価モデル」ページ: 「点数」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Ratings						Personalize	Find	1-6 of 6
General		Review Points	Federal					
*Rating	Review Points	From Points	To Points	Eligibility Points				
0	0	0	1	0.0	+	-		
1	1	2	4	0.0	+	-		
2	2	5	7	0.0	+	-		
3	3	8	10	0.0	+	-		
4	4	11	13	0.0	+	-		
5	5	14	15	0.0	+	-		

「一般」タブで定義した評価レベルに点数や点数範囲を関連付ける場合は、このタブのフィールドに入力します。

レベル

「一般」タブで定義した評価レベルがここに表示されます。この値を変更すると、「一般」タブの「レベル」フィールドの値も自動的に変更されます。

点数

評価レベルに対して 0 から 999 までの数字を入力します。このフィールドは、ePerformance-パフォーマンス管理とプロフィール管理でのみ使用されます。

- ePerformance-パフォーマンス管理では、このフィールドを使用してセクションの計算に合計方法を使用します。計算のためにここに入力した点数が使用されます。

注: ステップの自動昇給プロセスを使用する場合は、合計方法を使用する必要があります。

- プロフィール管理では、適合性分析機能を使用して従業員プロフィールが非個人プロフィールのコンピテンシーにどれくらい適合するかを判断します。適合性分析機能では、ここで入力した点数が使用されます。点数は、プロフィールの検索/比較スコア処理アルゴリズムによっても使用されます。

「[プロフィールの比較について](#)」および「[プロフィール適合について](#)」を参照してください。

「[給与プランについて](#)」(「[PeopleSoft ヒューマン リソース管理基本報酬管理と予算計画](#)」) および「[給与等級と給与ス](#)

[「テップについて」](#) ([「PeopleSoft ヒューマン リソース管理基本報酬管理と予算計画」](#)) を参照してください。

「開始点数」および「終了点数」

このレベルに関連付ける点数範囲を定義します。これらの点数は合計点数を評価ランクまたは定性評価のいずれかに変換するために使用されます。

評価ランクは実際には定性評価と同じで、直接割り当てられるかわりに計算によって求められます。すなわち、点数が合計され、その合計点数が、このテーブルに入力された開始点数と終了点数のどの範囲に属するかが判断されます。

「評価ランク」を選択した場合、「終了点数」フィールドに値を入力する必要があります。計算方法が評価ランクの場合、これらのフィールドを使用して記入票全体の合計点数が定性評価に変換されます。計算方法が合計の場合、これらのフィールドを使用してセクションの合計点数または記入票全体の合計点数が定性評価に変換されます。

昇格ポイント

必要な場合、給与プランビジネス プロセスの日本機能である *Shohkaku* で使用されるポイント数を入力します。このフィールドは、考課定義 (JPN) ページの「昇格対象考課」チェック ボックスが選択されている場合のみ使用されます。

[「\(JPN\) 考課 ID の作成」](#) ([「ePerformance-パフォーマンス管理」](#)) を参照してください。

[「日本の給与の更新について」](#) ([「PeopleSoft ヒューマン リソース管理基本報酬管理と予算計画」](#)) を参照してください。

(USF) 「連邦」タブ

「評価モデル」ページ: 「連邦」タブにアクセスします。

画像: 「評価モデル」ページ: 「連邦」タブ

次の例では、「評価モデル」ページ: 「連邦」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Rating	OPM Rating	RIF Years
1	Level I	0
2	Level II	0
3	Level III	0
4	Level IV	0
5	Level V	0

このタブは、インストール テーブルの製品ページで「連邦」を選択し、ユーザーが米国連邦政府ユーザーとしてログオンしているときにのみ表示されます。

「実装のデフォルトの設定」 (「アプリケーションの基礎」) を参照してください。

OPM レベル (Office of Personnel Management レベル) 評価レベルと関係している OPM レベルを選択します。このフィールドは、中央人事データ ファイル (CPDF) へのレポートに使用されます

RIF 年数 (人員削減年数) この評価レベルに関連付けられた RIF 年数を入力します。

関連リンク

[プロフィール適合について](#)

[プロフィールの比較について](#)

[プロフィールの管理](#)

「評価説明の確認」ページ

評価説明の確認を追加するには、「評価説明の確認」ページ (RE VW _ R A T I N G _ S E C) を使用します。

ナビゲーション

「評価モデル」ページの「評価説明」アイコンをクリックします。

画像: 「評価説明の確認」ページ

次の例では、「評価説明の確認」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

説明

評価の説明を入力します。半角 1325 文字まで入力できます。この説明は、ePerformance-パフォーマンス管理で記入票に使用されます。

プロフィール管理の設定

プロフィール管理について

組織では通常、次の2つのタイプのプロフィールが使用されます。

- 非個人プロフィール。

特定の職務コード、ポジション、職務系列、給与等級などのシステムのエンティティについて、コンピテンシー、資格および責務を記述します。

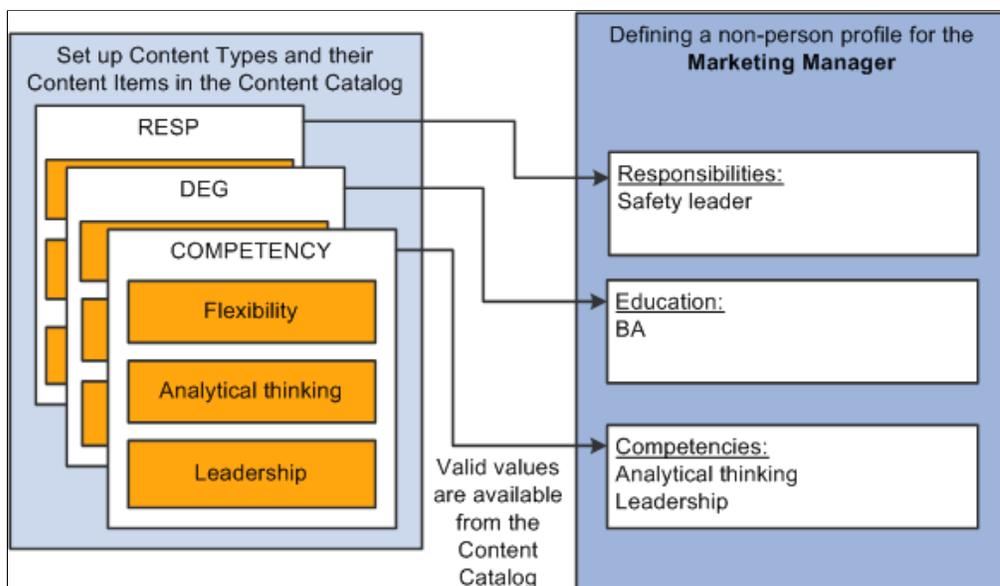
- 個人プロフィール。

個人の技能、コンピテンシー、資格、業績を記述します。プロフィール管理では、従業員と非従業員のプロフィールを作成できます。職務レコードを持たない関係者は、サポートされません。

プロフィール管理ビジネス プロセスで、すべてのプロフィールを作成する基盤となるのがコンテンツ カタログです。

画像: コンテンツ カタログから選択したコンテンツ タイプとコンテンツ アイテムを使用したプロフィール

次の図は、コンテンツ カタログで定義されているコンテンツ タイプとコンテンツ アイテムから選択してプロフィール (マーケティング管理者用の任務プロフィール) を構成する例を示しています。



組織に適したコンテンツ カタログを設定すると同様に、ユーザーの要件に即して設定されたプロフィールのセットを定義します。プロフィールを作成する際、従業員、管理者、およびプロフィール管理責任者は、使用するプロフィール タイプを選択します。

プロフィール タイプによって、新しいプロフィールの次の要素が決定されます。

- ユーザーがプロフィールをリンクできるエンティティのタイプ。
- プロフィールのコンテンツ。
- プロフィールのセキュリティ (誰がプロフィールを更新できるか)。
- プロフィールの変更に承認が必要かどうか。

エンティティ タイプ

プロフィールは次の 2 つのカテゴリに分類されます。

- 非個人プロフィール (任務プロフィールとも呼ばれます)。

ポジションや職務コードなどのビジネス エンティティに対して作成されるプロフィールです。

- 個人プロフィール。

個人プロフィールは、特定の個人 ID に対して作成されます。

プロフィール タイプを定義する際、ユーザーがプロフィールの作成時に選択できるエンティティのタイプを指定します。たとえば、プロフィール タイプを作成し、それを職務コードおよび給与等級にリンクできるように指定すると仮定します。このプロフィール タイプに基づいてプロフィールを作成する場合、ユーザーが新しいプロフィールに選択できるのは、職務コード、給与等級、またはその両方のみになります。プロフィール タイプを、ビジネス エンティティと個人の両方にリンクすることはできません。個人プロフィールでは、PERSON テーブルにリンクされている識別子が自動的に追加されます。個人プロフィールでその他の識別子を定義することはできません。

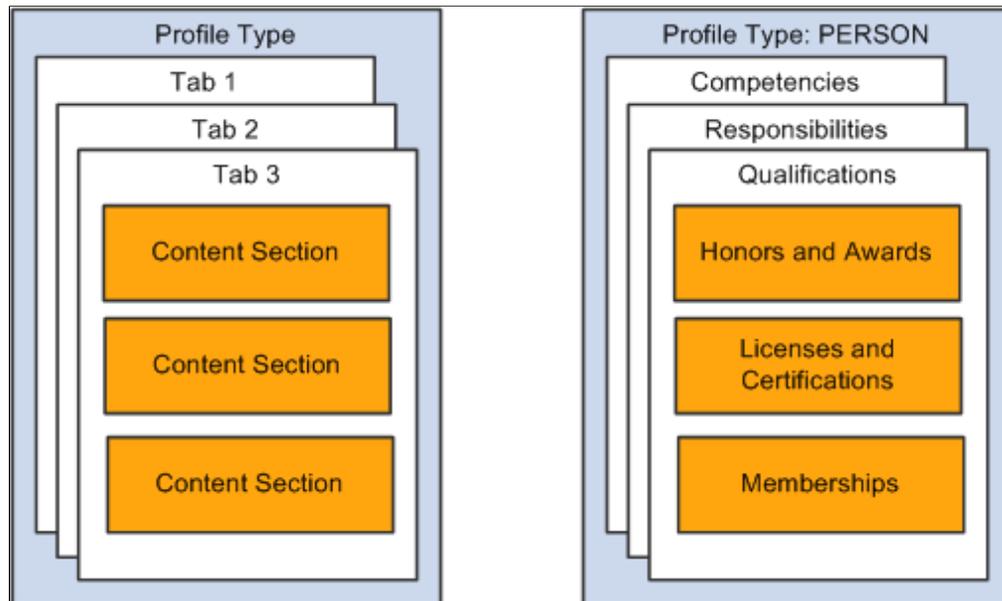
プロフィール タイプをリンクできるエンティティは、*プロフィール識別タイプ*と呼ばれています。使用可能なプロフィール識別タイプのリストを管理するには、「プロフィール識別タイプ」ページを使用します。

プロフィール識別タイプの他に、プロフィール管理ビジネス プロセス以外のエンティティにプロフィール タイプをリンクすることもできます。これらのエンティティは*プロフィール関連先*と呼ばれます。ePerformance-パフォーマンス管理のテンプレートは、この方法でプロフィール タイプにリンクされます。プロフィール関連先は、記入票作成プロセスで ePerformance テンプレートを検索するために使用します。ePerformance テンプレートは現在、唯一サポートされている外部エンティティです。

プロフィール コンテンツ

画像: プロファイル タイプのコンテンツは、タブとコンテンツ セクションに分けられます

次の図は、プロフィール タイプ (およびそのプロフィール タイプから作成されるプロフィール) のコンテンツが、どのようにタブとコンテンツ セクションに分けられるかを示しています。この図は、汎用的なアーキテクチャーとともに、責務、コンピテンシーおよび資格のタブを持つ例を示しています。



プロフィール タイプを設定する際、各タブの名称と、プロフィールでタブが表示される順序を定義します。各タブに 1 つ以上のコンテンツ タイプを追加して、コンテンツ セクションを作成します。たとえば、上の図では、「資格」というラベルのタブに、「表彰/報奨」、「免許/資格」、「会員資格」という 3 つのコンテンツ タイプ (セクション) に対応した 3 つのコンテンツ セクションがあります。ユーザーがこのプロフィール タイプ (PERSON) を使用してプロフィールを作成する場合、「免許/資格」コンテンツ セクションには LIC (免許/資格) タイプのコンテンツ アイテムのみを追加できます。タブ内でコンテンツ セクションがリストされる順序も定義します。

各コンテンツ セクションは、サポート プロパティ (フィールド) で構成されます。コンテンツ セクションでは、フィールド、コンテンツ アイテム (特定の必須または取得済学位など)、およびその他の関連データ (学校名や日付など) を指定できます。たとえば、従業員が 2007 年 6 月に理学士を取得したことを入力できます。

注: プロファイル タイプ定義にコンテンツ アイテムは含まれません。プロフィール タイプの目的は、詳細なコンテンツではなく、新しいプロフィールの構造を提供することにあります。ユーザーは、プロフィールを作成するときにプロンプト リストからコンテンツ アイテムを選択します。

各フィールド プロパティには、プロパティ カテゴリが関連付けられます。これにより、コンテンツ セクションに含めるフィールドを簡単に取得することができます。プロフィールのプロパティは、次のプロフィール カテゴリに分類されます。

プロフィール カテゴリ	用途
キャリア プロパティ	標準の「異動希望」コンテンツ タイプに関連付けられたプロパティ。「希望勤務地」、「希望勤務地域」、「希望海外勤務地」、「希望出張地」など。(プロパティをカスタム コンテンツで使用した場合、これらのプロパティの一部ではデフォルトの動作が保証されません)。
共通プロパティ	複数のコンテンツ セクションで使用されるプロパティ。各プロパティには、特定のトランスレート値のセットまたはプロンプト テーブルが関連付けられます。
国別プロパティ	標準の学歴コンテンツ セクションに関連付けられたプロパティ。「学歴」、「学位」、「専攻分野」など。これらのプロパティは、国別指定のセクションの個別のページに編成され、ほとんどに特定のトランスレート値またはプロンプト リストが関連付けられています。
学歴プロパティ	標準の学歴コンテンツ セクションに関連付けられた国別指定でないプロパティ。「学歴」、「学位」、「専攻分野」など。
キー プロパティ	レコードのキー ストラクチャに含まれるプロパティと、特殊なプロセス インジケータのプロパティ。
ユーザー定義プロパティ	<p>標準のコンテンツ セクションの拡張や新しいコンテンツ セクションの定義に使用できるプロパティ。次のタイプが提供されています。</p> <p>整数</p> <p>小数部桁数</p> <p>パーセント</p> <p>チェック ボックス</p> <p>日付</p> <p>テキスト (254)</p> <p>テキスト (1325)</p> <p>カスタム プロンプト (12 文字)</p>

「[学歴関連の情報の定義](#)」(「[アプリケーションの基礎](#)」)も参照してください。

プロフィールのセキュリティ

コンテンツ セクションを設定する際、プロフィールのそのセクションを表示できるプロフィール管理ロールを指定します。これによって、ユーザーのタイプごとにセクションの表示/非表示を変えることができます。追加のチェック ボックスを使用すると、どのロールでセクションのアイテムを更新できるかをコントロールできます。使用可能なロールは次の3つです。

- 管理責任者

管理責任者は、人材開発の「プロフィール管理」メニューにアクセスできる任意のユーザーです。

- 責任者

責任者は、「管理者セルフサービス」メニューを使用してプロフィール管理のセルフサービストランザクションにアクセスできるユーザーです。

- 従業員

従業員は、従業員セルフ サービスを使用してプロフィール管理のセルフサービストランザクションにアクセスします。

管理者および従業員のセルフ サービストランザクションは、eDevelopment-人材開発で提供されます。

[「eDevelopment-人材開発」](#)を参照してください。

プロフィール承認

プロフィール管理ではオプションとして承認処理を行うことができます。承認ワークフローを使用してプロフィールの変更を管理するには、次の手順に従います。

1. 標準の承認フレームワーク エンジンを使用して承認処理を設定します。

2. 承認の定義をプロフィール タイプに関連付けます。

「プロフィール タイプ - 属性」ページで、プロフィール タイプに対する承認ワークフロー トランザクションと承認定義を1つずつ定義します。

3. 識別タイプに承認が必要かどうかを指定します (非個人プロフィールのみ)。

ユーザーが非個人プロフィールに関連付けられたプロフィール識別タイプを追加または変更したときに承認ワークフローがトリガされるように指定できます。そのためには、「プロフィール タイプ - 識別タイプ」ページで「識別タイプ承認必須」チェック ボックスを選択します。これは非個人プロフィールにのみ適用されます。個人プロフィールの場合、このチェック ボックスは使用できません。

4. どのコンテンツ セクション ロールで承認が必要かを指定します。

プロフィール タイプ内の各コンテンツ セクションには、セキュリティ ロールごとに「要承認」チェック ボックスがあり、指定された個人またはロールによってコンテンツ セクションの変更を承認する必要があるかどうかをこれでコントロールできます。ユーザーがプロフィールにアイテムを追加するか、既存のアイテムを削除または変更したときの承認処理をコンテンツ セクションに設定している場合は、これで承認処理が開始されます。

- (オプション) コンテンツ セクションに、ワークフロー ステータスを追跡するプロパティを追加します。

承認が必要なコンテンツ セクションには、ワークフロー ステータス プロパティ (JPM_WF_STATUS) を追加してください。そうすると、プロファイル アイテムが承認ワークフローで処理されるときにそのステータスをユーザーが表示できるからです。その他、最終更新日時のプロパティ (LASTUPDDTTM) や、最新更新ユーザー ID のプロパティ (LASTUPDOPRID) も、承認追跡に役立ちます。

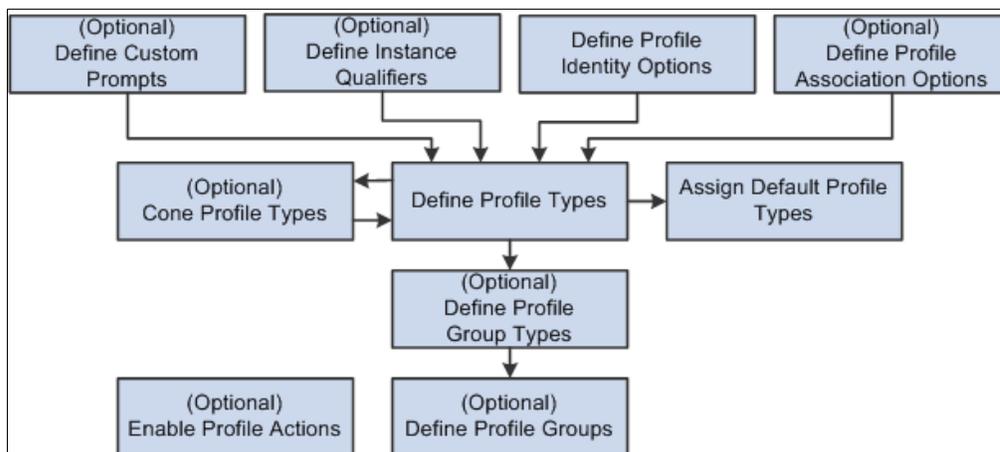
「承認について」(「アプリケーションの基礎」)を参照してください。

「コンテンツ セクション」ページを参照してください。

プロファイル管理の設定

画像: プロファイル管理の設定手順

次の図は、プロファイル管理の設定手順 (省略可と必須) を示しています。



プロファイル管理を設定するには、次の項目を定義します。

- (オプション) カスタム プロンプト。
- カスタム プロンプトは JPM_PROMPT プロパティのプロンプト リストを定義するために使用し、これにより、入力が許可されている値 リストをカスタマイズできます。

- (オプション) インスタンス 識別子。

インスタンス 識別子は、プロファイル アイテムの追加のキー フィールドとして使用されます。インスタンス 識別子でテーブルのプロンプトを使用しないようにしたり、インスタンス 識別子内に有効な値を定義することができます。インスタンス 識別子は、プロファイル または 評価タイプ の更新者を特定するために使用されます。また、インスタンス 識別子を使用して、セルフサービス トランザクションを使用する従業員や管理者に表示するプロファイル アイテム行を制限することもできます。

- プロファイル 識別タイプ。
- (オプション) プロファイル 関連先。

注: プロファイル管理ビジネス プロセスでは、プロフィール関連先を定義する必要はありません。しかし、ePerformance-パフォーマンス管理をインストールしており、パフォーマンス記入票またはキャリア開発記入票の作成にプロフィール コンテンツを使用したい場合は、ePerformance-パフォーマンス管理にプロフィール関連先を定義する必要があります。

- プロファイル タイプとプロフィール タイプのコピー。

プロフィール タイプを簡単に作成するため、プロフィール タイプのコピー アプリケーション エンジン プロセスを使用して既存のプロファイル タイプをコピーすることができます。その後、プロフィール タイプ コンポーネントを使用して新しいプロフィール タイプを修正します。

注: CLUSTER、ROLE、JOB および PERSON については、プロフィール タイプ設定が配布されます。これらのタイプに変更を加える必要がある場合には、そのプロフィール タイプに対して、新しい有効日のエントリを追加することをお勧めします。ROLE および PERSON コンテンツ セクションを変更するときには、統合要件が存在する可能性があるため、注意が必要です。プロフィール コンテンツを活用するビジネス プロセスを決定するには、「[プロフィール管理の統合](#)」のトピックを参照してください。標準のプロパティを削除するときには、そのプロパティに関連付けられている処理が存在する場合があるため、注意が必要です。

プロフィール データがすでに存在する場合、新しいプロパティには「必須」の属性を指定しないでください。他の製品との統合時に切捨てが発生しないようにするため、「最大長」値は変更しないことをお勧めします。

「[プロフィール管理の統合](#)」を参照してください。

- デフォルト プロファイル タイプの割当て。

プロフィール管理と連携して機能する製品では、主要個人プロフィール タイプと主要非個人プロフィール タイプが使用されます。

- (オプション) プロファイル グループ タイプとプロフィール グループ。

プロフィール グループ タイプとプロフィール グループを使用すると、プロフィール タイプをカテゴリに分類することができます。プロフィール グループ タイプは、個人または非個人として定義されます。プロフィールの検索/比較機能で、検索条件としてプロフィール グループを使用して、検索結果を絞り込みます。

- (オプション) プロファイル アクション

プロフィール アクションを使用すると、管理責任者、管理者および従業員は非個人プロフィール ページおよび個人プロフィール ページから直接トランザクションを実行できます。

注: プロファイル管理を使用するには、事前に「[プロフィール管理インストール設定](#)」ページでインストール設定を行う必要もあります。これについては、次の項で説明します。

関連リンク

[プロフィールの検索と比較](#)

プロフィールを設定するために使用する共通の要素

「システム データ」または「システム データ インスタンス識別子、プロフィール識別タイプ、プロフィール関連先およびプロフィール タイプの設定ページで、このチェック ボックスが表示されます。これはシステムによって管理され、データがシステム データとして提供されているかどうかを示します。このチェック ボックスが選択されているデータ行は、表示専用です。

プロフィール管理の設定

プロフィール管理を設定するには、プロフィール管理インストール設定コンポーネント (JPM_INSTALLATION) を使用します。

このトピックでは、プロフィール管理インストール設定について説明します。

プロフィール管理の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「プロフィール管理インストール設定」ページ	JPM_INSTALLATION	プロフィール管理ビジネス プロセスのインストール設定を定義します。プロフィール ID 長や、最後に使用されたプロフィール ID および承認トランザクションの番号などの設定も含まれています。このページを実行するのは導入時の 1 回のみです。

「プロフィール管理インストール設定」ページ

プロフィール管理ビジネス プロセスのインストール設定を定義するには、「プロフィール管理インストール設定」ページ (JPM_INSTALLATION) を使用します。

プロフィール ID 長や、最後に使用されたプロフィール ID および承認トランザクションの番号などの設定も含まれています。このページを実行するのは導入時の 1 回のみです。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「インストール」、「製品別設定」、「プロフィール管理インストール」、「プロフィール管理インストール設定」

画像: 「プロフィール管理インストール設定」ページ

次の例では、「プロフィール管理インストール設定」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Profile Management Installation' page with the following fields and values:

Profile ID Length	6
Last Profile ID Used	210553
Last Item Key ID Used	12291
Last Approval Transaction Used	1286
*Supervisor Navigation Method	5 - Position / Supervisor ID
Days of Approval History	185

プロフィール ID 長

プロフィール ID の文字数を入力します。プロフィール ID の最大長はアプリケーション デザイナで定義されており、この最大長を超える ID 長を入力した場合はエラー メッセージが表示されます。

最後に使用されたプロフィール ID

プロフィール ID に自動採番機能を利用するには、最後に使用された数字を入力します。新しいプロフィール ID を割り当てるたびに、このフィールドの数字が自動的に増分されます。

プロフィールを作成する際、非個人プロフィールには手動でプロフィール ID を割り当てることができます。

注: 2 通りの番号が設定されてしまわないように、プロフィール ID の割当ては常に手動または自動のどちらかで行うよう統一してください。

最後に使用されたアイテム キー ID

プロフィール上のアイテムの識別に最後に使用された番号が表示されます。プロフィールに追加する各コンテンツ アイテムには、アイテム キー ID が自動的に割り当てられます。このフィールドはインストール時に 1 に設定され、プロフィールにコンテンツ アイテムを追加するたびに、このフィールドの数字が自動的に増分されます。

注: プロフィールを設定または使用する際には、アイテム キー ID はユーザーに表示されません。

最後に使用された承認トランザクション 最後の承認トランザクション番号が表示されます。プロファイル管理で承認トランザクションが生成されるたびに、このフィールドの数字が自動的に増分されます。

[「承認について」](#) ([「アプリケーションの基礎」](#)) を参照してください。

監督者ナビゲーション メソッド

検索用索引のスケジューリング プロセスでプロファイル管理 SES 索引の管理者セキュリティを作成するとき監督者関係の決定に使用する方法を選択します。選択できるオプションは、「2 - 監督者 ID」、「3 - 部門管理者 ID」、「4 - 直属上司のポジション」、「5 - ポジション/監督者 ID」、「6 - ポジション/部門管理者」です。

[「プロファイルの検索/比較について」](#) を参照してください。

承認履歴日数

「個人プロファイル」ページまたは「非個人プロファイル」ページから使用できる承認履歴の日数を入力します。各プロファイルページ上のリンクには、「承認履歴日数」フィールドで設定された期間に承認または却下されたプロファイル アイテムの数が示されます。ユーザーがプロファイルを表示すると、このフィールドに指定した日数をさかのぼった日付からシステム日付 (現在の日付) までの期間の承認履歴がチェックされます。

たとえば、このフィールドに 31 と入力し、システム日付が 8 月 2 日の場合、チェックされるのは 7 月 2 日から 8 月 2 日までの期間に承認または却下されたプロファイル アイテムです。

関連リンク

[プロファイル管理について](#)

カスタム プロンプトの定義

カスタム プロンプトを設定するには、カスタム プロンプト (JPM_C_LIST_VALUES) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、カスタム プロンプトの概要を示し、カスタム リスト値を定義する方法について説明します。

カスタム プロンプトを定義するために使用するページ

ページ名	定義名	用途
「カスタム プロンプト」ページ	JPM_C_LIST_VALUES	カスタム リストの有効な値を定義するために使用するカスタム プロンプト値 (難易度や ePerformance 項目ステータスなど) を定義したり、リストを提供するプロンプトレコードを識別するには、「カスタム プロンプト」ページ (JPM_C_LIST_VALUES) を使用します。

カスタム プロンプトについて

一部のプロパティには、プロンプト リストを設定できます。コンテンツ カタログには、値リストを設定できる EP_SUB_LEVEL (ePerformance の用途に固有) というプロパティが 1 つ含まれています。プロフィール タイプのコンテンツ セクション定義では、JPM_PROMPT_20 を介して特別なプロパティ JPM_PROMPT_1 を活用できます。これらのプロパティを使用すると、カスタマイズされた値リストのあるプロフィール内のコンテンツ セクションにフィールドを追加できます。PeopleSoft アプリケーションでは、管理責任者は次の各フィールドのための、カスタム値リストを定義できます。

- EP_SUB_LEVEL - これは、カスタム プロンプトを活用する唯一のコンテンツ アイテム プロパティです。
- JPM_PROMPT_1 から JPM_PROMPT_20。

プロンプトリストは、プロパティとは別に定義します。つまり、プロパティでは、そのプロパティが使用される各コンテンツ セクション内にそれぞれ異なるプロンプト値セットを定義できます。たとえば、あるプロフィール アイテムでは難易度として、「高度」、「普通」または「中間」の選択肢を定義し、別のプロフィール アイテムでは「最低」、「普通」または「最高レベル」の選択肢を定義できます。組織は、「カスタム プロンプト」ページを使用して、これらのフィールドのプロンプト値を変更または追加できます。「コンテンツ タイプ」ページの「プロパティ属性」タブでは、EP_SUB_LEVEL コンテンツ アイテム プロパティに使用するカスタム リストを選択します。「プロフィール タイプ - コンテンツ セクション」ページで、カスタム リストをプロパティ JPM_PROMPT_1 から JPM_PROMPT_20 に割り当てて、プロフィール アイテム フィールドの値リストを設定できます。

ePerformance-パフォーマンス管理ビジネス プロセスでは、コンテンツ アイテムの取得にコンテンツ カタログも使用します。この統合により、プロフィール管理責任者は ePerformance-パフォーマンス管理のテンプレートと記入票で EP_ITEM_STATUS フィールドと「難易度」(EP_SUB_LEVEL) フィールドのカスタム リストを作成できます。EP_ITEM_STATUS フィールドは ePerformance でのみ使用され、コンテンツ タイプやプロフィール タイプの設定では活用されません。

次の表は、システム データとして提供されるカスタム リストを示しています。

カスタムプロンプトフィールドを追加できる場所	フィールド名	プロンプトリスト名	説明	リスト値
コンテンツタイプコンポーネント	EP_SUB_LEVEL	EP_SUB_LEVEL	難易度	<ul style="list-style-type: none"> • A - 高度 • B - 普通 • I - 中間
プロフィールタイプコンポーネント - コンテンツセクション ページ	JPM_PROMPT_1 から JPM_PROMPT_20	作成したカスタム プロンプト リストによって異なります。	入力したカスタム プロンプト リストの説明によって異なります。	カスタム プロンプトの「カスタム プロンプト」ページで入力したカスタム プロンプト リスト値またはレコードによって異なります。

注: EP_SUB_LEVEL フィールドは、SUB_COMP (サブ コンピテンシー) コンテンツ タイプのコンテンツ カタログにのみ提供されます。必要に応じて、他のコンテンツ タイプを作成または更新し、このプロパティ (フィールド) を含めることができます。

関連リンク

[「セクションの定義」\(「ePerformance-パフォーマンス管理」\)](#)

[プロフィールタイプの設定](#)

[コンテンツタイプとプロパティの設定](#)

[「コンテンツセクション」ページ](#)

「カスタム プロンプト」ページ

カスタム リストの有効な値を定義するために使用するカスタム プロンプト値 (難易度や ePerformance 項目ステータスなど) を定義したり、リストを提供するプロンプトレコードを識別するには、「カスタム プロンプト」ページ (JPM_C_LIST_VALUES) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「カスタム プロンプト」、「カスタム プロンプト」

画像: 「カスタム プロンプト」ページ

次の例では、「カスタム プロンプト」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

プロンプトリスト名

このカスタム リストを識別するコードを入力します。

名称

カスタム プロンプト リストの名称を入力します。説明は、プロフィール タイプの「コンテンツ タイプ」ページまたは「コンテンツ セクション」ページの「プロパティ属性」タブの下にある「リスト」フィールドに表示されます。

「[「コンテンツ タイプ」ページ](#)」を参照してください。

システム データ

これは、標準のデータであるかどうかを示します。このチェックボックスが選択されているカスタム プロンプト値は、システムに標準で用意されています。

最大長

カスタム リスト値の長さを入力します。デフォルトは 12 で、他のプロフィール アイテム値と一致しています。ただし、標準の *EP_SUB_LEVEL* カスタム プロンプトの長さは 1 です。

プロンプト タイプ

カスタム プロンプト定義では、2 つのタイプのリスト形式をサポートしています。カスタム プロンプトに定義するカスタム リストと、外部のプロンプトレコードです。

カスタム リスト値を使用

カスタム プロンプト定義内で管理される内部的な自己完結型リストを識別する場合は、このタイプを選択します。

このオプションを選択すると、ページには「プロンプト値」グループボックスが表示されます。ここでは、ユーザーが選択できる有効なプロンプト値のリストを入力します。

プロンプトレコードを使用

カスタム定義が関連付けられている外部のプロンプトテーブルを使用する場合は、このタイプを選択します。

このオプションを選択すると、ページには「レコード名」フィールドが表示されます。

注: 単一キー (SET ID および EFFDT 以外) のテーブルのみがサポートされます。

レコード名

プロンプト値を提供する外部テーブルを示します。

注: プロンプトとして外部テーブルを使用するときは、次のことを考慮します。

- キーフィールドは、CHAR データ型で定義する必要があります。
 - キーデータ長は、プロパティデータ長を超過できません。
 - レコードには、説明フィールドが含まれている必要があります。
 - 上位キーとして SET ID を使用するレコードを選択すると、プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントからのデフォルト値に基づいて SET ID が決定されます ([「プライマリ権限リストの基本設定の設定」](#) ([「アプリケーションの基礎」](#)) を参照してください)。
-

プロンプト値

このセクションを使用して、カスタム プロンプト リストに含める有効値を入力します。

リストの値

リスト値を識別するためのコードを最大 12 文字で入力します。コードは、同じカスタム プロンプト定義内でのみ一意である必要があります。

名称

表示される値の名称を入力します。このテキストは、ページにカスタム プロンプト フィールドがドロップダウン リストとして表示されるときに表示されます。

インスタンス識別子の定義

インスタンス識別子セットを定義するには、インスタンス識別子コンポーネント (JPM_JP_INST_QUAL) を使用します。

次の各トピックでは、インスタンス識別子とインスタンス識別子の統合の概要、およびインスタンス識別子の設定方法について説明します。

インスタンス識別子の定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「インスタンス識別子」ページ	JPM_JP_INST_QUAL	コンテンツタイプに対してインスタンス識別子を定義し、従業員および管理者が表示できるインスタンス識別子を定義します。

インスタンス識別子について

インスタンス識別子 (インスタンス識別子セット) は、プロフィールタイプのオプション要素で、プロフィール アイテムを一意に識別するために使用されます。インスタンス識別子を使用すると、プロフィール アイテムにキーを追加することができます (特定のタイプのコンテンツで必要とされる場合)。通常、プロフィール アイテムは、コンテンツタイプとアイテム ID によって一意に識別されます。学位などの一部のコンテンツでは、アイテムを一意に記述するための追加のキー (専攻) が必要とされます。

インスタンス識別子の定義は、次の 2 つの方法があります。

- データベースのレコードを選択する。

たとえば、PERSON_NAME レコードを指定した場合、個人 ID がインスタンス識別子になります。

- 各インスタンス識別子の値を入力する。

この方法でインスタンス識別子を定義する場合は、従業員や管理者がセルフサービスを使用して表示できるインスタンスも指定できます。これは、たとえば同僚による評価レベルを従業員には表示したくない場合、あるいは経営幹部による評価を従業員や管理者 (中間管理職) には表示させない場合に便利です。

インスタンス識別子セットを設定したら、それをプロフィールタイプのコンテンツ セクションにリンクします。セクション内の、インスタンス識別子を含むコンテンツ アイテムを追加またはアイテムを更新する際、ユーザーはその行に挿入されるインスタンス識別子を選択します。1 つのコンテンツ セクションには 2 つまでのインスタンス識別子セットをリンクできます。

注: ユーザーがプロフィール アイテムを追加または更新する際にインスタンス識別子を選択できるようにするには、コンテンツ セクション定義にインスタンス識別子のプロパティを追加する必要があります。

インスタンス識別子のプロパティは、次のとおりです。

- JPM_CAT_ITEM_QUAL (インスタンス識別子 1)。

インスタンス識別子 1 のフィールドは、ユーザーが各値を定義するインスタンス識別子セットにのみ関連付けることができます。

- JPM_CAT_ITEM_QUAL2 (インスタンス識別子 2)。

インスタンス識別子 2 のフィールドは、レコードによって定義されるインスタンス識別子セットにのみ関連付けることができます。

標準で提供されている PERSON プロファイル タイプには、「コンピテンシー」、「学位」、「NVQ」の 3 つのコンテンツ セクションがあり、これらはインスタンス識別子を使用するように設定されています。

次の表は、「コンピテンシー」セクションで使用されるインスタンス識別子のフィールド、フィールド名、インスタンス識別子セットの一覧です。

フィールド	フィールド ラベル	インスタンス識別子セット
JPM_CAT_ITEM_QUAL	評価タイプ	EVAL_TYPE
JPM_CAT_ITEM_QUAL2	評価者 ID	REVIEWER_ID

次の表は、「学位」セクションで使用されるインスタンス識別子のフィールド、フィールド名、インスタンス識別子セットの一覧です。

フィールド	フィールド ラベル	インスタンス識別子セット
JPM_CAT_ITEM_QUAL2	専攻コード	MAJOR

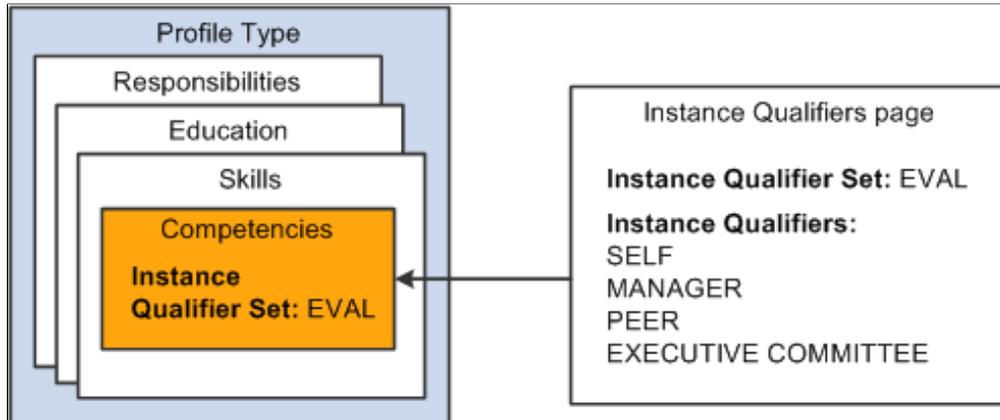
次の表は、「NVQ」セクションで使用されるインスタンス識別子のフィールド、フィールド名、インスタンス識別子セットの一覧です。

フィールド	フィールド ラベル	インスタンス識別子セット
JPM_CAT_ITEM_QUAL	評価タイプ	REVIEW_TYPE
JPM_CAT_ITEM_QUAL2	評価者 ID	NVQ_REVIEWER

例: インスタンス識別子の使用

画像: 評価タイプごとにコンピテンシー評価レベルを区別するインスタンス識別子の例

次の図は、プロフィール内のセクションをインスタンス識別子のセットにリンクできることを示しています。この例では、「技能」というタブに、COMPETENCY コンテンツタイプ用のコンテンツセクションがあり、このセクションが、コンピテンシー評価レベルのソースを示す識別子を含む EVAL というインスタンス識別子セットにリンクされています。



従業員がプロフィールを作成し、そのプロフィールに「Abstract Thinking」および「Analytical Thinking」というコンピテンシーを追加して評価レベルを入力するとします。この場合、次の情報を持つ2つのプロフィールアイテムが自動的に作成されます。

プロフィールアイテム	有効日	評価	インスタンス識別子
Abstract Thinking	2014年4月16日	3 (良)	SELF
Analytical Thinking	2014年4月16日	5 (専門)	SELF

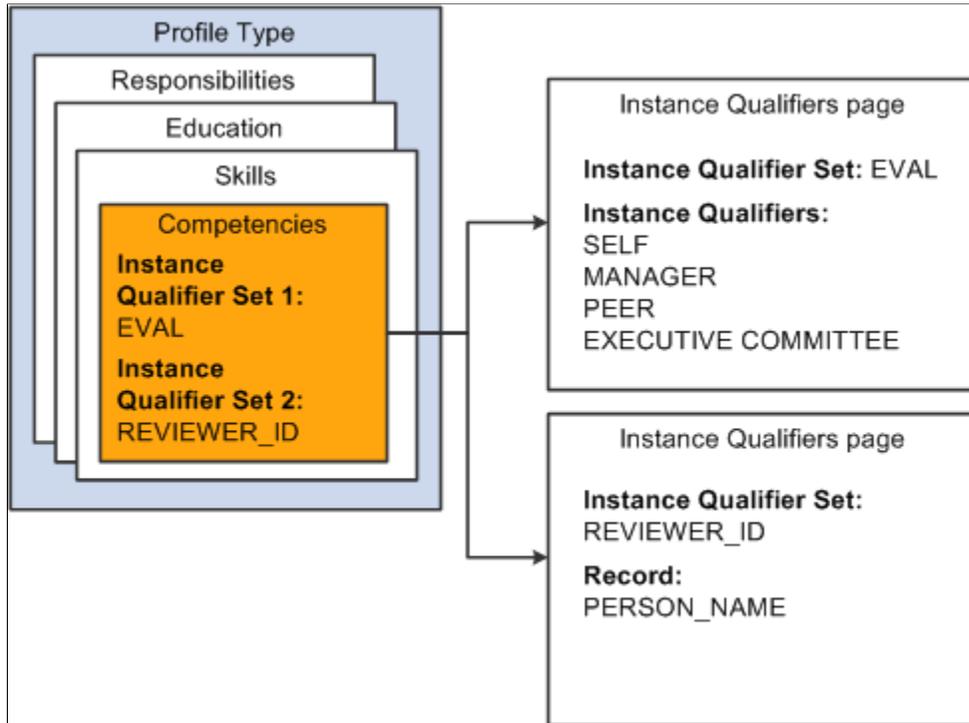
管理者が従業員のプロフィールを確認し、コンピテンシーの評価レベルを追加すると、このプロフィールのプロフィールアイテム行は次のようになります。

プロフィールアイテム	有効日	評価	インスタンス識別子
Abstract Thinking	2014年4月16日	3 (良)	SELF
Abstract Thinking	2014年4月16日	4 (優)	MANAGER
Analytical Thinking	2014年4月16日	5 (専門)	SELF
Analytical Thinking	2014年4月16日	4 (優)	MANAGER

例: 2つのインスタンス識別子セットの使用

画像: 同じコンテンツ セクションを区別する 2つのインスタンス識別子セットの例

1つのコンテンツ セクションには2つまでのインスタンス識別子セットをリンクできます。前述の例を使用し、「コンピテンシー」セクションがインスタンス識別子セット EVAL にリンクされ、PERSON_NAME レコードにリンクされている2番目のインスタンス識別子セット (REVIEWER_ID) にもリンクされていると仮定します。次の図のとおりです。



2つの識別子セットを使用すると、同じインスタンス識別子1を持つ行を一意に区別できます。たとえば、経営幹部陣が個人を評価する場合、インスタンス識別子を使用して各幹部による評価レベルを記録できます。次の表は、同じプロフィール アイテムに対する各幹部の評価について作成された行の一覧です。

プロフィール アイテム	有効日	評価	インスタンス識別子 1	インスタンス識別子 2
Abstract Thinking	2014 年 5 月 14 日	3 (良)	EXECUTIVE COMMITTEE	KU0045
Abstract Thinking	2014 年 5 月 14 日	5 (専門)	EXECUTIVE COMMITTEE	KU0016
Abstract Thinking	2014 年 5 月 14 日	4 (優)	EXECUTIVE COMMITTEE	KU0119

注: インスタンス識別子ではキー データを定義するため、そのコンテンツ タイプのプロファイル アイテムがすでに存在しているときは、プロフィール タイプのコンテンツ セクション設定を変更してインスタンス識別子を削除しないでください。プロフィール アイテムからインスタンス識別子値を遡及的に削除することはできません。

インスタンス識別子の統合について

プロフィール管理にデータをパブリッシュするアプリケーションは、インスタンス識別子を使用できません。ePerformance-パフォーマンス管理では、記入票テンプレートを定義する際に、パフォーマンス記入票またはキャリア開発記入票を処理する各ロールに使用するインスタンス識別子を指定できます。ユーザーが記入票を入力するときには、指定されたインスタンス識別子を使用してプロフィール管理の個人プロフィール データが自動的に更新されます。

PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、PeopleSoft HCM にプロフィール データをパブリッシュする際にシステムが使用するインスタンス識別子も指定できます。学習者が HCM による学習目標を達成すると、システムはその目標を「達成」に設定し、指定されたインスタンス識別子の値を使用してプロフィール データを HCM にパブリッシュします。

製品ドキュメントの『*PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメント*』を参照してください。

関連リンク

「セクションの定義」(「ePerformance-パフォーマンス管理」)

「インスタンス識別子」ページ

コンテンツ タイプに対してインスタンス識別子を定義し、従業員および管理者が表示できるインスタンス識別子を定義するには、「インスタンス識別子」ページ (JPM_JP_INST_QUAL) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「インスタンス識別子」、「インスタンス識別子」

画像: 「インスタンス識別子」ページ

次の例では、「インスタンス識別子」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Instance Qualifiers

Content Type: COMPETENCY

Instance Qualifier Set: EVAL_TYPE

*Description: Evaluation Type

Prompt Definition

Use Prompt Record Record Name: _____

Create Set of Qualifiers

*Priority	*Instance Qualifier	*Description	Empl View	Mgr View	Empl Default	Mgr Default	Searchable	Sys Data
10	A	Approved/Official	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
20	R	Supervisor/Manager	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
30	S	Self	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
40	L	Learning	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
50	P	Peer	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
60	B	Subordinate	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
70	M	Mentor	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
80	E	Executive Committee	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
90	C	Customer	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

プロンプトレコードを使用

インスタンス識別子としてデータベースのレコードを使用する場合は、選択します。たとえば、PERSON_NAME レコードをインスタンス識別子として使用できます。「レコード名」フィールドが使用可能になり、「インスタンス識別子」グリッド領域が非表示になります。

プロフィール タイプでコンテンツ セクションを定義する際、プロンプトレコードを使用するインスタンス識別子は、インスタンス識別子 2 フィールドにのみ関連付けることができます。プロンプトレコードを使用するインスタンス識別子を、インスタンス識別子 1 フィールドに指定することはできません。

レコード名

インスタンス識別子を含むレコードを選択します。このフィールドは、「プロンプトレコードを使用」を選択した場合にのみ指定できます。

識別子セットを作成

「インスタンス識別子」グリッド領域で新しいインスタンス識別子セットを作成する場合は、選択します。このオプション ボタンを選択すると、「レコード名」フィールドが使用できなくなり、「インスタンス識別子」グリッド領域が表示されます。

このタイプのインスタンス識別子は、「コンテンツ セクション」ページでインスタンス識別子 1 フィールドにのみ関連付けることができます。インスタンス識別子 2 フィールドに指定することはできません。

インスタンス識別子

優先順位

インスタンス識別子の優先順位を示す番号を入力します。番号が小さいほど優先順位は高くなるので、この番号が最も小さいインスタンス識別子が最高の優先順位と判断されます。プロフィールの検索/比較機能用の SES 索引を作成する検索用索引のスケジューリング プロセスでも、このフィールドを使用します。このプロセスでは、優先順位の値を使用して、索引に追加するプロフィール アイテム行を決定します。優先順位が最高のインスタンス識別子を持つ行が追加されます。

「[検索用索引の作成](#)」を参照してください。

インスタンス識別子

インスタンス識別子コードを入力し、「名称」フィールドに名称を入力します。

従業員表示(従業員表示)

プロフィールで、選択したインスタンス識別子を割り当てられた行を従業員が表示できるようにする場合は、このチェック ボックスを選択します。

管理者表示 (管理者表示)

プロフィールで、選択したインスタンス識別子を割り当てられた行を管理者が表示できるようにする場合は、このチェック ボックスを選択します。

従業員デフォルト (従業員デフォルト)

従業員のセルフサービストランザクションで自動的に使用されるインスタンス識別子を指定する場合は、このチェック ボックスを選択します。この列のチェック ボックスを選択した場合、従業員がセルフサービスで行を追加または更新すると、選択したインスタンス識別子が自動的に挿入され、従業員がインスタンス識別子を変更することはできません。

管理者デフォルト (管理者デフォルト)

管理者のセルフサービストランザクションで自動的に使用されるインスタンス識別子を指定する場合は、このチェック ボックスを選択します。この列のチェック ボックスを選択した場合、管理者がセルフサービスで行を追加または更新すると、選択したインスタンス識別子が自動的に挿入され、管理者がインスタンス識別子を変更することはできません。

検索対象

選択したインスタンス識別子を持つプロフィール アイテムを SES 索引に含める場合は、このチェック ボックスを選択します。検索用索引のスケジューリング プロセスでは、プロフィールの

検索/比較機能で使用される SES 索引に追加するプロフィール アイテム行が、このフィールドを使用して決定されます。

「検索対象」チェック ボックスの選択を解除した場合、選択した インスタンス識別子が割り当てられたプロフィール アイテム行 は、常に SES 索引から除外されます。

プロフィール識別タイプとプロフィール関連先の設定

組織のプロフィール識別タイプとプロフィール関連先を設定するには、プロフィール識別タイプ コンポーネント (JPM_RLAT_SETUP) とプロフィール関連先コンポーネント (JPM_RLAT_ASC_SETUP) を使用します。

次の各トピックでは、プロフィール識別タイプとプロフィール関連先の設定方法について説明します。

プロフィール識別タイプとプロフィール関連先の定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「プロフィール識別タイプ」ページ	JPM_RLAT_SETUP	<p>プロフィール タイプをリンクできるプロフィール 識別タイプを定義します。エンティティには、職務コード、職種、職務系列、個人、給与等級などがあります。このページで有効にしたエンティティによって、非個人プロフィールの構造を定義するプロフィール タイプ コンポーネントの「識別タイプ」ページで使用できるオプションが決定されます。たとえば、職務コードを有効にした場合、職務コードにリンクされるプロフィール タイプを設定できます。</p> <p>デフォルトのプロフィール識別タイプが提供されていますが、必要に応じてリストに追加できます。</p>
「プロフィール関連先」ページ	JPM_RLAT_SETUP	<p>プロフィール タイプをリンクできる、プロフィール管理ビジネス プロセス外部のエンティティを定義します。プロフィールタイプを ePerformance テンプレートにリンクすることのできる関連先が 1 つ標準で提供されています。他の関連先を追加するには、それを利用するためのカスタマイズが必要になります。</p>

プロフィール識別タイプとプロフィール関連先の定義に使用する共通の要素

識別タイプ	プロフィールをリンクするエンティティの名称を入力します。標準の識別タイプおよび関連先の場合、このフィールドは表示専用です。
	識別タイプとは、職務コードやポジションなどプロフィール管理ビジネス プロセス内のエンティティです。関連先とは、プロフィール管理ビジネス プロセス外のエンティティです。プロフィールタイプを ePerformance テンプレートに関連付けることのできる関連先が 1 つ標準で提供されており、記入票作成プロセスでどのテンプレートを選択するかが自動的に解決されます。
使用可	「識別タイプ」フィールドで指定したエンティティにプロフィールタイプをリンクできるようにする場合は、このチェック ボックスを選択します。
レコード名	「識別タイプ」フィールドで指定したエンティティを定義するレコードを選択します。システム データとして標準で提供されている識別タイプ (「システム データ」チェック ボックスが選択されています) の場合、このフィールドは表示専用です。
キー 1 フィールド名	「レコード名」フィールドで選択したレコードのキー フィールドが表示されます。
「キー 2 フィールド名」、「キー 3 フィールド名」、「キー 4 フィールド名」	レコードの追加キー フィールドが表示されます。レコードのキー フィールドが 1 つのみの場合、これらのフィールドは非表示です。
セットID	「セットID」が、選択したレコードのキー フィールドかどうかを示します。このチェック ボックスは、レコード定義に基づいて自動的に選択され、表示専用です。
有効日 (有効日)	「有効日」フィールドが、選択したレコードのキー フィールドかどうかを示します。このチェック ボックスは、レコード定義に基づいて自動的に選択され、表示専用です。

「プロフィール識別タイプ」ページ

プロフィール タイプにリンクできるプロフィール識別タイプを定義するには、「プロフィール識別タイプ」ページ (JPM_RLAT_SETUP) を使用します。

エンティティには、職務コード、職種、職務系列、個人、給与等級などがあります。このページで有効にしたエンティティによって、非個人プロフィールの構造を定義するプロフィール タイプ コンポーネントの「識別タイプ」ページで使用できるオプションが決定されます。たとえば、職務コードを有効にした場合、職務コードにリンクされるプロフィール タイプを設定できます。

デフォルトのプロファイル識別タイプが提供されていますが、必要に応じてリストに追加できます。

JOB および JOB_JR 非キーレコード フィールドのプロンプトに使用されるレコードのみを選択できます。個人プロフィール ID を定義することはできません。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール識別タイプ」、「プロフィール識別タイプ」

画像: 「プロフィール識別タイプ」ページ: 「オプションの有効化」タブ

次の例では、「プロフィール識別タイプ」ページ: 「オプションの有効化」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Profile Identity Options			
Profile Identity Options			
Enable Options		Configuration	
*Identity Option	*Description	Enabled	
BUSINESS_UNIT	Business Unit	<input checked="" type="checkbox"/>	
COMPANY	Company	<input checked="" type="checkbox"/>	
DEPARTMENT	Department	<input checked="" type="checkbox"/>	
GP_PAY_GROUP	<input type="text" value="GP Pay Group"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
JOB_CODE	Job Code	<input checked="" type="checkbox"/>	
JOB_FAMILY	Job Family	<input checked="" type="checkbox"/>	
JOB_FUNCTION	Job Function	<input checked="" type="checkbox"/>	
JOB_SUB_FUNCTION	<input type="text" value="Job Sub Function"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
JOB_TASK	Job Task	<input checked="" type="checkbox"/>	
LOCATION	Location	<input checked="" type="checkbox"/>	
PNA_PAY_GROUP	<input type="text" value="PNA Pay Group"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
POSITION	Position Data	<input checked="" type="checkbox"/>	
REG_REGION	Regulatory Region	<input checked="" type="checkbox"/>	
SALARY_GRADE	Salary Grade	<input checked="" type="checkbox"/>	

Add Profile Identity Option

プロフィール識別タイプの追加

新しいプロフィール識別タイプを追加するには、このリンクをクリックします。

「オプションの有効化」タブ

使用可

「識別タイプ」フィールドで指定したエンティティにプロフィールタイプをリンクできるようにする場合は、このチェックボックスを選択します。

このチェック ボックスの選択を解除した場合、このエンティティに対してプロフィール タイプは設定できません。たとえば、識別タイプ *Job_Sub_Function* のチェック ボックスの選択を解除した場合、識別タイプ *Job_Sub_Function* を使用してプロフィールタイプを定義することはできません。

「設定」タブ

「プロフィール識別タイプ」ページの「設定」タブにアクセスします。

画像: 「プロフィール識別タイプ」ページ: 「設定」タブ

次の例では、「プロフィール識別タイプ」ページ: 「設定」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Profile Identity Options							
Enable Options		Configuration					
*Identity Option	*Record Name	*Key 1 Field Name	Key 2 Field Name	Set ID	Eff Date	Sequence	Sys Data
BUSINESS_UNIT	BUS_UNIT_TBL_HR	BUSINESS_UNIT		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	150	<input checked="" type="checkbox"/>
COMPANY	COMPANY_TBL	COMPANY		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	140	<input checked="" type="checkbox"/>
DEPARTMENT	DEPT_TBL	DEPTID		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	100	<input checked="" type="checkbox"/>
GP_PAY_GROUP	GP_PYGRP	GP_PAYGROUP		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	120	<input type="checkbox"/>
JOB_CODE	JOB_CODE_TBL	JOB_CODE		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	30	<input checked="" type="checkbox"/>
JOB_FAMILY	JOB_FAMILY_TBL	JOB_FAMILY		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40	<input checked="" type="checkbox"/>
JOB_FUNCTION	JOB_FUNCTION_TBL	JOB_FUNCTION		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	50	<input checked="" type="checkbox"/>
JOB_SUB_FUNCTION	JOB_SUBFUNC_TBL	JOB_SUB_FUNC		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	60	<input type="checkbox"/>
JOB_TASK	JOB_TASK_TBL	JOB_TASK		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	70	<input checked="" type="checkbox"/>
LOCATION	LOCATION_TBL	LOCATION		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	110	<input checked="" type="checkbox"/>
PNA_PAY_GROUP	PAYGROUP_TBL	COMPANY	PAYGROUP	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	130	<input type="checkbox"/>
POSITION	POSITION_DATA	POSITION_NBR		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	20	<input checked="" type="checkbox"/>
REG_REGION	REG_REGION_TBL	REG_REGION		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	160	<input checked="" type="checkbox"/>
SALARY_GRADE	SAL_GRADE_TBL	SAL_ADMIN_PLAN	GRADE	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	90	<input checked="" type="checkbox"/>

連番

個人の職務に関連する非個人プロフィールがリストされる順序を決定する番号を入力します。この連番値は、次のように使用されます。

- 「個人プロフィール」ページでは、「プロフィール アクション」フィールドで「関連任務プロフィールの表示」を選択したときに関連プロフィールがリストされる順序を、連番値によって決定します。最も小さい番号のプロフィールが最初に表示されます。
- eDevelopment-人材開発では、従業員が「マイ任務プロフィール」を選択したときに関連プロフィールがリストされる順序を、連番値によって決定します。最も小さい番号のプロフィールが最初に表示されます。
- ePerformance-パフォーマンス管理では、従業員の記入票を作成する際に、従業員に一致するすべての任務プロファイ

ルを検索して、優先順位の最も高い (連番値が最も小さい) プロファイルのコンテンツをコピーします。

「プロフィール識別タイプとプロフィール関連先の定義に使用する共通の要素」を参照してください。

「プロフィール関連先」ページ

プロフィール タイプをリンクできる、プロフィール管理ビジネス プロセス外部のエンティティを定義するには、「プロフィール関連先」ページ (JPM_RLAT_SETUP) を使用します。

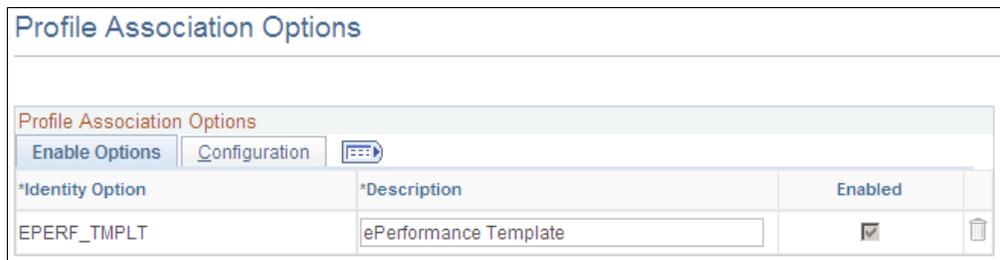
プロフィール タイプを ePerformance テンプレートにリンクすることのできる関連先が 1 つ標準で提供されています。他の関連先を追加するには、それを利用するためのカスタマイズが必要になります。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「プロフィール管理」, 「プロフィール」, 「プロフィール関連先」, 「プロフィール関連先」

画像: 「プロフィール関連先」ページ: 「オプションの有効化」タブ

次の例では、「プロフィール関連先」ページ: 「オプションの有効化」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



画像: 「プロフィール関連先」ページ: 「設定」タブ

次の例では、「プロフィール関連先」ページ: 「設定」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



このページを使用して、プロフィール タイプをリンクできるプロフィール管理ビジネス プロセス外のエンティティを定義します。標準のプロフィール関連先は ePerformance テンプレートです。他の関連先を追加するには、それを利用するためのカスタマイズが必要になります。「オプションの有効化」タブで識別タイプを入力します。「設定」タブでレコード名とキー フィールドの情報を入力します。

プロフィール関連先の追加

新しいプロフィール関連先を追加するには、このリンクをクリックします。

「[プロフィール識別タイプとプロフィール関連先の定義に使用する共通の要素](#)」を参照してください。

プロフィール タイプの設定

プロフィール タイプを設定し、他のビジネス モジュール用に個人プロフィール タイプと非個人プロフィール タイプを作成し、デフォルトの個人プロフィール タイプと非個人プロフィール タイプを割り当てるには、プロフィール タイプ コンポーネント (JPM_JP_TYPES)、プロフィール タイプのコピー コンポーネント (RUNCTL_JPM_CLONE)、およびデフォルト プロフィール タイプの割当てコンポーネント (JPM_DFLT_JP_TYPES) を使用します。

次の各トピックでは、プロフィール タイプの設定方法について説明します。

プロフィール タイプの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「プロフィール タイプ - 属性」ページ	JPM_JP_TYPE_ATTRIB	プロフィール タイプの属性を設定します。プロフィールのタイプを識別するプロフィール タイプの基本的な詳細を定義します。プロフィール タイプが承認ワークフローに関連付けられている場合は、このページでトランザクションと承認定義を指定します。
「プロフィール タイプ - 識別タイプ」ページ	JPM_JP_TYPE_IDENT	プロフィール タイプをリンクする識別タイプを選択して、プロフィール タイプの識別タイプを定義します。識別タイプは、職務コード、ポジション番号、個人などのエンティティです。プロフィール タイプに基づいてプロフィールを作成する場合、ユーザーはこのページで定義したエンティティに対してのみプロフィールを作成できます。アクティブなプロフィール タイプには、少なくとも1つの識別タイプが必要です。「プロフィール識別タイプ」ページで使用可能な識別タイプを定義します。種類が「個人」のプロフィール タイプには、「個人」識別子が自動的に追加されます。これらに他の識別子を追加することはできません。
「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページ	JPM_JP_TYPE_CONT	プロフィール タイプのコンテンツを定義します。プロフィールのコンテンツは複数のタブに分かれており、各タブは1つまたは複数のセクションで構成されています。「コンテンツ」ページでは、プロフィールのタブを設定し、各タブにコンテンツタイプを追加します。

ページ名	定義名	用途
<u>「コンテンツ セクションの追加」ページ</u>	JPM_JP_ADD_CNT_SEC	コンテンツ タイプを選択します。このページには、プロフィール タイプに追加できるコンテンツ タイプがリストされます。追加するコンテンツ タイプを選択すると、「コンテンツ セクション」ページが表示されます。
<u>「コンテンツ セクション」ページ</u>	JPM_JP_CONTENT_SEC	コンテンツ セクションのプロパティ (フィールド) と、それらのプロパティの属性を定義します。また、このページでは、プロフィールの作成または更新時にコンテンツ セクションにアクセスできる任務プロフィール管理ロールも定義します。
<u>「プロフィール コンテンツ表示」ページ</u>	JPM_VISUAL_DTL_SEC	「追加- <コンテンツ タイプ>」ページまたは「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページでのコンテンツ セクションの表示設定を確認します。
<u>「他のプロフィール タイプから内容をコピーします」ページ</u>	JPM_JP_CPY_CNT_SEC	表示しているセクションのコンテンツ タイプのコンテンツ プロパティを、既存のプロフィール タイプから現在のプロフィールにコピーします。
<u>「プロフィール タイプ - 関連先」ページ</u>	JPM_JP_TYPE_ASSOC	プロフィール タイプの関連先を設定します。プロフィール タイプをリンクする関連先を選択します。関連先とは、プロフィール管理ビジネス プロセス外のエンティティです。「プロフィール関連先」ページで使用可能な関連先を定義します。これは、種類が「非個人」のプロフィール タイプにのみ使用できます。
<u>「プロフィール タイプのコピー」ページ</u>	RUNCTL_JPM_CLONE	プロフィール タイプをコピーします。プロフィール タイプのコピー プロセスを実行して既存のプロフィール タイプをコピーし、新しいプロフィール タイプを作成します。
<u>「デフォルト プロフィール タイプの割当」ページ</u>	JPM_DFLT_JP_TYPES	他の製品の機能やサービスで使用できる個人プロフィール タイプと非個人プロフィール タイプにデフォルトのプロフィール タイプを割り当てます。

「プロフィール タイプ - 属性」ページ

プロフィール タイプ属性を設定するには、「プロフィール タイプ - 属性」ページ (JPM_JP_TYPE_ATTRIB) を使用します。

プロフィール タイプの基本的な詳細を定義します。プロフィール タイプが承認ワークフローに関連付けられている場合は、このページでトランザクションと承認定義を指定します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール タイプ」、「属性」

画像: 「プロフィール タイプ - 属性」ページ

次の例では、「プロフィール タイプ - 属性」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

サマリ

プロフィール タイプの簡単な説明を入力します。

プロフィール タイプの種類

「個人」または「非個人」の種類を選択します。この種類によって、「プロフィール タイプ - 識別タイプ」ページで選択できる「プロフィール 識別タイプ」の値が決まります。「プロフィール タイプの種類」フィールドが「個人」の場合は、「個人」識別子が自動的に追加され、他の識別子を追加することはできません。種類が「非個人」の場合は、使用可能な任意の「識別タイプ」を追加できます。

エンド プロファイル

プロパティ タイプがエンド プロファイルの場合は、このチェックボックスを選択します。従業員と管理者のセルフ サービスにエンド プロファイルが表示され、それらのエンド プロファイルが検索、一致、参照で使用されます。

トランザクション名

プロフィール タイプに関連付けられている承認ワークフロー トランザクションを選択します。プロフィール タイプのコンテンツ セクションのいずれかのロールで「要承認」チェック ボックスが選択されている場合、または「プロフィール タイプ - 識別タイプ」ページで「識別タイプ承認必須」チェック ボックスが選択されている場合は、このフィールドの指定が必要です。

「[「コンテンツ_セクション」ページ](#)」を参照してください。

定義 ID

プロファイル タイプの承認定義を選択します。このフィールドを空欄のままにした場合は、「トランザクション名」フィールドで指定した承認プロセスの承認定義 ID がデフォルトで使用されます。

複数の承認定義 ID が存在する場合、承認プロセス定義コンポーネントで設定された条件および優先順位に基づいて、使用する承認定義 ID が承認フレームワークにより決定されます。プロファイル管理の承認処理で 사용되는定義 ID の場合、デフォルトの定義が優先順位 1 で、デフォルト以外の定義が優先順位 9 です。

「プロファイル タイプ - 識別タイプ」ページ

プロファイル タイプをリンクする識別タイプを選択して、プロファイル タイプの識別タイプを定義するには、「プロファイル タイプ - 識別タイプ」ページ (JPM_JP_TYPE_IDENT) を使用します。

識別タイプは、職務コード、ポジション番号、個人などのエンティティです。プロファイル タイプに基づいてプロファイルを作成する場合、ユーザーはこのページで定義したエンティティに対してのみプロファイルを作成できます。アクティブなプロファイル タイプには、少なくとも 1 つの識別タイプが必要です。「プロファイル識別タイプ」ページで使用可能な識別タイプを定義します。種類が非個人のプロファイル タイプに対してのみ識別子を追加できます。

種類が「個人」のプロファイル タイプには、「個人」識別子が自動的に追加されます。これらに他の識別子を追加することはできません。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール タイプ」、「識別タイプ」

画像: 「プロフィール タイプ - 識別タイプ」ページ

次の例では、「プロフィール タイプ - 識別タイプ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Profile Identity Options		Personalize	Find	1-4 of 4
*Profile Identity Option	Sys Data			
Job Code	<input checked="" type="checkbox"/>			
Job Family	<input checked="" type="checkbox"/>			
Position Data	<input checked="" type="checkbox"/>			
Salary Grade	<input checked="" type="checkbox"/>			

識別タイプ承認必須 (識別タイプに必須の承認)

このプロフィール タイプのプロフィールに関連付けられている識別タイプを変更する際に承認を必要とする場合は、このチェック ボックスを選択します。

プロフィール 識別タイプ

プロフィール タイプをリンクできる 1 つまたは複数のオブジェクトを選択します。使用可能なオブジェクトは、「プロフィール 識別タイプ」ページで有効にしたプロフィール 識別タイプによって異なります。

プロフィール 識別タイプは、非個人プロフィールに対してのみ追加できます。個人プロフィールには「個人」識別子が自動的に追加され、この他に識別子を追加することはできません。特定のプロフィール タイプ内で、プロフィール 識別タイプ キーごとにアクティブなプロフィールが 1 つのみかどうかを検証されます。たとえば、ヒューマン リソース管理の管理者というポジションが特定のアクティブな JOB プロフィールの識別子としてリストされている場合、同じポジション識別子で別の JOB プロフィールを定義することはできません。

「[「プロフィール 識別タイプ」ページ](#)」を参照してください。

プロフィール識別タイプの追加

別のプロフィール識別タイプをページに追加する場合にクリックします。

「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページ

プロフィール タイプのコンテンツを定義するには、「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページ (JPM_JP_TYPE_CONT) を使用します。

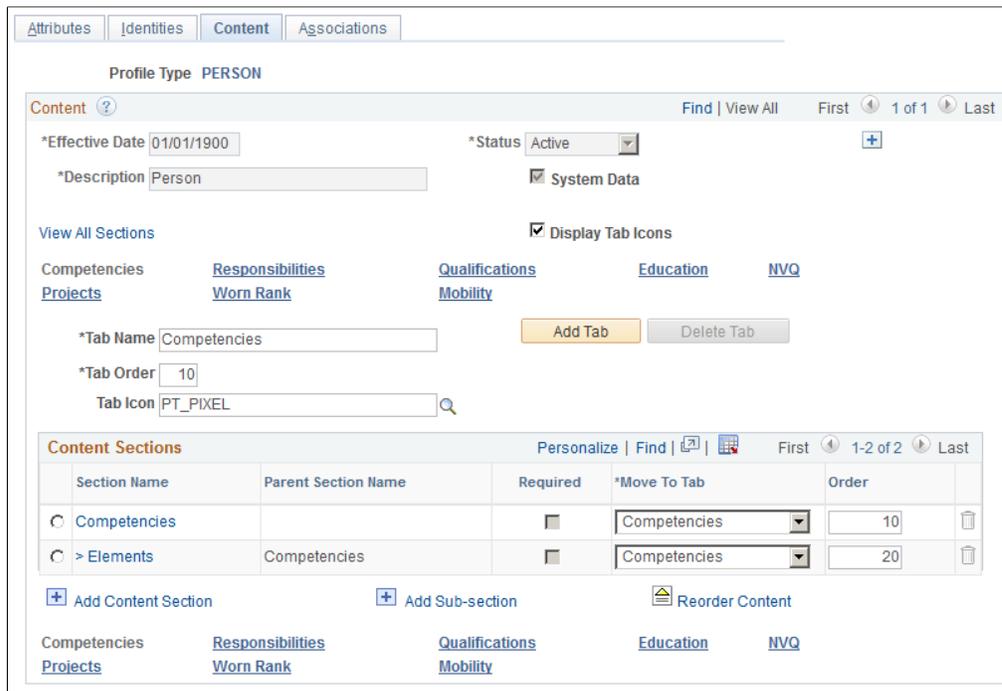
プロフィールのコンテンツは複数のタブに分かれており、各タブは 1 つまたは複数のセクションで構成されています。「コンテンツ」ページでは、プロフィールのタブを設定し、各タブにコンテンツ タイプを追加します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール タイプ」、「コンテンツ」

画像: 「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページ

次の例では、「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



このページを使用して、プロフィール タイプのコンテンツを定義します。

画像:「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページで表示されるタブのリンクの例

次の例に示すように、コンテンツはページ上のリンクとして表示されるタブに分かれています。



この例では 5 つのタブがあり、現在は「コンピテンシー」タブが選択されています。タブ名のリンクをクリックすると、そのタブに移動します。

タブが表示される順序は、「タブ順序」フィールドで決まります。各タブでは、「コンテンツ セクション」グリッド領域でコンテンツ タイプを指定します。これらのリンクが実際のタブとしてプロフィールのページでユーザーに表示されます。

全てのセクションを表示

プロフィール タイプのすべてのタブのセクションを表示する場合は、このリンクをクリックします。「コンテンツ セクション」グループ ボックスが更新されてすべてのタブのセクションがリストされ、「タブ名」フィールドと「タブ順序」フィールドは非表示になります。タブの表示に戻るには、そのタブのリンクをクリックします。

タブ アイコン表示

「PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスを使用した個人プロフィールの管理」 (「eDevelopment-人材開発」) で PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイス内に表示されるアイコンにタブを関連付ける場合は、このチェック ボックスを選択します。従業員は、これらのセルフサービス ページを使用して、自分のプロフィールを更新します。

タブの追加

新しいタブをプロフィール タイプに追加する場合は、このボタンをクリックします。

タブの削除

このボタンをクリックすると、選択したタブが削除されます。

タブ名

タブの名称を入力します。ユーザーがこのプロフィール タイプを使用してプロフィールを作成する場合、タブ名はプロフィールでのリンクとして表示されます。したがって、デフォルト名の タブ 1、タブ 2 などのままではなく、意味のある名称にしてください。

タブ順序

値を入力してタブのリンクが表示される順序を指定します。

タブ アイコン

(「タレント プロフィール」ページの) PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスでこのタブを表すアイコンを選択します。

コンテンツ セクション

このグリッド領域に、選択したタブのセクションがリストされます。「全てのセクションを表示」リンクをクリックすると、このグリッド領域にプロフィール タイプのすべてのタブのコンテンツ セクションがリストされます。

セクション名

「コンテンツ セクション」ページにアクセスして、セクションまたはサブ セクションの詳細を表示および更新する場合は、セクション名をクリックします。

注: セクション名の先頭の > 記号は、そのセクションが上のセクションの子であることを意味します。

注: CLUSTER、ROLE、JOB および PERSON については、プロファイル タイプ設定が配布されます。これを変更するには、プロファイル タイプに対して、新しい有効日のエントリを追加します。ROLE および PERSON コンテンツ セクションを変更するときには、統合要件が存在する可能性があるため、注意が必要です。プロファイル コンテンツを利用するビジネス プロセスを決定するには、「プロファイル管理 - はじめに」のプロファイル インテグレーションの管理に関する項を参照してください。

標準のプロパティを削除するときは、注意が必要です。プロパティのプロファイル コンテンツがすでに存在する場合は削除しないでください。

「[プロファイル管理の統合](#)」を参照してください。

親セクション名

子セクションの場合は、その親セクションの名称が表示されません。

必須

プロファイルの必須セクションの場合は、このチェック ボックスを選択します。ユーザーがプロファイルを作成する際、必須セクションにプロファイル アイテムが少なくとも 1 つあるかどうかを検証するとき、このチェック ボックスが使用されます。

移動先タブ

このコンテンツ セクションが属する現在のタブ名が表示されません。

セクションを別のタブに移動するには、このリストからタブを選択し、「コンテンツの並べ替え」リンクをクリックします。

順序

値を入力して、プロファイルのタブ内でコンテンツ セクションが表示される順序を指定します。

コンテンツ セクションの追加

「コンテンツ セクション」グリッド領域に新しいセクションを追加するには、このリンクをクリックします。「コンテンツ セクションの追加」ページが表示され、使用可能なすべてのコンテンツ タイプがリストされます。コンテンツ タイプは、コンテンツ タイプ コンポーネントを使用して定義します。

「[コンテンツ タイプとプロパティの設定](#)」を参照してください。

サブ セクションの追加

既存のセクションのコンテンツ タイプに関連するコンテンツ タイプを追加する場合は、サブ セクションを追加します。

サブ セクションを作成するコンテンツ セクションのオプション ボタンを選択し、このリンクをクリックします。

コンテンツ タイプ間の関係は、コンテンツ タイプ コンポーネントの「関係ルール」ページで定義します

たとえば、コンピテンシー セクションをタブに追加した場合は、サブ セクションとしてエレメントまたはサブ コンピテンシー コンテンツ タイプを追加できます。これらのコンテンツ タイプは、コンピテンシー タイプに関連付けられているからです。

このリンクをクリックすると、「コンテンツ セクションの追加」ページが表示され、親セクションのコンテンツ タイプの子として定義されているコンテンツ タイプがリストされます。

「[関係ルール](#)」ページを参照してください。

コンテンツの並べ替え

「タブ順序」フィールドまたはセクションの「順序」フィールドの値を変更した場合は、このリンクをクリックします。ページがリフレッシュされ、タブとコンテンツ セクションが新しい順序で表示されます。

「コンテンツ セクションの追加」ページ

コンテンツ タイプを選択するには、「コンテンツ セクションの追加」ページ (JPM_JP_ADD_CNT_SEC) を使用します。

このページには、プロフィール タイプに追加できるコンテンツ タイプがリストされます。追加するコンテンツ タイプを選択すると、「コンテンツ セクション」ページが表示されます。

ナビゲーション

- 「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページで「コンテンツ セクションの追加」リンクをクリックします。
- 「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページで「サブ セクションの追加」リンクをクリックします。

画像: 「コンテンツ セクションの追加」ページ

次の例では、「コンテンツ セクションの追加」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



プロフィール タイプに追加できるコンテンツ タイプがリストされます。プロフィール タイプにすでに追加されているコンテンツ タイプは通常のテキストで表示され、リンクはありません。

サブセクションを追加している場合は、親セクションのコンテンツ タイプと従属関係にあるコンテンツ タイプが表示されます。

「[「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページ](#)」を参照してください。

追加するコンテンツ タイプのリンクをクリックします。追加をやめる場合は「前のページに戻る」リンクをクリックしてください。

「コンテンツ セクション」ページ

コンテンツ セクションのプロパティ (フィールド) およびそれらのプロパティの属性を定義するには、「コンテンツ セクション」ページ (JPM_JP_CONTENT_SEC) を使用します。

また、このページでは、プロフィールの作成または更新時にコンテンツ セクションにアクセスできるユーザーも定義します。

ナビゲーション

- 「コンテンツ セクションの追加」ページでコンテンツ タイプをクリックします。
- 「コンテンツ」ページでセクション名のリンクをクリックします。

画像: 「プロパティ」タブが表示されている「コンテンツ セクション」ページ

次の例では、「プロパティ」タブが表示されている「コンテンツ セクション」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Field Name	*Label Text
EFFDT	Effective Date
JPM_CAT_ITEM_ID	Competency
EFF_STATUS	Status
RATING_MODEL	Rating Model
JPM_RATING1	Target Proficiency
JPM_PCT_1	Weight
JPM_MANDATORY	Mandatory
JPM_PCT_2	Minimum Weight

*Role	Allow Update	Approval Required
Administrator	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Employee	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Manager	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注: CLUSTER、ROLE、JOB および PERSON については、プロフィール タイプ設定が配布されます。これを変更するには、プロフィール タイプに対して、新しい有効日のエントリを追加します。ROLE および PERSON コンテンツ セクションを変更するときには、統合要件が存在する可能性があるため、注意が必要です。

標準のプロパティを削除することはお勧めしません。

インスタンス識別子セット 1

(オプション) この項で使用するインスタンス識別子セットを選択します。選択できるのは、セクションのコンテンツ タイプに関連付けられ、値のセットとして定義されているインスタンス識別子のみです。このフィールドのプロンプトレコードに基づくインスタンス識別子セットは選択できません。インスタンス識別子は、「インスタンス識別子」ページで定義します。

プロパティ JPM_CAT_ITEM_QUAL の追加が求められます。

「[インスタンス識別子の定義](#)」を参照してください。

インスタンス識別子セット 2

(オプション) プロンプトレコードに基づくインスタンス識別子を定義する場合は、プロンプト定義を持つインスタンス識別子セットを選択します。

プロパティ JPM_CAT_ITEM_QUAL2 の追加が求められます。

職務からのコピーを許可

このチェック ボックスは、「個人」のプロファイル タイプで使用できます。

個人のプロファイルを管理する際に、関連するプロファイルのリストから非個人プロファイルを選択する機能を有効にする場合に選択します。非個人プロファイルのうちどれが従業員に関連するかは、従業員の職務データレコードを検索して決定されます。従業員が複数の職務を持っている場合は、その個人のアクティブな職務すべてから、一致する非個人プロファイルがチェックされます。たとえば、従業員の職務コード、ポジション、給与等級に一致するアクティブなプロファイルがチェックされます。このチェック ボックスの選択を解除した場合、これらの個人に関連するコンテンツ タイプは、非個人プロファイルからコピーされません。

プロフィール詳細の表示

「プロフィール コンテンツ表示」ページにアクセスし、「追加-<コンテンツ タイプ>」ページまたは「更新 -<コンテンツ タイプ>」ページでのコンテンツ セクション設定の表示を確認する場合は、このアイコンをクリックします。

別のプロフィール タイプからコピー

既存のプロファイル タイプを指定し、そのプロファイル タイプから選択しているコンテンツ タイプのセクションにコンテンツ プロパティをコピーする場合は、このアイコンをクリックします。このアイコンをクリックすると、「他のプロフィール タイプから内容をコピーします」ページが表示されます。コピーするプロファイル タイプを入力し、「OK」をクリックすると、それらのプロパティがコンテンツ セクション定義に自動的に挿入されます。

「コンテンツ プロパティ定義」グループ ボックス: 「プロパティ」タブ

コンテンツ セクションを設定している場合、「コンテンツ プロパティ定義」グループ ボックスには、コンテンツ カタログのコンテンツ タイプに定義されているキー プロパティがリストされます。必要に応じて、他のプロパティを追加できます。

注: 自由形式コンテンツ タイプの場合は、説明フィールド JPM_ADHOC_DESCR が表示されます。必要に応じて、他のプロパティを追加できます。

[「コンテンツタイプのプロパティについて」](#)を参照してください。

[「プロフィールタイプのプロパティ」](#)を参照してください。

フィールド名 コンテンツタイプ定義に含まれるプロパティのフィールド名が表示されます。

新しいプロパティを追加する場合は、「プロパティの追加」リンクをクリックし、使用可能なオプションからフィールド名を選択します。

JPM_PROMPT_1 から *JPM_PROMPT_20* までの 20 個のカスタムフィールド値のうち 1 つ以上を入力して、[「カスタムプロンプト」](#) ページで定義された値リストをユーザーに提示します。

ラベルテキスト

このプロパティがコンテンツタイプ定義の一部である場合は、フィールドに指定されたラベルが表示されます。新しいプロパティを追加している場合は、プロフィールのページでこのフィールドの表示に使用するテキストを入力します。

注: プロフィールを作成するときフィールドにどのような情報を入力すべきかユーザーが正しく理解できるように、プロフィールには意味のあるラベルを指定する必要があります。

プロパティの追加

このセクションにプロパティを追加する場合は、このリンクをクリックします。プロパティの検索をカテゴリで絞り込む場合は、「プロパティカテゴリ」フィールドを使用します。「別のプロフィールタイプからコピー」アイコンを使用して、別のプロフィールタイプからプロフィールのプロパティをコピーすることもできます。

[「プロフィール管理について」](#) でプロフィールコンテンツ情報を参照してください。

[「プロフィールタイプのプロパティ」](#)を参照してください。

「コンテンツ プロパティ」グループ ボックス: 「プロパティ属性」タブ

「コンテンツ セクション」ページの「プロパティ属性」タブにアクセスします。

画像: 「コンテンツ セクション」ページ: 「プロパティ属性」タブ

次の例では、「コンテンツ セクション」ページ: 「プロパティ属性」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Field Name	Required	*Display	Max Len	Minimum	Maximum	Prompt List Name	Default	Detail	Summary	Search/Compare	Sys Data
EFFDT	<input checked="" type="checkbox"/>	Editable						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_CAT_ITEM_ID	<input checked="" type="checkbox"/>	Editable	8					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
EFF_STATUS	<input checked="" type="checkbox"/>	Editable						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
RATING_MODEL	<input checked="" type="checkbox"/>	Editable	4				PSCM	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_RATING1	<input checked="" type="checkbox"/>	Editable						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_PCT_1	<input checked="" type="checkbox"/>	Editable						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_MANDATORY	<input checked="" type="checkbox"/>	Editable						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_PCT_2	<input checked="" type="checkbox"/>	Editable						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

注: プロファイルがそのコンテンツとともにすでに存在する場合、新しいプロパティには「必須」の属性を指定しないでください。「最大長」の値を変更するときは、注意が必要です。旧バージョンの COMPETENCIES および ACCOMPLISHMENTS データ モデルを利用する他の製品との統合が存在する場合は、データが切り捨てられないようにしてください。

「[プロフィール管理の統合](#)」を参照してください。

必須

このプロフィール タイプを使用してプロフィールを作成する際このプロパティを必須にする場合に選択します。チェック ボックスを選択すると、プロフィールの設定時にフィールドの入力が必要になります。

表示

このプロパティをプロフィールのページで入力可能 (「編集可」)、入力不可 (「表示専用」) または非表示 (「非表示」) のいずれにするかを選択します。このプロパティには、「デフォルト値」フィールドに入力する値が自動的にロードされます。「編集可」を選択した場合、プロフィールではデフォルト値が自動的にロードされますが、その値はユーザーが上書きできます。

最大長 (最大長)

このフィールドは、文字プロパティにのみ適用されます。プロフィール タイプにプロパティを追加した場合は、このプロパティのフィールド長以下の値を入力します。

「最小値」および「最大値」

このフィールドは、数値プロパティにのみ適用されます。プロフィール タイプにプロパティを追加した場合は、ユーザーがプロフィール アイテムを追加するときに許容する最小値と最大値を入力します。

プロンプトリスト値

このフィールド プロパティのカスタム リストを選択します。このフィールドが使用可能になるのは、`JPM_PROMPT_1` から `JPM_`

	<p><i>PROMPT_20</i> までのユーザー定義のプロパティからフィールド プロパティを選択した場合です。</p>
デフォルト	<p>プロフィール タイプにプロパティを追加した場合は、ユーザーがプロフィール アイテムを追加する際にこのプロパティに割り当てられるデフォルト値を入力します。</p> <p>RATING_MODEL プロパティが含まれているプロフィール アイテムを作成する際は、最初にコンテンツ カタログから RATING_MODEL プロパティのデフォルト値のロードが試みられます。それが存在しない場合は、「コンテンツ セクション」に入力したこの値からデフォルトが割り当てられます。</p>
詳細	<p>コンテンツ セクションの詳細ページにフィールドを表示する場合は、このチェック ボックスを選択します。</p>
サマリ	<p>プロフィールを作成または表示する際のサマリ ページにフィールドを表示する場合は、このチェック ボックスを選択します。「サマリ」と設定されたフィールドは、詳細ページに自動的に表示されます。</p> <p>「プロフィール管理について」を参照してください。</p>
検索/比較	<p>プロフィールの検索/比較機能で使用される検索用索引にこのプロパティを含める場合、このチェック ボックスを選択します。このチェック ボックスは、この機能でプロパティがサポートされていない場合にのみ表示されます。</p> <hr/> <p>注: コンテンツ セクションの他のプロパティを検索対象とする場合は、アイテム ID (JPM_CAT_ITEM_ID) を自動的に検索対象に設定する必要があります。</p> <hr/>
システム データ (システム データ)	<p>PeopleSoft がこのプロフィール タイプの値を提供および管理する場合は、選択された状態で表示されます。システム データを削除することはできません。別のプロパティを手動で入力したときは、このチェック ボックスの選択は解除されます。</p>

ロール セキュリティ

「コンテンツ セクション」ページの「ロール セキュリティ」セクションにアクセスします（「コンテンツ セクションの追加」ページでコンテンツ タイプを選択するか、「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページでセクション名のリンクをクリックします）。

画像: 「コンテンツ セクション」ページの「ロール セキュリティ」セクション

次の例では、「コンテンツ セクション」ページの「ロール セキュリティ」セクションのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Role Security			
*Role	Allow Update	Approval Required	
Administrator	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Employee	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
Manager	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

[+ Add Role](#)

「ロール セキュリティ」グループ ボックスには、プロフィール作成時にコンテンツ セクションにアクセスできるプロフィール管理ロールがリストされます。

注: どのコンテンツ セクションでもロールを選択しなかった場合、ユーザーはこのプロフィール タイプを使用してプロフィールを作成できません。

ロール

コンテンツ セクションへのアクセスを許可する対象のロールを選択します。使用可能なプロフィール管理ロール は次の 3 つです。

プロフィール管理者: プロフィール管理責任者は、「人材開発」、「プロフィール管理」メニューを使用してプロフィールを作成します。

従業員: 従業員は、「セルフサービス」、「研修/能力開発」を使用して自身のプロフィールを作成します。

管理者: 管理者は、Manager Self Service, Learning and Development. で管理者セルフ サービス トランザクションを使用します。

注: これらのプロフィール管理ロールを Tools ロールと混同しないでください。

更新可

指定したロールを持つユーザーがプロフィール内のコンテンツ セクションを更新できるようにする場合は、このチェック ボックスを選択します。このチェック ボックスの選択を解除した場合、ユーザーはプロフィールのコンテンツ セクションにアイテムを追加できません。

注: NVQ、NVQ ユニット、NVQ エLEMENTのコンテンツ セクションは、プロフィール内で更新できないため、このチェック ボックスはこれらのコンテンツ セクションでは使用できません。

要承認

特定のロールによるプロフィール アイテムの追加、削除、更新に承認を必要とする場合は、このチェック ボックスを選択します。

ロールの追加

プロフィール タイプにアクセスできるロールのリストに、別のロールを追加する場合は、このリンクをクリックします。

「プロフィール タイプ - 関連先」ページ

プロフィール タイプの関連先を設定するには、「プロフィール タイプ - 関連先」ページ (JPM_JP_TYPE_ASSOC) を使用します。

プロフィール タイプをリンクする関連先を選択します。関連先とは、プロフィール管理ビジネス プロセス外のエンティティです。「プロフィール関連先」ページで使用可能な関連先を定義します。これは、種類が「非個人」のプロフィール タイプにのみ使用できます。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、 「製品/業務別定義」、 「プロフィール管理」、 「プロフィール」、 「プロフィール タイプ」、 「関連先」

画像: 「プロフィール タイプ - 関連先」ページ

次の例では、「プロフィール タイプ - 関連先」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Associations' tab for a 'Profile Type JOB'. It features several input fields and controls:

- Association Options:** Includes 'Effective Date' (01/01/1900), 'Status' (Active), and 'Description' (Job). There are also 'Find', 'View All', 'First', '1 of 1', and 'Last' navigation buttons.
- System Data:** A checkbox that is currently checked.
- Profile Association Options:** A table with one entry: 'ePerformance Template' with a 'Sys Data' checkbox checked.
- Bottom:** An 'Add Profile Association' button.

プロフィール関連先

プロフィール タイプにリンクするオブジェクトを選択します。使用可能なオブジェクトは、「プロフィール関連先」ページで有効にしたプロフィール関連先のオプションによって異なります。特定のプロフィール タイプ内では、関連先ごとに複数のアクティブ プロフィールを使用できます。

「[プロフィール関連先](#)」ページを参照してください。

プロフィール関連先の追加

プロフィール タイプに別の関連先を追加する場合は、このリンクをクリックします。

「プロフィール タイプのコピー」ページ

プロフィール タイプをコピーするには、「プロフィール タイプのコピー」ページ (RUNCTL_JPM_CLONE) を使用します。

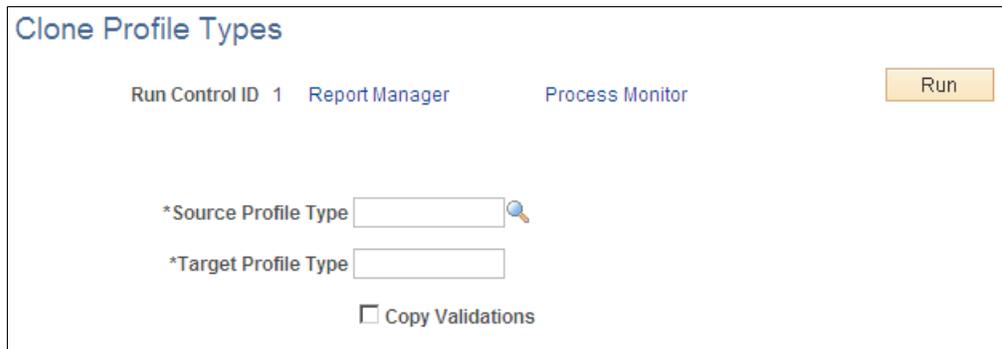
プロフィール タイプのコピー プロセスを実行して既存のプロフィール タイプをコピーし、新しいプロフィール タイプを作成します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「プロフィール管理」, 「プロフィール」, 「プロフィール タイプのコピー」, 「プロフィール タイプのコピー」

画像: 「プロフィール タイプのコピー」ページ

次の例では、「プロフィール タイプのコピー」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



ソース プロファイル タイプ

コピーするプロフィール ID を入力します。

ターゲット プロファイル タイプ

作成する新しいプロフィール ID を入力します。

検証結果をコピー

ソース プロファイル タイプに関連付けられた検証結果をコピーする場合は、このチェック ボックスを選択します。PERSON プロファイル タイプにのみ、システム標準の検証結果が提供されています。

「デフォルト プロファイル タイプの割当」ページ

他の製品の機能およびサービスから使用できるデフォルトの個人および非個人プロフィール タイプをプロフィール タイプに割り当てるには、「デフォルト プロファイル タイプの割当」ページ (JPM_DFLT_JP_TYPES) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「デフォルト プロファイル タイプの割当」、「デフォルト プロファイル タイプの割当」

画像: 「デフォルト プロファイル タイプの割当」ページ

次の例では、「デフォルト プロファイル タイプの割当」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

「デフォルト プロファイル タイプの割当」ページは、主要個人プロフィール タイプと主要非個人プロフィール タイプを、プロフィール管理内のビジネス プロセスのみでなく、プロフィール管理と接続する製品にも提供することを目的としています。これらの製品には、連邦雇用、軍機能対応、NVQ、タレント獲得管理などがあります。これらのプロフィール タイプを標準のプロフィール タイプから変更する場合は、使用するワークフローのインターフェイスが新しいプロフィール タイプでサポートされることを確認してください。たとえば、軍の階級を使用する場合は、PERSON プロフィール タイプの階級コンテンツ セクションに対応するコンテンツ セクションがあることを確認します。

重要 このページで変更を行う前に、このデータに関連するすべてのインテグレーション ポイントを検討する必要があります。

プロフィール管理との追加の接続オプションを指定するために、特定のビジネス プロセス内での追加設定が必要となる場合があります。

主要個人プロフィール タイプ

プロフィール管理と接続するシステム内の他のビジネス プロセスで、デフォルトの個人プロフィールとして機能するプロフィール タイプを指定します。このデフォルト値は、個別のビジネス プロセスレベルで上書きできます。

主要非個人プロフィール タイプ

プロフィール管理と接続するシステム内の他のビジネス プロセスで、デフォルトの非個人プロフィールとして機能するプロフィール タイプを指定します。このデフォルト値は、個別のビジネス プロセスレベルで上書きできます。

プロフィール グループ タイプとプロフィール グループの作成

プロフィール グループを設定するには、プロフィール グループ タイプ コンポーネント (JPM_JP_GTYPE_GRP) とプロフィール グループ コンポーネント (JPM_JP_GROUPS) を使用します。

次の各トピックでは、プロフィール グループとグループ タイプの概要および前提条件の一覧を示し、プロフィール グループ タイプとプロフィール グループを作成する方法について説明します。

プロフィール グループ タイプとプロフィール グループの作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「プロフィール グループ タイプ」ページ	JPM_JP_GTYPE_GRP	プロフィール グループ タイプを設定します。
「プロフィール グループ - グループ 定義」ページ	JPM_JP_GROUPS	プロフィール グループを作成する条件を定義します。
「プロフィール グループ - グループ メンバー」ページ	JPM_JP_GMEMB	プロフィールを表示したり、プロフィールを追加してプロフィール グループのメンバーを定義します。
「プロフィール グループの作成」ページ	RUNCTL_JPM_GROUP	プロフィール グループの作成プロセスを実行してプロフィール グループを作成します。

プロフィール グループとプロフィール グループ タイプについて

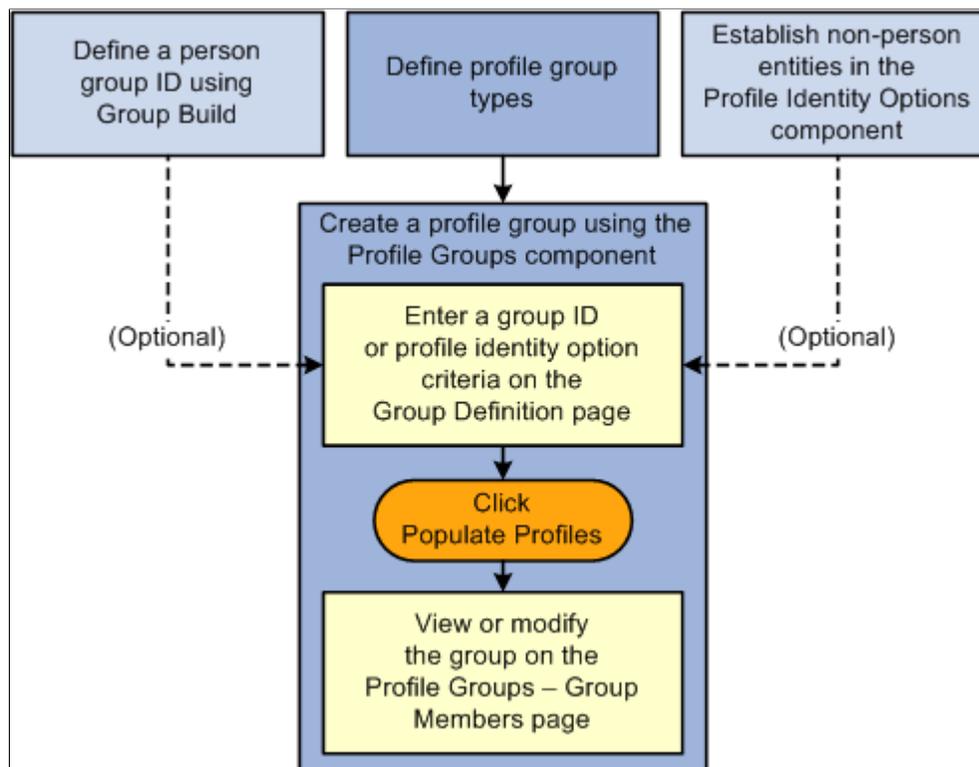
PeopleSoft アプリケーションには、検索/比較プロセスで絞り込みが行えるように、手動またはグループ条件を使用してプロフィール グループを作成する方法が用意されています。「プロフィール グループ タイプ」ページでは、グループとそのグループで有効なプロフィール タイプを特定できます。さらに、検索/比較とセルフ サービスの検索フィルタとして、そのプロフィール グループに適用可能なプロフィール タイプを指定することもできます。プロフィール グループはグループ タイプのインスタンスであり、そのグループのメンバーとなるプロフィール ID を指定します。

「個人」または「非個人」のいずれかのプロフィール グループ タイプを使用して、グループ タイプに関連付けられた各グループに入力された条件が自動的に反映されます。また、グループ タイプに選択できるプロフィール タイプも決定されます。プロフィール グループ コンポーネントでは、個人プロフィール グループと非個人プロフィール グループのプロフィール メンバーのリストを作成する条件を追加することができます。

(個人の場合はグループビルド機能を使用し、非個人の場合は「プロフィール識別タイプ」ページからの条件を使用)。

画像: プロファイルグループの作成手順

プロフィールグループの作成は、プロフィール管理責任者がプロフィールグループコンポーネントを使用して実行します。プロフィール管理責任者は、個人グループタイプ用にグループビルド機能で定義したグループビルド識別名を選択するか、またはプロフィール識別タイプに基づくフィールド条件を使用できます。「プロフィールグループ - グループ定義」ページで「プロフィールロード」ボタンをクリックすると、プロフィールグループの作成プロセスによって、「プロフィールグループ - グループメンバー」ページのデータが自動的にロードされます。プロフィール管理責任者は、グループ条件を入力するかわりに、プロフィールグループを手動で定義することもできます。



プロフィールグループは、プロフィールグループの作成プロセスによって自動的に作成されます。このアプリケーションエンジンプログラムは、「プロフィールロード」ボタン PeopleCode によるオンラインと、プロセススケジューラによるバッチモードの両方で実行します。このプログラムをバッチモードで実行すると、同じプロフィールグループタイプから複数のグループを再作成できます。このプロセスを「プロフィールロード」ボタンから実行すると、1つのグループの作成または再作成のみが実行されます。

個人と任務の属性は頻繁に変わるため、個人プロフィールグループはより高い頻度で変動します。個人プロフィールグループの作成は、定期的に行うようにスケジュールできます。プロフィールグループメンバーリストが変更されると、そのリストに対して追加または削除されるプロフィールの最終更新日時スタンプが更新されます。その結果、次の検索用索引のスケジューリングプロセスの差分実行ではプロフィールが自動的に選択されるようになります。再作成されるのは、グループに変更が生じたプロフィールのみです。

前提条件

プロフィール グループを作成するには、プロフィール タイプを設定しておく必要があります。必要に応じて、プロフィール識別タイプを設定したり、グループビルド機能を使用してグループを作成することができます。

「[プロフィール識別タイプとプロフィール関連先の設定](#)」を参照してください。

「[グループビルドについて](#)」(「[アプリケーションの基礎](#)」)を参照してください。

「プロフィール グループ タイプ」ページ

プロフィール グループ タイプを設定するには、「プロフィール グループ タイプ」ページ (JPM_JP_GTYPE_GRP) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「プロフィール管理」, 「プロフィール」, 「プロフィール グループ タイプ」, 「プロフィール グループ タイプ」

画像: 「プロフィール グループ タイプ」ページ

次の例では、「プロフィール グループ タイプ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Profile Group Types

Profile Group Type: K0GLOBAL
 *Description: Global

Profile Type Usage: Non-person Profile
 Include in Search

*Profile Type	Description
CLUSTER	Cluster
JOB	Job
ROLE	Role

+ Add Profile Type

プロフィール タイプの種類

プロフィールが属する従属グループ (「個人プロフィール」または「非個人プロフィール」) を指定します。値が選択されると、このフィールドは表示専用になります。この値によって、このページで選択できるプロフィール タイプが決まります。

検索対象

このプロフィール グループ タイプ内のプロフィール グループすべてを検索用索引に含める場合は、このチェック ボックスを選択します。

プロフィール タイプ

プロフィール グループ タイプに追加するプロフィール タイプを選択します。このグループ タイプに定義したプロフィール タイプ

のプロファイルのみ、このグループ タイプのグループに割り当てることができます。プロフィール タイプは、プロフィール タイプ コンポーネントを使用して定義します。プロフィールは、ゼロまたは多数のプロファイル グループ ID に関連付けることができます。

「[プロフィール タイプの設定](#)」を参照してください。

プロフィール タイプの追加

プロフィール グループ タイプに別のプロフィール タイプを追加する場合は、このリンクをクリックします。

「プロフィール グループ - グループ定義」ページ

プロフィール グループを作成するための条件を定義するには、「プロフィール グループ - グループ定義」ページ (JPM_JP_GROUPS) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール グループ」、「グループ定義」

画像: 「プロフィール グループ - グループ定義」ページ

次の例では、「プロフィール グループ - グループ定義」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Sequence	*Search Condition	*Field Name	*Operator	Value	Remove
	AND				

このページの表示内容は、プロフィール タイプの種類が「個人」か「非個人」かによって異なります。

非個人グループの場合は、「プロフィール識別タイプ」フィールドと「グループ条件」グリッドが表示され、条件を追加してプロフィール識別タイプに基づいたグループを作成できます。

個人プロフィール グループの場合は、「グループID」フィールドが表示されます。これは、従業員 ID リストの抽出条件をリストするグループビルド機能の一部です。

プロフィール タイプの種類

「個人」プロフィールのグループか、または「非個人」プロフィールのグループかが表示されます。これは、「プロフィール グループ タイプ」ページでこのプロフィール グループ タイプに定義されて

います。この値によって、グループタイプに関連付けられた各グループに入力される条件の選択方法が決まります。

グループID

このフィールドは、「プロファイル タイプの種類」フィールドが「個人」の場合に表示されます。

グループビルド機能により、個人プロフィールの識別に使用される個人のグループが自動的に抽出されます。グループビルドのグループは、プロフィール グループを定義する前に作成しておく必要があります。「グループID」フィールドには、グループビルドビジネス プロセスで定義された ID がリストされます。

[「グループ定義の設定」](#) ([「アプリケーションの基礎」](#)) を参照してください。

注: このプロセスのグループ定義には、従業員、非従業員、および職務レコードを持つ関係者のみを含める必要があります。職務レコードを持たない関係者のプロフィールは、サポートされません。

グループ ID は必須ではありません。「プロフィール グループ - グループ メンバー」ページで個人のプロフィール ID を手動で入力し、グループを作成することもできます。

プロフィール識別タイプ

このフィールドは、「プロファイル タイプの種類」フィールドが「非個人」の場合に表示されます。

非個人のプロフィール識別タイプを入力します。「プロフィール 識別タイプ」フィールドでは、プロフィール 識別タイプ コンポーネントで定義された非個人の ID がリストされます。プロフィール 識別タイプ ID を入力すると、グループ条件のフィールドが入力可能になります。

この条件は必須ではありません。「プロフィール グループ - グループ メンバー」ページでグループを手動で定義することもできます。

グループ条件

このセクションは、非個人グループのグループ ID の条件を識別するために使用します。非個人プロフィールのグループ条件では、プロフィール 識別タイプレコードのフィールドと、このページに入力された該当する値と関係演算子を使用して、プロフィール グループが作成されます。このグリッドは、「プロフィール 識別タイプ」フィールドに値を入力すると、使用できるようになります。

連番

条件の連番順序を指定します。

検索条件	結合子の値 <i>AND</i> または <i>WHERE</i> のいずれかを選択します。 <i>AND</i> 結合子は、それより前の連番付きの行に結合されます。 <i>WHERE</i> 結合子は、それより前のどの連番付き行にも関係しません。
フィールド名	非個人プロフィールのフィルタの作成に使用するフィールドを選択します。有効なフィールドは、プロフィール識別タイプ コンポーネントで定義されます。
演算子	フィールド値をグループに含めるか、除外するかを定義します。有効な演算子は、 <i>equal to</i> 、 <i>greater than</i> 、 <i>greater than or equal to</i> 、 <i>is blank</i> 、 <i>is not blank</i> 、 <i>less than</i> 、 <i>less than or equal to</i> 、 <i>like</i> および <i>not like</i> です。
値	非個人プロフィールのデータの絞込みに使用する値を入力します。
グループの条件を追加	条件の行を追加する場合は、このリンクをクリックします。
プロフィール ロード	<p>プロフィール グループの作成 (JPM_BLD_GROUP) アプリケーション エンジン プロセスを実行し、定義されたグループ条件に基づいてメンバー リストを作成または再作成する場合は、このボタンをクリックします。このプロセスにより、グループ メンバー ページにグループ メンバーがロードされます。</p> <p>このアプリケーション エンジン プログラムは、「プロフィール ロード」ボタン PeopleCode によるオンラインと、プロセス スケジューラによるバッチ モードの両方で実行します。</p>

「プロフィール グループ - グループ メンバー」ページ

プロフィール グループのメンバーを定義するためにプロフィールを表示または追加するには、「プロフィール グループ - グループ メンバー」ページ (JPM_JP_GMEMB) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール グループ」、「グループ メンバー」

画像: 「プロフィール グループ - グループ メンバー」ページ

次の例では、「プロフィール グループ - グループ メンバー」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Profile ID	Description	Profile Type	Remove
100885	Admin Assistant	JOB	
100886	Analyst - Financial	JOB	
100887	Accountant	JOB	
100888	General Clerk	JOB	

「プロフィール グループ - グループ定義」ページで「プロフィール ロード」ボタンをクリックすると、「グループ メンバー」グリッドにデータが自動的にロードされます。このページでプロフィールを手動で入力することもできます。グループ条件に従ってプロフィール グループ メンバーを自動で再作成すると、手動でグループに行った変更はすべて失われます。

プロフィール グループ コンポーネントを保存すると、グループに対して追加または削除された各プロフィールの最終更新日時スタンプが更新されます。これにより、次の検索用索引のスケジューリング プロセスの差分実行で、そのプロフィールが自動的に選択されるため、索引プロフィール記入票を再作成できます。

検索フィールドは、特定のプロフィール ID またはプロフィール名の検索に使用します。

「**検索: 名称**」および「**検索: プロファイ** **検索するプロフィールの名称またはプロフィール ID を入力しま**
ル ID」 **ル ID**」

検索

検索フィールドに入力した名称または ID に基づいてプロフィール ID を検索する場合は、このボタンをクリックします。

プロフィール ID

プロフィール グループに追加するプロフィールを選択します。プロフィールの名称とプロフィール タイプのみでなく、必要に応じて従業員の名前と ID も自動的に表示されます。

プロフィールをグループに追加

グループに別のプロフィールを追加する場合は、このリンクをクリックします。

「プロフィール グループの作成」ページ

プロフィール グループの作成プロセスを実行してプロフィール グループを作成するには、「プロフィール グループの作成」ページ (RUNCTL_JPM_GROUPS) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール グループの作成」、「プロフィール グループの作成」

画像: 「プロフィール グループの作成」ページ

次の例では、「プロフィール グループの作成」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

このページは、プロフィール グループの作成プロセスの実行に使用します。RUNCTL_JPM_GRP レコードに、要求された作成または再作成対象のプロフィール グループが保存されます。

プロフィール グループ タイプ

作成または再作成するプロフィール グループ タイプを入力します。条件が定義されたプロフィール グループのみを選択できます。これは必須フィールドです。

プロフィール グループ ID

作成または再作成するグループ タイプのプロフィール グループ ID を入力します。このフィールドに対する入力は任意です。プロフィール グループが指定されない場合は、このプロフィール グループ タイプのすべてのグループが再作成されます。

プロフィール アクションの有効化

プロフィール アクションを有効にするには、プロフィール アクション (JPM_PROFILE_ACTION) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、プロフィール アクションの概要を示し、プロフィール アクションを有効にする方法について説明します。

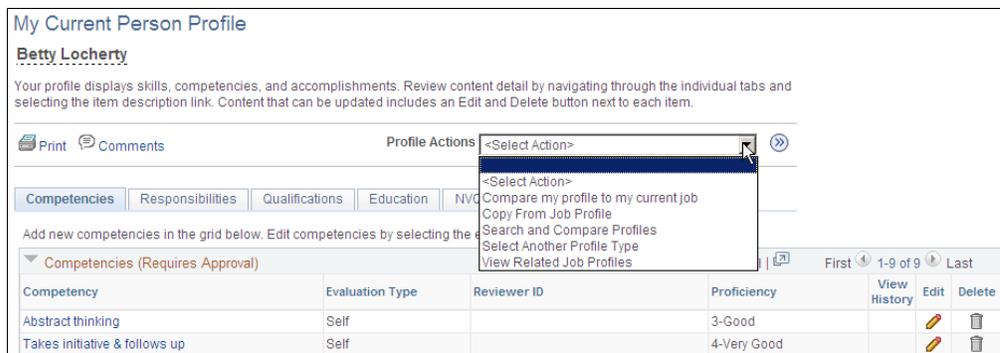
プロフィール アクションを有効化するために使用するページ

ページ名	定義名	用途
「プロフィール アクション」ページ	JPM_JP_ACTION	各ロールの個人または非個人プロフィール コンポーネント別にプロフィール アクションを有効化します。

プロフィール アクションについて

画像: ユーザーの「プロフィール アクション」ドロップダウン メニューの例

「プロフィール アクション」フィールドは、非個人プロフィール ページおよび個人プロフィール ページに表示されます。次の例に示すように、管理責任者、管理者および従業員はプロフィール ページから直接トランザクションを実行できます。



プロフィール アクション コンポーネントを使用して、アクション詳細を変更し、組織内のどのプロフィール管理ロール (管理責任者、管理者または従業員) が特定のアクションにアクセスできるかを制御します。この機能を使用すると、組織の方針に従ってプロフィール アクションの非表示/表示を設定できます。たとえば、組織がプロフィールの検索/比較トランザクションを使用しない場合は、プロフィール ロールごとにこのオプションを非表示にできます。

「プロフィール アクション」フィールドを表示するページ

「プロフィール アクション」フィールドは、システム全体を通して個人プロフィールおよび「非個人プロフィール」ページで使用できます。次の各ページに「プロフィール アクション」フィールドが表示されます。

管理責任者は、これらのページを使用してプロフィール データにアクセスできます。そのためには、「人材開発」、「プロフィール管理」、「Profiles」にナビゲートします。

- 個人プロフィール
- 非個人プロフィール

「[プロフィールの管理](#)」を参照してください。

従業員は、これらのセルフサービス ページを使用してプロフィール データにアクセスします。そのためには、「セルフサービス」、「研修/能力開発」にナビゲートします。

- 現在のマイ プロファイル
- マイ履歴プロフィール
- マイ任務プロフィール
- 任務プロフィールの確認

管理者は、これらの管理者セルフサービス ページを使用してプロフィール データにアクセスします。そのためには、「管理責任者セルフサービス」、「研修/能力開発」にナビゲートします。

- 現在のチーム プロファイル
- チーム プロファイル履歴
- 任務プロフィールの管理

「個人プロフィールの管理」(eDevelopment-人材開発) および 「任務プロフィールの表示と更新」(「eDevelopment-人材開発」) を参照してください。

標準のプロファイル アクション

次の表は、プロフィール管理ビジネス プロセスに標準で用意されているプロフィール アクションを示していますが、一部のアクションはすべてのプロフィール ロールまたはページで使用できません。

次の表は、「個人」プロフィール トランザクション ページで使用できるプロフィール アクションおよび次の トランザクションを実行できるプロフィール管理ロールの一覧です。

プロフィール アクション	用途	人事部門担当者用ページ	従業員セルフサービス ページ	管理責任者セルフサービス ページ
任務プロフィールからコピー	非個人プロフィールから従業員プロフィールにアイテムをコピーするには、「任務プロフィールからのアイテムのコピー」ページを使用します。このページには、従業員のアクティブな職務に関連するプロフィールがリストされています。	可	可	可

プロフィール アクション	用途	人事部門担当者用ページ	従業員セルフサービス ページ	管理責任者セルフサービス ページ
プロフィール グループの更新	プロフィールをプロフィール グループ別に分類するには、「プロフィール グループの更新」ページを使用します。このページを使用して、プロフィールの追加先となるプロフィール グループ タイプおよびプロフィール グループをリストします。	可	不可	不可
マイ プロフィールを現在の職務と比較	自分のプロフィールを任務プロフィールと比較します。複数の任務プロフィールが現在の任務に適用されている場合は、すべての適用可能な任務プロフィールのリストから比較する対象を選択します。	不可	可	不可
従業員プロフィールを現在の職務と比較	従業員のプロフィール アイテムを各自の任務プロフィール アイテムと比較します。複数の任務プロフィールが従業員に適用されている場合は、すべての適用可能な任務プロフィールのリストから比較する対象を選択します。	可	不可	可

プロフィール アクション	用途	人事部門担当者用ページ	従業員セルフサービスページ	管理責任者セルフサービス ページ
関連任務プロフィールの表示	従業員の職務データに関連する非個人プロフィールのリストを表示します。非個人プロフィールのうちどれが従業員に関連するかは、従業員の職務データレコードを検索して決定されます。従業員が複数の職務を持っている場合は、その個人のアクティブな職務すべてから、一致する非個人プロフィールがチェックされます。	可	可	可
プロフィールの検索/比較	「プロフィールの検索」ページで検索を選択および実行します	可	可	可

次の表は、「非個人」プロフィールトランザクション タイプに使用可能なプロフィール アクションの一覧です。

プロフィール アクション	用途	人事部門担当者用ページ	従業員セルフサービスページ	管理責任者セルフサービス ページ
プロフィール グループの更新	プロフィールをプロフィール グループ別に分類するには、「プロフィール グループの更新」ページを使用します。このページを使用して、プロフィールの追加先となるプロフィール グループ タイプおよびプロフィール グループをリストします。	可	不可	不可

プロフィール アクション	用途	人事部門担当者用ページ	従業員セルフサービスページ	管理責任者セルフサービス ページ
従業員の希望任務リスト	個人の希望任務リストに非個人プロフィールを追加するには、「個人検索 - 単純」ページを使用します。このページを使用して、希望任務リストを更新する従業員を検索します。	可	不可	可
希望任務リスト	希望任務リストに任務プロフィールを追加するには、「希望任務リストに追加 - 確認」ページを使用します。	不可	可	不可
プロフィールの検索/比較	「プロフィールの検索」ページで検索を選択および実行します	可	可	可

次の表は、「履歴」プロフィールトランザクション タイプに使用可能なプロフィール アクションの一覧です。

プロフィール アクション	用途	人事部門担当者用ページ	従業員セルフサービスページ	管理責任者セルフサービス ページ
別の指定日を表示	新規指定日の選択ページで新規指定日を指定して、特定の時間時点のプロフィール情報を表示します。	不可	可	可

「プロフィール アクション」ページ

ロールごとに個人プロフィールまたは非個人プロフィール コンポーネントでプロフィール アクションを有効にするには、「プロフィール アクション」ページ (JPM_JP_ACTION) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール アクション」、「プロフィール アクション」

画像: 「プロフィール アクション」ページ

次の例では、「プロフィール アクション」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Profile Actions						
Profile Action Security		Personalize	Find	First	1-13 of 13	Last
Profile Transaction Type	Description	Admin Access	Employee Access	Manager Access		
Historical	View As Of Another Date	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
Non-Person	Update Profile Groups	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
Non-Person	Express Interest for Employee	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
Non-Person	Express Interest	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
Non-Person	Search and Compare Profiles	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
Non-Person	Syndicate Profile	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
Non-Person	Import Profile Items	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
Person	Copy From Job Profile	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
Person	Update Profile Groups	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
Person	Compare my profile to my current job	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
Person	Compare employee profile to current job	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
Person	View Related Job Profiles	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
Person	Search and Compare Profiles	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		

注: このプロフィール アクション リストは、PeopleSoft 開発が管理します。このリストを変更するには、コード行を変更する必要があります。システムに標準で用意されているすべてのプロフィール アクションのリストは、「プロフィール アクションについて」トピックの「標準のプロフィール アクション」を参照してください。

「プロフィール アクションについて」を参照してください。

プロフィール トランザクション タイプをすべてのロールに使用することはできません。特定のロールに対してプロフィール トランザクションが許可されていない場合、そのロールのアクセス チェック ボックスは選択できません。

プロフィール トランザクション タイプ このトランザクションを使用できるプロフィール ページのタイプを識別します。これは、このテーブルの上位キー値でもあります。プロフィール管理のトランザクション タイプは次のとおりです。

- 個人
- 非個人
- 履歴

名称

「アクション タイプ」ドロップダウン リストに表示するテキストを表示または変更します。

「管理アクセス」(管理責任者アクセス) システムの管理責任者プロフィール ページでこのアクション タイプを「アクション タイプ」ドロップダウン リストに追加する場合に選択します。

従業員アクセス

システムの従業員セルフサービス プロファイル ページでこのアクション タイプを「アクション タイプ」ドロップダウン リストに追加する場合に選択します。

管理者アクセス

システムの管理者セルフサービス プロファイル ページでこのアクション タイプを「アクション タイプ」ドロップダウン リストに追加する場合に選択します。

注: <ロール> のアクセス チェック ボックスの選択を解除すると、「プロフィール アクション」ドロップダウン メニュー リストからプロフィール アクション オプションが削除されます。「プロフィール アクション」ドロップダウン メニュー リストのロールに対して表示できるすべてのオプションの選択を解除した場合、ページに「プロフィール アクション」フィールドは表示されません。

BI Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定

次の各トピックでは、BI Publisher のレポートとテンプレートの概要および前提条件のリストを示し、BI Publisher のレポートとプロフィールを設定する方法について説明します。

BI Publisher のレポートとテンプレートの表示および修正に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「定義」ページ	PSXPRPTDEFN	レポートのプロパティを表示し、データスキーマとデータソースをダウンロードまたは表示します。
「テンプレート」ページ	PSXPRPTTMPL	既存のテンプレートを表示または更新します。
設計ヘルパー ページ	PSXPSETUPDWNL	テンプレートの設計と修正を可能にするプラグインをダウンロードします。

BI Publisher のレポートとテンプレートについて

プロフィール管理では、PeopleTools の BI Publisher を使用して、コンテンツ カタログ リストのレポートを生成し、また個人プロフィールおよび非個人プロフィールのオンライン プロファイルおよびプロフィールレポートを生成します。

標準のレポート定義

次の表は、関連する RTF テンプレートの標準レポート定義とデータソースの一覧です。

レポート名	説明	データソースタイプ	データソース ID
JPM_CATI_RPT	コンテンツ アイテム レポート	PS クエリー	JPM_CONTENT_ITEMS
JPM_JPNP_RPT	非個人プロフィール バッチ	XML Doc	JPM_PROFILE
JPM_JPPP_RPT	個人プロフィール バッチ	XML Doc	JPM_PROFILE
JPM_NP_PROF	非個人プロフィール オンライン	XML Doc	JPM_PROFILE
JPM_PP_PROF	個人プロフィール オンライン	XML Doc	JPM_PROFILE

標準のデータソース

次の表では、標準の各データソースについて説明します。

データソース ID	説明
JPM_CONTENT_ITEMS	コンテンツ アイテム レポート専用の PS クエリー。
JPM_PROFILE	行セットにより構造化される BI ドキュメント。すべてのプロフィール レポートが同じデータ構造を使用します。このデータ構造にはすべてのデータ エLEMENTが含まれており、個人プロフィールと非個人プロフィールのどちらのレポート テンプレートにも使用できます。

標準のテンプレート

レポートのフォーマットとして、コンテンツとレイアウトを指定する 3 つのテンプレート ファイルが提供されています。

- コンテンツ アイテム レポート用のテンプレート
- オンラインとバッチ両方の個人プロフィール レポート用のテンプレート
- オンラインとバッチ両方の非個人プロフィール レポート用のテンプレート

ユーザーのレポート要件に応じて、標準のテンプレート ファイルを修正できます。各テンプレートの修正後には、対応するレポート定義にアップロードする必要があります。プロフィール レポートの 1 つのインスタンスを修正し、更新後の同じテンプレート ファイルを対応する両方のレポート定義に割り当てることができます。

「[「テンプレート」ページ](#)」を参照してください。

「[既存テンプレートの修正](#)」を参照してください。

プロフィール レポートのノード

次の表では、プロフィール レポートのレポート ノードについて説明します。

ノード	データ エLEMENTのサマリ
JPM_PROFILE	プロフィールに関連する上位データ エLEMENT。
JPM_IDENTITY_WK	プロフィール 識別タイプおよびプロフィール 関連先。
JPM_JP_SECTION	プロフィール タイプで定義されているセクション。
JPM_JP_CRITM_VW	プロフィールのセクションのプロフィール コンテンツ アイテム。コンテンツ タイプで使用されるかどうかにかかわらず、すべてのプロパティが含まれています。
JPM_CATITMAXD_VW	コンテンツ カタログでのコンテンツ アイテムの定義。コンテンツ タイプで使用されるかどうかにかかわらず、すべてのプロパティが含まれています。
RUN_PARAMETERS	レポートの生成に使用される条件。

詳細は、製品ドキュメントの『[PeopleTools: BI Publisher for PeopleSoft](#)』を参照してください。

関連リンク

[プロフィール レポートの実行](#)

[プロフィール管理について](#)

[コンテンツ カタログについて](#)

前提条件

BI Publisher レポートを使用するには、PeopleSoft インテグレーション ブローカーと PeopleSoft プロセス スケジューラを設定して、PeopleSoft レポート マネージャを導入する必要があります。

詳細は、製品ドキュメントの[PeopleTools: インテグレーション ブローカー](#)、『[PeopleTools: Process Scheduler](#)』および『[PeopleTools: BI Publisher for PeopleSoft](#)』を参照してください。

「テンプレート」ページ

既存のテンプレートを表示または更新するには、「テンプレート」ページ (PSXPRPTTMPL) を使用します。

ナビゲーション

レポート ツール, BI Publisher, 「レポート定義」, 「テンプレート」

画像: 「レポート定義 - テンプレート」ページ

次の例では、「レポート定義 - テンプレート」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Template' configuration interface. At the top, there are tabs for 'Definition', 'Template', 'Output', 'Properties', 'Security', and 'Bursting'. The 'Template' tab is active. Below the tabs, the 'Report Name' is set to 'JPM_JPNP_RPT'. The 'Template' section includes fields for 'Template ID' (JPM_JPNP_RPT_1), 'Description' (Non Person Profile ENG), '*Language Code' (English), and 'Channel'. A 'Default Template' checkbox is checked. Below this is the 'Template Files' section, which includes 'Effective Date' (01/01/1900), '*Status' (Active), and a 'Use Data Transform' checkbox. At the bottom, there is a 'Template File' field with the value 'Non-Person_Profile.rtf', and buttons for 'Upload', 'Preview', and 'Use Alt. XML'.

既存テンプレートの表示

テンプレート ファイル

新しいウィンドウで RTF テンプレートを開いたり、保存する場合、または選択した場所に RTF テンプレートを保存する場合は、このリンクをクリックします。

プレビュー

データソースに登録されているサンプル データを使用してレポートの例を表示する場合にクリックします。

注: 個人プロフィールのオンラインレポートとバッチレポートは、同じ個人プロフィール用テンプレート ファイルを共有します。同様に、非個人プロフィールのオンラインレポートとバッチレポートも、非個人プロフィール用テンプレート ファイルを共有します。

詳細は、製品ドキュメントの『*PeopleTools: BI Publisher for PeopleSoft*』を参照してください。

既存テンプレートの修正

既存テンプレートの末尾には、テンプレート作成後にコンテンツ タイプに追加したアイテムがあればその ID と名称を出力する 2 つのセクションがあります。新しいアイテムについてそれより詳細な情報を表示する場合には、テンプレートに追加のセクションを作成して、表示するデータを定義する必要があります。

レポートでは、オンライン表示用に設定したプロフィール タイプ定義に基づいて、プロフィールのタブ番号およびセクション連番の順で、コンテンツ アイテムがグループ化されて表示されます。テンプレートに新しいセクションを配置したかどうかにかかわらず、レポートでの表示順序はレポートのソート順で決定されます。レポートの表示順序を変更するには、ソートを編集する必要があります。新しいセクションを適切にソートするためには、レポートの運用ロジックで正しいループ内に追加することも必要です。

注: BI Publisher を十分に理解してから標準テンプレートを修正するようにしてください。

テンプレートを修正するための設定

既存テンプレート修正の準備をするには、次の手順に従います。

1. テンプレートを修正できるように、設計ヘルパー ページにアクセスし (レポート ツール, BI Publisher, 「設定」, 設計ヘルパー, 設計ヘルパー)、Microsoft Word 用のプラグイン設計ヘルパーを保存します。
2. 適切なレポート定義の定義ページにアクセスし (レポート ツール, BI Publisher, 「レポート定義」, 「定義」)、データ スキーマおよびサンプル データ ファイルをダウンロードする各リンクをクリックします。
3. 「テンプレート」ページ (レポート ツール, BI Publisher, 「レポート定義」, 「テンプレート」) で、テンプレート ファイル にある編集対象の既存の RTF テンプレートの行をクリックします。

テンプレートでの新しいセクションの作成

新しいセクションを作成するには、次の手順に従います。

1. `<?when: JPM_JP_SECTION.JPM_CAT_TYPE=.....end when?>` で定義されているセクション全体をコピーしてテンプレートに貼り付けます。
2. 追加するアイテムを識別するように、条件文を修正します。
3. レポートに表示するデータを識別するように、テーブルにフィールドを挿入します。
4. 変更後のテンプレートに任意のファイル名および .rtf ファイル拡張子を付けて (*.rtf) 保存します。

変更後のテンプレートのアップロード

変更したテンプレートをアップロードするには、次の手順に従います。

1. 「テンプレート」ページ (レポート ツール, BI Publisher, 「レポート定義」, 「テンプレート」) のテンプレート ファイル スクロール領域に、新しい有効日の行を追加します。

次のオプションを更新します。

有効日	このテンプレートを使用するレポートおよびプロファイルの印刷と表示を始める日付を入力します。
-----	---

ステータス	新しいテンプレートに、「アクティブ」ステータスを選択します。
-------	--------------------------------

2. 「アップロード」をクリックし、変更したテンプレート ファイルを選択します。
3. 最後の 2 つの手順を繰り返して、オンラインとバッチ両方のレポート定義に新しい定義を指定します。

詳細は、製品ドキュメントの『*PeopleTools: BI Publisher for PeopleSoft*』を参照してください。

プロフィールの検索/比較の設定

プロフィールの検索/比較について

プロフィールの検索/比較機能は、PeopleTools の一部として提供される SES 検索エンジンを使用して、プロフィールを検索および比較します。プロフィールの検索/比較を使用すると、従業員、管理者、プロフィール管理責任者は選択した検索条件に一致するプロフィールを検索することができます。検索は、プロフィール タイプとユーザーに対して設定します。検索タイプの例を次に示します。

- 従業員は、自分の個人プロフィールに一致する職務を検索できます。
- 管理者は、直属の部下を選択して、同じような能力を持つ他の直属または間接的部下をチームから検索できます。
- 管理者は、予定している人材募集のプロフィールに一致する直属または間接的部下を検索できます。
- プロフィール管理責任者は、任務プロフィールを選択して、同じような任務プロフィールを検索できます。

組織での検索タイプは、「検索設定の定義」ページで定義します。検索設定の上位キーは、オブジェクト オーナー ID、タブ アプリケーション ID および検索 ID です。オブジェクト オーナー ID を使用すると、PeopleSoft プロフィール管理の検索エンジンと他の製品を簡単に接続できます。プロフィール管理での検索には、「オブジェクト オーナー ID」フィールドで「HCMプロフィール管理」(JPM) を選択します。「サブアプリケーション ID」フィールドには、「後任計画」などの検索/比較プロセスを使用する他の製品を指定します。

各検索に定義する項目は次のとおりです。

- 検索を実行できるユーザー。

従業員、管理者、プロフィール管理責任者のうち 1 つまたは複数のロールに検索を設定できます。ユーザーが実行できるのは、ユーザーのロールに定義されている検索のみです。また、検索結果には、ユーザーが適切な権限を割り当てられているプロフィールしかリストされません。たとえば、管理者が人材募集に一致する従業員を検索する場合、検索結果にはその管理者の直属または間接的部下である従業員が含まれます。

- ソースおよびターゲットのプロフィール タイプ。

ソースおよびターゲットとは、検索で比較される 2 つのプロフィール タイプのことです。ソースは検索条件の基準となるプロフィール タイプであり、ターゲットは一致するプロフィールを検索する対象となるプロフィール タイプです。これらのプロフィール タイプは、コンテンツ タイプの共通セットを共有す

る必要があります。それ以外の場合、検索条件アイテムを入力することはできません。たとえば、従業員が自分の個人プロフィールに一致する職務を検索する場合、ソースがその従業員の個人プロフィールタイプになり、ターゲットが任務プロフィールタイプになります。また、個人プロフィールタイプと任務プロフィールタイプの両方で共有されるすべてのコンテンツタイプは、検索条件コンテンツセクションとして公開されます。

- 条件ルール。

「条件ルール」フィールドでは、検索の2つの側面を定義します。

- ユーザーが検索に選択したプロフィールに基づいて検索条件を自動的に設定するかどうか。

条件ルールとして「デフォルト値使用/変更可」または「デフォルト値使用/変更不可」を選択した場合、ユーザーが検索に選択したソースプロフィールを使用して検索条件が自動的に設定されます。

- ユーザーが検索条件を表示および調整できるかどうか。

条件ルールとして「デフォルト値使用/変更不可」を選択した場合、検索条件のページを表示せずに検索条件が自動的に設定され、検索が実行されます。それ以外の条件ルールを選択した場合は、検索条件のページが表示され、検索の実行前にユーザーが条件を調整できます。

- 検索クエリーから返されたプロフィールの最大数。

注: 検索可能なプロパティデータで特殊文字を使用すると、検索結果が誤ったものになる可能性があります。コンテンツタイプおよびコンテンツアイテムコードの特殊文字を処理するために特別な処理が追加されました。

次の表は、プロフィール管理責任者用としてシステムで用意されている検索設定の一覧です。

オブジェクトオーナー ID	サブアプリケーション ID	検索 ID
HCM プロフィール管理 (JPM)	該当なし	PERSON1 - 特定の資格を有する人物の検索
HCM プロフィール管理 (JPM)	該当なし	PERSON2 - この職務に適合する人物の検索
HCM プロフィール管理 (JPM)	該当なし	ADHOC3 - アドホック検索
HCM プロフィール管理 (JPM)	該当なし	JOB4 - 自分の資格に適合する職務の検索
HCM プロフィール管理 (JPM)	該当なし	JOB5 - チームメンバーの職務の検索
HCM プロフィール管理 (JPM)	該当なし	PERSON6 - チーム内の類似する人物の検索
HCM プロフィール管理 (JPM)	該当なし	PERSON7 - 特定の任務プロフィールのチームメンバーの検索

オブジェクト オーナー ID	サブ アプリケーション ID	検索 ID
HCM プロファイル管理 (JPM)	該当なし	JOB8 - 職務の検索
HCM プロファイル管理 (JPM)	該当なし	JOB16 - 個人の職務などの職務の検索
HCM プロファイル管理 (JPM)	該当なし	JOB17 - この個人の職務の検索
ヒューマン リソース管理 (Human Res)	後任計画	PLANINC - プロファイルが計画現職者に一致する人物
ヒューマン リソース管理 (Human Res)	後任計画	PLANJOB - プロファイルが計画/プール職務コードに一致する人物
ヒューマン リソース管理 (Human Res)	後任計画	PLANPOS - プロファイルが計画/プールポジションに一致する人物

注: NA とは、該当しないということです。

プロフィールの検索/比較では、プロフィール タイプ定義が基準となるため、プロフィール タイプによって検索結果がどう異なるかを理解することが重要です。ユーザーが検索を選択すると、次のように検索条件が作成されます。

1. 検索条件に含めるコンテンツ セクションを識別します。

ソースとターゲットのプロフィール タイプを比較し、どのコンテンツ セクションがソースとターゲットの両方に出現しているかを識別します。検索条件には、ソースとターゲットのプロフィール タイプに共通のコンテンツ セクションのみが含まれます。

2. 前のステップで識別された各コンテンツ セクションについて、検索条件に含めるプロパティを識別します。

ターゲット プロフィール タイプで検索可能と定義されたプロパティのみが含まれます。

「[プロフィール タイプの設定](#)」を参照してください。

検索条件の例

プロフィールの検索/比較の動作を示すために、プロフィール管理責任者が特定の任務プロフィールに一致する従業員を検索する例を考えてみます。この例では、次のようになります。

- ソース プロフィール タイプが *JOB*。
- ターゲット プロフィール タイプが *PERSON*。

JOB. プロフィール タイプには、次のコンテンツ セクションと、検索可能なプロパティがあると仮定します。

コンテンツ セクション	検索可能なプロパティ
コンピテンシー	JPM_CAT_ITEM_ID (コンピテンシー) JPM_RATING1 (目標能力レベル)
学位	JPM_CAT_ITEM_ID (学位) COUNTRY (国)
テスト/検査	JPM_CAT_ITEM_ID (テスト)
責務	JPM_CAT_ITEM_ID (責務) JPM_YN_2 (重要)

PERSON. プロファイル タイプには、次のコンテンツ セクションと、検索可能なプロパティがあると仮定します。

コンテンツ セクション	検索可能なプロパティ
コンピテンシー	JPM_CAT_ITEM_ID (コンピテンシー ID) JPM_RATING1 (能力レベル) JPM_INTEREST_LEVEL (関心レベル)
学位	JPM_CAT_ITEM_ID (学位) COUNTRY (国) MAJOR_CODE (専攻コード)
学歴	JPM_CAT_ITEM_ID (学歴) SCHOOL_CODE (学校コード) COUNTRY (国) AVERAGE_GRADE (平均成績)
テスト/検査	JPM_CAT_ITEM (テスト)

この例で、検索条件は次のとおりです。

コンテンツ セクション	プロパティ
コンピテンシー	JPM_CAT_ITEM_ID (コンピテンシー) JPM_RATING1 (目標能力レベル) JPM_INTEREST_LEVEL (関心レベル)
学位	JPM_CAT_ITEM_ID (学位) COUNTRY (国) MAJOR_CODE (専攻コード)
テスト/検査	JPM_CAT_ITEM_ID (テスト)

次の点に注意してください。

- 「責務」と「学歴」は、ソースかターゲットの一方のプロファイル タイプにしか存在しないコンテンツ セクションなので、検索条件には該当しません。
- 検索条件には、ターゲット プロファイル タイプで検索可能と定義されたプロパティのみが含まれています。
- 「検索条件」ページでは、ソースとターゲット両方のプロファイル タイプで定義されているプロパティについて、ソース プロファイル タイプで定義されているラベルが表示されます。

この例の場合、プロパティ JPM_RATING1 のラベルは、ソース プロファイル タイプで「目標能力レベル」、ターゲット プロファイル タイプで「能力レベル」です。ユーザーが検索を実行すると、「検索条件」ページにおける JPM_RATING1 フィールドのラベルは「目標能力レベル」となります。

重要度プロパティおよび必須プロパティ

「検索条件」ページでは、検索条件に含まれる各コンテンツ セクションに対して「重要度」(JPM_IMPORTANCE) および「必須」(JPM_MANDATORY) のプロパティが表示されます。ユーザーが次のように調整を可能なように、この 2 つのフィールドは自動的に追加されます。

- 「必須」チェック ボックスを使用すると、一致するプロファイルに存在する必要があるプロファイル アイテムをユーザーが指定できます。

プロフィール アイテムの「必須」チェック ボックスを選択すると、そのプロフィール アイテムを含み、かつ検索条件と同じプロパティ値を持つプロフィールのみが検索結果に含まれます。たとえば、検索条件に *0100 - Abstract Thinking* というアイテムが含まれ、そのアイテムの能力レベルが「良」である場合、このアイテムを必須に指定すると、検索結果には *0100 - Abstract Thinking* のアイテムと「良」に等しい能力レベルの両方を含むプロフィールのみが含まれることになります。アイテムがあっても能力レベルがこれより低いか高いプロフィールは、検索結果に含まれません。

コンテンツ セクション定義に「必須」プロパティが含まれる場合、プロフィールにおけるチェック ボックスの設定が検索条件のデフォルト値として使用されますが、ユーザーはそのデフォルトを変更できません。

- 「重要度」フィールドを使用すると、重要度が最高または最低であるプロフィール アイテムを定義できます。

検索を実行すると、SES エンジンが「重要度」フィールドを使用して、一致するプロフィールのランクを決定します。デフォルト値は「3 - 平均」ですが、ユーザーがこの値を変更できます。

条件ルールを「デフォルト値使用/変更不可」とし、ユーザーによる検索条件の変更を許可しない検索の場合は、自動的にデフォルトの重要度の値 (3 - 平均) が割り当てられます。

「[プロフィールの検索と比較](#)」を参照してください。

検索フィルタ

ターゲット プロファイル タイプに検索可能なプロフィール グループ タイプを設定している場合、「検索条件」ページには検索フィルタのリンクが追加されます。検索フィルタを使用すると、ユーザーが検索対象を特定のプロフィール グループ、勤務地、または希望出張地に絞り込むことができます。

この動作を示すために、次のような例を考えてみます。

- プロフィール グループ タイプ GLOBAL にプロフィール タイプ JOB が含まれている。
- GLOBAL に対するプロフィール グループは、REGION1、REGION2、REGION3。

JOB をターゲット プロファイル タイプとして検索する場合、ユーザーは検索フィルタのリンクを使用して REGION1、REGION2、REGION3 の中から 1 つまたは複数のプロフィール グループを選択します。検索結果は、選択したプロフィール グループに属するプロフィールに限定されます。検索フィルタの機能は、組織のプロフィール数が多い場合に特に役立ちます。

現在の勤務地と希望出張地のフィルタは、ターゲット プロファイルにこれらのコンテンツ セクションが含まれるように設定されている場合にかぎり、使用できます。

「[プロフィールの検索と比較](#)」を参照してください。

「[プロフィール グループ タイプとプロフィール グループの作成](#)」を参照してください。

検索の設定

ユーザーが使用する検索タイプの定義には、検索設定の定義コンポーネント (JPM_SRCH_CFG) を使用します。

このトピックでは、プロフィール検索タイプの設定方法について説明します。

検索タイプの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「 <u>検索設定の定義</u> 」ページ	JPM_SRCH_CFG	プロフィール検索タイプまたは従業員、管理者、プロフィール管理責任者を設定します。

「検索設定の定義」ページ

プロフィール検索タイプまたは従業員、管理者、プロフィール管理責任者を設定するには、「検索設定の定義」ページ (JPM_SRCH_CFG) を使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「検索設定の定義」、「検索設定の定義」

画像: 「検索設定の定義」ページ

次の例では、「検索設定の定義」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Define Search Configuration' page. At the top, it displays 'Object Owner ID HCM Profile Management' and 'Sub Application Id'. Below that, 'Search Id PERSON1' is shown. The 'Search Properties' section contains several fields: 'Source Profile' and 'Target Profile' both set to 'PERSON'; 'Search Name' set to 'Find people having certain qualifications'; 'Status' set to 'Active'; '*Criteria Rule' set to 'No Default, Display (Adhoc)'; and 'Display Max' set to '10'. At the bottom, there is a table titled 'Job Profile Management Roles' with columns for 'Role', a dropdown menu, and '+' and '-' buttons. The roles listed are Administrator, Employee, and Manager.

オブジェクト オーナー ID

「HCMプロフィール管理」を選択して、プロフィール管理の検索を表示および定義します。

サブ アプリケーション ID

このフィールドは、プロフィール検索では常に空白のままにします。プロフィール管理では使用しません。

検索 ID	このオブジェクト オーナー ID とサブ アプリケーション ID に対する一意の検索キーを入力します。
ソース プロファイル	検索条件の基準として使用するプロファイル タイプを選択します。
ターゲット プロファイル	一致するプロファイルを検索する対象となるプロファイル タイプを選択します。
検索名	この検索のわかりやすい名称を入力します。従業員、管理者、プロファイル管理責任者がプロファイルの検索/比較の種類を選択するとき、この検索名が表示されます。そのため、検索名は検索の内容を正確に表すものにしてください。
条件ルール	次のオプションの中から 1 つを選択します。 <i>デフォルト値使用/変更可</i> : ユーザーが選択するプロファイルのデータを使用して検索条件が自動的に設定され、「検索条件」ページに表示されます。このオプションでは、検索の実行前にユーザーが検索条件を調整できます。 <i>デフォルト値使用/変更不可</i> : ユーザーが選択するプロファイルのデータを使用して検索条件が自動的に設定され、すぐに検索が実行されます。 <i>デフォルト値なし/条件指定 (アドホック)</i> : 検索条件を設定せずに「検索条件」ページが表示されます。このタイプの検索では、ユーザーが最初から検索条件を設定する必要があるため、プロファイル タイプに関する知識が必要です。通常は、プロファイル管理責任者によるアドホック検索を実行可能にする場合に、このオプションを使用します。
最大表示件数 (最大表示件数)	検索クエリーから返されるプロファイルの最大数を入力します。たとえば、最大件数として 10 を指定すると、一致件数が 10 件より多い場合でも、検索クエリーは 10 件の結果のみを返します。検索結果でそれ以上のプロファイルを表示するには、「次へ」や「前へ」のリンクをクリックします。たとえば、「次へ」リンクをクリックすると、次の 10 件の検索結果 (結果ドキュメント 11 から 20 まで) が返されます (存在する場合)。
任務プロファイル管理ロール	検索にアクセスできるプロファイル管理ロールを追加します。オプションは、 <i>プロファイル管理者</i> 、 <i>管理者</i> および <i>従業員</i> です。

注: プロファイル タイプ設定でプロパティを検索可能とみなすときは、注意が必要です。検索のソースとターゲット プロファイルの両方にプロパティが同じ意味で定義されるように、このプロパティが含まれるタイプ検索を考慮する必要があります。

検索用索引の作成

次の各トピックでは、検索用索引と索引管理の概要および前提条件の一覧を示し、次の作業を行う方法について説明します。

- 直属部下テーブルの作成プロセスを実行します。
- 検索用索引の作成をスケジュールします。

検索用索引の作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「直属部下テーブル作成」ページ	RUNCTL_HR_DR	直属部下テーブル作成プロセスを実行して、単一のアクセス タイプまたはすべてのアクセス タイプの直属関係を構築します。これにより、すべての、または選択したアクセス タイプが完全にまたは差分でロードされます。 「直属部下機能の設定」(アプリケーションの基礎) 、 「直属部下機能の設定」(アプリケーションの基礎) および 「直属部下機能の設定」(「アプリケーションの基礎」) 。
「プロフィール グループの作成」ページ	RUNCTL_JPM_GROUP	プロフィール グループの作成プロセスを実行してプロフィール グループを作成します。 「プロフィール グループとプロフィール グループ タイプについて」 を参照してください。
検索定義のデプロイ ページ	PTSF_DEPLOY_SBO	個人プロフィールおよび非個人プロフィールの検索定義をデプロイします。
検索カテゴリのデプロイ ページ	PTSF_DEPLOY_CAT	個人プロフィールおよび非個人プロフィールの検索カテゴリをデプロイします。
検索用索引の作成ページ	PTSF_SCHEDULE_SI	個人プロフィールまたは非個人プロフィールの検索定義の SES 索引を作成するプロセスを実行します。

検索定義および検索カテゴリのデプロイおよび検索用索引の作成の詳細は、製品ドキュメントの『*PeopleTools: PeopleSoft Search Technology*』の PeopleSoft 検索フレームワークのコンテンツに関する項を参照してください。

検索用索引について

プロフィールの検索/比較では、インテグレーション ブローカー経由で Oracle SES (Secure Enterprise Search) エンジンを使用して、検索結果を生成し、一致するプロフィール間での比較を実行します。検索を実行する際、SES 検索エンジンはシステム内のプロフィールに関するデータを含んだ一連の索引を使用します。直接データベース テーブルを検索するわけではありません。

PeopleTools 検索フレームワーク (PTSF) は、SES 検索オブジェクトを作成します。SES は、PTSF 検索定義がマップされる SES ソース オブジェクトという形で索引の独自の定義を管理します。プロフィール管理用に 2 つの SES ソース オブジェクトがサポートされています。1 つのソース オブジェクトには個人プロフィール記入票が含まれ、もう 1 つには非個人プロフィール記入票が含まれています。

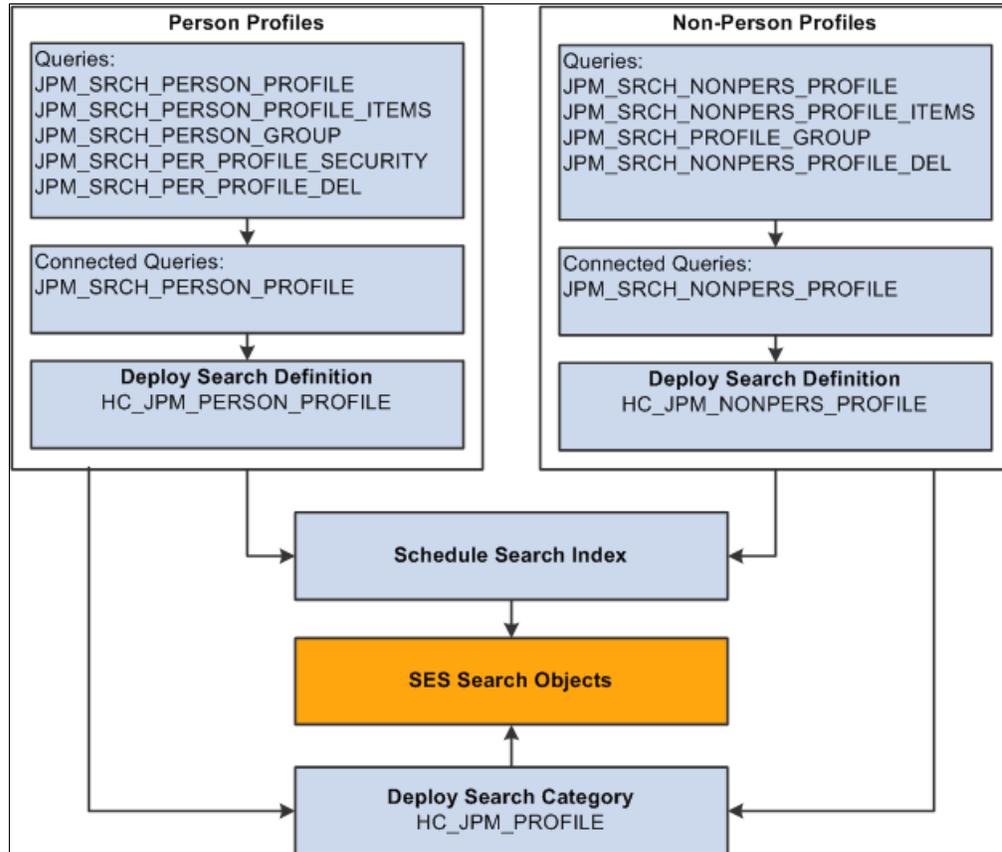
SES ソース オブジェクトを作成するには、次の一連の手順を実行します。

1. 検索定義をデプロイします。
 - 個人プロフィール検索定義
 - 非個人プロフィール検索定義
2. 検索用索引のスケジューリングを作成します。
 - 個人プロフィール検索定義用。
 - 非個人プロフィール検索定義用。
3. 非個人プロフィール記入票および個人プロフィール記入票を単一の検索可能オブジェクトに結合するプロフィール検索カテゴリをデプロイします。

警告 これは、プロフィールの検索/比較トランザクションに必要です。プロフィールの検索/比較プロセスでは、検索カテゴリを標準のまま使用する必要があるため、名前は変更しないでください。

画像: プロフィールの検索/比較のための索引管理プロセス

図は、クエリ、検索定義、検索カテゴリおよび検索用索引のスケジューリングが相互にどのように関連しているかを示しています。



注: 直属部下テーブル作成プロセスの完了後に段階的な検索用索引のスケジューリング プロセスが実行されるようにスケジュールすることをお勧めします。

直属部下テーブル作成

直属部下テーブルの作成プロセスは、プロフィール検索および比較プロセスに使用されている現在の情報で管理者の直属部下を更新して、直属部下テーブルを管理します。

注: 直属部下テーブル作成プロセスは、プロフィールの検索/比較トランザクションの管理者セキュリティを作成するために必要です。管理責任者セルフサービスとしてプロフィールの検索/比較トランザクションを使用しない場合には、このプロセスは必要ありません。SES プロフィール索引の差分更新では、「プロフィール管理インストール設定」ページに指定されている「アクセス タイプ」の値に基づいて作成される管理者階層を活用します。最新の組織変更を取得するには、任意の間隔で直属部下テーブル作成プロセスを実行するようにスケジュールする必要があります。

「[直属部下機能の設定](#)」(「[アプリケーションの基礎](#)」)を参照してください

次の表に示すように、直属部下テーブル作成プロセスを差分モードで実行すると、関連する職務レコードの管理者リスト情報しか更新されません。

個人 ID	雇用レコード番号	更新後の管理者データ
12000	1	レコード 1 の直属関係の管理者データ。
12000	2	レコード 2 の直属関係の管理者データ。

検索定義と検索カテゴリのデプロイ

エンドユーザーが検索用索引に対してプロフィール検索および比較プロセスを実行できるようにするには、プロフィール管理検索定義 (HC_JPM_PERSON_PROFILE および HC_JPM_NONPERSON_PROFILE) を SES 検索エンジンにデプロイする必要があります。検索定義を SES にデプロイした後、カテゴリを使用して、論理的な管理しやすいグループ内に検索定義をグループ化します。

このためには、「PeopleTools」、検索フレームワーク、管理、「オブジェクトのデプロイ/削除」コンポーネントにナビゲートし、次の手順を実行します。

1. 検索定義のデプロイ ページから次の検索定義の 1 つまたは複数を選択し、「配属」を選択します。
 - HC_JPM_NONPERSON_PROFILE
 - HC_JPM_PERSON_PROFILE
 - HC_JPM_PROFILES
2. 検索カテゴリのデプロイ ページにアクセスし、検索カテゴリを選択してデプロイします。

検索フレームワークにデプロイされたオブジェクトに対する検索リクエストをエンドユーザーが送信するには、先に検索用索引を作成する必要があります。索引を作成する前には、デプロイした検索定義に検索可能なデータは含まれていません。このため、個々の検索定義ごとに検索用索引を作成する必要があります。

検索用索引の作成ページから 1 つまたは複数の検索定義に対して検索用索引の作成を起動します。

検索のスケジュール プロセス

検索用索引のスケジュールリング アプリケーション エンジン プロセス (PTSF_GENFEED) は、個人プロフィール タイプまたは非個人プロフィール タイプの索引を作成します。個人プロフィール タイプの索引を作成する場合は、検索定義 HC_JPM_PERSON_PROFILE を選択します。非個人プロフィール タイプの場合は、検索定義 HC_JPM_NONPERSON_PROFILE を選択します。次の場合のプロフィール タイプに対しては、索引を作成できません。

- 非アクティブである。

- エンド プロファイル タイプではない。

プロファイル タイプを設定する際、「プロファイル タイプ - 属性」ページで、そのプロファイル タイプがエンド プロファイルかどうかを指定することができます。標準の CLUSTER プロファイル タイプは、エンド プロファイルでないプロファイル タイプの例です。

- 検索可能なプロパティを持っていない。

プロファイル タイプのコンテンツ セクションを設定するときは、索引に含めるプロパティの「検索可能」チェック ボックスを選択します。どのコンテンツ セクションにも検索可能なプロパティがない場合、索引を作成することはできません。

このプロセスでは、プロファイル タイプ定義を使用して、索引に含めるプロパティ情報を決定します。索引の対象として選択されるのは、プロファイル タイプで検索可能と定義されたプロパティのみです。アクティブなプロファイル、そのプロファイル内のアクティブなプロファイル アイテム、および検索可能なプロパティが取得され、索引に追加されます。プロファイル タイプが「個人」のプロファイル タイプの場合、検索用索引のスケジューリング プロセスはプロファイルに関連付けられた個人 ID の管理者階層データおよび行レベル セキュリティを取得します。検索可能と定義されているプロファイル グループ タイプに属するプロファイル タイプの場合は、そのプロファイル グループも索引に追加されます。

このプロセスで作成される索引は、データベースとは別のものです。ある時点におけるデータベースのスナップショットであるため、定期的に索引を更新しないかぎり、データベース内のプロファイルとの同期は維持されません。

検索用索引のスケジューリングを実行すると、アプリケーション エンジン プロセス PTSF_GENFEED が XML フィードを生成し、検索エンジンにスケジュールを作成します。続いて検索エンジンが XML フィードをクロールし、検索用索引を作成します。

コードのみの索引が作成され、関連付けられた説明の索引は作成されないため、検索は言語に依存しません。たとえば、ユーザーがコンテンツ アイテム ID 1000 のコンピテンシー予測を検索する場合、検索クエリーはアイテム ID 1000 を検索し、予測という用語は検索しません。

索引の管理について

索引は、直属部下テーブル作成、プロファイル グループの作成、検索用索引のスケジューリングの各プロセスを最後に実行した日付現在のプロファイル データおよびセキュリティのスナップショットを表します。プロファイルの検索/比較で正確な結果を得られるように、これらのプロセスを定期的に行い、索引とそのセキュリティを更新してください。

検索用索引のスケジューリング プロセスを次の 2 つのモードで実行できます。

- **全索引:** 選択した検索定義の索引を作成または再作成します。
- **増分索引:** プロファイル更新日時スタンプ (LASTUPDDTM) に基づいて、既存の索引のプロファイル記入票を更新します。最後の差分実行以降にプロファイルを更新した場合は、このプロファイルを選択して索引の作成をやり直します。

このプロセスは、プロフィール更新の頻度と最新の情報を検索する必要性とのバランスを考慮した頻度に従って実行します。このプロセスは、すぐに実行することも、プロセス スケジューラを使用してシステムの利用負荷が低いときに定期的に行うようにスケジュールすることもできます。

次のいずれかの変更を加えた場合は、全索引 モードを使用して検索用索引のスケジュールリング プロセスを実行します。

- 検索可能なプロパティを持つ新しいプロフィール タイプを定義した。
- 「検索可能」チェック ボックスを選択したプロパティがある。

検索可能ではなかったプロパティで「検索可能」チェック ボックスを選択した場合は、そのタイプのプロフィールに対する索引にこのプロパティを追加するために索引を再作成する必要があります。

- 「優先順位」フィールドを変更したインスタンス識別子がある。

プロフィール索引の管理プロセスでは、プロフィール タイプのコンテンツ セクションにインスタンス識別子を関連付けるとき、優先順位のフィールドを使用して索引に追加するプロフィール アイテム行を決定します。優先順位が最も高く、同じ優先順位のうち有効日が最も新しい行が索引の対象として選択されます。

- 管理者の部下またはプロフィール管理責任者の行レベル セキュリティに影響する大規模な組織再編が行われた。

検索用索引のスケジュールリング プロセスで、プロフィールの行がどのように索引対象として選択されるかを示すために、評価タイプを識別するインスタンス識別子セットを定義してある例について説明します。次の表は、インスタンス識別子の値とそれに関連付けられた優先順位の一覧です。

インスタンス識別子	説明	優先順位	検索対象
A	承認済	10	Y
R	監督者/管理者	20	Y
S	本人	30	Y

注: 「優先順位」フィールドの値が大きいほど、優先順位は低くなります。この例では、優先順位の最も高いインスタンス識別子が A で、最も低いのが S です。

この例で、従業員のプロフィールにはコンピテンシー 0010、0200、0120 に対する 3 つのプロフィール アイテムがあります。次の表は、そのプロフィール アイテム行の一覧です。

コンピテンシー	日付	能力レベル	評価タイプ
0010	2009 年 5 月 1 日	3 - 良	A
0010	2009 年 6 月 21 日	4 - 優	S

コンピテンシー	日付	能力レベル	評価タイプ
0200	2009年6月21日	4 - 優	S
0200	2009年6月21日	5 - 専門	R
0120	2009年1月30日	2 - 可	A
0120	2009年5月1日	2 - 可	A

次の表は、このプロフィールで索引に追加される行の一覧です。

コンピテンシー	日付	能力レベル	評価タイプ
0010	2009年5月1日	3 - 良	A
0200	2009年6月21日	5 - 専門	R
0120	2009年5月1日	2 - 可	A

次の点に注意してください。

- コンピテンシー 0010 の場合、有効日は 2009 年 6 月 21 日という日付の行の方が最新ですが、優先順位はインスタンス識別子 (A) の方が高い (値が最小) ので、その行が選択されています。
- コンピテンシー 0200 の場合、2 つの行の有効日が同じです。この場合、優先順位の最も高いインスタンス識別子 (R - 監督者/管理者) を割り当てられた行が選択されます。
- コンピテンシー 0120 の場合、有効日が新しい行が選択されています。

注: プロンプトレコードによって定義されるインスタンス識別子は検索可能ではないため、索引には追加されません。

「インスタンス識別子の定義」を参照してください。

個人プロフィールの SES プロファイル記入票のセキュリティについて

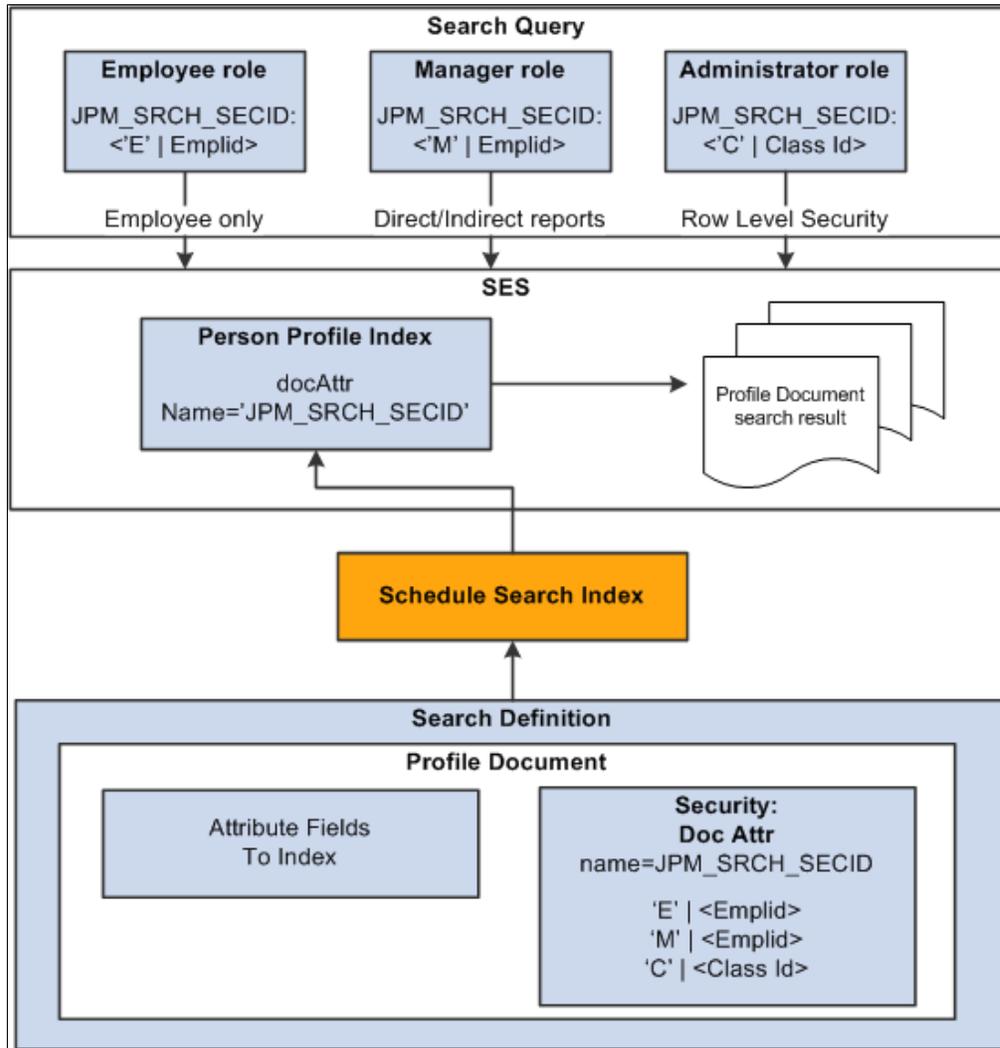
個人プロフィールには、記入票レベルのセキュリティが存在します。管理責任者は、HCM 行レベル セキュリティの範囲でのみ、従業員のプロフィールを表示できます。管理者は、直属の部下および間接的部下のプロフィールのみを表示できます。従業員は、自分のプロフィールのみを表示できます。

「管理者アクセス」従業員 ID および「管理責任者アクセス」クラス ID のリストは、JPM_SRCH_SECID という単一の記入票セキュリティ属性にマージされます。個人プロフィール索引に対して検索を実行する

と、クエリーを発行するプロフィール管理ロールに基づいて、このセキュリティ属性が自動的に絞り込まれます。

画像: 個人プロフィールの SES セキュリティ

次の図は、記入票レベルのセキュリティがセキュリティ属性をプロフィール記入票に追加する方法と、検索クエリーから返された記入票のセキュリティ属性と照合する値リストを SES が自動的に適用する方法を示しています。



前提条件

検索用索引のスケジューリング プロセスを実行する前に、「プロフィール管理インストール設定」ページで「監督者ナビゲーション メソッド」フィールドを定義し、少なくとも指定したそのアクセス タイプに対して直属部下テーブル作成プロセスを実行する必要があります。「監督者ナビゲーション メソッド」フィールドの値によって、組織の直属関係 (アクセス タイプ) を指定します。

検索用索引のスケジューリング プロセスを実行する前に、コンテンツ カタログの設定、プロフィール タイプの定義、インテグレーション ブローカーの設定が必要です。

検索フレームワークの詳細は、製品ドキュメントの『*PeopleTools: Search Technology*』を参照してください。

関連リンク

[コンテンツ カタログについて](#)

[プロフィール管理について](#)

「直属部下テーブル作成」ページ

直属部下テーブル作成プロセスを実行し、単一のアクセス タイプまたはすべてのアクセス タイプの直属関係を構築するには、「直属部下テーブル作成」ページ (RUNCTL_HR_DR) を使用します。これにより、すべての、または選択したアクセス タイプが完全にまたは差分でロードされます。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「共通定義」, 「直属部下」, 「直属部下テーブル作成」, 「直属部下テーブル作成」

画像: 「直属部下テーブル作成」ページ

次の例では、「直属部下テーブル作成」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

作成モード

次のモードの中から 1 つを選択します。

完全 - 全データ再作成: 完全な組織階層を作成します。プロセスにより既存のデータは上書きされます。

差分 - 現在の日付更新: 組織階層が変更された箇所を検出し、表でその変更を更新します。

アクセス方法

[「プロフィール管理インストール設定」ページ](#)で定義していたアクセス方法を選択します。

関連リンク

「直属部下機能の設定」(「アプリケーションの基礎」)

検索用索引の作成ページ

個人プロフィールまたは非個人プロフィールの SES 索引を作成するプロセスを実行するには、検索用索引の作成ページ (PTSF_SCHEDULE_SI) を使用します。

ナビゲーション

「PeopleTools」、検索フレームワーク、「管理」、「検索用索引のスケジューリング」、検索用索引の作成

画像: 検索用索引の作成ページ

次の例では、検索用索引の作成ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

検索定義

非個人プロフィールの *HC_JPM_NONPERSON_PROFILE* を選択するか、または個人プロフィールの *HC_JPM_PERSON_PROFILE* を選択します。

注: このプロセスを実行する前に、これらの検索定義をデプロイする必要があります。

索引タイプ

次の値の中から 1 つ選択します。

全索引: 選択した検索定義の新しい索引を作成します。

増分索引: 選択した検索定義の既存の索引を更新します。

言語オプション

関連する言語データの索引を作成しないため、常に「基本言語」オプションを選択してください。

プロフィール管理

プロフィール管理について

次の各トピックでは、プロフィール管理責任者が次のことを実行できるようにする、プロフィール管理のオプションについて説明します。

- 個人プロフィールと非個人プロフィールの作成。

個人プロフィールは個人の ID にリンクしたプロフィールであり、非個人プロフィールは職務コードやポジション、給与等級などのビジネス エンティティを表します。これらの変更を実行するには、プロフィール ページに直接アクセスするか、またはスマート HR トランザクションのコンポーネントを使用して、個人プロフィールを追加または更新します。

- プロフィール変更の確認と承認。

プロフィール タイプの設定によっては、従業員が自身の個人プロフィールを更新したときや、管理者が非個人プロフィールを変更したとき承認ワークフローがトリガされます。通常は、管理者が従業員の個人プロフィールへの変更を承認し、プロフィール管理責任者が非個人プロフィールの変更を承認します。

- 特定の条件に一致するプロフィールの検索の実行。

プロフィール管理責任者、管理者および従業員は、プロフィールの検索/比較を使用して、設定された検索タイプの任意の検索を実行します。

- プロフィールの比較。

プロフィール管理責任者は、1つのソースプロフィールと1つ以上のターゲットプロフィールのコンテンツを比較できます。プロフィールの比較オプションでは、共通するコンテンツ セクションのサマリが読みやすいフォーマットで提供され、各コンテンツ アイテムの適合の程度を示すスコアも提示されます。

- 希望任務リストの管理。

希望任務リストとは、従業員に関連付けられている非個人プロフィールの集まりです。希望任務リストにはどのようなプロフィールでも追加できますが、従業員が応募に関心を持っている職務や、従業員のプロフィールに一致する職務の識別に使用されるのが一般的です。従業員は、セルフサービス トランザクションを使用して自身の希望任務リストを管理します。ただし、従業員の管理者やプロフィール管理責任者も希望任務リストに対してプロフィールの追加や削除を行うことができます。

- 研修の追跡管理。

プロフィール管理責任者は、プロフィール管理を使用して、教育・研修管理ビジネス プロセスで管理される研修の研修履歴にアクセスすることができます。またプロフィール管理を使用すると、教育・研修管理で管理されない外部の研修も追跡できます。

従業員と管理者のセルフサービストランザクションの詳細は、「[eDevelopment-人材開発](#)」を参照してください。

関連リンク

「スマート HR テンプレートおよびトランザクションの使用方法」(「PeopleSoft ヒューマン リソース管理人事・労務管理」)

「個人プロフィールの管理」(「eDevelopment-人材開発」)

「任務プロフィールの表示と更新」(「eDevelopment-人材開発」)

前提条件

プロフィール管理責任者がプロフィールの作成、プロフィール変更の承認、プロフィールの検索を行う前に、次の作業が必要です。

- コンテンツ カタログを定義します。
- プロファイル タイプを定義します。
- (オプション) プロファイルを使用してスマート HR テンプレートを設定します。
- (オプション)。プロフィール承認を定義および設定します。

プロフィールの承認処理の使用は任意です。承認ワークフローをプロフィール タイプに関連付けます。

- 検索クエリーを設定し、プロフィールの検索/比較機能に必要な直属部下テーブル作成と検索用索引のスケジューリングのプロセスを実行します。

関連リンク

[コンテンツ カタログについて](#)

[プロフィール タイプの設定](#)

「スマート HR テンプレートの設定」(「PeopleSoft ヒューマン リソース管理人事・労務管理」)

[プロフィールの検索と比較](#)

「承認について」(「アプリケーションの基礎」)

プロフィールの管理

次の各トピックでは、プロフィールとプロフィール タイプ、プロフィールのコピー、インポート、シンジケートの概要および前提条件と共通の要素のリストを示し、プロフィールを管理する方法について説明します。

プロフィールの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>「個人プロフィール」ページ</u>	JPM_PROFILE_PERS	個人プロフィールを作成および更新します。
<u>「スマート HR テンプレートおよびトランザクションの使用」ページ</u> (「PeopleSoft ヒューマン リソース管理人事・労務管理」)	HR_TBH_EULIST	Smart HR ページを使用して個人プロフィールを追加または更新するには、プロフィール関連のテンプレートに関連付けられているテンプレートまたは個人を選択します。 スマート HR テンプレートおよびトランザクションの使用の詳細は、「スマート HR テンプレートおよびトランザクションの使用」ページ (「PeopleSoft ヒューマン リソース管理人事・労務管理」) を参照してください。
<u>「非個人プロフィール」ページ</u>	JPM_PROFILE1	非個人プロフィールを作成および更新します。
<u>「プロフィールの検索」ページ</u>	JPM_SRCH_TRANSFER	プロフィール管理責任者に定義されているプロフィール検索クエリがリストされます。実行する検索クエリを選択します。
<u>「プロフィール グループの更新」ページ</u>	JPM_UPD_GROUP_SEC	プロフィールのプロフィール グループを追加および更新します。
<u>「プロフィール コメント」ページ</u>	JPM_PROF_INFO_SEC	コメントや非個人プロフィールのオーナー ID など、追加のプロフィール情報を入力します。
<u>「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」ページ</u> 、「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページまたは「表示 - <コンテンツ タイプ>」ページ	JPM_PROF_DTL_SEC	プロフィール アイテム詳細を追加、更新および表示します。
<u>「コンテンツ アイテム詳細」ページ</u>	JPM_CAT_ITEMS_DSP	特定のコンテンツ アイテムに関する詳細を表示します。

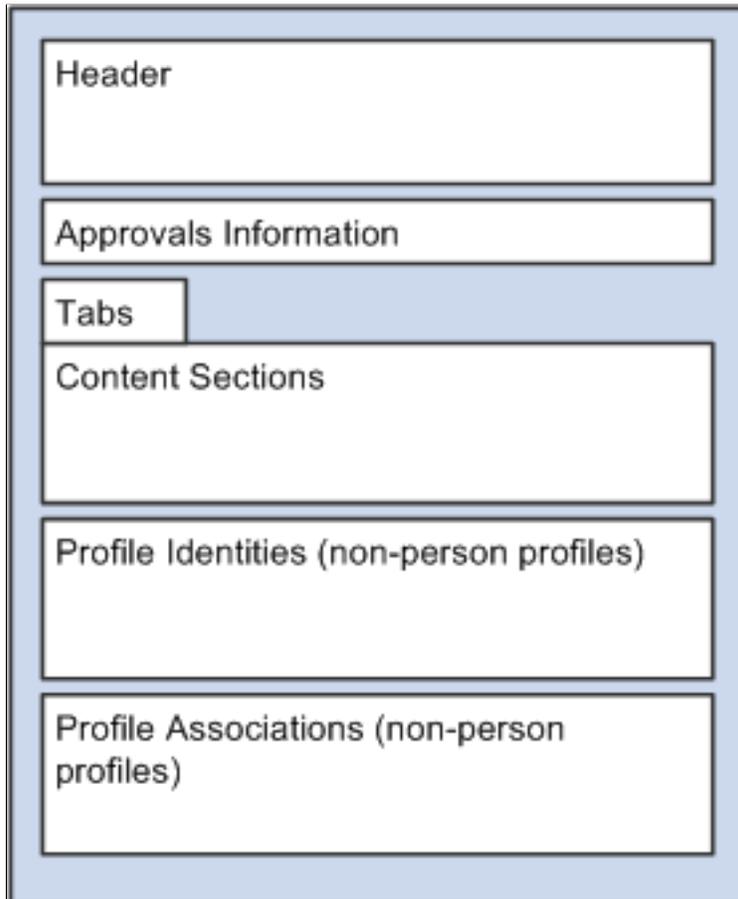
ページ名	定義名	用途
「評価モデル」ページ	HCR_RATEMDL_POPUP	選択したプロフィール アイテムの評価モデルの詳細が表示されます。更新または新規追加ページからこのページにアクセスすると、評価を変更することもできます。
「更新 - <関連するコンテンツ アイテム>」ページ	JPM_PROF_DETAIL	選択したプロフィール アイテムに関連するプロフィール アイテムを追加、更新、表示します。
「プロフィール アイテム履歴の表示」ページ	JPM_PROF_HIST_SEC	有効日が異なるプロフィール アイテム行を表示します。
「アイテム送信待ち」ページ 「承認待ちアイテム」ページ 「却下アイテム」ページ	JPM_JP_PRF_VW_CHGS	承認のための送信待ち、承認待ち、または承認を却下されたプロフィール アイテムをリストします。承認のために送信されたアイテムは、承認されるまで変更できません。送信待ちのアイテムは削除できますが、更新することはできません。
「表示 - <コンテンツ タイプ>」ページ	JPM_APR_DTL_SEC	プロフィール アイテムの詳細を表示します。
「任務プロフィールからのアイテムのコピー」ページ	JPM_COPY_PROFL_SEC	プロフィール アイテムのコピー元として選択できる任務プロフィールのリストを表示します。プロフィール アイテムのコピー元プロフィールを選択して、「選択」ボタンをクリックします。選択したプロフィール アイテムが、従業員のプロフィールに追加されます。任務プロフィールが1つしか存在しない場合は、そのアイテムがプロフィールに自動的にコピーされ、コピーされたアイテム数を示すメッセージが表示されます。
「プロフィールの選択」ページ	JPM_JP_REL_PRF_EMP	従業員の職務データに関連する任務プロフィールのリストを表示します。表示したいプロフィールを選択して「続行」ボタンをクリックします。「非個人プロフィール」ページが表示されます。
「個人検索 - 単純」ページ	HR_PSS_SEARCH	個人を検索し、選択します。
「プロフィールのシンジケート」ページ	JPM_PROF_SYND_SEC	シンジケートのソース プロフィールとターゲット プロフィールを表示します。シンジケートされたコンテンツをこのページで追加または削除することもできます。

ページ名	定義名	用途
<u>「プロフィールのシンジケート」ページまたは「プロフィール アイテムのインポート」ページ</u>	JPM_PROF_SRCH_SEC	コンテンツのインポート元またはシンジケート元のプロフィールを選択します。
<u>「プロフィール識別タイプ」ページ</u>	JPM_JP_PID_SEC	プロフィールに関連付けられたプロフィール識別タイプを追加または編集します。
<u>「プロフィール関連先」ページ</u>	JPM_JP_ASSC_SEC	プロフィールのプロフィール関連先を追加または更新します。
<u>「個人プロフィール - 変更サマリ」ページ</u>	JPM_JP_PERSUMM_SEC	個人プロフィールに行った、承認が必要な変更のリストを表示します。承認者へのコメントを入力することもできます。承認のために変更を送信する場合は「送信」ボタンをクリックします。「個人プロフィール」ページに戻り、アイテムを承認のために送信しない場合は、「キャンセル」をクリックします。これらのアイテムは、承認のために送信して承認されるまで、他のプロセスで使用できません。
<u>「非個人プロフィール - 変更サマリ」ページ</u>	JPM_JP_NPSUMM_SEC	非個人プロフィールに行った、承認が必要な変更のリストを表示します。承認者へのコメントを入力することもできます。承認のために変更を送信する場合は「送信」ボタンをクリックします。「非個人プロフィール」ページに戻り、アイテムを承認のために送信しない場合は、「キャンセル」をクリックします。
<u>「送信の確認」ページ</u>	JPM_JP_PROFL_APPR	送信された変更の確認メッセージを表示します。「承認状況」グループ ボックスに承認パスのサマリが表示されます。ここでは、承認者の数と、承認の順番が示されます。
<u>「シンジケート例外」ページ</u>	JPM_JP_SYND_EXCI	プロフィールのシンジケート例外を表示します。シンジケート例外は、複数のソースプロフィールからコンテンツ アイテムをシンジケートする際に、各ソースプロフィールからのプロパティ値が異なる場合に発生します。
<u>「例外の詳細」ページ</u>	JPM_JP_SYND_EX_SEC	例外の発生したプロフィール アイテムの詳細を表示します。

プロフィールとプロフィール タイプについて

画像: プロフィール ページのフォーマット

プロフィール管理責任者は、「個人プロフィール」ページと「非個人プロフィール」ページを使用してプロフィールを作成および管理します。どちらのページもフォーマットは似ています。次の図とそれに続く本文で、これらのページの構成要素について説明します。



プロフィールの各部分について次に説明します。

- ヘッダー。

ヘッダーには、プロフィール ID、プロフィール タイプ、プロフィール ステータス、有効日などの一般情報が表示されます。個人プロフィールの場合、ヘッダーに個人 ID も含まれます。

- 承認情報。

このセクションには、保存済 (ただし承認のために送信されていない)、承認待ち、承認済、却下の各プロフィール アイテムの数を示すリンクがあります。

注: プロフィール ページのコンテンツ セクションには、承認済アイテムのみが表示されます。まだ承認されていない新しいプロフィール アイテム、既存アイテムへの変更、削除はコンテンツ セクションに表示されません。未承認の変更を表示するには、プロフィールのこの領域にあるリンクを使用します。

- タブ。

プロフィールは、タブ別にグループ化されます。タブを選択すると、そのタブに定義されているコンテンツセクションが表示されます。プロフィールに表示されるタブの名称と順序は、プロフィールタイプによって決まります。

- コンテンツセクション。

タブは1つ以上のコンテンツセクションで構成されています。コンテンツセクションは、プロフィールタイプによって定義されています。ユーザーは、コンテンツセクションにプロフィールアイテムを追加できます。

- プロファイル識別タイプ (非個人プロフィールのみ)。

「非個人プロフィール」ページでは、「プロフィール識別タイプ」グリッドに、プロフィールのリンク先であるエンティティがリストされます。使用可能なプロフィール識別タイプは、選択したプロフィールタイプによって決まります。たとえば、プロフィールタイプで職務コードとプロフィールとのリンクが許可されている場合、ユーザーはプロフィールの職務コードに行を挿入できますが、プロフィールをポジション番号にリンクすることはできません。アクティブなプロフィールは、少なくとも1つのプロフィール識別タイプにリンクされている必要があります。

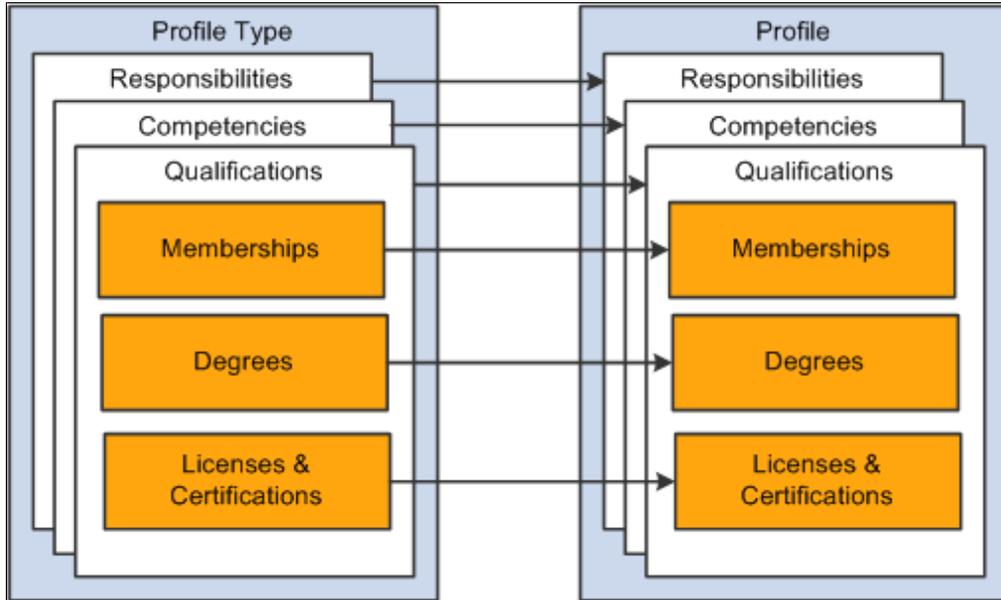
- プロファイル関連先 (非個人プロフィールのみ)。

「非個人プロフィール」ページでは、「プロフィール関連先」グリッドに、プロフィールの関連先であるエンティティがリストされます。プロフィール関連先とは、ePerformance-パフォーマンス管理のテンプレ-

トのように、プロフィール管理ビジネス プロセス外部のエンティティです。使用可能なプロフィール関連先は、プロフィール タイプによって定義されます。

画像: プロファイル タイプは、プロフィールのタブとコンテンツ セクションのテンプレートとして機能します

次の図は、プロフィールのタブとコンテンツ セクションが、プロフィール タイプのタブとコンテンツ セクションによってどのように定義されるかを示しています。この例では、プロフィール タイプ内の 3 つのタブと、タブ内のコンテンツ セクションが、関連するプロフィールに自動的に定義されています。

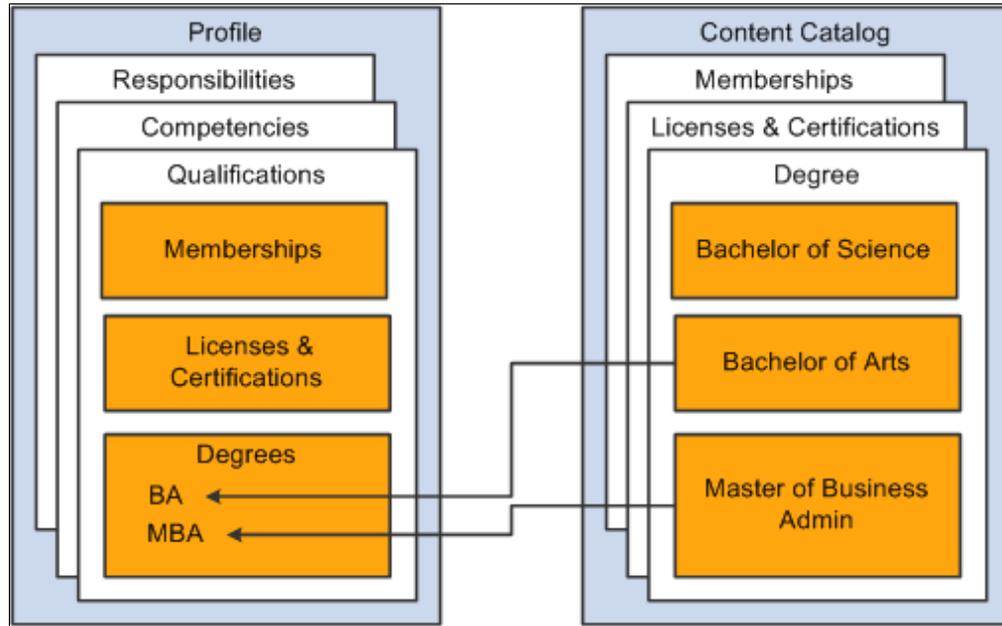


プロフィール タイプはプロフィールの構造を提供するもので、実際のコンテンツは含んでいません。プロフィールを作成するには、コンテンツ カタログで使用可能なコンテンツ アイテムを選択することによって、コンピテンシーや学歴情報などのプロフィール アイテムを追加します。

注: コンテンツ アイテムとそのデータ (コンテンツ アイテム ID 以外) の構造は、プロフィール アイテム構造に影響を与えません。

画像: コンテンツ カタログからアイテムを選択してプロフィールに追加

次の図は、コンテンツ カタログで定義されている理学士、文学士、経営学修士などの学位から選択して「学位」のコンテンツ セクションを完成する方法を示したものです。



注: プロファイルの更新時に承認ワークフローがトリガされるかどうかと、プロフィールの各セクションをどのプロフィール管理ロールが表示および更新可能かは、プロフィール タイプによって決まります。

「[プロフィール タイプの設定](#)」を参照してください。

プロフィールのコピー、インポート、シンジケートについて

関連する複数のプロフィールでは、同じプロフィール アイテムが使用されることがよくあります。たとえば、従業員のプロフィールに使用されるプロフィール アイテムは、職務コードやポジションのプロフィールでも使用されます。類似または関連する職務の非個人プロフィールにも、共通のプロフィール アイテムがある可能性があります。プロフィールの作成および管理のプロセスを効率化するために、プロフィール管理ではプロフィール アイテムをコピーする方法が3つ用意されています。次のことが可能です。

- 関連する非個人プロフィールから個人プロフィールに、プロフィール アイテムをロードする。

「個人プロフィール」ページの「プロフィール アクション」フィールドには、「*任務プロフィールからコピー*」というオプションがあり、関連プロフィールのリストから非個人プロフィールを選択することができます。非個人プロフィールのうちどれが従業員に関連するかは、従業員の職務データレコードを検索して決定されます。従業員が複数の職務を持っている場合は、その個人のアクティブな職務すべてから、一致する非個人プロフィールがチェックされます。たとえば、従業員の職務コード、ポジション、給与等級に一致するアクティブなプロフィールがチェックされます。

- 別のプロフィールまたはコンテンツ カタログから非個人プロフィールにコンテンツをインポートする。

コンテンツをインポートすると、プロフィール アイテムがソース プロファイルからターゲット プロファイルにコピーされます。インポートの後でソースのプロファイルやコンテンツ アイテムに変更があっても、ターゲット プロファイルには影響しません。コンテンツのインポートには、「非個人プロフィール」ページにある「コンテンツのインポート」リンクを使用します。

- 別のプロフィールから非個人プロフィールにコンテンツをシンジケートする。

コンテンツをシンジケートすると、プロフィール アイテムがソース プロファイルからターゲット プロファイルにコピーされます。ただしシンジケートの場合、シンジケートされたコンテンツを含むソース プロファイルとターゲット プロファイルの間に関係も設定されます。シンジケートされたコンテンツが更新されると、その変更がターゲット プロファイルにも自動的に反映されます。コンテンツのシンジケートには、「非個人プロフィール」ページにある「プロフィールのシンジケート」プロフィール アクションを使用します。

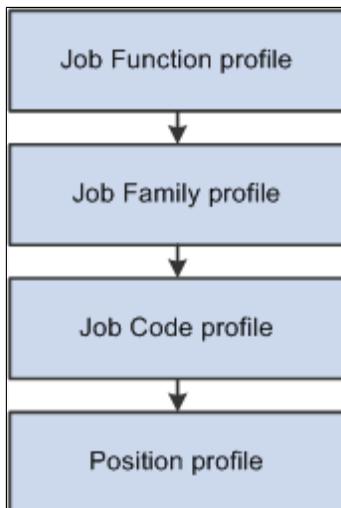
注: 任務プロフィールからコピー、インポート、シンジケートの各アクションでは、定義されていないプロフィール コンテンツが自由形式コンテンツとしてコピーされます。インポートとシンジケートでは、ターゲットのプロファイル タイプ定義に定義されているプロパティのみがコピーされます。非個人 (ソース) プロファイル タイプにあるその他のプロパティはコピーされません。ターゲット プロファイルに、ソース プロファイルで使用されていない追加のプロパティがある場合、それらのプロパティに定義されているデフォルト値が使用されます。そのプロパティのデフォルト値は、プロフィール タイプのコンテンツ セクションで定義できます。

シンジケートの設定

シンジケートを使用するとプロフィール管理責任者は、共通のコンテンツをソース プロファイルで一度のみ設定し、複数のターゲット プロファイルにコピーすることができるため、管理の負荷が軽減されます。また、一連の関連プロフィールを通じてコンテンツをシンジケートすることもできます。

画像: シンジケートでは、職務系列、職務コード、ポジション番号のプロフィールを通じて職種プロフィールをコピーします

次の図は、職種プロフィールを設定し、職務系列、職務コード、ポジション番号の各プロフィール階層を通じてコンテンツをシンジケートできることを示しています。



カスケーディング シンジケートを設定する場合、同じような階層形式で使用するよう to してください。

シンジケートを設定する際には、シンジケートのソース プロファイルにあるアイテムがターゲット プロファイルにすでに含まれている場合にどうなるかを考慮する必要があります。たとえば、複数のソース プロファイルから 1 つのターゲット プロファイルにコンテンツをシンジケートする場合、ソース プロファイルには同じアイテムが異なる値で使用されている可能性があります。これらはシンジケート例外と呼ばれています。この場合、ターゲット プロファイルはソース プロファイルからの値で更新され、既存の値が上書きされます。

シンジケート例外の表示には、「シンジケート例外」ページを使用します。

前提条件

コンテンツをシンジケートする前に、次の手順を実行します。

- パブリッシュとサブスクリブ用のアプリケーション サーバーを設定します。
- インテグレーション ブローカーを設定してアクティブにします。

次のことを確認します。

- EOEN_MSG_CHNL キューが実行されている。
- サービス オペレーション EOEN_MSG がアクティブである。
- 関連付けられたルーティング定義がアクティブである。
- イベント マネージャを設定します。

イベント JPMProfileItemsUpdated と、それに対応するイベント ハンドラをアクティブにします。イベントとハンドラについてログ記録も有効にすることをお勧めします。

PeopleTools: インテグレーション ブローカー および *PeopleTools: システムおよびサーバー管理* を参照してください。

関連リンク

イベントと通知フレームワーク

プロフィール管理に使用されている共通の要素

ステータス

次の値の中から 1 つ選択します。

アクティブ: プロファイル タイプが承認を必要としない場合に、このプロフィールを他のユーザーも使用できるようにするには、ステータスを「アクティブ」に更新します。

非アクティブ: 非アクティブなプロフィールは、従業員と管理者のセルフサービスでは使用できません。ステータスを「非アクティブ」に更新します。

ブルに更新すると、プロフィールは所属しているプロフィールグループから削除されます。

非個人プロフィールを作成する場合、デフォルトのステータスは「非アクティブ」です。ステータスを「アクティブ」に更新できるのは、プロフィールが1つ以上のプロフィール識別タイプにリンクされ、承認された場合のみです。従業員は、アクティブな非個人プロフィールしか表示できません。管理者は、アクティブと非アクティブの両方の非個人プロフィールを表示できます。

プロフィール タイプ

新しいプロフィールのプロフィールタイプを選択します。既存のプロフィールを更新する場合、「プロフィールタイプ」フィールドは表示専用です。プロフィールに表示されるタブは、「プロフィールタイプ」によって決定されます。

「プロフィールタイプの設定」を参照してください。

プロフィール アクション

このフィールドは非「個人プロフィール」ページと個人プロフィールに表示されます。アクションを選択し、そのアクションが「プロフィールアクション」ページで有効になっている場合に次のいずれかの操作を行うには「実行」アイコンをクリックします。

- **従業員プロフィールを現在の職務と比較:** 従業員のプロフィール アイテムを各自の任務プロフィール アイテムと比較します。このプロフィール アクションは、「個人プロフィール」ページからのみ使用できます。複数の任務プロフィールが従業員に適用されている場合は、すべての適用可能な任務プロフィールのリストから比較する対象を選択します。
- **任務プロフィールからコピー:** 非個人プロフィールから従業員のプロフィールにアイテムをコピーします。このプロフィール アクションは、「個人プロフィール」ページからのみ使用できます。「任務プロフィールからのアイテムのコピー」ページが表示され、従業員のアクティブな職務に関連するプロフィールがリストされます。
- **従業員の希望任務リスト:** 個人の希望任務リストにプロフィールを追加します。このプロフィール アクションは、「非個人プロフィール」ページからのみ使用できます。「個人検索 - 単純」ページが表示され、希望任務リストを更新する従業員を検索できます。
- **プロフィールアイテムのインポート:** 別のプロフィールまたはコンテンツ カタログからコンテンツをインポートします。このプロフィール アクションは、「非個人プロフィール」ページからのみ使用できます。「プロフィール アイテムのインポート」ペー

ジが表示されます。このページを使用して、プロフィールにインポートするアイテムのタイプを検索して追加します。

- **プロフィールの検索/比較:** 検索を実行します。このプロフィール アクションは、「非個人プロフィール」ページと「個人プロフィール」ページから使用できます。「プロフィールの検索」ページが表示されます。
- **プロフィールのシンジケート:** 別のプロフィールまたはコンテンツ カタログからコンテンツをシンジケートします。このプロフィール アクションは、「非個人プロフィール」ページからのみ使用できます。「プロフィールのシンジケート」ページが表示され、ここでは、プロフィールに対してシンジケートされるコンテンツを提供するソース プロフィールを追加または表示し、プロフィールからシンジケートされたコンテンツが含まれているターゲット プロフィールを表示できます。
- **プロフィールグループの更新:** プロフィールをプロフィール グループで分類します。このプロフィール アクションは、プロフィールがアクティブでページが表示専用でない場合に、「非個人プロフィール」ページと「個人プロフィール」ページから使用できます。「プロフィールグループの更新」ページが表示されます。このページを使用して、プロフィールを追加するプロフィール グループ タイプとプロフィール グループをリストします。プロフィール ステータスが非アクティブの場合、このアクションは使用できません

「[「プロフィールグループの更新」ページ](#)」を参照してください。

- **関連任務プロフィールの表示:** 従業員の職務データに関連する非個人プロフィールのリストを表示します。このプロフィール アクションは、「個人プロフィール」ページからのみ使用できます。非個人プロフィールのうちどれが従業員に関連するかは、従業員の職務データレコードを検索して決定されます。従業員が複数の職務を持っている場合は、その個人のアクティブな職務すべてから、一致する非個人プロフィールがチェックされます。

「[「プロフィール アクション」ページ](#)」を参照してください。

「個人プロフィール」ページ

個人プロフィールを作成および更新するには、「個人プロフィール」ページ (JPM_PROFILE_PERS) を使用します。

ナビゲーション

- 「人材開発」, 「プロフィール管理」, 「プロフィール」, 「個人プロフィール」, 「個人プロフィール」
- 「人事・労務管理」, 「海外赴任管理」, 「赴任者コンピテンシー」, 「個人プロフィール」, 「個人プロフィール」
- 「組織計画/管理」, 「後任計画」, 「個人プロフィールの管理」, 「現職者プロフィール」

このメニュー ナビゲーションは、後任計画をすでに定義している人物に対してのみプロフィールを返します。

画像: 「個人プロフィール」ページ

次の例では、「個人プロフィール」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Person Profile

Empl ID KU0119 **Susan Hoinck**
 Profile Type PERSON Person
 *Profile Status Active
 *Description Susan Hoinck

Print Comments Profile Actions <Select Action>

You have successfully saved those profile changes that do not require approval.

Approvals
 2 item(s) pending approval

Competencies Responsibilities Qualifications Education NVQ Projects Worn Rank Mobility

Competencies

ID	Competency	Evaluation Type	Reviewer ID	Proficiency
0205	Teamwork and cooperation	Supervisor/Manager	Betty Locherty	2-Fair
0209	Team leadership	Supervisor/Manager	Betty Locherty	2-Fair
0400	Persuasive	Self		3-Good
0401	Strategically influences	Self		3-Good
0402	Influences	Self		3-Good

Add New Competencies

Save

注: 個人の個人プロフィールを作成するには、職務データ行が必要です。このため、関係者のプロフィールを作成するときは、その人物についても職務データレコードが必要です。

プロフィール ステータス

プロフィールのステータスを選択します。オプションは、「アクティブ」と「非アクティブ」です。

従業員の 1 つの職務が終了すると、イベント マネージャのイベント InactivatePersonProfile が起動し、その従業員のすべての雇用レコードが非アクティブかどうかを調べます。すべての雇用レコードが非アクティブである場合は、その従業員 ID のすべての個人プロフィールも「非アクティブ」に変更されます。

「イベントと通知フレームワーク」の「イベントの設定」を参照してください。



「印刷」リンクをクリックすると、プロフィールが PDF ファイルで表示され、Adobe Acrobat から印刷することができます。印刷形式のファイルは、BI Publisher によって、「個人プロフィール」バッチレポートと同じテンプレートおよびレイアウトを使用して生成されます。

「[BI Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定](#)」を参照してください。



「コメント」リンクをクリックすると、「プロフィール コメント」ページが表示され、プロフィールに関する追加コメントを入力することができます。

プロフィール アクション

実行するアクションを選択し、「実行」アイコンをクリックします。「個人プロフィール」ページの値には、管理責任者向けの「[プロフィール アクション](#)」ページで有効になっているプロフィール アクションが含まれています。これらの各アクションでは対応するページが開き、そのアクションに関連する情報を表示または更新できます。

注: 設定中に、プロフィール ユーザー ロールに対して有効なアクション タイプがない場合は、「プロフィール アクション」フィールドがページに表示されません。

「[プロフィール管理に使用されている共通のエレメント](#)」を参照してください。

「[プロフィール グループの更新](#)」ページ」を参照してください。

注: 「個人プロフィール」ページに表示されるのは承認済のアイテムのみです。まだ承認されていない新しいプロフィール アイテム、既存アイテムへの変更、削除はプロフィールのコンテンツ セクションには表示されません。そのかわりに、保存済で未送信のアイテム、承認待ちのアイテム、却下されたアイテムの数を示すリンクがページに表示されます。変更を確認するには、これらのリンクを使用します。

★ <数> アイテムを承認するための送信待ちです

「アイテム送信待ち」ページにアクセスして、保存済でまだ承認のために送信されていないプロフィール アイテムを表示する場合は、このリンクをクリックします。これには、追加、修正、削除されたプロフィール アイテムも含まれます。

プロフィール アイテムを保存したものの送信していないときは、「<数> アイテムを承認するための送信待ちです」リンクの後に「送信」ボタンが表示されます。「送信」ボタンをクリックすると、変更サマリ ページ（「[個人プロフィール - 変更サマリ](#)」ページまたは「[非個人プロフィール - 変更サマリ](#)」ページ）が表示され、新しく追加したアイテムを承認のために送信できます。送信待ちのアイテムがある場合は、プロフィール ページを保存する

際にも、変更サマリ ページが表示されます。承認が不要の場合は、承認されたアイテムのステータスが自動的に変更されます。

送信

承認のための送信待ちのアイテムがある場合は、このボタンをクリックします。「個人プロフィール - 変更サマリ」ページが表示され、承認が必要な新しいアイテム、削除または変更されたアイテムがリストされます。このボタンは、承認のための送信待ちのアイテムがある場合にのみ表示されます。

 <数> アイテムが未承認です

「承認待ちアイテム」ページにアクセスして、承認のために送信済で承認待ちとなっているプロフィール アイテムを表示する場合は、このリンクをクリックします。

<数> アイテムが承認済です (<日付> 以降)

承認されたアイテムの数を表示します。

表示される日付は、「プロフィール管理インストール設定」ページの「承認履歴日数」フィールドの値によって決まります。

<数> アイテムが却下されています (<日付> 以降)

「却下アイテム」ページにアクセスして、承認のために送信済で承認が却下されたプロフィール アイテムを表示する場合は、このリンクをクリックします。

表示される日付は、「プロフィール管理インストール設定」ページの「承認履歴日数」フィールドの値によって決まります。

管理責任者は、プロフィール コンテンツ セクションを個別のタブにグループ化できます。タブを選択すると、そのタブに関連付けられたコンテンツ セクションがページに表示されます。

注: プロフィールに表示されるタブと、各タブ内のコンテンツ セクションは、選択したプロフィール タイプによって決まります。プロフィール タイプのタブとコンテンツ セクションの定義には、「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページを使用します。

「プロフィール タイプの設定」を参照してください。

「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」および <コンテンツ アイテム>

プロフィール アイテムを追加または更新する場合は、これらのリンクをクリックします。追加 - <コンテンツ タイプ> ページまたは「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページが表示されます。このページのフィールドは、プロフィールに関連付けられているプロフィール タイプによって決まります。

「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」ページ、「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページまたは「表示 - <コンテンツ タイプ>」ページを参照してください。



「履歴の表示」アイコンをクリックすると、「プロフィール アイテム履歴の表示」ページが表示されます。このアイコンが表示される

のは、プロフィール アイテムに有効日付きの行が複数ある場合のみです。

保存

変更内容を保存するにはこのボタンをクリックします。「個人プロフィール」ページが更新され、プロフィールのコンテンツ セクション内の承認済アイテムまたは承認不要のアイテムが表示されます。承認待ちのアイテムと送信待ちのアイテムは、プロフィールのコンテンツ セクションに表示されません。すべてのアイテムの承認が必要な新しいプロフィールを作成する場合は、プロフィールを保存しても、コンテンツ セクションにプロフィール アイテムが表示されません。ただし、「%1 アイテムを承認するための送信待ちです」リンクや「%1 アイテムが未承認です」リンクが表示されるため、保存済で未送信の変更や承認待ちの変更を表示することができます。これらのアイテムは、承認後にコンテンツ セクションに表示されます。

保存時には、次の処理が実行されます。

- 承認の必要がないアイテムの場合は、アイテムがページに保存され、それらのプロフィール変更が承認を必要とせず、正常に保存されたことを示すメッセージが表示されます。これらのアイテムは、プロフィール タブのアイテムリストに表示されます。
- 承認が必要なアイテムの場合は、「個人プロフィール - 変更サマリ」ページが表示され、承認が必要なアイテムがリストされます。
 - 「送信」をクリックすると、アイテムが承認者に送信されます。次に、「個人プロフィール」ページに「<数> アイテムが未承認です」リンクが表示され、クリックして承認待ちアイテムを表示できます。
 - 「キャンセル」をクリックすると、承認のために送信しないままアイテムが保存されます。「個人プロフィール」ページに「<数> アイテムを承認するための送信待ちです」リンクおよび「送信」ボタンが表示され、送信待ちのアイテムを表示したり、後で承認のためにアイテムを送信できます。

注: プロファイル管理責任者の自動承認のために承認フレームワークが設定されています。プロファイル タイプの設定で、コンテンツ セクションがプロファイル管理責任者の承認を必要とすると定義されている場合でも、保存時に変更サマリ ページに変更が表示されます。ただし、プロファイル管理責任者が「送信」をクリックした場合は、承認不要というメッセージが表示され、変更はすぐにプロファイルに反映されます。

「非個人プロフィール」ページ

非個人プロフィールを作成および更新するには、「非個人プロフィール」ページ (JPM_PROFILE1) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」, 「プロフィール管理」, 「プロフィール」, 「非個人プロフィール」, 「非個人プロフィール」

画像: 「非個人プロフィール」ページ (1/2)

次の例では、「非個人プロフィール」ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Non-person Profile

Profile ID 150008

Profile Type JOB Job

*Profile Status Active

*Description Finance

Short Description KFIN

Print Comments Profile Actions <Select Action>

Approvals

★ 1 item(s) awaiting submission for approval Submit

🕒 1 item(s) pending approval

Competencies Responsibilities Qualifications NVQ Worn Rank

Competencies (Requires Approval) Personalize Find View All First 1-2 of 2 Last

ID	Competency	View History
0700	Customer Service Orientation	
3004	Financial Experience	

+ Add New Competencies

画像: 「非個人プロフィール」ページ (2/2)

次の例では、「非個人プロフィール」ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Profile Identities Personalize Find View All First 1-3 of 3 Last

Profile Identity Option	Set ID	Key 1 Value	Description	Edit Identity	Delete
POSITION		19000024	General Auditor		
JOB_CODE	SHARE	110000	Accountant		
JOB_CODE	SHARE	200005	Auditor-General		

+ Add Profile Identity

Profile Associations Personalize Find View All First 1-2 of 2 Last

Profile Association Option	Key 1 Value	Key 2 Value	Description
EPERF_TEMPLT	K0ANNUAL	KU000004	Avg -Uses Job Profile
EPERF_TEMPLT	K0PROMO	KU000010	Job Promotion Document

+ Add Profile Association

Save



「印刷」アイコンを選択すると、プロフィールが PDF ファイルで表示され、Adobe Acrobat から印刷することができます。印刷形式のファイルは、BI Publisher によって、「非個人プロフィール」

バッチレポートと同じテンプレートおよびレイアウトを使用して生成されます。

「[BI Publisher のレポートおよびプロファイルを使用するための設定](#)」を参照してください。



「コメント」リンクを選択すると、「プロファイル コメント」ページが表示され、オーナー従業員の ID とプロファイルに関する追加コメントを入力することができます。

プロファイル アクション

実行するアクションを選択し、「実行」をクリックします。「非個人プロファイル」ページの値には、管理責任者向けの「[プロファイル アクション](#)」ページで有効になっているプロファイル アクションが含まれています。これらの各アクションでは対応するページが開き、そのアクションに関連する情報を表示または更新できます。

注: 設定中に、プロファイル ユーザー ロールに対して有効なアクション タイプがない場合は、「プロファイル アクション」フィールドがページに表示されません。

「[プロファイル管理に使用されている共通のエLEMENT](#)」を参照してください。

「[プロファイル アクション](#)」ページを参照してください。

「[プロファイル グループの更新](#)」ページを参照してください。

「[プロファイルのシンジケート](#)」ページを参照してください。

「[プロファイルのシンジケート](#)」ページまたは「[プロファイル アイテムのインポート](#)」ページを参照してください。

注: 「非個人プロファイル」ページに表示されるのは承認済のアイテムのみです。まだ承認されていない新しいプロファイル アイテム、既存アイテムへの変更、削除はプロファイルのコンテンツ セクション内に表示されません。そのかわりに、送信待ちのアイテム、承認待ちのアイテム、承認を却下されたアイテムの数を示すリンクがページに表示されます。変更を確認するには、これらのリンクを使用します。

<数> アイテムを承認するための送信待ちです

「アイテム送信待ち」ページにアクセスして、保存済でまだ承認のために送信されていないプロファイル アイテムを表示する場合は、このリンクをクリックします。これには、追加、修正、削除されたプロファイル アイテムも含まれます。

プロファイル アイテムを保存したものの送信していないときは、「<数> アイテムを承認するための送信待ちです」リンクの後に「送信」ボタンが表示されます。「送信」ボタンをクリックすると、「非個人プロファイル - 変更サマリ」ページが表示され、承認

が必要なアイテムへの変更を送信できます。承認のための送信待ちのアイテムがある場合は、プロフィール ページを保存する際にも、「非個人プロフィール - 変更サマリ」ページが表示されます。

送信

承認のための送信待ちのアイテムがある場合は、このボタンをクリックします。「非個人プロフィール - 変更サマリ」ページが表示され、承認が必要な新しいアイテム、削除または変更されたアイテムがリストされます。このボタンは、承認のための送信待ちの保存済アイテムがある場合にのみ表示されます。

<数> アイテムが未承認です

「承認待ちアイテム」ページにアクセスして、承認のために送信済で承認待ちとなっているプロフィール アイテムを表示する場合は、このリンクをクリックします。

<数> アイテムが承認済です (<日付> 以降)

承認されたアイテムの数を表示します。

表示される日付は、「プロフィール管理インストール設定」ページの「承認履歴日数」フィールドの値によって決まります。

「[「プロフィール管理インストール設定」ページ](#)」を参照してください。

<数> アイテムが却下されています (<日付> 以降)

「却下アイテム」ページにアクセスして、承認のために送信済で承認が却下されたプロフィール アイテムを表示する場合は、このリンクをクリックします。

表示される日付は、「プロフィール管理インストール設定」ページの「承認履歴日数」フィールドの値によって決まります。

管理責任者は、プロフィール コンテンツ セクションを個別のタブにグループ化できます。タブを選択すると、そのタブに関連付けられたコンテンツ セクションがページに表示されます。

注: プロフィールに表示されるタブと、各タブ内のコンテンツ セクションは、選択したプロフィール タイプによって決まります。プロフィール タイプのタブとコンテンツ セクションの定義には、「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページを使用します。

「[「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページ](#)」を参照してください。

「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」および <コンテンツ アイテム>

プロフィール アイテムを追加または更新する場合は、これらのリンクをクリックします。追加 - <コンテンツ タイプ> ページまたは「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページが表示されます。コンテンツ アイテムが別のソース プロフィールまたは ePerformance-パフォーマンス管理などの別の製品をソースとしている場合は、「表示 - <コンテンツ タイプ>」ページが表示されます。このページのフィールドは、プロフィールに関連付けられているプロフィール タイプによって決まります。

「[新規追加 - <コンテンツタイプ> ページ](#)、[更新 - <コンテンツタイプ> ページ](#)または[表示 - <コンテンツタイプ> ページ](#)」を参照してください。

ソース プロファイル

このアイテムをシンジケートした元のソース プロファイルの詳細を表示する場合は、ソース プロファイルのリンクをクリックします。このフィールドは、アイテムがプロフィールにシンジケートされている場合にのみ表示されます。



「全ての行の表示」アイコンをクリックすると、すべての行の表示ページが表示されます。このアイコンは、プロフィール アイテムに有効日付きの行が複数ある場合にのみ表示されます。

保存

変更内容を保存するにはこのボタンをクリックします。「非個人プロフィール」ページが更新され、プロフィールのコンテンツ セクション内の承認済アイテムまたは承認不要のアイテムが表示されます。承認待ちのアイテムと送信待ちのアイテムは、プロフィールのコンテンツ セクションに表示されません。すべてのアイテムの承認が必要な新しいプロフィールを作成する場合、アイテムが承認されるまでは、プロフィールを保存しても、コンテンツ セクションにプロフィール アイテムが表示されません。

保存時には、次の処理が実行されます。

- 承認の必要がないアイテムの場合は、アイテムがページに保存され、それらのプロフィール変更が承認を必要とせず、正常に保存されたことを示すメッセージが表示されます。これらのアイテムは、プロフィールのコンテンツ セクションに表示されます。
- 承認が必要なアイテムの場合は、「非個人プロフィール - 変更サマリ」ページが表示され、承認が必要なアイテムのリストが示されます。
 - 「送信」をクリックすると、承認者に送信されます。次に、「非個人プロフィール」ページに「<数> アイテムが未承認です」リンクが表示され、クリックして承認待ちアイテムを表示できます。
 - 「キャンセル」をクリックすると、承認のために送信しないままアイテムが保存されます。「非個人プロフィール」ページに「<数> アイテムを承認するための送信待ちです」リンクおよび「送信」ボタンが表示され、送信待ちのアイテムを表示したり、後で承認のためにアイテムを送信できます。

注: プロファイル管理責任者の自動承認のために承認フレームワークが設定されています。プロフィール タイプの設定で、コンテンツ セクションがプロフィール管理責任者の承認を必要とすると定義されている場合でも、保存時に変更サマリ ページに変更が表示されます。ただし、プロフィール管理責任者が「送信」をクリックした場合は、承認不要というメッセージが表示され、変更はすぐにプロフィールに反映されます。

プロフィール識別タイプ

プロフィールがリンクされているプロフィール識別タイプ情報のリストを表示する場合は、このセクションを展開します。



「プロフィール識別タイプ」ページを開き、既存の識別タイプを更新する場合は、「ID の編集」アイコンをクリックします。

プロフィール識別タイプの追加

このプロフィールにプロフィール識別タイプを追加する場合は、このリンクをクリックします。「プロフィール識別タイプ」ページが表示されます。

「[プロフィール識別タイプ](#)」ページを参照してください。

プロフィール関連先

プロフィールの関連先のリストを表示する場合は、このグループ ボックスを展開します。プロフィール関連先とは、プロフィール管理ビジネス プロセス外のエンティティです。ePerformance-パフォーマンス管理のテンプレートは、この方法でプロフィールにリンクされています。

注: 非個人プロフィール タイプの関連付けが設定に指定されていない場合は、「プロフィール関連先」グリッドがページに表示されません。

プロフィール関連先

関連先の詳細を表示したり、有効日またはステータスを更新する場合は、プロフィール関連先 ID のリンクを選択します。使用可能なオプションは、プロフィール タイプ定義によって異なります。

「[プロフィールタイプ - 関連先](#)」ページを参照してください。

プロフィール関連先の追加

このプロフィールに新しいプロフィール関連先を追加する場合にクリックします。「プロフィール関連先」ページが表示されます。

「[プロフィール関連先](#)」ページを参照してください。

「プロフィール グループの更新」ページ

プロフィールのプロフィール グループを追加および更新するには、「プロフィール グループの更新」ページ (JPM_UPD_GROUPS_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「個人プロフィール」ページまたは「非個人プロフィール」ページで「プロフィール アクション」フィールドのプロファイルグループの更新値を選択して、「実行」をクリックします。

画像: 「プロフィール グループの更新」ページ

次の例では、「プロフィール グループの更新」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Profile Group Type	Description	*Profile Group ID	Description
HXNPG_BATCH	Non Person profile group batch	HXPM_NP_BAT1	Non Person profile group -bat1
KOGLOBAL	Global	KONAME	North America

このページには、プロフィールが属するプロフィールグループがリストされます。

プロフィールグループタイプ プロフィールグループタイプを選択します。

プロフィールグループID プロファイルに追加するプロフィールグループを選択します。

プロフィールをグループに追加 このプロフィールに別のプロフィールグループを追加する場合は、このリンクをクリックします。

「[プロフィールグループタイプとプロフィールグループの作成](#)」を参照してください。

注: このグループを再入力すると、手動入力したプロフィールが削除される可能性があります。このグループは、あらかじめ設定済のグループ条件を使用してロードされます。グループの再作成時に、手動で入力したプロフィールがこの条件に合わない場合、これらのプロフィールは削除されます。

「プロフィール コメント」ページ

コメントや非個人プロフィールのオーナー ID など、追加のプロフィール情報を入力するには、「プロフィール コメント」ページ (JPM_PROF_INFO_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「個人プロフィール」ページまたは「非個人プロフィール」ページで「コメント」リンクを選択します。

画像: 「非個人プロフィール - プロフィール コメント」ページの例

次の例では、「プロフィール コメント」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

注: 個人プロフィールと非個人プロフィールでは、「プロフィール コメント」ページ上のフィールドがごくわずかに異なります。

エンド プロファイル

このフィールドは、「非個人プロフィール - プロフィール コメント」ページで使用できます。

このプロフィール タイプがエンド プロファイルに使用されるかどうかが表示されます。エンド プロファイルはセルフ サービス ページから表示できますが、ステータスをアクティブにする前に、プロフィール 識別タイプを定義しておく必要があります。

旧バージョン プロファイル ID

このフィールドは、「非個人プロフィール - プロフィール コメント」ページで使用できます。

アップグレードの際プロフィールに割り当てられた旧バージョンのプロフィール ID が表示されます。このフィールドは、PeopleSoft HR の旧バージョンで存在していた一部のプロフィールに表示されます。

オーナー

このフィールドは、「非個人プロフィール - プロフィール コメント」ページで使用できます。

プロフィール オーナーの従業員 ID を選択します。レポート作成などの目的でプロフィールにオーナーを割り当てる場合に、このフィールドを使用します。

コメント

プロフィールに関する追加情報を入力します。

「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」ページ、「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページまたは「表示 - <コンテンツ タイプ>」ページ

プロフィール アイテム詳細を追加、更新および表示するには、「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」ページ、「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページまたは「表示 - <コンテンツ タイプ>」ページ (JPM_PROF_DTL_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「個人プロフィール」ページまたは「非個人プロフィール」ページでプロフィール コンテンツ アイテム ID のコンテンツ アイテムまたは「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」リンクをクリックします。

(別のソース プロフィールをソースとするアイテムのプロフィール コンテンツ アイテム ID のリンクをクリックすると、「表示 - <コンテンツ タイプ>」ページまたは「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページが表示されます。)

画像: 「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」ページ

次の例では、「新規追加 - <コンテンツ タイプ>」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web application window titled "Non-person Profile" with a sub-header "Add New Competencies". The form contains the following fields and controls:

- Profile ID: 100887
- Accountant: Accountant
- Profile Type: JOB
- Job: Job
- Instruction: "Add item details. Select OK to apply changes and return. Select Cancel to return without making any changes. Select Apply and Add Another to continue adding additional items."
- Details section with a "Find | View All" header and navigation buttons (First, 1 of 1, Last).
- *Effective Date: 02/05/2013
- *Competency: H0P602 (with a search icon and label "602 Job Profile Competency")
- *Status: Active (dropdown menu)
- *Rating Model: H06 (with a search icon and label "Job Profile Test")
- Target Proficiency: Excellent (dropdown menu)
- Weight: 35
- Mandatory
- Minimum Weight: (empty field)
- Critical
- Long Description: (empty text area)
- Related Content: Sub-Competencies (link)
- Buttons: OK, Cancel, Apply and Add Another

注: このページに表示されるフィールドとフィールド ラベルは、アイテムのコンテンツ タイプと、プロフィール タイプでのコンテンツ セクション定義によって異なります。「プロフィール タイプ - コンテンツ」ページを使用してコンテンツ セクションを定義します。

「[プロフィールタイプの設定](#)」を参照してください。

プロフィール管理のページでは、コンテンツ アイテム ID を検索する際に、次の情報を検索条件の一部として使用することができます。

- コンテンツ アイテム ID
- コンテンツ グループ タイプ
- コンテンツ グループ
- 名称

コンテンツ アイテム名 (前掲のスクリーンショットの例に示した *601 Job Profile Competency* など) は、リンクとして表示されます。「コンテンツ アイテム詳細」ページを開いて、このアイテムの詳細を表示する場合は、このリンクを選択します。

 («評価詳細」アイコン)

「評価モデル」ページを開いて、選択したアイテムの評価モデル詳細を表示する場合は、このアイコン ボタンを選択します。更新または新規追加ページからこのページにアクセスすると、評価を変更することもできます。

関連コンテンツ

このフィールドに関連付けられたリンクをクリックすると、「更新 - <関連するコンテンツ アイテム>」ページにアクセスして、選択したプロフィール アイテムに関連するアイテムを追加、更新および表示できます。このリンクは、コンテンツ カタログで子の関係が定義されていて、プロフィール タイプ定義にその子のコンテンツ セクションが含まれているアイテムにのみ表示されます。

注: 親アイテムを追加する場合、その関連アイテムは自動的に追加されません。追加するには、「関連コンテンツ」リンクをクリックする必要があります。

OK

プロフィールの詳細ページまたは関連アイテムのページで行ったすべての更新を反映する場合にクリックします。親アイテムの行を削除した場合は、その関連アイテムもすべて自動的に削除されます。

関連リンク

[「関係ルール」ページ](#)

[「コンテンツ アイテム - 関係」ページ](#)

[「プロフィールタイプ - コンテンツ」ページ](#)

「更新 -<関連するコンテンツ アイテム>」ページ

選択したプロフィール アイテムに関連するプロフィール アイテムを追加、更新または表示するには、「更新 -<関連するコンテンツ アイテム>」ページ (JPM_PROF_DETAIL) を使用します。

ナビゲーション

「新規追加 -<コンテンツ タイプ>」ページまたは「更新 -<コンテンツ タイプ>」ページで関連コンテンツのリンクをクリックします。

画像: 「更新 -<関連するコンテンツ アイテム>」ページ

次の例では、「更新 -<関連するコンテンツ アイテム>」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

このページでは、既存のプロファイル アイテムに関連するプロフィール アイテムをプロフィールに追加します。プロフィールに追加できる関連アイテムは、プロフィール タイプでのコンテンツ セクション定義と、コンテンツ カタログで定義される関係によって決まります。

注: このページに表示されるフィールドとフィールド ラベルは、関連アイテムのコンテンツ タイプと、プロフィール タイプでのコンテンツ セクション定義によって異なります。

関連アイテムのロード

コンテンツ カタログに定義されたすべての関連アイテムを自動的に挿入する場合にクリックします。コンテンツ カタログに定義された関連アイテムの中から、個々のアイテムを手動で選択することもできます。

OK

このページに行った更新を保存する場合にクリックします。親アイテムのページ (更新 -<コンテンツ タイプ> ページまたは新規追加 -<コンテンツ タイプ> ページ) で「OK」ボタンをクリックするまで、プロフィール アイテムの更新は自動的にマージされません。

関連リンク

[「関係ルール」ページ](#)

[「コンテンツ アイテム - 関係」ページ](#)

[「コンテンツ セクション」ページ](#)

「プロフィール アイテム履歴の表示」ページ

様々な有効日のプロフィール アイテム行を表示するには、「プロフィール アイテム履歴の表示」ページ (JPM_PROF_HIST_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「個人プロフィール」ページまたは「非個人プロフィール」ページで「履歴の表示」列のアイコンをクリックします。

注: 「更新 - <コンテンツ タイプ>」ページの履歴情報を更新する場合は、スクロール矢印を使用して、コンテンツ タイプのアイテムをクリックします。

画像: 「プロフィール アイテム履歴の表示」ページ

次の例では、「プロフィール アイテム履歴の表示」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web application window titled "View Profile Item History". At the top, there is a header "Competencies (Requires Approval)" and navigation options: "Personalize | Find | View All | [Print icon] | First 1-3 of 3 Last". Below the header is a table with the following data:

Effective Date	Competency	ID	*Evaluation Type	Reviewer ID	*Proficiency
02/01/2012	Java	5013	Self	Samish Patel	4-Very Good
03/06/2004	Java	5013	Self	Samish Patel	3-Good
01/01/2000	Java	5013	Self	Samish Patel	2-Fair

At the bottom left of the window, there is a link "Return to Profile".

注: このページには、プロフィール タイプ定義に設定され、「サマリ」と指定されたフィールドが表示されません。

個人プロフィールと非個人プロフィールのアイテムについて現在の行、将来の行、履歴上の行がリストされ、プロフィール アイテムの履歴を追跡することができます。たとえば、このページを使用して、プロフィール アイテムに関する従業員の評価の推移、あるいは任務プロフィールにあるアイテムの基準評価を確認することができます。選択した有効日のプロフィール アイテム詳細を表示するには、プロフィール アイテムのリンクをクリックします。

「個人プロフィール」ページまたは「非個人プロフィール」ページに戻る (プロフィール タイプによって変わる) には、「プロフィールに戻る」をクリックします。

「プロフィールのシンジケート」ページ

シンジケート ソース/ターゲット プロファイルを表示するには、「プロフィールのシンジケート」ページ (JPM_PROF_SYND_SEC) を使用します。

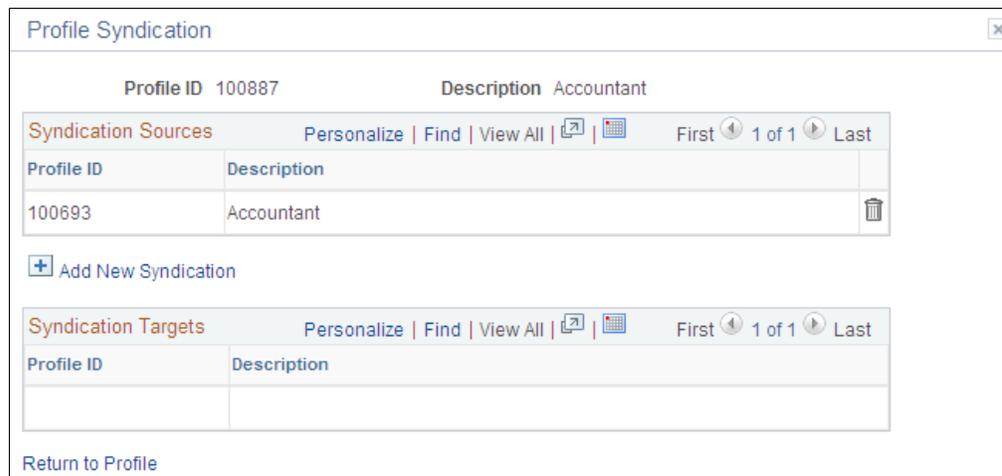
シンジケートされたコンテンツをこのページで追加または削除することもできます。

ナビゲーション

「非個人プロフィール」ページからプロフィール アクション「プロフィールのシンジケート」を選択し、「実行」アイコンをクリックします。

画像: 「プロフィールのシンジケート」ページ

次の例では、「プロフィールのシンジケート」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



シンジケート ソース

選択したプロフィールにコンテンツを提供するプロフィールがリストされます。シンジケートされたコンテンツを削除する場合は、ごみ箱アイコンを選択します。

新規シンジケートの追加

このリンクをクリックすると、「プロフィールのシンジケート」ページが表示され、コンテンツのシンジケート元のプロフィールを選択できます。

シンジケート ターゲット

シンジケートのターゲットであるプロフィールが表示されます。これらのプロフィールには、選択したプロフィールからのコンテンツが含まれています。選択したプロフィールが変更されると、シンジケートされているプロフィールも自動的に更新されます。

「プロフィールのシンジケート」ページまたは「プロフィール アイテムのインポート」ページ

コンテンツをシンジケートまたはインポートするプロフィールを選択するには、「プロフィールのシンジケート」ページまたは「プロフィール アイテムのインポート」ページ (JPM_PROF_SRCH_SEC) を使用します。

ナビゲーション

- 「非個人プロフィール - プロファイルのシンジケート」ページで「新規シンジケートの追加」を選択します。
- 「非個人プロフィール」ページからプロフィール アクション「プロフィールアイテムのインポート」を選択し、「実行」アイコンをクリックします。

画像: 「プロフィールのシンジケート」ページ

次の例では、「プロフィールのシンジケート」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Non-person Profile

Syndicate Profiles

Select the type of search that the criteria is based on: Profile Data, Profile Groups, Content Groups.

*Search Type

Enter Search Criteria

Enter your search criteria in the box below, then select Search.

Profile ID

Profile Type

Description

Profile Status

Select Profiles

Select from the result list, and then select Add Items to retrieve profiles items. Select OK to apply the profile items that have been retrieved. Select Cancel to exit without applying retrieved items.

Results Personalize | Find | View All | | |

	Profile ID	Description	Profile Type
<input type="checkbox"/>	150008	Finance	Job
<input type="checkbox"/>	HXJOB	Finance Director	Job
<input type="checkbox"/>	HXJOB_SP	Finance Director	SP-Non-Person profile type

画像: 「プロフィール アイテムのインポート」ページ

次の例では、「プロフィール アイテムのインポート」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a dialog box titled "Non-person Profile" with the sub-header "Import Profile Items". Below the sub-header, it says "Select the type of search that the criteria is based on: Profile Data, Profile Groups, Content Groups." There is a dropdown menu for "*Search Type" set to "By Profile Data".

Under "Enter Search Criteria", there is a text area with the instruction "Enter your search criteria in the box below, then select Search." Below this are four input fields: "Profile ID", "Profile Type", "Description" (containing "finance"), and "Profile Status".

A "Search" button is located below the search criteria fields.

Under "Select Profiles", there is a text area with the instruction "Select from the result list, and then select Add Items to retrieve profiles items. Select OK to apply the profile items that have been retrieved. Select Cancel to exit without applying retrieved items." Below this is a table with the following data:

Profile ID	Description	Profile Type
<input type="checkbox"/> 150008	Finance	Job
<input type="checkbox"/> HXJOBBC	Finance Director	Job
<input type="checkbox"/> HXJOBBC_SP	Finance Director	SP-Non-Person profile type

Below the table are "Select All", "Deselect All", and "Add Items" buttons. At the bottom of the dialog are "OK" and "Cancel" buttons.

注: 「プロフィールのシンジケート」ページの機能は、「プロフィール アイテムのインポート」ページと同じであり、検索タイプを選択して検索条件を入力します。

「プロフィールのシンジケート」ページの検索タイプは、「プロフィールデータ別」および「プロフィールグループ別」です。

「プロフィール アイテムのインポート」ページの検索タイプは、「コンテンツ グループ別」、「プロフィールデータ別」および「プロフィールグループ別」です。

コンテンツをシンジケートする場合は、ソース プロファイルとターゲット プロファイルとの間に関係が設定されるため、ソース プロファイルを変更すると、ターゲット プロファイルにも同じ変更が反映されます。シンジケートの関係は、「プロフィールのシンジケート」ページで確認します。

プロフィール アイテムをインポートする場合は、ソースのプロファイルまたはコンテンツ アイテムとターゲット プロファイルとの間にリンクは設定されません。これは、インポート操作の後でソースのプロファイルやアイテムのコンテンツに変更があっても、ターゲット プロファイルには影響がないことを意味します。

検索タイプの選択

ページにアクセスすると、まず使用可能な検索タイプがリストされています。

プロフィールデータ別

非個人プロフィールをプロフィール ID、プロフィール タイプ、名称、ステータスで検索する場合に選択します。

このオプションは、「プロフィール アイテムのインポート」ページと「プロフィールのシンジケート」ページで使用できます。

プロフィールグループ別

検索をプロフィール グループ タイプやプロフィール グループに限定してプロフィールを検索する場合に選択します。

このオプションは、「プロフィール アイテムのインポート」ページと「プロフィールのシンジケート」ページで使用できます。

コンテンツグループ別

コンテンツ グループ内のコンテンツ アイテムを検索する場合に選択します。これにより、コンテンツ グループ内の複数のアイテムを一度にインポートできます。

このオプションは、「プロフィール アイテムのインポート」ページで使用できます。

検索タイプを選択すると、「検索条件の入力」グループ ボックスが表示されます。検索条件を入力して「検索」をクリックすると、「プロフィールの選択」グループ ボックスと「結果」グループ ボックスが表示されます。

検索条件の入力

検索条件を選択して「検索」ボタンをクリックすると、インポートまたはシンジケートに使用するプロフィールが検索されます。このグループ ボックス内のフィールドは、選択した検索タイプによって異なります。

プロフィールの選択

「結果」グループ ボックスには、検索条件を満たすプロフィールまたはアイテムがリストされます。プロフィール ID、プロフィール グループ タイプ、またはカタログ アイテムの横のチェック ボックスを選択して、コンテンツをインポートまたはシンジケートする元のプロフィールを選択します。

「プロフィール ID」または「コンテンツ アイテム ID」 プロフィール ID またはコンテンツ アイテム ID をクリックすると、そのプロフィールまたはアイテムが表示されます。

項目追加

選択したプロフィールやコンテンツ アイテムからコンテンツをインポートまたはシンジケートする場合にクリックします。インポートされるプロフィール アイテムの数を示すメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、プロフィールのコンテンツ セクションにインポートされたアイテムがマージされます。アイテムをマージしないでプロフィールに戻る場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

「プロフィール識別タイプ」ページ

プロフィールに関連付けられたプロフィール識別タイプを追加または編集するには、「プロフィール識別タイプ」ページ (JPM_JP_PID_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「非個人プロフィール」ページの「プロフィール識別タイプ」グリッド領域で「プロフィール識別タイプの追加」リンクまたは「ID の編集」アイコンをクリックします。

画像: 「プロフィール識別タイプ」ページ

次の例では、「プロフィール識別タイプ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

プロフィール識別タイプ

プロフィール識別タイプを選択します。使用可能なオプションは、プロフィールタイプ定義によって異なります。

「[「プロフィールタイプ - 識別タイプ」ページ](#)」を参照してください。

セットID

このプロフィールにリンクしたいプロフィール識別タイプのセットIDを選択します。このフィールドは、選択したプロフィール識別タイプがキーフィールドとしてセットIDを持つ場合にのみ表示されます。職務コードと給与等級では、セットIDがキーフィールドです。

「職務データ」、「職務系列」、「ポジション番号」、「給与管理プラン」および「給与等級」

プロフィールにリンクするプロフィール識別タイプを選択します。表示されるフィールドの数は、プロフィール識別タイプに含まれるキーフィールドの数 (1 から 4) によって異なります。たとえば、「プロフィール識別タイプ」フィールドで「給与等級」を選択した場合は、給与管理プランと給与等級を入力することができます。「非個人プロフィール」ページに給与管理プランと給与等級の「キー 1 値」フィールドと「キー 2 値」フィールドが表示されます。

「プロフィール関連先」ページ

プロフィールのプロファイル関連先を追加または更新するには、「プロフィール関連先」ページ (JPM_JP_ASSC_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「非個人プロフィール」ページの「プロフィール関連先」グリッド領域で「プロフィール関連先の追加」リンクまたは「プロフィール関連先」の名称のリンクをクリックします。

画像: 「プロフィール関連先」ページ

次の例では、「プロフィール関連先」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

プロフィール関連先とは、プロフィール管理ビジネス プロセス外のエンティティです。ePerformance-パフォーマンス管理のテンプレートは、この方法でプロフィールにリンクされています。

プロフィール関連先

プロフィールにリンクするプロフィール関連先を選択します。

「記入票タイプ」および「記入票テンプレート ID」

プロフィールにリンクする記入票タイプと記入票テンプレート ID を入力します。これらのフィールドは、「非個人プロフィール」ページにキー <番号> 値フィールドとして表示されます。最大で 4 つのキー フィールドを定義できます。たとえば、このフィールドで「ePerformance - パフォーマンス管理」を選択した場合、「キー 1 値」フィールドが記入票タイプ、「キー 2 値」フィールドが記入票テンプレート ID になります。

「個人プロフィール - 変更サマリ」ページ

承認を必要とする個人プロフィールに加えられた変更のリストを表示するには、「個人プロフィール - 変更サマリ」ページ (JPM_JP_PERSUMM_SEC) を使用します。

承認者へのコメントを入力することもできます。承認のために変更を送信する場合は「送信」ボタンをクリックします。「個人プロフィール」ページに戻り、アイテムを承認のために送信しない場合は、「キャンセル」をクリックします。これらのアイテムは、承認のために送信して承認されるまで、他のプロセスで使用できません。

ナビゲーション

承認のために送信する必要があるアイテムがある場合に、「個人プロフィール」ページで「保存」ボタンまたは送信ボタンをクリックします。

画像: 「個人プロフィール - 変更サマリ」ページ

次の例では、「個人プロフィール - 変更サマリ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Person Profile

Summary Of Changes

Susan Hoinck

This page shows a summary of all the changes that you made that require approval. Any Changes not requiring approval have been successfully saved. Select the Submit button to request approval of these changes.

Changed Competencies (Requires Approval)				Personalize Find View All	First 1 of 1 Last
Disposition	Competency	ID	Evaluation Type	Reviewer ID	Proficiency
Add	Auditing	9010	Approved/Official		3-Good

Comments

Submit Cancel

このページには、個人プロフィールに行った承認の必要な変更がリストされます。スクロール領域のタイトルには、そのコンテンツ セクションに承認が必要であることが示されます。このページに表示されるフィールドは、プロフィール タイプのコンテンツ セクションの定義によって決まります。コンテンツ セクションで「要承認」チェック ボックスを選択したプロパティのみが、このページに表示されます。

「[コンテンツ セクション](#)」ページ」を参照してください。

プロフィール タイプ

このプロフィールのプロフィール タイプが表示されます。

処理

実行した変更のタイプが表示されます。

追加: 新しいプロフィール アイテムの場合

変更: アイテムのプロパティになんらかの変更を加えた場合。

削除: プロフィール アイテムを削除した場合。

コメント

必要に応じて、承認者へのコメントを入力します。

送信

このボタンをクリックすると、承認のために変更が送信されます。次に、「送信の確認」ページが表示されます。

「送信の確認」ページには、承認状況が表示されます。アイテムを承認者に送信する必要がある場合は、アイテムのステータス

が承認待ちに変更されます。承認の必要がないアイテムの場合は、承認状況に承認不要と指定されます。

注: プロファイル管理責任者の自動承認のために承認フレームワークが設定されています。プロフィール タイプの設定で、コンテンツ セクションがプロフィール管理責任者の承認を必要とすると定義されている場合でも、保存時に変更サマリ ページに変更が表示されます。ただし、プロフィール管理責任者が「送信」をクリックした場合は、承認不要というメッセージが表示され、変更はすぐにプロフィールに反映されます。

キャンセル

承認のためにアイテムを送信せずに「個人プロフィール」ページに戻る場合は、このボタンをクリックします。

「非個人プロフィール - 変更サマリ」ページ

承認を必要とする非個人プロフィールに加えられた変更のリストを表示するには、「非個人プロフィール - 変更サマリ」ページ (JPM_JP_NPSUMM_SEC) を使用します。

承認者へのコメントを入力することもできます。承認のために変更を送信する場合は「送信」ボタンをクリックします。「非個人プロフィール」ページに戻り、アイテムを承認のために送信しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

ナビゲーション

承認のために送信する必要のあるアイテムがある場合に、「非個人プロフィール」ページで「保存」ボタンまたは送信ボタンをクリックします。

画像: 「非個人プロフィール - 変更サマリ」ページ

次の例では、「非個人プロフィール - 変更サマリ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web interface titled "Non-person Profile". It features a "Summary Of Changes" section with the following details:

- Profile ID: 100887
- Accountant
- Profile Type: JOB
- Job

Below this, a message states: "This page shows a summary of all the changes that you made that require approval. Any Changes not requiring approval have been successfully saved. Select the Submit button to request approval of these changes."

A table titled "Changed Competencies (Requires Approval)" is displayed with the following data:

Disposition	Competency	ID
Add	Auditing	8010

At the bottom of the table, there is a "Comments" text area and two buttons: "Submit" and "Cancel".

このページでは、「プロフィール ID」フィールドに表示されている非個人プロフィールに対する変更がリストされます。このページのフィールドは、「個人プロフィール - 変更サマリ」ページと似ています。

「シンジケート例外」ページ

プロフィールのシンジケート例外を表示するには、「シンジケート例外」ページ (JPM_JP_SYJPM_JP_SYND_EXC1ND_EXC1) を使用します。

シンジケート例外は、複数のソース プロファイルからコンテンツ アイテムをシンジケートする際に、各ソース プロファイルからのプロパティ値が異なる場合に発生します。

ナビゲーション

「人材開発」,「プロフィール管理」,「プロフィール」,「シンジケート例外」,「シンジケート例外」

画像:「シンジケート例外」ページ

次の例では、「シンジケート例外」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Syndication Exceptions			
Target Profile		100695	Managing Director
Profile Type		ROLE	
This profile has multiple syndication sources with the same content items. The content items in question are listed below. To see the details of the differences select view details.			
Select Content Type		Personalize Find <input type="text"/> <input type="button" value="🔍"/>	First <input type="button" value="⏪"/> 1-2 of 2 <input type="button" value="⏩"/> Last
Content Type	Descr	Content Item ID	View Details
COMPETENCY	Competencies	0110	View Details
COMPETENCY	Competencies	0157	View Details

このページには、シンジケート例外を含むコンテンツタイプがリストされます。「詳細の表示」リンクをクリックすると「例外の詳細」ページが表示され、シンジケート例外のあるプロフィール アイテムがリストされます。

「例外の詳細」ページ

例外があるプロフィール アイテムの詳細を表示するには、「例外の詳細」ページ (JPM_JP_SYND_EX_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「シンジケート例外」ページで「詳細の表示」リンクをクリックします。

画像: 「例外の詳細」ページ

次の例では、「例外の詳細」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Exception Details ✕

Target Profile ID 100695 Managing Director
 Content Type COMPETENCY Competencies
 Content Item ID 0110 Ability to manage own time

Current Profile Item from Syndicated Source

Source Profile Items Properties ☰

Source Profile	Effective Date	Competency	Status
100682	01/01/1980	0110	Active

Ignored Profile Items from Syndicated Source

Ignored Profile Items Properties ☰

Profile ID	Effective Date	Competency	Status
100680	01/01/1900	0110	Active

Return

シンジケート済ソースの現行プロフィール アイテム

このタブには、ターゲット プロファイルにシンジケートされたソース プロファイルとプロフィール アイテムの詳細が表示されます。

シンジケート済ソースの無視されたプロフィール アイテム

このタブには、「ソース プロファイル アイテム」タブで指定されているシンジケート済プロフィール アイテムと競合しているソース プロファイルの詳細が表示されます。

プロパティ

「プロパティ」タブにアクセスします。

画像: 「例外の詳細」: 「プロパティ」タブ

次の例では、「例外の詳細」: 「プロパティ」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Current Profile Item from Syndicated Source

Source Profile Items Properties ☰

Description	Rating Model	Proficiency	Importance	FP Hiring Requirements	FP Promotion Requirements	FP Tenure Requirements
Competency Management Scale	3-Good	3 - Average		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Ignored Profile Items from Syndicated Source

Ignored Profile Items Properties ☰

Description	Rating Model	Proficiency	Importance	FP Hiring Requirements	FP Promotion Requirements	FP Tenure Requirements
Competency Management Scale	3-Good	3 - Average		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「プロパティ」タブには、シンジケートされたソース プロファイルのフィールド値が表示されます。ここに示した例では、2 つのソース プロファイルで「目標能力レベル」フィールドの値が異なっています。「ソース プロファイル アイテム」で表示される値は、ターゲット プロファイルに挿入された値です。

プロフィール変更の承認

次の各トピックでは、プロフィール承認処理の概要およびプロフィール変更の表示方法について説明します。

プロフィールの承認に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>「承認トランザクションの選択」ページ</u>	JPM_JP_MNG_APPRVL	承認待ち、変更を承認済、または変更を却下されたプロフィールのリストを表示します。
<u>「プロフィールの承認」ページ</u>	JPM_JP_PERS_APPR	選択した個人プロフィールに対する変更のリストを表示します。このプロフィール変更が承認待ちであれば、変更を承認または却下することができます。
<u>「非個人プロフィール - 承認」ページ</u>	JPM_JP_NONPER_APPR	選択した非個人プロフィールに対する変更のリストを表示します。このプロフィール変更が承認待ちであれば、変更を承認または却下することができます。
<u>「表示 - <コンテンツ タイプ>」ページ</u>	JPM_APR_DTL_SEC	変更されたプロフィール アイテムの詳細を表示します。
「承認の確認」ページ 「却下の確認」ページ	JPM_JP_PER_APR_CNF	確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、「承認トランザクションの選択」ページに戻ります。

プロフィール承認処理について

承認処理によって、次のものを管理できます。

- 個人プロフィールにおけるプロフィール アイテムの更新。

コンテンツ セクションに対して承認処理が設定されている場合、プロフィール アイテムが追加、削除または更新されると、承認処理がトリガされます。

- 非個人プロフィールに関連付けられているプロフィール アイテムとプロフィール アイテム識別タイプの更新。

プロフィール識別タイプに承認が必要な場合、プロフィールに関連付けられているプロフィール識別タイプのリストに変更があると、承認処理がトリガされます。

プロフィールの承認は、プロフィール タイプのレベルで設定します。プロフィール タイプに承認の定義を関連付け、そのプロフィール タイプのどのコンテンツ セクションに承認が必要かを指定します。非個人プロフィールの場合、プロフィール識別タイプに承認が必要かどうかも指定できます。

プロフィール承認では、個人プロフィールおよび非個人プロフィールの承認管理に、承認フレームワークを使用します。標準の承認定義では、次のプロフィール承認処理が用意されています。

- 従業員が自身の個人プロフィールを変更する場合、その変更は承認を行う管理者に送信されます。
管理者またはプロフィール管理責任者が個人プロフィールを更新する場合、それらの変更は承認不要です。
- 管理者が非個人プロフィールを作成または更新すると、その変更は承認のためにプロフィールの管理責任者に送信されます。

プロフィール管理責任者が非個人プロフィールを更新する場合、その変更は承認不要です。

標準の定義を使用することもできますが、ビジネス要件に応じたプロフィール管理に必要な新しい承認定義を設定することもできます。

注: プロフィール管理では、承認トランザクションの委任および差戻しをサポートしていません。承認のグループとしてまとめて送信されたすべてのプロフィール変更をライン項目レベルで承認または却下することはできません。グループ全体を承認または却下する必要があります。

関連リンク

「承認について」(「アプリケーションの基礎」)

「承認トランザクションの選択」ページ

承認済の変更または却下された変更とともに承認待ちのプロフィールのリストを表示するには、「承認トランザクションの選択」ページ (JPM_JP_MNG_APPRVL) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィールの承認」、「承認トランザクションの選択」

画像: 「承認トランザクションの選択」ページ

次の例では、「承認トランザクションの選択」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Originator	Submitted	Profile Type	Profile ID	Profile	Workflow Status
Betty Locherty	02/05/2013 2:31PM	Person	100850	Cynthia Adams	Pending
Rosanna Channing	02/05/2013 2:25PM	Person	100814	Rosanna Channing	Pending
Susan Hoinck	02/05/2013 2:13PM	Person	100856	Susan Hoinck	Pending

発信者

特定の従業員が送信したプロフィール変更を検索する場合は、従業員 ID を選択します。

開始日、終了日

特定の期間に送信された承認を検索する場合は、期間の開始日と終了日を入力します。

プロフィール タイプ

特定のプロフィール タイプに対する承認を検索する場合は、プロフィール タイプを選択します。

ワークフロー ステータス

表示する承認のステータスを選択します。

未承認: 承認のために送信されたプロフィール変更を表示。

承認済: すでに承認したプロフィール変更を表示。

却下: 却下したプロフィール変更を表示。

検索

クリックすると、「承認トランザクション」スクロール領域に、検索条件と一致するプロフィールが表示されます。

承認トランザクション

提出日

プロフィール変更が承認のために送信された日付が表示されます。

プロフィール

プロフィールのリンクをクリックすると、承認が必要なプロフィール変更が表示されます。「プロフィールの承認」ページが表示されます。

「プロフィールの承認」ページ

選択した個人プロフィールへの変更のリストを表示するには、「プロフィールの承認」ページ (JPM_JP_PERS_APPR) を使用します。

このプロフィール変更が承認待ちであれば、変更を承認または却下することができます。

ナビゲーション

「承認トランザクションの選択」ページで個人プロフィールの ID をクリック。

画像: 「プロフィールの承認」ページ

次の例では、「プロフィールの承認」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Approve Profiles

Empl ID KU0101
Name Cynthia Adams
Profile Type PERSON Person

Select the Approve button to approve the changes or the Deny button to reject the changes. You can view the item details by selecting the content description. Select the Approval Routing links to review approval information and comments specific to this transaction.

Disposition	ID	Competency	Evaluation Type	Reviewer ID	Proficiency
Add	5010	PS Query	Supervisor/Manager		3-Good

Approval Routing

Approval by Manager

Person Profile: Pending

Approval by Manager

Pending

ESGBPI (KU0007)
JPlt by Posn Mgmt or Supervisor

Comments

Approve Deny

注: プロフィール管理では、承認トランザクションの委任および差戻しをサポートしていません。承認のグループとしてまとめて送信されたすべてのプロフィール変更をライン項目レベルで承認または却下することはできません。グループ全体を承認または却下する必要があります。

処理

変更のタイプを示す、次のいずれかの値が表示されます。

追加: 新しいプロフィール アイテムであることを示します。

変更: 発信者がプロフィール アイテムの 1 つ以上のプロパティを変更したことを示します。

削除: 発信者がプロフィール アイテムを削除したことを示します。

<コンテンツ アイテム>

プロフィール アイテムへの変更の詳細を表示する場合は、コンテンツ アイテムのリンクをクリックします。アイテムのプロパティは、プロフィール タイプ定義によって異なります。

コメント

この承認トランザクションについて、発信者へのコメントがあれば入力します。「コメント」フィールドを使用できるのは、プロフィール変更承認が必要な場合のみです。却下または承認済みのプロフィール アイテムの場合は、「承認状況」グループ ボックスに展開可能な「コメント」セクションが表示され、発信者が入力したコメントを確認できます。

承認

プロフィール変更を承認する場合は、このボタンをクリックします。このボタンは、プロフィール変更のワークフロー ステータスが「未承認」の場合にのみ表示されます。

却下

プロフィール変更を却下する場合は、このボタンをクリックします。このボタンは、プロフィール変更のワークフロー ステータスが「未承認」の場合にのみ表示されます。



(「プロフィールを印刷形式で確認」アイコン)

「プロフィールを印刷形式で確認」アイコンをクリックすると、プロフィールが PDF ファイルで表示され、Adobe Acrobat から印刷することができます。印刷形式のファイルは、BI Publisher によって、「非個人プロフィール」バッチ レポートと同じテンプレートおよびレイアウトを使用して生成されます。印刷形式のファイルに表示されるのは承認済みのアイテムのみです。

[「BI Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定」](#)を参照してください。

承認状況

このグループ ボックスには、承認フレームワークからの承認状況情報が表示されます。

コメントの表示/非表示

クリックすると、発信者がプロフィール承認のために変更を送信するとき入力したコメントの表示と非表示が切り替わります。

プロフィールの検索と比較

次の各トピックでは、プロフィールの検索/比較およびスコアの概要を示し、プロフィールを検索および比較する方法について説明します。

プロフィールの検索/比較に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「プロフィールの検索」ページ	JPM_SRCH_TRANSFER	管理責任者に定義されている検索クエリーのリストから選択します。プロフィール管理責任者、従業員および管理者用の検索を設定するには、「検索設定」ページを使用します。
「プロフィールの検索」ページ	JPM_COM_PROF_SRCH	検索条件のソースとして使用するプロフィールを選択します。選択するソースプロフィールによって、デフォルトの検索条件が提供されます。このページが表示されるのは、選択した検索の条件ルールが「デフォルト値使用/変更不可」または「デフォルト値使用/変更可」であり、かつソースプロフィールタイプが非個人プロフィールタイプの場合のみです。条件ルールがデフォルト値なし/条件指定の場合は、「検索条件」ページで検索条件を手動で入力します。
「個人検索 - 単純」ページ	HR_PSS_SEARCH	検索条件のソースとして使用する個人プロフィールを選択します。 このページが表示されるのは、選択した検索の条件ルールが「デフォルト値使用/変更不可」または「デフォルト値使用/変更可」であり、かつソースプロフィールタイプが個人プロフィールタイプの場合のみです。
「検索条件」ページ	JPM_SRCH_CRITERIA	検索/比較の検索条件を表示および変更します。 「プロフィールの検索」ページで選択した検索の条件ルールが「デフォルト値使用/変更可」または「デフォルト値なし/条件指定 (アドホック)」の場合、検索の実行前にこのページが表示されます。条件ルールが「デフォルト値使用/変更不可」の場合、「検索条件」ページを表示せずに検索が実行されます。
関連アイテム条件ページ	JPM_SRCH_RELITMS	検索条件として含める関連アイテムを入力します。これらは、コンテンツカタログに関連アイテムとともに定義された親アイテムからのものです。
「検索結果」ページ	JPM_SRCH_RESULT	検索結果を表示します。

ページ名	定義名	用途
「希望任務リストに追加 - 確認」ページ	JPM_INT_CONFIRM	「検索結果」ページで選択した非個人プロフィールが、個人の希望任務リストに追加されたことを確認します。 「希望任務リストに追加」ボタンを使用できるのは、実行した検索のターゲットプロフィールタイプが非個人プロフィールタイプであった場合のみです。
「プロフィールの比較」ページ	JPM_COMPARE_MAIN	比較するソースおよびターゲットのプロフィールタイプを選択します。
「比較結果」ページ 検索結果	JPM_COMPARE_RESULT	選択したプロフィールの比較のサマリを表示します。

プロフィールの検索/比較について

プロフィールの検索/比較機能を使用すると、従業員、管理者、プロフィール管理責任者は選択した検索条件に一致するプロフィールを検索し、プロフィールを比較することができます。検索を実行する前に、索引を構築し、「検索設定」ページで使用可能な検索クエリーを定義する必要があります。

注: プロフィールタイプの一部のプロパティでは、索引にコードベースのデータしか保存されません。これらの索引では、プロパティデータでのみ一致する検索語をサポートしています。

各検索タイプに定義する項目は次のとおりです。

- ソースおよびターゲットのプロフィールタイプ。

ソースおよびターゲットとは、検索で比較される2つのプロフィールタイプのことです。ソースは検索条件の基準となるプロフィールタイプであり、ターゲットは一致するプロフィールを検索する対象となるプロフィールタイプです。

注: ソースおよびターゲットプロフィールタイプには、検索可能な共通のコンテンツセクションが少なくとも1つ必要です。

- 条件ルール。

「条件ルール」フィールドで、検索の動作を管理します。条件ルールには次の3つのタイプがあります。

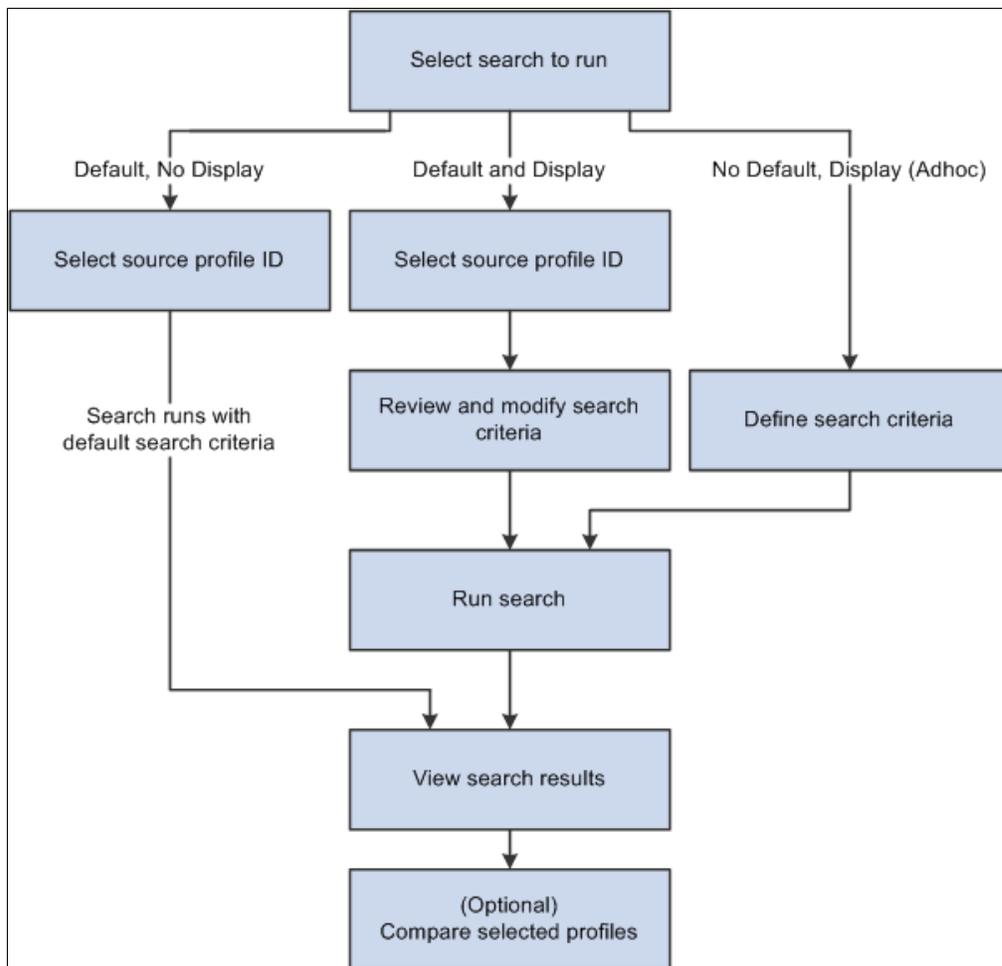
- デフォルト値使用/変更不可: この検索では、ソースプロフィールに基づいてデフォルトの検索条件が使用され、検索条件は表示されません。
- デフォルト値使用/変更可: この検索では、ソースプロフィールに基づいてデフォルトの検索条件が使用されますが、検索の実行前にユーザーが検索条件を表示および調整することができます。

- デフォルト値なし/条件指定 (アドホック): この検索ではデフォルトの検索条件を使用せず、ユーザーが手動で検索条件を定義します。このタイプの検索の場合、ソースおよびターゲットのプロファイルタイプは設定で必須ではありません。ただし、それらのフィールドを空欄にした場合は、検索条件を定義する前にソースおよびターゲットのプロファイルタイプを選択する必要があります。
- 検索に関連付けられるロール。
 ユーザーが実行できるのは、ユーザーのロールに定義されている検索のみです。

「[プロフィールの検索/比較について](#)」を参照してください。

画像: プロファイルの検索/比較プロセスにおける検索条件の選択

次の図は、それぞれの検索タイプにおけるプロフィールの検索/比較の手順を示したものです。各手順については、これ以降のトピックで詳細に説明します。



検索の選択

プロフィール管理責任者は、2つの方法でプロフィールの検索/比較を実行できます。

- 「プロフィール」メニューからプロフィールの検索/比較コンポーネントを選択する。

- ・ 「個人プロフィール」ページまたは「非個人プロフィール」ページの「プロフィール アクション」フィールドで「プロフィールの検索/比較」を選択する。

どちらの方法を使用しても、プロフィール管理責任者ロールに対して設定されている検索のみが表示されます。ロールは、「検索設定」ページで検索に関連付けられています。また、「個人プロフィール」ページまたは「非個人プロフィール」ページからプロフィールの検索/比較を実行する場合、検索のリストは、表示しているプロフィールに一致するソース プロファイル タイプのものに限定されます。

従業員と管理者がプロフィールの検索/比較に使用できるセルフサービス オプションの詳細は、「[eDevelopment-人材開発](#)」のドキュメントを参照してください。

ソース プロファイル ID の選択

「デフォルト値使用/変更不可」または「デフォルト値使用/変更可」の条件ルールで検索を選択した場合、検索と比較にデフォルトの検索条件を提供するソース プロファイル ID を選択する必要があります。検索で選択できるプロフィール タイプは、「検索設定の定義」ページの「ソース プロファイル」フィールドによって定義されます。

注: プロファイル ページから検索を実行する場合は、表示していたプロフィールが自動的にソース プロファイル ID として使用されるため、ソース プロファイル ID の指定は必要ありません。

「デフォルト値使用/変更不可」の条件ルールを使用する検索では、ソース プロファイル ID の選択後に検索が自動的に実行されます。このタイプの検索の場合、検索条件はソース プロファイルによるデフォルトのプロファイル アイテムに基づいて設定されるため、検索の実行前に条件を調整することはできません。

検索条件の定義

「デフォルト値使用/変更可」または「デフォルト値なし/条件指定 (アドホック)」の条件ルールで検索を実行する場合、「検索条件」ページを使用して検索条件を定義または変更します。

「デフォルト値使用/変更可」の条件ルールで検索を実行する場合、設定で定義されているソース プロファイル タイプに基づいてデフォルトの条件が表示されます。検索の実行前に、デフォルト検索条件の変更、および他の条件の追加が可能です。

「デフォルト値なし/条件指定 (アドホック)」の条件ルールを使用する検索では、デフォルトの条件はありません。「検索条件」ページを使用して、ターゲット プロファイルで検索するアイテムを定義します。ソースおよびターゲットのプロファイル タイプが検索に定義されていない場合は、指定するよう求められます。「検索条件」ページがリフレッシュされて、検索に使用できるコンテンツ セクションと検索フィルタが表示されます。

「検索条件」ページには、「検索フィルタ」グループ ボックスのセクションがあります。検索フィルタを使用すると、検索を特定のプロフィール グループ、現在の勤務地の従業員、または希望出張地がある従業員に絞り込むことができます。「現在の勤務地」と「希望出張地」が、ターゲット プロファイル タイプのコンテンツ セクションとして定義されている場合は、これらのセクションが追加のフィルタとして自動的に表示されます。

検索条件を定義したら、「検索」ボタンをクリックして検索を実行します。

検索結果の表示

検索条件に一致したプロフィールは、「検索結果」ページにリストされます。一致したプロフィールは、システムで計算されるプロフィール スコアに従ってランク付けされます。プロフィール スコアの範囲は 0 から 100 までで、検索条件をすべて満たすプロフィールはスコアが 100 になります。プロフィールのスコアについては、このトピックの後の方で説明します。希望出張地や現在の勤務地のフィルタは、ターゲットプロフィールの候補の絞込みに使用されますが、全体的な検索スコアには影響しません。

注: 検索結果には、アクセス権限のあるプロフィールのみがリストされます。

「プロフィールの検索/比較のスコアについて」を参照してください。

検索条件を調整して検索を再実行する場合は、「検索条件の変更」リンクをクリックして「検索条件」ページに戻ります。「プロフィールの検索」リンクをクリックして新しく検索を実行することもできます。

プロフィールの比較

「検索結果」ページに表示されるプロフィール スコアから、各プロフィールがどの程度検索条件に一致するかを概略で知ることができます。しかし、スコアの詳細をアイテムのレベルで確認することもできます。「検索結果」ページから、次のことができます。

- スコアをクリックして、検索結果に表示されたプロフィールの各アイテム スコアを検索条件と比較します。
- 検索結果にリストされたプロフィールを最大 10 件まで、検索条件と比較します。比較対象のプロフィール (1 から 10 個のプロフィール) を選択し、「プロフィールの比較」ボタンをクリックします。

注: プロフィールの比較コンポーネントは、「プロフィール」メニューからも使用できます。

プロフィール管理の検索/比較とのインターフェイス

PeopleSoft プロフィール管理には、他のビジネス プロセスで検索/比較を実行するために、次のインターフェイスが用意されています。

- 従業員セルフ サービスのキャリア進捗チャート
従業員のプロフィールとその任務プロフィールを比較します。
- 後任計画の管理 - 後任 360 度
従業員のプロフィールとその任務プロフィールを比較します。

プロフィールの検索/比較のスコアについて

これらのトピックでは、次の項目について説明します。

- スコアの計算。
- プロパティ スコアとアイテム スコアの計算。

- 「重要度」フィールドに基づくアイテム加重の計算。
- 評価プロパティ スコアの計算。
- 関心レベル プロパティ スコアの計算。
- 必須アイテムのアイテム スコアの計算。

スコア計算の概要

このトピックでは、検索条件に最も一致するプロフィールを決定するための、ターゲット プロファイルのスコアの計算方法について説明します。プロフィールの検索/比較では、どのプロフィールが検索条件に最も一致するかの判定に、SES 検索エンジンを使用します。SES 検索クエリーは、検索条件の各プロフィール アイテムのプロパティから生成される検索エレメントで構成されます。全文検索が実行され、一致するプロフィールがその一致率を示すスコアとともに返されます。スコアは、一致率の最も高いプロフィールから降順で表示されます。

ターゲット プロファイルのスコアを算出するために、次の計算が行われます。

- アイテムに関連付けられた各プロパティのプロパティ スコア。

検索条件は、ターゲット プロファイル内で検索したい一連のプロファイル アイテムで構成されています。しかし、検索条件のアイテムが複数のプロパティを持つ場合があります。たとえば、検索条件にコンピテンシーを追加する場合、そのコンピテンシーの基準評価も指定することができます。あるいは、語学力を追加する場合、その言語に必要な作文能力を指定できます。コンピテンシー評価と作文能力は、それぞれがコンピテンシーと語学力というプロフィール アイテムのプロパティです。検索条件で指定した各プロパティのプロパティ スコアが計算され、それがアイテム スコアの計算に使用されます。

- 検索条件の各アイテムのアイテム スコア。

アイテム スコアは、アイテムに関連付けられているプロパティのプロパティ スコアの平均です。

- 「重要度」フィールドに基づいて加重されたアイテム スコア。

「重要度」フィールドは、検索条件の各アイテムの相対的な重要度を示すために使用されます。アイテムに割り当てられた「重要度」の値を反映する加重がアイテム スコアに適用されます。「重要度」フィールドのデフォルトは $1/3 - \text{平均}$ ですが、これは変更可能です。

- 加重されたアイテム スコアの合計。

全体的なプロフィール スコアは、加重されたアイテム スコアの合計です。「検索結果」ページに表示されるのは、この値です。

プロフィール スコアは、「必須」チェック ボックスの設定によっても異なります。これについては、このトピックの後の「必須アイテムのアイテム スコアの計算」で説明します。

プロパティスコアとアイテムスコアの計算

プロパティスコアは、プロパティに応じて異なります。ほとんどのプロパティでは、一致するプロパティを持つプロフィールはスコアが 100、持たないプロフィールはスコアが 0 になります。しかし、評価プロパティや関心レベル プロファイルなどの評価基準があるプロパティの場合、スコアはソースとターゲットの一致する程度に応じて 0 から 100 の範囲で変化します。これについては、このトピックの後の「評価プロパティの計算」で説明します。

アイテムスコアは、次のようにプロパティスコアの平均として計算されます。

合計プロパティスコア/プロパティ数

この例では、次のコンテンツタイプの 3 つのプロファイル アイテムを持つソース プロファイルを考えてみます。

コンテンツタイプ	アイテム ID	他のプロパティ
学位	BA (文学士)	国: USA
言語	DU (オランダ語)	
テスト/検査	1006 (会計適性試験)	

学位アイテム BA (文学士) については、アイテム ID と国の 2 つのプロパティが検索されます。したがって、学位のアイテムスコアは次のように計算されます。

$(\text{アイテム ID のプロパティスコア} + \text{国のプロパティスコア}) / 2$

これで、アイテムスコアが 100 になるのは、学位が「BA」で国が「アメリカ」のプロファイルのみとなります。

プロパティスコアの計算方法を示すために、次の例では Nicola Edwards、Rachel Norris、Helen Scott という 3 つの個人プロフィールでソース プロファイルと比較してみます。

次の表は、Nicola Edwards の個人プロフィールにあるアイテムの一覧です。

コンテンツタイプ	アイテム ID	他のプロパティ
学位	BA (文学士)	国: USA
テスト/検査	1006 (会計適性試験)	

次の表は、Rachel Norris の個人プロフィールにあるアイテムの一覧です。

コンテンツタイプ	アイテム ID	他のプロパティ
言語	DU (オランダ語)	
テスト/検査	1006 (会計適性試験)	

次の表は、Helen Scott の個人プロフィールにあるアイテムの一覧です。

コンテンツ タイプ	アイテム ID	他のプロパティ
学位	BA (文学士)	国: GBR
テスト/検査	1006 (会計適性試験)	

次の表は、個人プロフィールごとのアイテム スコアの一覧です。

アイテム ID	国プロパティ	個人プロフィール		
		Nicola Edwards	Rachel Norris	Helen Scott
BA	USA	100 = (100+100)/2	0	50 = (100+0)/2
DU (オランダ語)		0	100	0
1006		100	100	100

「重要度」フィールドに基づくアイテム加重の計算

検索条件には各アイテムの「重要度」フィールドが自動的に含められ、そのデフォルト値として「3 - 平均」が割り当てられます。つまり、各アイテムの重要度は同等です。検索タイプに応じて、デフォルトの重要度を変更し、各プロフィール アイテムの相対的な重要度を指定することができます。検索を実行すると、アイテムに割り当てた重要度に応じた加重が各アイテムに適用されます。その結果、重要度の高いアイテムを含むプロフィールの方が、重要度の低いアイテムしか含まないプロフィールよりスコアが高くなります。

各アイテムの加重は、次のように計算されます。

$$\text{重要度 \%} = (\text{アイテムの重要度} / \text{合計重要度}) \times 100$$

この計算方法を示すために、検索条件で各アイテムに次のような重要度を指定すると仮定します。

コンテンツ タイプ	アイテム ID	重要度
学位	BA (文学士)	4 - 標準以上
言語	DU (オランダ語)	3 - 平均
テスト/検査	1006 (会計適性試験)	1 - 低

この例では、重要度の合計が 8 (= 4 + 3 + 1) です

検索条件の各アイテムに対して、加重は次の表のように計算されます。

アイテム ID	重要度	加重
BA (文学士)	4 - 標準以上	$4/8 \times 100 = 50\%$
DU (オランダ語)	3 - 平均	$3/8 \times 100 = 37.5\% = 38$ (四捨五入)
1006 (会計適性試験)	1 - 低	$1/8 \times 100 = 12.5\% = 13$ (四捨五入)

アイテム加重の値を使用して、加重後のアイテム スコアは次の公式で計算されます。

アイテム スコア (加重後) = アイテム スコア × 重要度 %

前述の例と同じ個人プロフィールを使用して、加重後の全体的なスコアを示します。次の表は、Nicola Edwards のアイテム スコアと加重後のスコアの一覧です。

アイテム	アイテム スコア	アイテム スコア (加重後)
BA (文学士)/USA	100	$50 = 100 \times 50\%$
DU (オランダ語)	0	0
1006 (会計適性試験)	100	$12.5 = 100 \times 12.5\% = 13$ (四捨五入)

Nicola の合計スコアは、次のように加重アイテム スコアの合計になります。

合計スコア = $50 + 12.5 = 62.5$ (四捨五入して 63)

注: スコアは、最も近い整数値に四捨五入されます。

次の表は、Rachel Norris のアイテム スコアと加重後のスコアの一覧です。

アイテム	アイテム スコア	アイテム スコア (加重後)
BA (文学士)/USA	0	0
DU (オランダ語)	100	$37.5 = 100 \times 37.5\% = 38$ (四捨五入)
1006 (会計適性試験)	100	$12.5 = 100 \times 12.5\% = 13$ (四捨五入)

合計スコア = $37.5 + 12.5 = 50$

次の表は、Helen Scott のアイテム スコアと加重後のスコアの一覧です。

アイテム	アイテム スコア	アイテム スコア (加重後)
BA (文学士)/USA	50	$25 = 50 \times 50\%$

アイテム	アイテム スコア	アイテム スコア (加重後)
DU (オランダ語)	0	0
1006 (会計適性試験)	100	$12.5 = 100 \times 12.5\% = 13$ (四捨五入)

合計スコア = $25 + 12.5 = 37.5$ (四捨五入して 38)

評価プロパティ スコアの計算

検索条件に評価プロパティまたは関心レベル プロパティ

(JPM_RATING1、JPM_RATING2、JPM_RATING3、JPM_INTEREST_LEVEL) が含まれている場合、このプロパティ スコアの計算方法が他のプロパティの場合と異なります。100 か 0 かのスコアではなく、ターゲット プロファイルにおける評価または関心レベルが、検索条件で指定された評価または関心レベルにどの程度一致するかに応じたスコアが割り当てられます。

次のユースケースでは、検索のソースおよびターゲット プロファイル タイプのプロファイルの種類 (PERSON および JOB) に関連付けられたスコア処理の方法について説明します。

1. 個人に適合する職務を探す:

- ターゲット (任務) プロファイルで、一致するアイテムがあり、その評価レベル値がより高い場合、スコアは < 100% になります。
- ターゲット (任務) プロファイルで、一致するアイテムがあり、その評価レベル値が同じまたはより低い場合、スコアは 100% になります。
- ターゲット (任務) プロファイルで、一致するアイテムがあり、その評価レベル値がより低い場合は、そのターゲット プロファイル アイテムの「比較」ページに、資格範囲外の個人を示す記号が表示されます。

2. 職務に対する適性が最も一致する個人を採用する必要がある:

- ターゲット (個人) プロファイルで、一致するアイテムがあり、その評価レベル値が同じまたはより高い場合、スコアは 100% になります。
- ターゲット (個人) プロファイルで、一致するアイテムがあり、その評価レベル値がより低い場合、スコアは < 100% になります。
- ターゲット (個人) プロファイルで、一致するアイテムがあり、その評価レベル値がより高い場合は、そのターゲット プロファイル アイテムの「比較」ページに、資格範囲外の個人を示す記号が表示されます。

3. 特定の資格を持つ人を探す: (差異スコア処理を使用する)

- ターゲット (個人) プロファイルで、一致するアイテムがあり、その評価レベル値が同じである場合、スコアは 100% になります。

- ターゲット (個人) プロファイルで、一致するアイテムがあり、その評価レベル値がより低いかより高い場合、スコアは < 100% になります。
- 「比較」ページでは、資格範囲外の個人を示す記号は該当しないため、凡例に表示されません。

4. 特定の条件がある職務を探す: (差異スコア処理を使用する)

- ターゲット (任務) プロファイルで、一致するアイテムがあり、その評価レベル値が同じである場合、スコアは 100% になります。
- ターゲット (任務) で、一致するアイテムがあり、その評価レベル値がより低いかより高い場合、スコアは < 100% になります。
- 「比較」ページでは、資格範囲外の個人を示す記号は該当しないため、凡例に表示されません。

関心レベル プロパティについては、このトピックの後の「関心レベル プロパティ スコアの計算」で説明します。

評価プロパティのスコアは、アイテムに定義されている評価モデルのレベル数に基づいて計算されます。

重要 検索と比較を実行する際、ソースとターゲットのプロファイルでは、プロファイル アイテムに使用される評価モデルの評価レベル数が同じである必要があります。評価モデルが一致しない場合、スコアが正確に計算されません。

次の表に、検索と比較で割り当てられる評価モデルと評価レベルの例を示します。

評価	説明	評価レベル
A	優秀	5
B	優	4
C	良	3
D	可	2
E	不可	1

検索と比較でプロファイル アイテムに評価を割り当てると、要求されている評価と、ターゲットの評価レベルが比較されます。この例では、ソース プロファイルに次のアイテムとその評価が指定されているとします。

アイテム ID	評価	評価レベル
0102 (概念的思考力)	B (優)	4

次の表は、同じアイテムとそのアイテムの評価を含むターゲット プロファイルの一覧です。

プロフィール	アイテム ID	評価	評価レベル
01000	0102 (概念的思考力)	B (優)	4
02000	0102 (概念的思考力)	A (優秀)	5
03000	0102 (概念的思考力)	C (良)	3

基準評価レベル (ソース プロファイル) と、ターゲット プロファイルにおける実際の評価レベルとの差異は、次のように計算されます。

ABS (基準評価レベル - 実際の評価レベル)

ABS (絶対値) とは、(基準評価レベル - 実際の評価レベル) で計算された結果の正負の符号を無視するという意味です。このように差異を計算して実際の評価が基準評価より高い場合でも、評価スコアの計算に負の数値は使用されません。

注: この ABS 計算は、後述するユースケース 3 および 4 にのみ適用されます。ユースケース 1 および 2 では、別の計算アルゴリズムを使用します。

この例では、評価プロパティを使用する検索クエリーを示します。評価モデルには、考課基準に次のエントリが含まれています。

- 1 - 少
- 2 - 可
- 3 - 良
- 4 - 優秀

増分加重 = 4 基準エントリ / 100 = .25

検索条件によって、評価が 3 - 良と一致するアイテムがあるプロフィールを探します。

1. ユースケース 1: 個人に適合する職務を探す

このユースケースでは、職務要件が個人の資格とどの程度一致するかを評価し、個人の技能レベルが職務要件を超えるアイテムについて、資格範囲外であることを示します。

加重を割り当てるためのデフォルトのロジックは次のとおりです。

- 基準でエントリ番号を探します (つまり、3 は 3 番目の基準エントリです)。
- 各基準エントリの増分加重を計算します。基準エントリ合計 / 100 = n% (つまり、4/100 = .25) となります。
- 目標評価レベルが基準評価を超える (>) 場合は、次のようにスコアが計算されます。

$$1 - [(目標評価レベル - 基準評価) * 増分加重]$$

- 目標評価レベルが基準評価以下 (\leq) の場合は、スコアとして 100% が割り当てられます。

検索条件評価値 3 - 良に基づいて生成されるスコアは次のとおりです。

- 1 - 少の目標評価レベル = 100%
- 2 - 可の目標評価レベル = 100%
- 3 - 良の目標評価レベル = 100%
- 4 - 優秀の目標評価レベル = $1 - [(4 - 3) * .25] = 75\%$

2. ユースケース 2: 職務に適合する個人を探す

このユースケースでは、個人の資格が職務要件とどの程度一致するかを評価し、個人の技能レベルが職務要件を超えるアイテムについて、資格範囲外であることを示します。

検索条件評価値 3 - 良に基づいて生成されるスコアは次のとおりです。

- 1 - 少の目標評価レベル = $1 - [(3 - 1) * .25] = 50\%$
- 2 - 可の目標評価レベル = $1 - [(3 - 2) * .25] = 75\%$
- 3 - 良の目標評価レベル = 100%
- 4 - 優秀の目標評価レベル = 100%

- 増分加重を計算します。基準エン트리合計 / 100 = n% (つまり、 $4/100 = .25$) となります。
- 目標評価レベルが基準評価以上の場合、スコアとして 100% が割り当てられます。
- 目標評価レベルが基準評価未満の場合、スコア計算は次のとおりです。

$$1 - [(基準評価 - 目標評価レベル) * 増分加重]$$

3. ユースケース 3 および 4: 個人と個人または職務と職務を比較する。

このユースケースでは、複数の個人の資格がどの程度一致するか、または複数の職務の要件がどの程度一致するかを評価します (つまり、差異スコア処理)。

スコア処理アルゴリズムは、次のように計算できます。

- 増分加重の計算 = 基準エン트리合計 / 100 = n% (つまり、 $4/100 = .25$)。
- $スコア = 1 - (ABS(目標評価レベル - 基準評価レベル) * 増分加重)$

検索条件評価値 3 - 良に基づいて生成されるスコアは次のとおりです。

目標の評価 = 1 - 少: $1 - (ABS(1 - 3) * .25) = 50\%$

目標の評価 = 2 - 可: $1 - (\text{ABS}(2 - 3) * .25) = 75\%$

目標の評価 = 3 - 良: $1 - (\text{ABS}(3 - 3) * .25) = 100\%$

目標の評価 = 4 - 優秀: $1 - (\text{ABS}(4 - 3) * .25) = 75\%$

次の表は、このプロフィール例における基準評価と実際の評価の差異の一覧です。

プロフィール	アイテム ID	基準評価レベル	実際の評価レベル	ABS (基準評価 - 実際の評価)
01000	0102	4	4	0
02000	0102	4	5	1
03000	0102	4	3	1

この差異の値を使用して、評価スコアは次の公式で計算されます。

評価スコア = $100 - \text{ABS}(\text{基準評価レベル} - \text{実際の評価レベル}) \times \text{評価加重}$

評価加重の計算方法は次のとおりです。

評価加重 = $100 / (\text{評価モデルにおける評価レベルの合計数})$

この例の評価モデルでは評価レベルの合計数が 5 なので、評価加重は 20 (= 100/5) です。

次の表は、この例の各プロフィールに対する評価スコアの一覧です。

プロフィール	アイテム ID	ABS (基準評価 - 実際の評価レベル)	評価スコア
01000	0102	0	100
02000	0102	1	80
03000	0102	1	80

評価スコアの最高値は 100 となり、これはソースとターゲットの両方でアイテムの評価が一致する場合にのみ適用されます。ターゲットでの実際の評価が基準評価より低い、または高い場合、評価スコアは 100 より低くなります。この例のプロフィール 02000 と 03000 では、評価が異なっても評価スコアは同じになることがわかります。これは、基準評価と実際の評価との差異が 2 つのプロフィールで同じであるためです。

評価モデル プロパティを持つアイテムに対する加重の適用方法は、評価モデル プロパティを持たないアイテムに対する加重の場合と同様です。

この計算方法を示すために、次の例では、評価モデル プロパティを持つアイテムでのスコアの計算方法を示します。次の表に示すように、この例では求人検索条件に3つのコンピテンシー アイテムと基準評価があり、重要度の値も設定されています。

アイテム ID	評価	評価レベル	重要度
0102 (概念的思考力)	C (良)	3	2 - 標準以下
0110 (勤務時間管理)	A (優秀)	5	4 - 標準以上
0203 (信頼度と成熟度)	B (優)	4	3 - 平均

検索と比較におけるターゲット プロファイルは個人プロフィールです。次の表は、Nicola Richardson のコンピテンシー評価です。

アイテム ID	評価	評価レベル
0102 (概念的思考力)	B (優)	4
0110 (勤務時間管理)	A (優秀)	5
0203 (信頼度と成熟度)	D (可)	2

この検索/比較では、各アイテムについて2つのプロパティ スコアが計算されます。

- アイテム ID。
 同じコンピテンシー アイテムを持つプロフィールはスコアが 100 となります。コンピテンシーを持たない場合、スコアは 0 となります。
- 評価プロパティの評価スコア。

検索/比較の最初のステップでは、各コンピテンシー アイテムのプロパティ スコアが計算されます。次の表は、Nicola Richardson のプロパティ スコアの一覧です。

アイテム ID	評価レベル	アイテム ID スコア	評価スコア
0102	4	100	$80 = 100 - [ABS(3-4) \times 20]$
0110	5	100	$100 = 100 - [ABS(5-5) \times 20]$
0203	2	100	$60 = 100 - [ABS(4-2) \times 20]$

次に、次の値が計算されます。

- プロパティ スコアの合計。
 各アイテムのプロパティ スコアの合計は、アイテム ID と評価に対するプロパティ スコアの合計です。

- アイテム スコアの平均。

計算方法は次のとおりです。

合計プロパティ スコア/プロパティ数

この例では、プロパティ数は2 (アイテム ID と評価) です。

次の表は、Nicola のアイテム スコアの一覧です。

	プロパティ スコア			
アイテム ID	アイテム ID スコア	評価スコア	プロパティ スコアの合計	アイテム スコアの平均
0102	100	80	180 = 100 + 80	90 = 180/2
0110	100	100	200 = 100 + 100	100 = 200/2
0203	100	60	160 = 100 + 60	80 = 160/2

次に、アイテム スコアの平均に加重が適用されます。そのために、アイテムに割り当てられた重要度に基づいて、次の公式で各アイテムの加重が計算されます。

重要度 % = (アイテムの重要度/合計重要度) × 100

この例では、重要度の合計が9 (= 2 + 4 + 3) です。

次の表は、コンピテンシー アイテムの加重の一覧です。

アイテム ID	重要度	重要度 %
0102	2	22.22% = 2/9 × 100
0110	4	44.44% = 4/9 × 100
0203	3	33.33% = 3/9 × 100

加重後のアイテム スコアは、次のように計算されます。

アイテム スコア (加重後) = アイテム スコア × 重要度 %

次の表は、Nicola の加重後のアイテム スコアの一覧です。

アイテム ID	アイテム スコアの平均	アイテム スコア (加重後)
0102	90	20 = 90 × 22.22%
0110	100	44 = 100 × 44.44%

アイテム ID	アイテム スコアの平均	アイテム スコア (加重後)
0203	80	27 = 80 × 33.33%

最後に、加重後のアイテム スコアをすべて合計して、プロフィール スコアの合計が計算されます。

合計プロフィール スコア = 91 = 20 + 44 + 27

関心レベル プロパティ スコアの計算

検索条件に関心レベル プロパティ (JPM_INTEREST_LEVEL) が含まれている場合も、プロパティ スコアの計算方法は評価プロパティの場合と同様です。関心レベルのプロパティ スコアは、ターゲット プロファイルにおける関心レベルが、検索条件で指定された関心レベルにどの程度一致するかに基づいて決定されます。

関心レベル スコア = 100 - ABS (基準関心レベル - 実際の関心レベル) × 評価加重

評価加重の計算方法は次のとおりです。

評価加重 = 100 / (評価モデルにおける評価レベルの合計数)

標準の関心レベル モデル (評価モデルとして提供されている) には 5 つのレベルがあるので、評価加重は 20 (100/5) となります。

必須アイテムのアイテム スコアの計算

各アイテムの「必須」チェック ボックスは、自動的に検索条件に追加されます。アイテムのこのチェック ボックスを選択すると、そのアイテムを含むプロフィールと、そのアイテムに指定されているすべてのプロパティが検索対象になります。プロフィールが検索条件に含まれるためには、プロフィールにこのアイテムが含まれ、かつ指定のアイテム プロパティが正確に一致している必要があります。アイテム プロパティの異なるプロフィールは含まれません。

次の表に示す例では、検索条件に 2 つのコンピテンシー アイテムと学位が指定されています。

アイテム ID	評価	国	必須
0110 (勤務時間管理)	3		Y
0203 (信頼度と成熟度)	4		N
BA (文学士)		CAN	N

次の表は、ターゲット プロファイルでのアイテムとそのアイテム スコアの一覧です。

アイテム ID	評価	国	アイテム スコア (加重なし)
0110 (勤務時間管理)	2		0

アイテム ID	評価	国	アイテム スコア (加重なし)
0203 (信頼度と成熟度)	4		100
BA (文学士)		USA	50

注: アイテム 0110 に対するターゲット プロファイルのスコアは 0 になります。これは、評価が検索条件と一致せず、アイテムが必須に指定されているためです。必須アイテムのスコアが 0 の場合、検索結果としてこのプロフィールは返されません。

「プロフィールの検索」ページ

検索条件のソースとして使用するプロフィールを選択するには、「プロフィールの検索」ページ (JPM_COM_PROF_SRCH) を使用します。

選択するソース プロファイルによって、デフォルトの検索条件が提供されます。このページが表示されるのは、選択した検索の条件ルールが「デフォルト値使用/変更不可」または「デフォルト値使用/変更可」であり、かつソース プロファイル タイプが非個人プロフィール タイプの場合のみです。条件ルールがデフォルト値なし/条件指定の場合は、「検索条件」ページで検索条件を手動で入力します。

ナビゲーション

「プロフィールの検索」ページで検索のリンクを選択します。

画像: 「プロフィールの検索」ページ

次の例では、「プロフィールの検索」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Job Profile Search

Select a Profile
To view a Profile, enter your search criteria and select the "Search" push button.

Basic Search Criteria

Type Job

Profile ID

Profile Name

Status

Legacy Profile ID

[Advanced Search](#)

Your search has returned 4 results.

Profile Search Results [Personalize](#) | [Find](#) | [View All](#) | [Print](#) | [Refresh](#) | First 1-4 of 4 Last

Profile ID	Profile Type	Profile Name	Status	Legacy Profile ID
FEJ001	Job	HR Representative	Active	
FEJ010	Job	HR Manager	Active	
HXCS10_CP	Job	HR Admin	Active	
HXCSPP10_CP	Job	HR Administrator	Active	

[Select All](#) [Deselect All](#)

[Return to Previous Page](#)

基本検索条件

タイプ	検索のソースとして定義されているプロフィール タイプが表示されます。ソースおよびターゲットのプロフィール タイプは、「 検索設定の定義 」ページで設定します。
プロフィール ID	プロフィールを選択するか、プロフィール ID の一部を入力します。
プロフィール名	プロフィール名またはその一部を入力するか、名称の一致するプロフィールを検索します。
ステータス	「アクティブ」などの特定ステータスのプロフィールのみをリストする場合はステータスを選択します。
旧バージョン プロフィール ID	HR の旧バージョンで存在していたプロフィールを検索したい場合は、旧バージョン プロフィール ID を入力します。旧バージョンプロフィール ID は、アップグレードの際にプロフィールに割り当てられます。
検索	このボタンをクリックすると、検索条件に一致するプロフィールがリストされます。
クリア	このボタンをクリックすると、ページからすべての検索条件または検索結果がクリアされます。

プロフィール検索結果

このスクロール領域に、選択した検索条件に一致するプロフィールがリストされます。検索および比較のソースとして使用するプロフィール名をクリックします。検索タイプに応じて、検索条件ページが表示されるか、選択したプロフィールを使用して検索が実行されます。検索の条件ルールが「[デフォルト値使用/変更可](#)」の場合、検索条件ページが表示されて、検索の実行前に検索条件を変更することができます。検索の条件ルールが「[デフォルト値使用/変更不可](#)」の場合、検索が実行されて、検索結果ページに結果が表示されます。

「検索条件」ページ

検索/比較の検索条件を表示および変更するには、「検索条件」ページ (JPM_SRCH_CRITERIA) を使用します。

「プロフィールの検索」ページで選択した検索の条件ルールが「[デフォルト値使用/変更可](#)」または「[デフォルト値なし/条件指定 \(アドホック\)](#)」の場合、検索の実行前にこのページが表示されます。条件ルールが「[デフォルト値使用/変更不可](#)」の場合、「検索条件」ページを表示せずに検索が実行されます。

ナビゲーション

- 「プロフィールの検索」ページで検索のリンクを選択します。
- 「検索結果」ページで「検索条件の変更」リンクをクリックします。

画像: 「検索条件」ページ (1/2): ページの「検索フィルタ」セクション

次の例では、「検索条件」ページの「検索フィルタ」セクションのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search and Compare Profiles

Search Criteria - Find people having certain qualifications

Search for profile results that have an exact match on one or more of the profile item criteria entered.

▼ Search Filters

The search filter will limit the search to specific profile groups. You can add search filters by selecting the Add Search Filter icon. Select the filtering method and enter the profile group.

*Find Profile Group Results with at least one group

Profile Group Type	Profile Group ID	Profile Group Name	
<input style="width: 95%;" type="text"/>	<input style="width: 95%;" type="text"/>	<input style="width: 95%;" type="text"/>	🗑️

Find Location Results with at least one filter

Current Country	Current Business Unit	Current Location	
<input style="width: 95%;" type="text" value="USA"/>	<input style="width: 95%;" type="text"/>	<input style="width: 95%;" type="text"/>	🗑️

Travel Preferences

Willing to Relocate	Take International Assignment	Willing to Travel	
<input style="width: 95%;" type="text" value="Yes"/>	<input style="width: 95%;" type="text" value="No"/>	<input style="width: 95%;" type="text" value="Yes"/>	🗑️

画像: 「検索条件」ページ (2/2): ページの「検索条件」セクション

次の例では、「検索条件」ページ (2/2) の「検索条件」セクションのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a 'Search Criteria' section with the following content:

Select items in one or more content sections, entering any properties relevant to the search. Specify the item importance and indicate if it is mandatory. Select the Search button to run the search.

Competencies				
Item	*Importance	Mandatory	Related Items	Target Proficiency
Communication Skills	3 - Average	<input type="checkbox"/>		

+ Competencies Remove All

Degrees				
Item	*Importance	Mandatory	Country	
Bachelor of Arts	3 - Average	<input type="checkbox"/>		
Bachelor of Science	3 - Average	<input type="checkbox"/>		

+ Degrees Remove All

- + Honors and Awards
- + Language Skills
- + Licenses and Certifications
- + Memberships
- + Military Rank

このページで、検索条件を定義します。選択した検索の条件ルールが「デフォルト値使用/変更可」の場合、プロフィールの検索ページまたは個人検索ページで選択したソース プロファイルに基づいて、デフォルトの検索条件が自動的に表示されます。必要に応じて、検索条件を確認し変更します。

一方、選択した検索にプロフィール タイプが定義されていない場合は、まず使用するソースおよびターゲットのプロフィール タイプを指定してから、検索条件を手動で定義します。

注: このページにリストされるコンテンツ タイプと、各コンテンツ タイプのフィールドは、選択した検索タイプ、プロフィール タイプ定義、およびコンテンツ タイプ定義によって異なります。

「[プロフィールの検索/比較について](#)」を参照してください。

「[プロフィール タイプの設定](#)」を参照してください。

「[コンテンツ タイプとプロパティの設定](#)」を参照してください。

「ソース プロファイル タイプ」および「ターゲット プロファイル タイプ」

検索で使用するプロフィール タイプを選択します。ソース プロファイル タイプは、検索条件の基準として使用されます。ターゲットは、一致するプロフィールを検索する対象となるプロフィール タイプです。

これらのフィールドは、「検索設定」ページでソースまたはターゲットのプロフィール タイプを定義していないアドホック検索で表示されます。

各フィールドに値を指定すると、検索に使用できるコンテンツ セクションと検索フィルタが表示されます。

- 検索** クリックすると、このページで指定した条件に基づいて検索が開始されます。検索が実行され、一致するプロフィールが「検索結果」ページに表示されます。
- クリア** 検索条件をクリアする場合は、このボタンをクリックします。

検索フィルタ

フィルタには、プロフィールの設定に応じて、プロフィール グループ、現在の勤務地、希望出張地などが含まれます。選択したプロフィールに検索を限定する場合は、「プロフィール グループ」グループ ボックスを使用します。「プロフィール グループ」グループ ボックスが表示されるのは、ターゲット プロファイル タイプが検索可能なプロフィール グループに属している場合のみです。ターゲット プロファイル タイプのプロファイル タイプ設定に現在の勤務地と希望出張地のコンテンツ セクションが含まれる場合は、これらのフィルタのグループ ボックスも表示されることがあります。

フィルタのデータは、ターゲット プロファイルの候補の絞り込みに使用されますが、全体的な検索スコアには影響しません。たとえば、情報システム管理者の職務の要件に最も一致し、パリ オフィスに在籍している従業員を検索するとします。「現在の勤務地」のフィールドを使用して、パリ オフィスに在籍していない候補者を除外しますが、候補者のスコアは、情報システムの管理者の任務プロフィールにどの程度一致するかに基づいて決まります。候補者が見つからない場合は、「転勤可」や「海外勤務可」などの「希望出張地」のプロパティをフィルタとして使用し、パリ オフィスに在籍者以外の候補者を検索できます。PERSON プロファイル タイプは、個人についてこれらのプリファレンスを入力できる「勤務地変更」コンテンツ セクションに標準で用意されています。

「[「プロフィール グループ タイプ」ページ](#)」を参照してください。

検索条件

このセクション内のフィールドは、プロフィール タイプの設定によって異なります。

- 重要度** プロファイル アイテムの重要度を示す値を選択します。デフォルト値は「3 - 平均」です。「重要度」の値は、プロフィールが検索条件にどの程度一致するかを決定する際に使用されます。高い重要度を選択した場合、そのプロフィール アイテムを含むプロフィールの方が、同じプロフィール アイテムを含まないプロフィールより高い程度で一致するとみなされます。
- 必須** 一致するプロフィールが必ず特定のプロフィール アイテムを含むようにする場合は、それらのアイテムのチェック ボックスを選択します。検索を実行すると、必須のアイテムに一致し、検索条件での指定と同じアイテム プロパティを持つターゲット プロファイルが検索されます。たとえば、検索条件に必須のコンピテンシー アイテムを含め、そのコンピテンシーの能力レベル評価も指定した場合、そのコンピテンシー アイテムおよび同じ能力レベル評価を持つプロフィールのみが検索結果に表示されます。

関連アイテム

「関連アイテム」ページにアクセスし、検索の一部にする関連アイテムを入力する場合は、このアイコンを選択します。

このアイコンは、コンテンツ アイテムを関連アイテムで設定している場合に使用可能になります。

関連アイテム条件ページ

検索条件として含める関連アイテムを入力するには、関連アイテム条件ページ (JPM_SRCH_RELITMS) を使用します。

ナビゲーション

「検索条件」ページでアイテムの「関連アイテム」アイコンを選択します。

画像: 関連アイテム条件ページ

次の例では、関連アイテム条件ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Sub-Competencies		
Item	Importance	Mandatory
Written communication	3 - Average	<input type="checkbox"/>

+ Add Related Item

OK Cancel

検索に特定の関連アイテムを含めるには、「関連アイテムの追加」リンクを選択します。このアイテムが検索に含める必須のアイテムかどうかを指定してください。検索条件に必須の関連アイテムを含めると、検索結果にはその関連アイテムがあるターゲット プロファイルのみが含まれます。

「検索結果」ページ

検索結果を表示するには、「検索結果」ページ (JPM_SRCH_RESULT) を使用します。

ナビゲーション

- 「検索条件」ページで「検索」ボタンをクリックします。
- 「プロフィールの検索」ページでプロフィールを選択します。

画像: 「検索結果」ページ (1/2)

次の例では、「検索結果」ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search and Compare Profiles

Search Results - Find jobs

The following profiles match one or more of the items entered as search criteria.

To view the details for a profile, select the hyperlink on the Profile Name below. Up to ten profiles can be compared or added to an interest list by selecting the profile result checkbox. Then select the Compare Profiles button to display the profile item comparison details or select the Add to Interest List button to add to an employee interest list.

Your search returned result 1 - 10 out of 44. [Next](#)

Select	Score	Profile Name
<input checked="" type="checkbox"/>	50	N900001 - Position N90001
<input checked="" type="checkbox"/>	50	JPN Technical Staff Grade 3
<input type="checkbox"/>	50	Mgr-Finance
<input type="checkbox"/>	50	Mgr-Finance
<input type="checkbox"/>	25	Another Job Profile HXESS008
<input type="checkbox"/>	25	Finance Director
<input type="checkbox"/>	25	HXMP02 CP sr. Clerk
<input type="checkbox"/>	25	Director for CP
<input type="checkbox"/>	25	HXSS04 Sr Mgr
<input type="checkbox"/>	25	HXSS02 CP Sr Officer

画像: 「検索結果」ページ (2/2)

次の例では、「検索結果」ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Selected Profiles

Select the Compare Profiles button to compare selected profiles against the search criteria. Select the Add to Interest List button to add profiles to the interest list of a selected person.

Score	Profile Name
50	JPN Technical Staff Grade 3
50	N900001 - Position N90001

[Modify Search Criteria](#)
[Return to Search For Profiles](#)

重要 検索/比較の実行時に、索引を特定できない場合、検索用索引が見つからないことを示すメッセージが表示されます。つまり、索引を作成するための検索用索引のスケジューリング (SES) プロセスが実行されていないか、または SES 環境にアクセスできません。

索引を特定できても、検索条件に一致するプロフィールが見つからない場合は、検索の結果が返されなかったことを示すメッセージが表示されます。

検索結果

選択

プロフィールを選択する場合は、このチェック ボックスを選択します。これにより、プロフィールが「選択済プロフィール」セクションに追加され、比較プロセスで使用されるようになります。比較には最大 10 のプロフィールを選択できます。

スコア

スコアのリンクをクリックすると、「検索結果」ページが表示されます。このページには、検索条件のアイテムと、選択したプロフィールで対応するアイテムの検索スコアがリストされます。

プロフィール名

プロフィール名 をクリックするとプロフィールが表示されます。プロフィール タイプに応じて、「個人プロフィール」ページまたは「非個人プロフィール」ページが表示されます。

選択済プロフィール

プロフィールの比較

比較を実行する場合は、このボタンをクリックします。比較には 1 から 10 個のプロフィールを含めることができます。「比較結果」ページが表示され、検索条件のアイテムと、選択したプロフィールで対応するアイテムがリストされます。

希望任務リストに追加

このボタンをクリックすると、選択したプロフィールが個人の希望任務リストに追加されます。

このボタンは、検索のターゲット プロフィール タイプが非個人プロフィール タイプの場合に表示されます。

検索条件の変更

検索条件を変えて検索を再実行する場合は、このリンクをクリックして検索条件を表示および変更します。「検索条件」ページが表示されます。

プロフィールの検索に戻る

新しい検索を実行するには、このリンクをクリックします。「プロフィールの検索」ページに戻り、使用可能な検索がすべてリストされます。

「プロフィールの比較」ページ

比較するソースおよびターゲット プロフィール タイプを選択するには、「プロフィールの比較」ページ (JPM_COMPARE_MAIN) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」, 「プロフィール管理」, 「プロフィール」, 「プロフィールの比較」

画像: 「プロフィールの比較」ページ

次の例では、「プロフィールの比較」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Compare Profiles

Enter the source Profile Type and the Source Profile ID you want to use as the basis for the comparison. Then enter the Target Profile Type and add the Target Profiles that will be used in the comparison against the Source Profile. Select Compare to view the report.

Source Profile Type Job

Source Profile ID HR Administrator

Target Profile Type Person

Add Target Profiles		
Empl ID	Description	
<input type="text" value="HXCPADM01"/>	Andy Garcia	
<input type="text" value="HXCPADM02"/>	Doris Green	

[+ Add Profile](#)

[Compare Profiles](#)

ソース プロファイル タイプ

比較のソースとして使用するプロフィール タイプを選択します。

ソース プロファイル ID

ターゲット プロファイルと比較する対象のプロフィールを選択します。

ターゲット プロファイル タイプ

ターゲット プロファイルを選択するプロフィール タイプを選択します。

「ターゲット プロファイル ID」または「従業員 ID」(従業員の識別)

プロフィール ID を選択します。ターゲット プロファイルは、「ソース プロファイル ID」フィールドで選択したプロフィールと比較されます。

プロフィールの追加

別のターゲット プロファイルを追加する場合にクリックします。

「比較結果」ページ

選択したプロフィールの比較のサマリを表示するには、「比較結果」ページ (JPM_COMPARE_RESULT) を使用します。

ナビゲーション

- 「プロフィールの比較」ページでソースおよびターゲット プロファイルを選択し、「プロフィールの比較」ボタンをクリックします。
- 「検索結果」ページでプロフィールを選択し、1 から 10 のプロフィールの横にあるチェック ボックスを選択し、「プロフィールの比較」ボタンを選択します。
- 「検索結果」ページでスコアのリンクをクリックします。
- 「希望任務リスト」ページで「比較」ボタンをクリックします。
- 「従業員プロフィールを現在の職務と比較」プロフィール アクションを選択し、「実行」アイコンを選択します。

画像: 「比較結果」ページ

次の例では、「比較結果」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Compare Profiles		
Compare Results		
*View Content Section <View All Sections>		
■ No Match ▼ Partial Match ● Complete Match ◆ Person Overqualified		
Compare Results	Andy Garcia: 100%	Doris Green: 22%
Search Criteria - HR Administrator	Competencies	Competencies
Developing others : Proficiency: 4-Very Good	● 100% 4-Very Good	◆ 100% 5-Expert
Develop goals for organization : Proficiency: 5-Expert	● 100% 5-Expert	● 100% 5-Expert
Negotiation/mediation : Proficiency: 4-Very Good	◆ 100% 5-Expert	■ 0% --
Human Relations : Proficiency: 4-Very Good	◆ 100% 5-Expert	■ 0% --
Degrees	Degrees	Degrees
Bachelor of Science :	● 100%	■ 0%
Master of Business Admin :	● 100%	● 100%
Language Skills	Language Skills	Language Skills
English : Reading Proficiency: 3 - High Native Language: No Able To Translate: No Able To Teach: No	● 100% 3 - High No No No	● 100% 3 - High No No No
Licenses and Certifications	Licenses and Certifications	Licenses and Certifications
Procurement Management : Renewal In Progress: No License Verified: No	● 100% No No	■ 0% -- --
Responsibilities	Responsibilities	Responsibilities
Research and Resolve customer issues :	● 100%	■ 0%

このページには比較の結果が表示されます。このページには、「検索結果」ページや「プロフィールの比較」ページからアクセスするか、または「希望任務リスト」ページで「比較」ボタンをクリックしてアクセスし

ます。左側の列には、ソース プロファイルまたは検索条件にあるコンテンツ セクションとコンテンツ アイテムが表示されます。関連アイテムは、関連するアイテムの下にインデントされたアイテムとして表示されます。残りの列には、対応するターゲット プロファイルのデータが表示されます。各ターゲット プロファイルのアイテム スコアが表示されます。プロフィール アイテムに関する詳細を表示するには、スコアのリンクを選択します。

コンテンツ セクションの表示

プロフィールのすべてのセクションをリストする場合は「*全てのセクションを表示*」を選択し、1 つのコンテンツ セクションのみについて情報を表示する場合はそのセクションを選択します。デフォルトは「*全てのセクションを表示*」です。

希望任務リストの管理

次の各トピックでは、希望任務リストの概要および共通の要素のリストを示し、希望任務リストを管理する方法について説明します。

希望任務リストの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「個人別希望任務リスト」ページ	JPM_INTEREST_PERS	従業員の希望任務リストを表示し、リストにプロフィールを追加します。
「プロフィール別希望任務リスト」ページ	JPM_INTEREST_PROF	選択したプロフィールを希望任務リストに載せている従業員のリストを表示します。選択したプロフィールを従業員の希望任務リストに追加することもできます。

希望任務リストについて

希望任務リストを使用すると、従業員は興味のある非個人プロフィールのリストを管理できます。さらに、追加されたプロフィールと自身のプロフィールを比較して、適合の程度を確認できます。希望任務リストには、任意のプロフィールを含めることができます。たとえば、従業員は自身のキャリア プランに追加したい職務のプロフィールや、自身のプロフィールに類似した任務プロフィールを追加することができます。希望任務リストは各従業員が所有し、従業員、管理者、およびプロフィール管理責任者がそれを変更できます。

- 従業員は、eDevelopment-人材開発で提供されるセルフサービス オプションを使用して自身の希望任務リストを管理します。

希望任務リストには、各プロフィールを誰がリストに追加したかが示され、従業員は追加されたプロフィールを削除できます。管理者またはプロフィール管理責任者によって追加されたプロフィールは削除できません。

- 管理者は、eDevelopment-人材開発の管理者セルフサービス オプションを使用して直属部下の希望任務リストを表示および変更できます。

管理者が希望任務リストから削除できるのは、自身が追加したプロフィールのみです。従業員またはプロフィール管理責任者によって追加されたプロフィールは削除できません。

- 管理責任者は、自身のロールに関連付けられている行レベルのセキュリティ権限に基づいて希望任務リストにアクセスします。

プロフィール管理責任者は、従業員および管理者によって追加されたプロフィールも含めて任意のプロフィールを希望任務リストから削除できます。

関連リンク

「希望任務リストの管理」(「eDevelopment-人材開発」)

希望任務リストを管理するために使用される共通の要素

プロフィール

プロフィールのリンクをクリックするとプロフィールが表示されます。希望任務リスト ページでこのリンクをクリックした場合は「非個人プロフィール」ページに進み、プロフィール別希望任務リスト ページでリンクをクリックした場合は「個人プロフィール」ページに進みます。

割当者

希望任務リストにプロフィールを追加したユーザーの名前が表示されます。従業員、管理者、管理責任者のいずれかです。

「個人別希望任務リスト」ページ

従業員の希望任務リストを表示し、リストにプロフィールを追加するには、「個人別希望任務リスト」ページ (JPM_INTEREST_PERS) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「個人別希望任務リスト」、「個人別希望任務リスト」

画像: 「個人別希望任務リスト」ページ

次の例では、「個人別希望任務リスト」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Interest List			
		Personalize Find View All [grid icon]	First 1-4 of 4 Last
Profile	Assigned By	Compare Profiles	Delete
Accountant	Betty Locherty	»»	🗑️
Admin Assistant	Betty Locherty	»»	🗑️
Analyst - Financial	Betty Locherty	»»	🗑️
General Clerk	Betty Locherty	»»	🗑️

+ Add Profile

プロフィールの追加

従業員の希望任務リストに別のプロフィールを追加する場合は、このリンクをクリックします。

プロフィールの比較

このアイコンをクリックすると、「結果比較」ページにアクセスします。比較プロセスを使用するためには、まず適切な SES 索引を作成する必要があります。「[検索用索引の作成](#)」を参照してください。

「プロフィール別希望任務リスト」ページ

希望任務リストでプロフィールを選択している従業員のリストを表示するには、「プロフィール別希望任務リスト」ページ (JPM_INTEREST_PROF) を使用します。

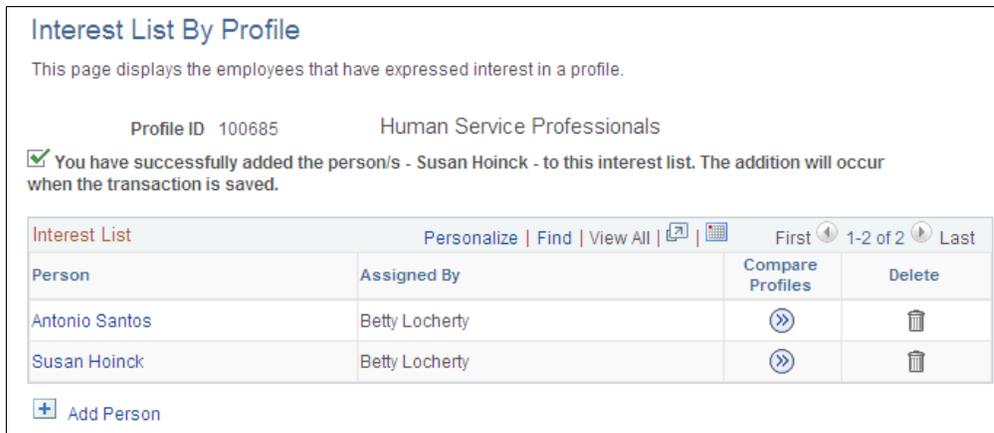
選択したプロフィールを従業員の希望任務リストに追加することもできます。

ナビゲーション

「人材開発」,「プロフィール管理」,「プロフィール」,「プロフィール別希望任務リスト」,「プロフィール別希望任務リスト」

画像:「プロフィール別希望任務リスト」ページ

次の例では、「プロフィール別希望任務リスト」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



個人の追加

別の従業員の希望任務リストにプロフィールを追加する場合は、このリンクをクリックします。

プロフィールの比較

このアイコンをクリックすると、「結果比較」ページにアクセスします。比較プロセスを使用するためには、まず適切な SES 索引を作成する必要があります。「[検索用索引の作成](#)」を参照してください。

研修の追跡管理

次の各トピックでは、従業員研修の追跡について、その概要と方法を説明します。

従業員研修の追跡に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「研修」ページ (「 学生研修データの管理 」(「 PeopleSoft ヒューマンリソース管理教育・研修管理 」)を参照してください)	COURSE_STUDNT_ENRL	従業員が終了した、登録している、または登録待ちの研修コースの詳細が表示されます。このページには、教育・研修管理ビジネス プロセスを使用して管理するコース セッションが表示されます。
「 専門研修 」ページ	EDUCAT_TRAIN_GBL	教育・研修管理ビジネス プロセスで管理されない従業員研修を記録します。

従業員研修を追跡する方法について

教育・研修管理ビジネス プロセスでは、研修コースの設定とコース セッションの管理を行うことができます。教育・研修管理を使用して研修コースを管理すると、「研修」ページ (COURSE_STUDNT_ENRL) で従業員研修の履歴に関するサマリを見ることができます。

教育・研修管理では管理されない他の研修を追跡するには、「専門研修」ページ (EDUCAT_TRAIN_GBL) を使用します。このページを使用すると、従業員が登録されている、または完了した研修を追跡できます。

このトピックでは、従業員研修詳細情報の記録方法について説明します。

関連リンク

「学生研修データの管理」(「PeopleSoft ヒューマン リソース管理教育・研修管理」)

「専門研修」ページ

教育・研修管理ビジネス プロセスを使用して管理していない従業員研修を記録するには、「専門研修」ページ (EDUCAT_TRAIN_GBL) を使用します。

ナビゲーション

- 「人材開発」, 「プロフィール管理」, 「プロフィール」, 「専門研修」, 「専門研修」
- 「教育・研修管理」, 「結果管理」, 「個人プロフィールの管理」, 「専門研修」, 「専門研修」
- 「人事・労務管理」, 「海外赴任管理」, 「赴任者コンピテンシー」, 「専門研修」, 「専門研修」

画像: 「専門研修」ページ

次の例では、「専門研修」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Professional Training				
Antonio Santos			Person ID KU0010	
Training Personalize Find View All 1-2 of 2 First Last				
Course Title	School Name	Course Start Date	Course End Date	Enrollment/Attendance
Organizational Behavior	Sargam Prof School	05/04/200	06/16/200	Completed
Time Management		03/16/200	03/20/200	Completed

コース名 研修コースの名称を入力します。

学校名 コースを運用している教育機関または研修企業の名称を入力します。

「コース開始日」および「コース終了日」 コースを開始した日付と終了した日付を入力します。

プロフィールの適合性の分析

プロフィールの比較について

PeopleSoft プロファイル管理ビジネス プロセスでは、プロフィールの比較に 3 つの方法があります。

- プロファイルの検索/比較。
- プロファイルの比較。
- 任務適合。

プロフィールの検索/比較

プロフィールの検索/比較オプションを使用すると、コンテンツ カタログ、プロフィール タイプ、ユーザーに適した検索を設定することができます。実行する検索を選択すると、検索条件に最も一致するプロフィールが返されます。検索結果の各プロフィールには、検索条件に指定されたすべてのアイテム プロパティとどの程度一致するかを示すスコアが割り当てられます。検索結果に含まれるプロフィールを、検索条件と比較することもできます。検索タイプによっては、検索条件の変更も可能であるため、プロフィールの検索/比較は任務適合より柔軟になります。

特定のプロフィールまたはプロフィール アイテム条件があり、プロフィール タイプ内で一致するプロフィールを検索したい場合は、プロフィールの検索/比較オプションを使用します。

「[プロフィールの検索と比較](#)」を参照してください。

プロフィールの比較

プロフィールの比較オプションを使用すると、ソース プロファイルと 1 つ以上のターゲット プロファイルとをオンラインで比較できます。

「[比較結果](#)」ページ」を参照してください。

プロフィール適合

特定の従業員プロフィールと特定の非個人プロフィールを比較し、能力レベルおよび重要度に基づいて各コンピテンシーに関する差異情報を取得したい場合にのみ、プロフィール適合オプションを使用してください。

「人材開発」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール適合」メニューのオプションを使用すると、従業員プロフィールのコンピテンシーおよびその他のプロフィール コンテンツと非個人プロフィールに必要なコンピテンシーおよびその他のプロフィール コンテンツを比較したり、従業員プロフィールのグループと非個人プロフィールで業務を比較できます。適合の程度は、重要度 (フィー

ルド JPM_IMPORTANCE) と、コンピテンシーの場合にはさらにアイテム能力レベル (フィールド JPM_RATING1) に基づいています。比較は設定できず、これらのフィールドのみが使用されます。一致スコアとして割り当てられる点数は、一致するアイテムの重要度の点数に基づきます。非個人プロフィールで使用されているプロフィール タイプに JPM_IMPORTANCE がコンテンツ タイプのフィールドとして定義されていない場合、各アイテムに重要度 1 が与えられ、スコア付けされる点数は適合したアイテムの数に一致します。

適合性分析は任意のプロフィール タイプを使用して行うことができますが、標準の PERSON および ROLE プロフィール タイプは、適合性分析プロセスにおける点数のスコア処理で最適に機能するように設定されています。

次の場合には、プロフィールの検索/比較を使用します。

- 個人プロフィールまたは非個人プロフィールで最も一致するものを検索する場合。

プロフィール適合では、1 つの個人プロフィールおよび 1 つの非個人プロフィールを選択し、能力レベルおよび重要度のみで適合性を分析します。プロフィールの検索/比較では、検索条件を設定する柔軟性が高く、その条件に最も一致するプロフィールが返されます。

「[プロフィールの検索と比較](#)」を参照してください。

- 従業員と管理者に検索を使用可能にする場合。

eDevelopment-人材開発がインストールされている場合、セルフサービスのユーザー用に検索を設定できます。

「[プロフィールの検索と比較](#)」([「eDevelopment-人材開発」](#)) を参照してください。

プロフィール適合について

これらのトピックでは、次の項目について説明します。

- 点数の割当てと重要度。
- 複数評価。

点数の割当てと重要度

次の適合性を調べるには、それぞれ異なる照会を実行します。

- 非個人プロフィールに対する従業員の適合性。
- 業務に対するチームの適合性。

ただし、すべての照会と同じ方法で実行されます。コンピテンシー能力レベルを使用して割り当てられたコンピテンシーと、非個人プロフィールでそのコンピテンシーに付与されている重要度に基づいて、従業員またはチームに点数が付与されます。他のコンテンツ アイテムには、非個人プロフィールで割り当てられている重要度のみに基づいて点数が付与されます。「重要度」フィールドを空白のままにすると、すべて

のアイテムに重要度 1 が割り当てられます。このことは、プロフィールのプロファイル タイプでコンテンツ セクションに「重要度」フィールドが定義されていない場合に発生します。

重要度には、次の点数が割り当てられます。

重要度	点数
高	5
標準以上	4
平均	3
標準以下	2
低	1
なし	0

次の表は、人材管理スペシャリストに必要なコンピテンシー、および各コンピテンシーに付与される点数の例を示したものです。

コンピテンシー	重要度	割当て点数
コミュニケーション能力	高	5
リーダーシップ	平均	3
協調性	標準以上	4
計画性	低	1
意思決定能力	標準以上	4
順応性	標準以下	2

適合点合計の値は、従業員がすべての要件に合致する場合の最大点数を表しています。前述の例では、適合点合計 (割当て点数列の合計) は 19 です。コンピテンシー以外のコンテンツ アイテムには、異なる方法で点数が割り当てられます。

コンテンツ アイテムに対する、コンピテンシー以外の従業員の点数

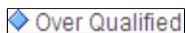
その他のコンテンツの点数は、システムによって計算されます。資格点数は、従業員プロフィールにアイテムが設定されている場合、そのアイテムに割り当てられた重要度に基づいて、従業員に付与されます。このように計算されるコンテンツタイプには、学位、学歴、表彰/報奨、免許/資格、語学力、会員資格、テスト/検査および NVQ があります。

コンピテンシーに対する従業員の点数

コンピテンシーには能力レベルが関連付けられます。そのレベルによって専門知識のレベルが表されます。この適合性分析プロセスでプロフィール タイプを使用する場合は、コンピテンシーを非個人プロフィールに割り当てるときに、各コンピテンシーに必要な評価も定義するように、そのプロフィール タイプを設定する必要があります。同様に、プロフィールに追加する各コンピテンシーに評価を付与するように、従業員プロフィールを設定します。

従業員の能力が、そのコンピテンシーで要求されているレベルに達している場合にのみ、従業員に点数が割り当てられます。割り当てられる点数は、ユーザー指定の各評価タイプの最新行にあるポイントの平均として計算されます。これらのユーザー指定の評価タイプは、適合性評価タイプ コンポーネントで割り当てられます。

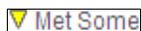
適合性インジケータのアイコンは次のとおりです。



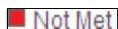
従業員の能力レベルがその任務に求められるレベルよりも 2 段階以上高い場合は、従業員の資格が高すぎることを示す青のひし形とテキストが表示されます。



緑の円は、その従業員が必要コンピテンシーを備え、かつ、求められる能力レベルに達していることを示します。



黄色の三角は、従業員の評価がその任務に求められるレベルよりも 1 段階低いことを示します。



赤い正方形は、従業員のコンピテンシーのレベルが任務に求められるレベルよりも 2 段階以上低いことを示します。

能力レベルは評価モデルによって異なるため、レベルに関連付けられた点数によって適合性分析が行われます。「評価モデル」ページの「点数」フィールドの値がレベルと同じ場合もあります。たとえば、PSCM 評価モデルには 0 (なし) から 5 (専門) までのレベルがあり、これらのレベルは点数 0 から 5 に関連付けられています。

次の表に、人材管理スペシャリストに必要なレベルと架空の従業員プロフィールの例を示します。プロフィールのコンピテンシーは PSCM 評価モデルを割り当てられています。適合性インジケータの列には、特定のシナリオに基づいて表示されるアイコンの説明が示されています。

コンピテンシー	必要なレベル	従業員評価	適合性インジケータ
コミュニケーション能力	5	5	適合 (緑の円のアイコン)
リーダーシップ	4	3	一部適合 (黄色の三角のアイコン)
協調性	3	5	資格範囲外 (青のひし形のアイコン)

コンピテンシー	必要なレベル	従業員評価	適合性インジケータ
計画性	3	1	不一致 (赤の正方形のアイコン)
意思決定能力	2	3	資格範囲外 (青のひし形のアイコン)
順応性	3	なし	なし

関連リンク

[プロフィールタイプの設定](#)

[評価モデルの定義](#)

[プロフィールの管理](#)

複数評価

複数の人が1人または複数の従業員を評価する場合、評価ごとに異なるコンピテンシーおよびコンピテンシーレベルが含まれる場合があります。

適合性分析で使用される評価を指定するために、適合性評価タイプを定義します。たとえば、ステータスが承認済または公認の評価のみを含めるようにすることができます。

複数評価で適合性分析がどのように行われるかを理解するために、次の例を示します。

コンピテンシー	管理者評価	同僚 1 の評価	同僚 2 の評価	平均評価
コミュニケーション能力	5	4	5	4.67
リーダーシップ	4	3	3	3.33
協調性	5	5	5	5
計画性	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
意思決定能力	3	2	3	2.67
順応性	2	1	2	1.67

適合性分析に管理者と同僚の評価を使用する場合は、管理者、同僚 1、同僚 2 の 3 者の評価に基づいて評価平均が計算されます。

下表は、人材管理スペシャリストに対するこの従業員の適合性を調べた結果です。従業員の適合性の列には、特定のシナリオに基づいて表示されるアイコンの説明が示されています。

コンピテンシー	重要度	割当て点数	必要なレベル	従業員評価	従業員の適合性	従業員の点数
コミュニケーション能力	高	5	5	4.67	緑の半円	0
リーダーシップ	平均	3	4	3.33	緑の半円	0
協調性	標準以上	4	3	5	+ 青い円	4
計画性	低	1	3	なし	なし	0
意思決定能力	標準以上	4	2	2.67	青い円	4
順応性	標準以下	2	3	1.67	赤い丸	0

人材管理スペシャリストに付与された合計点 (割当て点数の列の合計) は 19 です。従業員がコンピテンシーの点を取得するのは、従業員のレベルが評価対象の任務の必要レベルに達するか、あるいは超えた場合です。この例の場合、従業員のレベルは 2 つのコンピテンシーに関して必要レベルに達するか、あるいは超えています。これらの 2 つのコンピテンシーの点数値の合計は 8 です。したがって、人材管理スペシャリストに対するこの従業員の評価の合計点は 8 となります。

適合性評価タイプの設定

適合性評価タイプを設定するには、適合性評価タイプ コンポーネント (MATCH_TYPES) を使用します。

このトピックでは、適合性評価タイプの定義方法を説明します。

適合性評価タイプは、適合性分析の実行対象になる各ユーザーに対して設定する必要があります。評価タイプによって、各分析に含まれる評価が決まります。

適合性評価タイプの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「適合性評価タイプ」ページ	CM_MATCH_INSTR	ユーザーが実行できる照会のタイプ、およびユーザーがアクセスできる評価タイプを指定して適合性評価タイプを定義します。適合性分析を実行するには、評価タイプとユーザー アクセスを最初に設定する必要があります。

「適合性評価タイプ」ページ

ユーザーが実行できる照会のタイプ、およびユーザーがアクセスできる評価タイプを指定して適合性評価タイプを定義するには、「適合性評価タイプ」ページ (CM_MATCH_INSTR) を使用します。

適合性分析を実行するには、評価タイプとユーザー アクセスを最初に設定する必要があります。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール適合」、「適合性評価タイプ」、「適合性評価タイプ」

画像: 「適合性評価タイプ」ページ

次の例では、「適合性評価タイプ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

検索タイプ

「任務/人材/チーム」が表示されます。選択したユーザー ID を使用して、従業員に対する非個人プロフィール、非個人プロフィールに対する従業員およびプロジェクトに対するチームの適合性を分析できます。

評価タイプ

このユーザーの評価タイプを選択します。

ここで選択する評価タイプによって、分析の際にどのタイプのコンピテンシー評価レベルが使用されるかが決まります。たとえば、チームではなく個人の適合性分析を行う際には、管理者および同僚による評価が使用され、顧客による評価は使用されないようにします。

「評価タイプ」で「自己申告」を選択すると、従業員の管理者が承認した自己評価のみが任務適合プロセスに含まれることになります。

従業員プロフィールの適合性

次の各トピックでは、前提条件を示し、従業員プロフィールの適合性を分析する方法について説明します。

従業員とプロフィールの適合性分析に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「従業員プロフィール適合 - サマリ」ページ	CM_PROFILE_SUMM	比較する従業員、従業員プロフィール タイプおよび非個人プロフィールを指定し、従業員の適合性の分析を表示します。
「従業員プロフィール適合 - コンピテンシーの適合性」ページ	CM_PROFILE_MATCH	コンピテンシーの適合性を表示して、従業員が特定の非個人プロフィールに必要な個々のコンピテンシーにどの程度適合するかの分析を表示します。
「コンピテンシー適合性詳細」ページ	CM_PROF_MATCH_SEC	非個人プロフィールに割り当てられたコンピテンシーごとに従業員の評価のコンピテンシーの適合性詳細を表示します。
「コンピテンシー養成研修」ページ	CM_COMP_TRAIN_SEC	選択したコンピテンシーに対応する研修コースを表示します。
「従業員プロフィール適合 - その他アイテムの適合」ページ	CM_PROFILE_MATCH2	従業員の他のプロフィール アイテム適合性を分析します。従業員が特定の非個人プロフィールの個々のコンテンツにどの程度適合するかを確認します。
「従業員プロフィール適合 - 適合性差異の測定」ページ	CM_PROFILE_MATCH3	必要な各コンピテンシーについて、従業員のレベルと非プロフィールに要求されるレベルとを比較し、差異をパーセントで表示します。パーセントの合計によって、要件への従業員の全体的な適合性を判定できます。

前提条件

従業員とプロフィールの適合性分析を使用する前に、次のものを設定します。

- 個人使用のプロフィール タイプを使用する従業員のプロフィール。このプロフィール タイプには、「能力レベル」フィールドを *JPM_RATING1* として、コンピテンシーを設定しておきます。標準のプロフィール タイプ *PERSON* は、このように設定されています。
- 非個人使用のプロフィール タイプを使用する任務のプロフィール。このプロフィール タイプには、「能力レベル」フィールドを *JPM_RATING1*、「重要度」フィールドを *JPM_IMPORTANCE* として、コンピテンシーを設定しておきます。標準のプロフィール タイプ *ROLE* は、このように設定されています。
- 検索対象となる個人のユーザー ID に対して、どの評価を適合性分析に使用するかを決定する適合性評価タイプ。

関連リンク

[プロフィール タイプの設定](#)

プロフィール管理について 適合性評価タイプの設定

「従業員プロフィール適合 - サマリ」ページ

比較する従業員、従業員プロフィールタイプおよび非個人プロフィールを指定し、従業員の適合性の分析を表示するには、「従業員プロフィール適合 - サマリ」ページ (CM_PROFILE_SUMM) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール適合」、「従業員プロフィール適合」、「サマリ」

画像: 「従業員プロフィール適合 - サマリ」ページ

次の例では、「従業員プロフィール適合 - サマリ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Match Analysis			
Total Match Points	6	Total Possible Points	30
Competency Match Points	6	Possible Competency Points	30
Other Item Match Points	0	Possible Other Item Points	6

従業員プロフィール ID

分析する従業員プロフィールを選択します。従業員のプロフィール ID がわからない場合は、検索ボタンを選択して検索ページにアクセスし、従業員プロフィールの場所を特定するための追加情報を入力できます。

このページでは、従業員プロフィール ID を入力すると、その従業員のプロフィールに関連付けられた個人の名前およびプロフィールタイプが表示されます。

「プロフィール ID」および「プロフィールの検索」

比較し、従業員との評価に使用する非個人プロフィールの ID を入力します。「プロフィールの検索」ボタンを選択して検索ページにアクセスし、プロフィール識別タイプ、プロフィールグループまたは名称でプロフィールを検索します。

このページでは、ID を入力すると、名称およびプロフィールタイプが表示されます。

適合性の計算

従業員プロフィールおよび非個人プロフィールを選択した後、適合性を計算する場合は、このボタンを選択します。従業員のプ

プロフィール コンテンツが非個人プロフィールのコンテンツと比較され、分析の結果が表示されます。

適合性分析

「合計適合点数」および「有効点数合計」 非個人プロフィールと比較した最大点数のうち従業員が獲得した点数が表示されます。この計算には、すべてのコンテンツ アイテム (コンピテンシー アイテムと非コンピテンシー アイテムの両方) の点数が含まれています。

この合計には、非個人プロフィールに割り当てられた各コンテンツ アイテムの重要度に応じて加重値が設定されます。

「コンピテンシー適合点数」および「コンピテンシーの有効点数」 従業員の適合点のうち何点がコンピテンシーによる得点か、およびコンピテンシーの適合点の有効点数が示されます。これらの点数は、適合点合計と有効点数合計に加算されます。

「その他アイテム適合点数」および「その他アイテムの有効点数」 従業員の点数のうち何点が非コンピテンシー コンテンツ アイテムによる得点か、および非コンピテンシー コンテンツ アイテムの適合点の有効点数が示されます。これらの点数は、適合点合計と有効点数合計に加算されます。

「従業員プロフィール適合 - コンピテンシーの適合性」ページ

コンピテンシーの適合性を表示して、従業員が特定の非個人プロフィールに必要な個々のコンピテンシーにどの程度適合するかの分析を表示するには、「従業員プロフィール適合 - コンピテンシーの適合性」ページ (CM_PROFILE_MATCH) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」, 「プロフィール管理」, 「プロフィール」, 「プロフィール適合」, 「従業員プロフィール適合」, 「コンピテンシー 適合」

画像: 「従業員プロフィール適合 - コンピテンシーの適合性」ページ

次の例では、「従業員プロフィール適合 - コンピテンシーの適合性」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Competency	Description	Competency Importance	Met Requirement	Training Scheduled	Competency Training
0110	Ability to manage own time	3-Average	Over Qualified	<input checked="" type="checkbox"/>	Competency Training
0157	Set & achieve goals	3-Average		<input type="checkbox"/>	Competency Training
0160	Ability to prioritize tasks	3-Average	Met Some	<input type="checkbox"/>	Competency Training
0200	Takes initiative & follows up	3-Average	Met	<input type="checkbox"/>	Competency Training
2001	Computer Literacy	3-Average	Not Met	<input type="checkbox"/>	Competency Training

適合性分析

「従業員適合点数」および「コンピテンシーの適合点」

非個人プロフィールによって要求されるコンピテンシー適合点の有効点数合計のうちの、従業員が獲得した点数が表示されます。

「従業員コンピテンシー適合性」および「コンピテンシー合計」

従業員の適合コンピテンシー数が、非個人プロフィールに必要なコンピテンシーの数との対比で表示されます。たとえば、任務に 15 のコンピテンシーが定義されていて、従業員がこのうちの 7 つしか持っていないことが示されます。

未評価のコンピテンシー

任務に必要なが従業員の評価には含まれていないコンピテンシーの数を示します。

コンピテンシー適合性詳細

「コンピテンシー適合性詳細」ページを開き、各コンピテンシーの詳細と、コンピテンシーとプロフィールとの適合性を確認する場合にクリックします。

コンピテンシー

コンピテンシー

非個人プロフィールに割り当てられたコンピテンシーが重要度の高い方から低い方へ順にリストされます。

- 重要度** 非個人プロフィールのコンピテンシーに割り当てられている重要度レベルが表示されます。
- 適合要件** このフィールドには、個人がコンピテンシーにどのように適合するかを表す適切なテキストおよびアイコンが表示されます。値には、「資格範囲外」、「適合」、「一部適合」、「不一致」があります。個人プロフィールのアイテムが非プロフィールに指定されていない場合、そのアイテムのイメージは表示されません。
- 研修受講予定** 従業員にこのコンピテンシーの研修がすでに予定されているかどうかが表示されます。
- コンピテンシー養成研修** 「コンピテンシー養成研修」ページを開き、参加可能な研修コースの中にそのコンピテンシーの獲得を目的としたものがあるかどうかを確認する場合は、このリンクを選択します。

「コンピテンシー適合性詳細」ページ

非個人プロフィールに割り当てられたコンピテンシーごとに従業員の評価のコンピテンシーの適合性詳細を表示するには、「コンピテンシー適合性詳細」ページ (CM_PROF_MATCH_SEC) を使用します。

ナビゲーション

コンピテンシーの適合性ページで「コンピテンシー適合性詳細」リンクをクリックします。

画像: 「コンピテンシー適合性詳細」ページ

次の例では、「コンピテンシー適合性詳細」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Competency Match Detail			
Employee KU0010		Antonio Santos	
Profile ID 100694		Administrator-Human Resources	
Competency Match Detail	Required Points	Employee Points	Importance Match
Ability to manage own time	3	0	0
Set & achieve goals	3	0	0
Ability to prioritize tasks	4	3	0
Takes initiative & follows up	3	3	3
Computer Literacy	3	1	0
Legislative Requirements	5	0	0
Conflict resolution	2	0	0
Correspondence	4	0	0
Word Processing	4	0	0
Teamwork and cooperation	4	0	0

Competency Match Points 3

Return

必須点数

評価モデルの各レベルには、点数が関連付けられています。必須点数は、指定された任務のコンピテンシーに割り当てられたレベル (レベルを点数に換算したもの) に基づいています。「評価モデル」ページの「点数」フィールドを使用して、各レベルの点数を設定します。

従業員の点数

各コンピテンシーについて、従業員の点数が表示されます。従業員評価点数は、そのコンピテンシーに対して従業員に付与されたレベルを点数換算したもので、この点数は「評価モデル」ページの「点数」フィールドを使用して各レベルに設定されます。

重要度の適合

従業員が必要なコンピテンシーの要求レベルに達している場合、このコンピテンシーの重要度に基づいて点数が従業員に付与されます。

「従業員プロフィール適合 - その他アイテムの適合」ページ

従業員の他のプロフィール アイテム適合性を分析するには、「従業員プロフィール適合 - その他アイテムの適合」ページ (CM_PROFILE_MATCH2) を使用します。従業員が特定の非個人プロフィールの個々のコンテンツにどの程度適合するかを確認します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール適合」、「従業員プロフィール適合」、「その他アイテムの適合」

画像: 「従業員プロフィール適合 - その他アイテムの適合」ページ

次の例では、「従業員プロフィール適合 - その他アイテムの適合」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Summary	Competency Match	Other Items Match	Gap-Fit Measurement
Employee Profile		Non-Person Profile	
Profile ID 100425 Name Antonio Santos Profile Type PERSON		Profile ID 100694 Description Administrator-Human Resources Profile Type ROLE	
Match Analysis			
Employee Match Points 0		Possible Other Item Points 6	
Employee Other Item Match 0		Total Other Content Items 2	
Other Content Items Personalize Find View All First 1-2 of 2 Last			
Content Type	Description	Importance	Employee Complete
Licenses and Certifications	Personnel Management Associatn	3-Average	<input type="checkbox"/>
Licenses and Certifications	Integrated Resource Management	3-Average	<input type="checkbox"/>

適合性分析**従業員適合点数**

従業員と非個人プロフィール間のプロフィール アイテムの適合性を表す従業員重要度の点数が示されます。

<p>その他アイテムの有効点数</p>	<p>プロフィール アイテムの重要度の有効な点数の合計が示されます。</p>
<p>従業員その他アイテムの適合</p>	<p>非個人プロフィールに必要なプロフィール アイテムに適合するコンピテンシー以外の従業員プロフィール アイテムの数を表示します。</p>
<p>その他コンテンツ アイテム合計</p>	<p>非個人プロフィールに必要なプロフィール アイテム合計の数が表示されます。</p>
<p>その他アイテム</p>	
<p>コンテンツ タイプ</p>	<p>非個人プロフィールに割り当てられたコンテンツ アイテムの各コンテンツ タイプが重要度の高い方から低い方へ順にリストされます。</p>
<p>名称</p>	<p>非個人プロフィールの各プロフィール アイテムの名称が重要度の高い方から低い方へ順にリストされます。</p>
<p>重要度</p>	<p>非個人プロフィールのプロフィール アイテムに割り当てられた重要度が表示されます。</p>
<p>全て達成</p>	<p>従業員がコンテンツ アイテムを達成したかが示されます。</p>

「従業員プロフィール適合 - 適合性差異の測定」ページ

必要な各コンピテンシーについて、従業員のレベルと任務に要求されるレベルとを比較し、差異をパーセントで表示するには、「従業員プロフィール適合 - 適合性差異の測定」ページ (CM_PROFILE_MATCH3) を使用します。

パーセントの合計によって、要件への従業員の全体的な適合性を判定できます。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール適合」、「従業員プロフィール適合」、「適合性差異の測定」

画像: 「従業員プロフィール適合 - 適合性差異の測定」ページ

次の例では、「従業員プロフィール適合 - 適合性差異の測定」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Summary	Competency Match	Other Items Match	Gap-Fit Measurement	
Employee Profile Profile ID 100425 Name Antonio Santos Profile Type PERSON		Non-Person Profile Profile ID 100694 Description Administrator-Human Resources Profile Type ROLE		
Match Analysis Employee Proficiency Points 12 Total Required Points 35 Total Competencies 10 Proficiency % Fit 37.50				
Gap-Fit Analysis Personalize Find View All First 1-5 of 10 Last				
Competency	Competency Importance	Empl Review Points	Required Points	% Proficiency
Ability to manage own time	3-Average	5	3	166.67
Set & achieve goals	3-Average	0	3	0.00
Ability to prioritize tasks	3-Average	3	4	75.00
Takes initiative & follows up	3-Average	3	3	100.00
Computer Literacy	3-Average	1	3	33.33

適合性分析

従業員技能点数

従業員がコンピテンシーに対して獲得している重要度の点数が表示されます。

必要点数合計

非個人プロフィールに対して有効なコンピテンシーの重要度の点数が表示されます。

コンピテンシー合計

非個人プロフィールに割り当てられているコンピテンシーの数が表示されます。

適合率 (能力適合率)

有効点数合計に対する従業員の点数の比率が表示されます。この計算に含まれるのは、コンピテンシーに関連付けられた点数のみです。

たとえば、従業員の点数が5でその非個人プロフィールの有効点数合計が20の場合、適合率は25%になります。

適合性差異分析

従業員評価点数 (従業員評価点数)

各コンピテンシーについて、従業員の技能点数が表示されます。たとえば、PSCM 評価モデルを使用する場合、レベル5は点数値5に関連付けられています。

必須点数

評価モデルの各レベルには、点数が関連付けられています。点数は、指定された任務のコンピテンシーに割り当てられたレベル(レベルを点数に換算したもの)に基づいています。「評価モデル」ページの「点数」フィールドを使用して、各レベルの点数を設定します。

能力度 (%) (能力度)

任務に求められるレベルに対する従業員のレベルがパーセントが表示されます。従業員評価点数を必須点数で割った値がパーセントに変換されます。たとえば、従業員評価点数が3でその任務の必須点数が4の場合、能力度 (%) の値は 75% になります。

従業員のレベルが求められるレベルとちょうど同じなら、能力度 (%) の値は 100% になります。100% 未満の場合は従業員が必要なレベルに達していないことを示し、100% を超えている場合は従業員のレベルが任務に求められるレベルより上であることを示します。

プロジェクトに対するチームの適合性の分析

次の各トピックでは、前提条件およびプロジェクトに対するチームの適合性の分析方法について説明します。

プロジェクトに対するチームの適合性の分析に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「チーム作成」ページ	EE_TEAMS	従業員チームを設定します。
「業務に対するチームの適合性 - コンピテンシーの適合性」ページ	CM_TEAM_ROLE	チーム コンピテンシーの適合性を分析します。業務に割り当てられたコンピテンシーとチーム メンバーのコンピテンシー プロファイルとを比較します。
「コンピテンシー適合性詳細」ページ	CM_TEAM_ROLE_SEC	必要な能力レベルのコンピテンシーを持つチーム メンバーを表示します。
「業務に対するチームの適合性 - その他アイテムの適合」ページ	CM_TEAM_ROLE2	業務に必要なコンピテンシー以外のコンテンツ アイテムとチーム メンバーのプロファイル アイテムを比較します。
「チーム詳細」ページ	CM_TEAM_ROLE2_SEC	必要なプロフィール アイテムを持つチーム メンバーを表示します。

前提条件

業務に対するチームの適合性オプションを使用する前に、次の設定を行います。

- 非個人使用のプロファイル タイプを使用する業務のプロファイル。このプロファイル タイプには、「能力レベル」フィールドを *JPM_RATINGI*、「重要度」フィールドを *JPM_IMPORTANCE* として、コンピテンシーを設定しておきます。標準のプロファイル タイプ *ROLE* は、このように設定されています。
- 個人使用のプロファイル タイプを使用するチームの従業員のプロファイル。このプロファイル タイプには、「能力レベル」フィールドを *JPM_RATINGI* として、コンピテンシーを設定しておきます。標準のプロファイル タイプ *PERSON* は、このように設定されています。
- 検索対象となる個人のユーザー ID に対して、どの評価を比較に使用するかを決定する適合性評価タイプ。

関連リンク

[プロフィール管理について](#)

[適合性評価タイプの設定](#)

「チーム作成」ページ

従業員チームを設定するには、「チーム作成」ページ (*EE_TEAMS*) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」, 「プロフィール管理」, 「プロフィール」, 「プロフィール適合」, 「チーム作成」, 「チーム作成」

画像: 「チーム作成」ページ

次の例では、「チーム作成」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Create Teams

Team Code

*Description

Short Name

Team Members		Personalize Find View All		First	1-8 of 8	Last
*Empl ID	Name					
<input type="text" value="KU0012"/>	Allan Martin	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>			
<input type="text" value="KU0023"/>	Richie Finnes	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>			
<input type="text" value="KU0043"/>	Evelyn Sims	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>			
<input type="text" value="KU0057"/>	Jennifer Luis	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>			
<input type="text" value="KU0083"/>	Karena Matheson	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>			
<input type="text" value="KU0090"/>	Jeff Ryzhikov	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>			
<input type="text" value="KU0102"/>	Edmund Donahue	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>			
<input type="text" value="KU0103"/>	Colin Davidson	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>			

チームメンバー

従業員 ID のリストからメンバーを選択して追加します。従業員をさらに追加するには、新しい行を挿入します。

「業務に対するチームの適合性 - コンピテンシーの適合性」ページ

チーム コンピテンシーの適合性を分析するには、「業務に対するチームの適合性 - コンピテンシーの適合性」ページ (CM_TEAM_ROLE) を使用します。

業務に割り当てられたコンピテンシーとチームメンバーのプロファイルのコンピテンシーを比較します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール適合」、「業務に対するチームの適合性」、「コンピテンシーの適合性」

画像: 「業務に対するチームの適合性 - コンピテンシーの適合性」ページ

次の例では、「業務に対するチームの適合性 - コンピテンシーの適合性」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Competency Match' interface. It has two tabs: 'Competency Match' (selected) and 'Other Items Match'. Under 'Team', there are fields for 'Team' (KU02) and 'Profile Type' (PERSON). Under 'Job Task', there are fields for 'Business Unit' (GBIBU), 'Job Task' (K10001), and 'Profile ID' (100710). A 'Calculate Matches' button is present. Below this, statistics are shown: Total Match: 4, Competency Match Points: 4, Total Possible Points: 27, and Possible Competency Points: 24. A table titled 'Competency Detail' lists various competencies with their descriptions, review points, importance, team competency status, number of employees, and team competency details.

Content Item ID	Description	Review Points	Competency Importance	Team Competency	Number of Employees	Team Competency Detail
0201	Accountability for decisions		3 5-High	<input type="checkbox"/>	0	Team Competency Detail
0209	Team leadership		3 4-Above Average	<input type="checkbox"/>	0	Team Competency Detail
4003	Project Management		2 4-Above Average	<input checked="" type="checkbox"/>	8	Team Competency Detail
0155	Identify resources to assist		2 3-Average	<input type="checkbox"/>	0	Team Competency Detail
0206	Developing others		2 3-Average	<input type="checkbox"/>	0	Team Competency Detail
0208	Stress tolerance		3 3-Average	<input type="checkbox"/>	0	Team Competency Detail
0300	Resource Planning		2 2-Below Average	<input type="checkbox"/>	0	Team Competency Detail

適合点合計

業務に対してチームが獲得しているコンピテンシーと資格の点数を示します

有効点数合計

作業内容に対して有効なコンピテンシーと資格の合計点数を示します。

コンピテンシー適合点数

チームの点数のうち何点がコンピテンシーによる得点かを示します。

コンピテンシーの有効点数

タスク点数のうち何点がコンピテンシーによる得点かを示します。

コンピテンシー詳細

チーム コンピテンシー

いずれかのチーム メンバーのコンピテンシーが、必要な能力レベルに達しているかどうかを示します。

従業員数

各コンピテンシーについて、必要な能力レベルに達しているチーム メンバーが何人いるかが表示されます。

チーム コンピテンシー詳細

「コンピテンシー適合性詳細」ページにアクセスし、必要なコンピテンシーを持つチーム メンバーを表示する場合にクリックします。

「業務に対するチームの適合性 - その他アイテムの適合」ページ

業務に必要な資格とチームメンバーの資格を比較するには、「業務に対するチームの適合性 - その他アイテムの適合」ページ (CM_TEAM_ROLE2) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「プロフィール」、「プロフィール適合」、「業務に対するチームの適合性」、「その他アイテムの適合」

画像: 「業務に対するチームの適合性 - その他アイテムの適合」ページ

次の例では、「業務に対するチームの適合性 - その他アイテムの適合」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Competency Match		Other Items Match	
Team		Job Task	
Team	KU02	Project Managers	
Profile Type	PERSON	Person	
Total Match Points		Total Possible Points	
4		27	
Other Item Match Points		Possible Other Item Points	
0		3	
Other Items Personalize Find View All First 1 of 1 Last			
Content Type	Description	Importance	Team Item
Tests or Examinations	Customer Service Skills	3-Average	0
			Team Details

合計適合点数

業務に対してチームが獲得しているコンテンツアイテムの点数を示します

有効点数合計

業務に対して有効なコンテンツアイテムの合計点数を示します。

その他アイテム適合点数

チームの点数のうち何点がコンピテンシー以外のコンテンツアイテムによる得点かを示します。

その他アイテムの有効点数

タスク点数のうち何点がコンピテンシー以外のコンテンツアイテムによる得点かを示します。

その他アイテム

チーム項目

いずれかのチームメンバーが必要なアイテムを持っているかどうかを示します。

従業員数

アイテムを持っているチームメンバーの人数が表示されます。

チーム詳細

「チーム詳細」ページにアクセスし、必要なアイテムを持つチームメンバーを表示する場合にクリックします。

第7章

コンテンツ カタログ レポートとプロフィール レポートの実行

コンテンツ カタログ アイテムのレポート

このトピックでは、コンテンツ カタログ アイテムをレポートする方法について説明します。

コンテンツ カタログ レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>「コンテンツ カタログ リスト」ページ</u>	JPM_CATLIST_RPT	選択したコンテンツ タイプ、またはすべてのコンテンツ タイプに対して設定されているコンテンツ アイテムをリストするコンテンツ カタログ リストレポート (JPM_CATI_RPT) を実行します。レポートにはレポート マネージャでアクセスします。
<u>「コンピテンシー サマリ」ページ</u>	CM_COMPETENCY_SUMM	コンピテンシーに割り当てられたカテゴリを確認します。選択したコンピテンシー カテゴリまたはコンピテンシー タイプのコンピテンシーを表示できます。

「コンテンツ カタログ リスト」ページ

選択したコンテンツ タイプ、またはすべてのコンテンツ タイプに対して設定されているコンテンツ アイテムをリストするコンテンツ カタログ リストレポート (JPM_CATI_RPT) を実行するには、「コンテンツ カタログ リスト」ページ (JPM_CATLIST_RPT) を使用します。レポートにはレポート マネージャでアクセスします。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「コンテンツ カタログ」、「コンテンツ カタログ リスト」、「コンテンツ カタログ リスト」

画像: 「コンテンツ カタログ リスト」ページ

次の例では、「コンテンツ カタログ リスト」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Content Catalog Listing' interface. At the top, there are links for 'Run Control ID 1', 'Report Manager', and 'Process Monitor', along with a 'Run' button. Below these, there is a 'Language' dropdown menu set to 'English'. A horizontal line separates this section from the filter section below. The filter section includes a 'Content Type' field with 'COMPETENCY' selected, a magnifying glass icon, an 'As of Date' field with '02/04/2013' and a calendar icon, and a 'Status' dropdown menu set to 'Active'.

コンテンツ タイプ

レポートに含めるコンテンツ タイプを選択します。すべてのコンテンツ タイプに対するコンテンツ アイテムのレポートを生成する場合、このフィールドを空白にしておきます。

指定日

指定した日付の時点で有効なコンテンツ アイテムのリストを生成する日付を選択します。すべての日付に対するコンテンツ アイテムのレポートを生成する場合、このフィールドを空白にしておきます。

ステータス

アクティブなステータスのアイテムのみをレポートに含める場合は「アクティブ」、非アクティブなアイテムのみを含める場合は「非アクティブ」を選択します。アクティブ、非アクティブ両方のアイテムを含める場合は、このフィールドを空白のままにしておきます。

関連リンク

[BI Publisher](#) のレポートおよびプロフィールを使用するための設定

「コンピテンシー サマリ」ページ

コンピテンシーに割り当てられているカテゴリを確認するには、「コンピテンシー サマリ」ページ (CM_COMPETENCY_SUMM) を使用します。

選択したコンピテンシー カテゴリまたはコンピテンシー タイプのコンピテンシーを表示できます。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「プロフィール管理」, 「コンテンツ カタログ」, 「コンピテンシー サマリ」, 「コンピテンシー サマリ」

画像: 「コンピテンシー サマリ」ページ

次の例では、「コンピテンシー サマリ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Competency Summary		
Competency Category	<input type="text"/>	
Competency Type	ACCNT	Accountability
Competencies Personalize Find View All First 1-8 of 8 Last		
Competency	Description	Category
0156	Recognized as job expert	Knowledge
0201	Accountability for decisions	Ability
0202	Understands decision process	Knowledge
0203	Displays confidence & maturity	Other
0241	Works well under pressure	Ability
0802	Exhibits no racism or sexism	Other
FJC010	HR Policies & Procedures	Knowledge
HXCMP1	Comp Mgmt Test	Ability

コンピテンシーのカテゴリまたはタイプを選択すると、そのカテゴリまたはタイプのコンピテンシーがリストされます。コンピテンシーは、コンピテンシーのコード順にリストされます。

プロフィール レポートの実行

次の各トピックでは、プロフィール レポートの実行について説明します。

プロフィール レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「個人プロフィール レポート」ページ	JPM_PPROF_RPT	個人プロフィール レポート (JPM_JPPP_RPT) を実行して、実行パラメータにリストされている各個人について PDF ファイルを生成します。実行パラメータに指定した日付の時点で有効な個人のプロフィールのすべてのアイテムが一覧表示されます。レポート マネージャでは、各レポート ファイルが別個にリストされ、レポート名称のカッコに従業員 ID が表示されます。

ページ名	定義名	用途
「非個人プロフィールレポート」ページ	JPM_NPPROF_RPT	<p>非個人プロフィールレポート (JPM_JPNP_RPT) を実行して、実行パラメータにリストされている各プロフィールについて PDF ファイルを生成します。各レポートには、非個人プロフィールのうち、実行パラメータで指定した日付の時点で有効なすべてのアイテムが表示されます。レポート マネージャでは、各レポートファイルが別個にリストされ、レポート名称のカッコにプロフィール ID が表示されます。</p>
「コンピテンシー インベントリ」ページ	RUNCTL_PER011	<p>コンピテンシー インベントリレポート (PER011) を実行し、部門に属する従業員とそのコンピテンシーの一覧を出力します。</p> <p>新規に採用された従業員とその従業員に関連付けられたコンピテンシーをこのレポートに含めるには、このレポートの実行前に従業員テーブルのリフレッシュのアプリケーション エンジン プロセス (PER099) を実行しておく必要があります。このプロセスを実行するには、「HCM 基本設定」、「システム管理」、「データベース処理」、「従業員テーブルのリフレッシュ」に進みます。</p> <p>従業員テーブルのリフレッシュ プロセスとコンピテンシー インベントリレポートには、同じラン コントロール ID を使用します。</p>
「免許/資格」ページ	RUNCTL_CMM007	<p>免許/資格レポート (CMM007) を実行し、免許または資格の更新が必要な従業員の一覧を出力します。</p>
「社内用履歴書」ページ	RUNCTL_PER034	<p>社内用履歴書レポート (PER034) を実行して、従業員の PERSON プロファイルも含めて、PeopleSoft のテーブルに入力されているデータから履歴書タイプのドキュメントを作成します。このレポートには、従業員氏名、住所、職歴、学歴、給与履歴、業績、研修、特別プロジェクト、コンピテンシー、語学力、国籍、査証/労働許可証、免許/資格、専門組織の会員資格、および表彰/報奨などの情報が含まれます。</p>

「個人プロフィール レポート」ページ

個人プロフィール レポート (JPM_JPPP_RPT) を実行して実行パラメータにリストされている個人ごとに PDF ファイルを生成するには、「個人プロフィール レポート」ページ (JPM_PPROF_RPT) を使用します。

実行パラメータに指定した日付の時点で有効な個人のプロフィールのすべてのアイテムが一覧表示されます。レポート マネージャでは、各レポート ファイルが別個にリストされ、レポート名称のカッコに従業員 ID が表示されます。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「レポート」、「個人プロフィール レポート」、「個人プロフィール レポート」

画像: 「個人プロフィール レポート」ページ

次の例では、「個人プロフィール レポート」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

指定日

個人プロフィールのうち、選択した日付の時点で有効なアイテムがレポートにリストされます。現在の日付を入力した場合のレポートは、個人プロフィール ページから生成される現在の印刷形式プロフィールと同一になります。

プロフィール タイプ

出力するプロフィールに関連付けられているプロフィール タイプを選択し、各プロフィール タイプに行を追加します。表示されるのは、個人プロフィール タイプのみです。

注: 選択したプロフィール タイプは変更できません。

従業員 ID

各プロフィール タイプで、出力するプロフィールの従業員 ID を選択します。少なくとも 1 人を選択する必要があります。

関連リンク

[BI Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定](#)

「非個人プロフィール レポート」ページ

非個人プロフィール レポート (JPM_JPNP_RPT) を実行して実行パラメータにリストされているプロフィールごとに PDF ファイルを生成するには、「非個人プロフィール レポート」ページ (JPM_NPPROF_RPT) を使用します。

各レポートには、非個人プロフィールのうち、実行パラメータで指定した日付の時点で有効なすべてのアイテムが表示されます。レポート マネージャでは、各レポート ファイルが別個にリストされ、レポート名称のカッコにプロフィール ID が表示されます。

ナビゲーション

「人材開発」, 「プロフィール管理」, 「レポート」, 「非個人プロフィール レポート」, 「非個人プロフィール レポート」

画像: 「非個人プロフィール レポート」ページ

次の例では、「非個人プロフィール レポート」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Profile ID	Description
150001	Consultant-Jr

有効日

非個人プロフィールのうち、選択した日付の時点で有効なアイテムがレポートにリストされます。現在の日付を入力した場合のレポートは、非個人プロフィール ページから生成される現在の印刷形式プロフィールと同一になります。

プロフィール タイプ

出力するプロフィールに関連付けられているプロフィール タイプを選択し、各プロフィール タイプに行を追加します。表示されるのは、非個人プロフィール タイプのみです。

プロフィール ID

各プロフィール タイプで、出力するプロフィールを選択します。

関連リンク

[BI Publisher のレポートおよびプロファイルを使用するための設定](#)

(GBR) 国家職業検定資格 (NVQ) の管理

国家職業検定資格 (NVQ) について

国家職業検定資格 (NVQ) は、従業員の技術、知識、理解力を反映しており、コンピテンシーと非常によく似ています。他の資格と同様に、NVQ も同一分野内で段階的に高度な資格を取得したり、他分野に移行することができます。

資格課程総局 (QCA) では、NVQ の標準の開発と仕様作成を調整しています。詳細は、QCA の Web サイト (<http://www.qca.org.uk>) を参照してください。NVQ の能力分野は、ビジネスの任務を機能的に分析した結果に基づいており、能力を基準にした資格の構造を持っています。資格はユニットが基準であり、ユニットの数とサイズは能力の分野によって異なります。登録した従業員が十分な技能や知識を持っていると評価されると、1 ユニットが与えられます。

NVQ システムには、現在、次の業務分野が用意されています。

- 農業/畜産。
- 天然資源の採鉱。
- 建設。
- エンジニアリング。
- 輸送。
- 医療、福祉、社会保護サービスの提供。
- 小売/サービス。
- 製造。
- ビジネス サービスの提供。
- 知識、技術の開発。
- 通信。

NVQ の能力レベルには、次が含まれます。

レベル	定義
レベル 1	様々な業務を遂行する際に、知識と技能の適用を必要とする場合の能力。この場合の業務は大部分がルーチンまたは手順の決められた業務である。
レベル 2	相当に広範かつ各種の状況における業務の遂行において、知識と技能の適用を必要とする場合の能力。複雑な業務や、ルーチンでない業務を行う場合もあり、ある程度の個人責任および権限が与えられている。作業グループまたはチームのメンバーとして他のメンバーとの共同作業を要求される場合が多い。
レベル 3	広範にわたる業務を、様々な状況で遂行する際に、知識と技能を適用することが必要な場合の能力。業務のほとんどは、複雑で手順が決まっていない。個人にかなりの責任が与えられており、他者の指導や管理を行う必要がある場合が多い。
レベル 4	複雑で技術力や専門知識が必要な広範にわたる業務を、様々な状況で遂行する際に、知識と技能を適用することが必要な場合の能力。個人に対して大きな責任と権限が与えられている。他の従業員の作業や、人材の配置に責任を持つ場合が多い。
レベル 5	広範で予想外の内容の多い様々な状況において、技術と広範な根本原理の適用を必要とする場合の能力。他の従業員の業務、人材の配置、分析と診断、設計、計画、業務遂行と評価に関して高い権限と責任が与えられている。

複数の機関が NVQ の開発、運用、資格授与、質の維持を行っています。

- **セクター団体**は、承認された職業グループにおける、従業員を基準にした標準能力の指定、定義、および更新を行います。
- **報奨団体 (資格授与団体)** は、NVQ 基準の開発も行います。さらに、報奨団体は評価プロセスをモニターし、NVQ 資格とユニットの認定証を発行します。すべての評価センターで、従業員が一貫して公正に審査されるように監督します。

NVQ に関する情報を包括する国家職業検定資格データベースがあります。この包括情報には、それぞれの資格を構成するユニット、主要技能のユニット、および評価/検証の担当者を対象に特別に開発されたユニットの情報が含まれます。

NVQ 情報の設定

次の各トピックでは、NVQ 設定の概要と、NVQ に報奨団体を指定する方法について説明します。

NVQ 報奨団体の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「NVQ 報奨団体テーブル」ページ	NVQ_AWARD_TBL	NVQ 報奨団体の名称と所在地情報を定義します。
「NVQ 報奨団体」ページ	NVQ_DETAILS	コンテンツ カタログで定義した NVQ に対する報奨団体を指定します。このページを使用する前に、NVQ と NVQ 報奨団体テーブルを設定しておく必要があります。

NVQ の設定について

NVQ を管理するには、次の項目を定義する必要があります。

- NVQ コンテンツ アイテム。
- NVQ ユニット コンテンツ アイテム。
- NVQ エlement コンテンツ アイテム。

NVQ ユニットはエレメントに分けられ、従業員のレベルは各エレメントごとに管理します。

- 報奨団体。

NVQ、NVQ ユニットおよび NVQ エlementは、コンテンツ カタログに保存されます。NVQ には、次の標準コンテンツ タイプを使用します。

コンテンツ タイプ	説明
NVQ ELEMENT	NVQ ユニットに関連付けられるエレメントを定義します。
NVQ UNIT	NVQ で必要な NVQ ユニートを定義します。
NVQ	NVQ コードを定義します。

各コンテンツ タイプは次のような関係にあります。

- NVQ ELEMENT は NVQ UNIT の子です。このため、エレメントのコンテンツ アイテムは、NVQ ユニットのコンテンツ アイテムごとに定義できます。エレメントのみを満たせば、特定の NVQ ユニット内で満たすことになります。
- NVQ UNIT は NVQ をサポートします。

このため、1 つの NVQ ユニートを複数の NVQ にリンクできます。1 つの NVQ ユニートの基準を満たせば、その NVQ ユニットでサポートされるすべての NVQ 内で満たすことになります。

NVQ、NVQ ユニットおよび NVQ エlementを設定する際は、コンテンツ アイテム コンポーネントの関係ページを使用してリンクします。

NVQ データは、次の手順で設定します。

1. コンテンツ カタログで NVQ、NVQ ユニットおよび NVQ エlementを設定します。
2. NVQ 報奨団体テーブル コンポーネント (NVQ_AWARD_BODY) を使用して、報奨団体の名称と所在地を定義します。
3. NVQ 報奨団体コンポーネント (NVQ_DETAILS) を使用して、NVQ に報奨団体を割り当てます。

関連リンク

[コンテンツ カタログについて](#)

「NVQ 報奨団体」ページ

コンテンツ カタログで定義した NVQ に対する報奨団体を指定するには、「NVQ 報奨団体」ページ (NVQ_DETAILS) を使用します。

このページを使用する前に、NVQ と NVQ 報奨団体テーブルを設定しておく必要があります。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「プロフィール管理」、「コンテンツ カタログ」、「NVQ 報奨団体」、「NVQ 報奨団体」

画像: 「NVQ 報奨団体」ページ

次の例では、「NVQ 報奨団体」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'NVQ Award Bodies' page. At the top, it displays 'NVQ HRADMIN'. Below this, the 'Title' is 'Personnel Management NVQ Level 4' and the 'Level' is 'Level 4'. The 'Expiry Date' is '05/31/2007'. There is an 'Accreditation' section with a table listing two entries:

*Reference	*Awarding Body	Description		
Q1025725	BTEC	Edexcel BTEC	+	-
Q1019898	CG	City and Guilds of London Institute	+	-

レベル

コンテンツ カタログで NVQ に定義されている NVQ レベルが表示されます。

有効期限

報奨団体によって現在の NVQ の詳細が見直される日付が表示されます。

「参照」および「報奨団体」

1 つまたは複数の報奨団体を選択します。NVQ の指定どおりにそれぞれの報奨団体の参照番号を入力します。

従業員の NVQ の処理

次の各トピックでは、従業員の NVQ の処理について説明します。

従業員の NVQ の処理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「NVQ 登録」ページ	NVQ_EMPLNVQS	NVQ プログラムに従業員を登録します。
「NVQ 評価」ページ	NVQ_REVIEW	NVQ 評価を入力します。
「NVQ ユニット プラン」ページ	NVQ_UNIT_PLAN	NVQ 評価のユニット ステータスをロードして管理します。
「ユニット詳細」ページ	NVQ_UNIT_PLAN_SEC	評価する NVQ ユニットの詳細を入力します。
「エレメント詳細」ページ	NVQ_EMPELEM_SEC	評価する NVQ ユニットのエレメントの詳細を入力します。
NVQ の表示ページまたは NVQ ユニットの表示ページ	JPM_PROF_DTL_SEC	特定の個人プロフィールにおける NVQ と NVQ ユニットの詳細を表示します。

「NVQ 登録」ページ

NVQ プログラムに従業員を登録するには、「NVQ 登録」ページ (NVQ_EMPLNVQS) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」, 「プロフィール管理」, 「NVQ GBR の管理」, 「NVQ 登録」, 「NVQ 登録」

画像: 「NVQ 登録」ページ

次の例では、「NVQ 登録」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web form titled "Enroll NVQ" for a user named Ramina Jones (Person ID: KG0008). The form is divided into sections: "NVQ Status" and "Registration Details". In the "NVQ Status" section, there are fields for NVQ (KGNVQ1), Title (NVQ 1), Status (a dropdown menu currently set to "Enrolled"), Start date (01/01/2000), Certificate Award Date (07/11/2000), Level (1), and a "Completed" checkbox. In the "Registration Details" section, there are fields for Registration Date and Registration Number. Navigation links like "Find | View All" and "First 1 of 1 Last" are also visible.

ステータス

登録する従業員の NVQ のステータスを入力します。有効値は次のとおりです。

- **達成:** 従業員が NVQ を達成済であることを示す場合に選択します。この値を選択できるのは、関連付けられた NVQ ユニットのステータスがすべて「完了」の場合に限られます。
- **キャンセル:** NVQ プログラムへの従業員の登録をキャンセルする場合に選択します。
- **登録済:** NVQ プログラムに従業員を登録する場合に選択します。
- **前回達成:** このプログラムに登録する前に、従業員がこの NVQ をすでに達成していることを示す場合に選択します。

開始日

NVQ ステータスを設定した日付を入力します。

認定書授与日

NVQ 認定書の授与日を入力します。このフィールドは、「ステータス」フィールドで「達成」または「前回達成」を選択した場合のみ使用できます。

完了

NVQ が完了した日付を入力します。このフィールドは、「ステータス」フィールドで「達成」または「前回達成」を選択した場合のみ使用できます。

「登録日」および「登録番号」

NVQ プログラムに従業員を登録した日付と、従業員に割り当てられた登録番号を入力します。

このページを保存すると、SetPersonProfileItems サービスによってプロフィール管理のプロファイルテーブルが自動的に更新され、登録情報が反映されます。この後、従業員の個人プロフィール ページにアクセスすると、入力した登録情報を表示できますが、このページから更新することはできません。

「NVQ 評価」ページ

NVQ 評価を入力するには、「NVQ 評価」ページ (NVQ_REVIEW) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「NVQ GBR の管理」、「NVQ 履歴管理」、「NVQ 評価」

画像: 「NVQ 評価」ページ

次の例では、「NVQ 評価」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'NVQ Review' page for employee Ramina Jones (Empl ID KG0008). The page is divided into sections: 'NVQ Review' and 'NVQ Unit Plan'. Under 'NVQ Review', it shows 'NVQ NVQ 1' with a status of 'Enrolled' and 'Level 1'. The 'NVQ Tracking' section contains a table with one entry. The entry has a 'Review Date' of 07/11/2000, a 'Type' of 'Standard Meeting', a 'Reviewer' of 'KG0001' (Indra Tendulkar), and a 'Description' field. Navigation controls like 'Find | View All' and 'First 1 of 1 Last' are visible at the top of the table.

評価日

評価の日付を入力または表示します。

タイプ

入力する評価のタイプを選択します。有効値は次のとおりです。

- 短会議
- 会議
- リクエスト済
- 評価

評価者

評価者の ID を入力します。

説明

評価に関する注記を入力します。

注: 「NVQ 評価」ページの情報を保存するには、「NVQ ユニット プラン」ページの必須フィールドにも情報を入力する必要があります。

「NVQ ユニット プラン」ページ

NVQ 評価のユニット ステータスをロードして管理するには、「NVQ ユニット プラン」ページ (NVQ_UNIT_PLAN) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「NVQ GBR の管理」、「NVQ 履歴管理」、「NVQ ユニット プラン」

画像: 「NVQ ユニット プラン」ページ

次の例では、「NVQ ユニット プラン」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Unit	Title	Optional	Unit Status	Detail	Description
1 KGUNIT1	NVQ Unit 1	<input type="checkbox"/>	I	Detail	In Progress
1 KGUNIT2	NVQ Unit 2	<input type="checkbox"/>	D	Detail	Submitted

このページを使用して、従業員を登録した NVQ プログラムに関連する NVQ ユニットのステータスを管理できます。「NVQ 評価」ページで新しい評価を作成するたびに、このページに NVQ ユニットのステータスをロードし、各ユニットの「ユニット ステータス」列に値を入力する必要があります。

NVQ ユニット ロード

NVQ に関連付けられたコンテンツ アイテムとの「サポート」関係が定義されているユニットを、「NVQ 管理」の「データ」グリッドにロードする場合にクリックします。グリッドにデータがロードされると、このボタンは表示されなくなります。

ユニット ステータス

「NVQ 管理」の「データ」グリッドで各 NVQ ユニットのステータスを選択します。有効値は次のとおりです。

- C (完了)
- D (提出済)
- I (進行中)
- N (未処理)
- P (計画済)

注: 「ユニット詳細」ページの「完了」フィールドに日付を入力すると、ユニットのステータスが自動的に「完了」に変わります。「NVQ 登録」ページで NVQ のステータスを「達成」に設定するには、NVQ に関連付けられたすべての NVQ ユニットのステータスが「完了」になっている必要があります。

詳細

このリンクをクリックすると、「ユニット詳細」ページにアクセスします。

NVQ 履歴管理コンポーネントで新しい評価を作成して保存すると、SetPersonProfileItems サービス (削除した場合は DeletePersonProfileItems サービス) によってプロフィール管理のプロファイル テーブルが自動的に更新されます。これにより、「個人プロフィール」ページで NVQ と NVQ ユニットのコンテンツ セクションの両方の管理情報を表示できるようになります。

「ユニット詳細」ページ

評価する NVQ ユニットの詳細を入力するには、「ユニット詳細」ページ (NVQ_UNIT_PLAN_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「NVQ ユニット プラン」ページで NVQ ユニットの「詳細」リンクをクリックします。

画像: 「ユニット詳細」ページ

次の例では、「ユニット詳細」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Element Code	Title	Detail
KGEL1	NVQ Element 1	Detail
KGEL3	NVQ Element 3	Detail
KGEL5	NVQ Element 5	Detail

開始日

従業員が NVQ ユニットを開始した日付を入力します。

予定日

従業員が NVQ ユニットを完了する予定日を入力します。

完了	従業員が NVQ ユニットを実際に完了した日付を入力します。このフィールドに日付を入力して「OK」ボタンをクリックすると、NVQ ユニットのステータスが自動的に「完了」に変わります。
提示日	証明が提示された日付を入力します。
提出日	証明が提出された日付を入力します。
説明	NVQ ユニットの完了に際して、従業員から提出された証明に関する情報を入力します。
詳細	このリンクをクリックすると、「エレメント詳細」ページにアクセスします。

「エレメント詳細」ページ

評価する NVQ ユニットのエレメントの詳細を入力するには、「エレメント詳細」ページ (NVQ_EMPLELEM_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「ユニット詳細」ページでエレメントの「詳細」リンクをクリックします。

画像: 「エレメント詳細」ページ

次の例では、「エレメント詳細」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web form titled "Element Detail". At the top, it displays "Element Code KGEL1" and "Title NVQ Element 1". Below this, there are three date input fields: "Start Date", "Expected", and "Completed", each with a small calendar icon to its right. Underneath these is a large text area labeled "Description" with a small icon in its top right corner. At the bottom of the form, there are two buttons: "OK" and "Cancel".

開始日	従業員がエレメントを開始した日付を入力します。
予定日	従業員がエレメントを完了する予定日を入力します。
完了	従業員がエレメントを実際に完了した日付を入力します。
説明	エレメントの完了に関連する情報を入力します。

NVQ の表示ページまたはNVQ ユニットの表示ページ

特定の個人プロフィールの NVQ および NVQ ユニットの詳細を表示するには、NVQ の表示ページ (JPM_PROF_DTL_SEC) を使用します。

ナビゲーション

「個人プロフィール」ページの「NVQ」タブ内で「NVQ」リンクまたは「NVQ ユニット」リンクをクリックします。

画像: NVQ の表示ページ

次の例では、NVQ の表示ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Person Profile

View NVQs

Empl ID KG0008 Ramina Jones
 Profile Type PERSON Person

This page displays the item details. The Content Item can only be changed through NVQ

Details Find | View All First 1 of 1 Last

Effective Date	01/01/1900		
NVQ	KGNVQ1	NVQ 1	
Review Type	Standard Meeting		
Reviewer ID	KG0001	Indira Tendulkar	
Status	Active		
Source	Manage NVQ GBR		
NVQ Status	Enrolled		
NVQ Start Date	01/01/2000		
NVQ Completion Date			
Review Date	07/11/2000		
Registration Date			
Certificate Award Date			
Registration Number			
Description			

Cancel

このページの「詳細」セクションには、「NVQ 登録」ページで入力した元の NVQ 登録情報が表示されます。NVQ 履歴管理コンポーネントで入力したこの NVQ に対する個々の評価は、更新済の値を含む有効日付きの追加行としてこのページに表示されます。

画像: NVQ ユニットの表示ページ

次の例では、NVQ ユニットの表示ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web interface for viewing NVQ units. At the top, it displays 'Person Profile' and 'View NVQ Units'. Below this, it shows 'Empl ID KG0008' and 'Ramina Jones', and 'Profile Type PERSON' and 'Person'. A message states: 'This page displays the item details. The Content Item can only be changed through NVQ'. There is a search bar with 'Find | View All' and 'First 1 of 1 Last'. The main content area is titled 'Details' and contains the following information:

- Effective Date: 07/11/2000
- NVQ Unit: KGUNIT1 (NVQ Unit 1)
- Status: Active
- Source: Manage NVQ GBR
- Unit Status: In Progress
- EmplID: KG0008 (Ramina Jones)
- Expected Completion Date
- Start Date
- Completion Date
- Evidence Presented
- Submission Date
- Review Date: 07/11/2000
- Description
- Reviewer

At the bottom, there is a 'Cancel' button and a link for 'Related Content NVQ Elements'.

NVQ ユニットの表示ページの有効日付きの各行には、NVQ 評価に関する情報が表示されます。「NVQ エlement」リンクをクリックすると、NVQ ユニットに関連付けられたエlementの詳細を表示できます。

関連リンク

[「個人プロフィール」ページ](#)

NVQ サマリの確認

次の各トピックでは、NVQ サマリの確認について説明します。

NVQ 情報の確認に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「従業員別 NVQ」ページ	NVQ_SUMMARY1	従業員に関連付けられたすべての NVQ を確認します。

ページ名	定義名	用途
「資格別 NVQ」ページ	NVQ_SUMMARY2	NVQ に関連付けられたすべての従業員を確認します。

「従業員別 NVQ」ページ

従業員に関連付けられたすべての NVQ を確認するには、「従業員別 NVQ」ページ (NVQ_SUMMARY1) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「NVQ レポート GBR」、「従業員別 NVQ」、「従業員別 NVQ」

画像: 「従業員別 NVQ」ページ

次の例では、「従業員別 NVQ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

NVQs by Employee							
Matabele Brooke				Empl ID KG0004			
NVQ NVQ2		Status Enrolled		Level 2			
View Options							
All	Completed	Submitted	In Progress	Planned	Remaining		
NVQ Status							
Unit	NVQ Unit	Unit Title	Status	Started	Planned	Submitted	Completed
1	KGUNIT2	NVQ Unit 2	In Progress				

NVQ ユニットがステータスおよび日付の順に表示されます。「表示オプション」グループ ボックスにあるボタンをクリックすると、そのステータスのユニットのみが表示されます。

注: 表示されるのは、従業員の PERSON プロファイルにリストされた NVQ ユニットのみです。従業員のプロフィールでその他のタイプはチェックされません。

「資格別 NVQ」ページ

NVQ に関連付けられた従業員を表示するには、「資格別 NVQ」ページ (NVQ_SUMMARY2) を使用します。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「NVQ レポート GBR」、「資格別 NVQ」、「資格別 NVQ」

画像: 「資格別 NVQ」ページ

次の例では、「資格別 NVQ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

選択した NVQ に関連付けられた全従業員がステータスおよび日付の順に表示されます。「表示オプション」グループ ボックスにあるボタンをクリックすると、そのステータスの従業員のみが表示されます。

NVQ レポートの実行

次の各トピックでは、NVQ レポートの実行に使用するページを示し、NVQ プランの初期化プロセスの実行方法について説明します。

注: NVQ 従業員プラン (NVQ006) レポートを実行する前に、NVQ プランの初期化プロセスを実行する必要があります。

NVQ レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「NVQ 従業員ステータス - NVQ001」ページ	PRCSRUNCNTL	NVQ 従業員ステータス (NVQ001) レポートを実行します。NVQ に割り当てられた従業員と、そのステータスの一覧が出力されます。
「ユニットリスト - NVQ002」ページ	PRCSRUNCNTL	NVQ ユニットリスト (NVQ002) レポートを実行して、定義された NVQ ユニット全部の一覧を出力します。
「NVQ リスト - NVQ003」ページ	PRCSRUNCNTL	NVQ リスト (NVQ003) レポートを実行して、定義された NVQ 全部の一覧を出力します。

ページ名	定義名	用途
「NVQ ユニット/エレメント - NVQ004」ページ	PRCSRUNCNTL	NVQ ユニット/エレメントリスト (NVQ004) レポートを実行して、NVQ ユニットに関連付けられたエレメントの一覧を出力します。
「NVQ プランの初期化」ページ (NVQ005)	RUNCTL_NVQ005	選択された従業員の NVQ プランの初期化プロセス (NVQ005) を実行します。この SQR プロセスは、NVQ 従業員プラン (NVQ006) で必要なデータに適合しています。
「NVQ 従業員プラン - NVQ006」ページ	PRCSRUNCNTL	NVQ 従業員プランレポート (NVQ006) を実行します。このレポートには、従業員の NVQ ユニットプランがまとめられます。 レポートを生成する前に、NVQ プランの初期化プロセスを (NVQ005) 実行する必要があります。

「NVQ プランの初期化」ページ (NVQ005)

選択した従業員に対して NVQ プランの初期化プロセス (NVQ005) を実行するには、「NVQ プランの初期化」ページ (RUNCTL_NVQ005) を使用します。

この SQR プロセスは、NVQ 従業員プラン (NVQ006) で必要なデータに適合しています。

ナビゲーション

「人材開発」、「プロフィール管理」、「NVQ レポート GBR」、「NVQ プランの初期化」、「NVQ プランの初期化」

画像: 「NVQ プランの初期化」ページ (NVQ005 プロセス)

次の例では、「NVQ プランの初期化」ページ (NVQ005 プロセス) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

このページを使用して、NVQ 従業員プラン (NVQ006) の生成に必要なデータに適合する NVQ プランの初期化プロセス (NVQ005) を実行します。

言語

選択したラン コントロール ID に基づいて自動的にロードされます。

必要に応じてデフォルトの言語を上書きします。

コンテンツ タイプとプロファイル タイプのプロパティ

プロパティについて

コンテンツ タイプの設定時に、そのタイプのアイテムで共有されるプロパティ (フィールド名) を選択します。コンテンツ タイプに対して定義したプロパティは、コンテンツ アイテムを設定するとき、「アイテム詳細」ページでフィールドとして表示されます。これらのプロパティは、コンテンツ アイテムの定義時にその内容を表すために使用されます。

プロファイル タイプにコンテンツ タイプを追加してコンテンツ セクションを作成した後、プロパティを追加します。これらのプロパティは、プロファイル アイテムの表示または更新に使用できます。ユーザーがプロファイルにプロファイル アイテムを追加する際には、コンテンツ セクションに対して定義したプロパティが表示されます。

注: コンテンツ タイプに対して定義されているプロパティは、プロファイル タイプのコンテンツ セクションのプロパティに影響を与えません。

「アイテム詳細」ページまたはプロファイルでプロパティが表示される順序は、ページ フィールドの順序によって決定され、変更することはできません。

注: プロパティがプロファイル タイプのコンテンツ セクションまたはコンテンツ タイプに追加される順序は、表示順序に影響を与えません。

このトピックの表では、表示される順序でプロパティをリストしています。

関連リンク

[コンテンツ タイプとプロパティの設定](#)

[「コンテンツ セクション」ページ](#)

コンテンツ タイプのプロパティ

次の表は、コンテンツ タイプ コンポーネントでコンテンツ タイプに追加できるプロパティ (フィールド名) の一覧です。「アイテム詳細」ページでのプロパティの表示順序、デフォルトのラベル テキスト、このプロパティを使用して追跡できる情報のタイプも示しています。

プロパティ	デフォルトのラベル テキスト	説明
JPM_CAT_ITEM_ID	コンテンツ アイテム ID	このフィールドにはアイテム ID が入力されます。 <hr/> 注: これは必須プロパティであり、新しいコンテンツ タイプには常に入力されます。 <hr/>
EFFDT	有効日	アイテムの有効日。 <hr/> 注: これは必須プロパティであり、新しいコンテンツ タイプには常に入力されます。 <hr/>
EFF_STATUS	有効日現在のステータス	有効日の時点でのアイテムのステータス。 <hr/> 注: これは必須プロパティであり、新しいコンテンツ タイプには常に入力されます。 <hr/>
JPM_DESCR90	説明	アイテムの名称。プロフィールのアイテム ID で関連表示フィールドとして使用されます。 <hr/> 注: これは必須プロパティであり、新しいコンテンツ タイプには常に入力されます。 <hr/>
DESCRLONG	詳細説明	コンテンツ アイテムの詳細説明。
DESCRSHORT	略称	コンテンツ アイテムの略称。
CM_CATEGORY	カテゴリ	アイテムが属するカテゴリ。アイテムが属することができるのは 1 つのカテゴリのみです。 このプロパティは、コンピテンシー関連のコンテンツ タイプで役立ちます。ただし、コンテンツ グループを使用してアイテムをグループ化することもできます。
JPM_CAT_ITEM_SRC	コンテンツ アイテム ソース	コンテンツ アイテムのソースを指定します。有効値は、/ユーザー定義/、/DDI/、/Lominger/または/PDI/です。
RATING_MODEL	評価モデル	評価モデル。コンテンツ タイプが評価モデルに関連付けられる場合、このフィールドを使用します。

プロパティ	デフォルトのラベル テキスト	説明
COUNTRY	国	このアイテムが適用される国。 このプロパティは、国固有のアイテムを持つコンテンツ タイプで役立ちます。
EP_SUB_LEVEL	レベル	アイテムのレベル。この行をコンテンツ タイプに入力すると、「リスト」フィールドが表示されます。使用する値を含むリストを選択します。リストと有効値は、「カスタムプロンプト」ページで定義します。このプロパティは、サブコンピテンシーに使用されます。
EDUCATION_LVL	学歴	このコンテンツ アイテムで必須、または望まれる学歴。
TYPE_OF_STUDY_GER	専攻タイプ	(DEU) 専攻タイプを示すドイツ固有のプロパティ。有効値は、「化学」、「商業」、「建設鉱業」、「電子工学」、「食品」、「林業」、「ガラス」、「ホテル」、「機械」、「その他」、「印刷」、「公的機関」、「繊維」です。このプロパティは、学位に使用されます。
FIELD_OF_STUD_GER	専門分野	(DEU) 専門分野を示すドイツ固有のプロパティ (「商業」、「工業」、「技術」)。このプロパティは、学位に使用されます。
FP_DEGREE_LVL	レベル	(FRA) 学位レベル。このフィールドは、フランス公的機関にのみ使用します。
HP_STATS_DEG_LVL	カナダ学位レベル	(CAN) カナダでの学位レベル。
SATISFACTION_MTHD	達成方法	エレメントの到達度を示します。有効値は、「研修コース参加」、「免除」、「職場外訓練」、「職場内訓練」、「免許/資格の所有」、「過去の学習の認定」、「監督者による評価」です。このプロパティは、ELEMENT コンテンツ タイプに使用されます。
NVQ_LEVEL	レベル	(GBR) NVQ のレベル (1, 2, 3, 4, 5)
JPM_DURATION_1	期間 1	日数、月数、年数、時間などの数値を入力する汎用のフィールド。期間の単位を定義する「期間タイプ (1)」フィールドと組み合わせて使用します。
JPM_DURATION_TYPE1	期間タイプ (1)	「期間 1」フィールドで使用する単位を指定します。「日数」、「月数」、「年数」、「時間数」から選択します。

プロパティ	デフォルトのラベル テキスト	説明
JPM_DURATION_2	期間 2	日数、月数、年数、時間などの数値を入力する汎用のフィールド。期間の単位を定義する「期間タイプ (2)」フィールドと組み合わせて使用します。
JPM_DURATION_TYPE2	期間タイプ (2)	「期間 2」フィールドで使用する単位を指定します。「日数」、「月数」、「年数」、「時間数」から選択します。
JPM_YN_1	はい/いいえ 1	汎用の「はい/いいえ」チェック ボックスです。チェック ボックスを選択した場合が「はい」、選択解除した場合が「いいえ」です。
JPM_YN_2	はい/いいえ 2	汎用の「はい/いいえ」チェック ボックスです。
JPM_YN_3	はい/いいえ 3	汎用の「はい/いいえ」チェック ボックスです。
JPM_YN_4	はい/いいえ 4	汎用の「はい/いいえ」チェック ボックスです。
JPM_YN_5	はい/いいえ 5	汎用の「はい/いいえ」チェック ボックスです。
JPM_DATE_1	日付 1	汎用の日付フィールド。
JPM_DATE_2	日付 2	汎用の日付フィールド。
JPM_TEXT254_1	テキスト - 254 文字	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
JPM_TEXT254_2	テキスト - 254 文字	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
JPM_TEXT254_3	テキスト - 254 文字	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
JPM_TEXT254_4	テキスト - 254 文字	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
JPM_TEXT1325_1	テキスト - 1325 文字	半角 1325 文字まで入力できるコメントフィールド。
JPM_TEXT1325_2	テキスト - 1325 文字	半角 1325 文字まで入力できるコメントフィールド。

プロファイル タイプのプロパティ

次の表は、プロファイル タイプ コンポーネントのコンテンツ セクションに追加できるプロパティ (フィールド名) の一覧です。プロファイル ページでのプロパティの表示順序、プロパティの属性、およびプロパティに関連付けられた特殊なプロファイル管理処理も示しています。

コンテンツ プロパティ	データ タイプ	最大長	プロンプト値のソース	国別セクション	処理オプション
EFFDT	日付				コンテンツ セクションに自動挿入されます。 有効日付きコンテンツが不要の場合は、削除できます。
JPM_CAT_ITEM_ID	文字列	12			コンテンツ タイプが自由形式として定義されていない場合は、コンテンツ セクションに自動挿入されます。
JPM_ADHOC_DESCR	文字列	80			自由形式コンテンツ タイプの場合に自動挿入されます。
JPM_CAT_ITEM_QUAL	文字列	12			識別子セットに関連付けられたユーザー定義キー。 このプロパティが含まれている場合は、インスタンス 識別子セット 1 を指定する必要があります。
JPM_CAT_ITEM_QUAL2	文字列	12			識別子セットに関連付けられたユーザー定義キー。 このプロパティが含まれている場合は、インスタンス 識別子セット 2 を指定する必要があります。
EFF_STATUS	文字列	1	トランスレート値 A、I		
JPM_JP_ITEM_SRC	文字列	4			製品に接続すると自動的に設定されます。このフィールドが値の場合は、プロファイル 管理でプロファイル アイテムを更新できません。
BUSINESS_UNIT	文字列	5	ビジネス ユニット テーブル		PERSON プロファイルの検証。

コンテンツ プロパティ	データ タイプ	最大長	プロンプト値のソース	国別セクション	処理オプション
LOCATION	文字列	10	所在地テーブル		PERSON プロファイルの検証。
SETID_DEPT	文字列	5	セット ID テーブル		
DEPTID	文字列	10	部門テーブル		
COUNTRY	文字列	3	国テーブル		PERSON プロファイルの検証。
STATE	文字列	6	都道府県/州テーブル		PERSON プロファイルの検証。検証でも、選択されている国コードに基づいて都道府県/州ラベルが自動的に設定されます。
RATING_MODEL	文字列	4	評価モデル テーブル		プロフィール アイテムを追加すると、値は自動的にコンテンツ アイテム定義から取得され、この定義にない場合はプロフィール タイプのコンテンツ セクションから取得されます。
JPM_RATING1	文字列	1	評価モデル テーブル		プロンプト値を有効にするには、RATING_MODEL プロパティも含める必要があります。
JPM_RATING2	文字列	1	評価モデル テーブル		プロンプト値を有効にするには、RATING_MODEL プロパティも含める必要があります。
JPM_RATING3	文字列	1	評価モデル テーブル		プロンプト値を有効にするには、RATING_MODEL プロパティも含める必要があります。
JPM_VERIFY_METHOD	文字列	1	トランスレート値		
JPM_INTEREST_LEVEL	文字列	1	評価モデル関心		
NVQ_STATUS	文字列	1	NVQ のトランスレート値		
JPM_IMPORTANCE	文字列	1	重要度評価レベルのトランスレート値		

コンテンツ プロパティ	データ タイプ	最大長	プロンプト値のソース	国別セクション	処理オプション
JPM_PERSON_ID_1	文字列	11	PERSON_NAME		
SCHOOL_TYPE	文字列	3	学校タイプ テーブル		
SCHOOL_CODE	文字列	10	学校テーブル		PERSON プロファイルの初期化および検証。
SCHOOL_DESCR	文字列	100			SCHOOL_TBL にない学校のエントリを許可する場合には、SCHOOL_CODE プロパティとともに使用します。 SCHOOL_CODE の値を入力した場合、PERSON プロファイルの検証では学校の説明が自動的にデフォルトに設定されます。
MAJOR_CODE	文字列	10	専攻テーブル		PERSON プロファイルの初期化および検証。
MAJOR_DESCR	文字列	100			MAJOR_TBL にない専攻のエントリを許可する場合は、MAJOR_CODE プロパティとともに MAJOR_DESCR を使用します。 MAJOR_CODE の値を入力した場合、PERSON プロファイルの検証では専攻の説明が自動的にデフォルトに設定されます。
JPM_MINOR_CD	文字列	10	専攻テーブル		JPM_MINOR_CODE の値を入力した場合、PERSON プロファイルの初期化では MINOR_DESCR の値が自動的にデフォルトに設定されます。

コンテンツ プロパティ	データ タイプ	最大長	プロンプト値のソース	国別セクション	処理オプション
MINOR_DESCR	文字列	100			<p>MAJOR_TBL がない副専攻のエントリを許可する場合は、JPM_MINOR_CD プロパティとともに使用します。</p> <p>JPM_MINOR_CD の値を入力した場合、PERSON プロファイルの初期化および検証では副専攻の説明が自動的にデフォルトに設定されます。</p>
AVERAGE_GRADE	文字列	5			
JPM_OBSTACLE_1	文字列	2	トランスレート値		
JPM_LOC_BUNIT_1	文字列	5	ビジネス ユニット テーブル		
JPM_LOCATION_1	文字列	10	所在地テーブル		
JPM_LOC_BUNIT_2	文字列	5	ビジネス ユニット テーブル		
JPM_LOCATION_2	文字列	10	所在地テーブル		
JPM_AREA_PREF_1	文字列	2	希望地域テーブル		
JPM_AREA_PREF_2	文字列	2	希望地域テーブル		
JPM_AREA_PREF_3	文字列	2	希望地域テーブル		
JPM_CNTRY_PREF_1	文字列	3	国テーブル		
JPM_CNTRY_PREF_2	文字列	3	国テーブル		
JPM_CNTRY_PREF_3	文字列	3	国テーブル		
JPM_PROMPT_1	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_PROMPT_2	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_INTEGER_1	数値	8			PERSON プロファイルの検証。
JPM_PROMPT_3	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_DECIMAL_1	数値	7.2			

コンテンツ プロパティ	データ タイプ	最大長	プロンプト値のソース	国別セクション	処理オプション
JPM_PROMPT_4	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_PCT_1	数値	3			
JPM_PROMPT_5	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_MANDATORY	文字列	1	トランスレート値 Y/N		
JPM_YN_1	文字列	1	トランスレート値 Y/N		PERSON プロファイルの検証。
JPM_PROMPT_6	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_DATE_1					
JPM_PROMPT_7	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_DATE_2	日付				PERSON プロファイルの検証。
JPM_PROMPT_8	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_INTEGER_2	数値	8			PERSON プロファイルの検証。
JPM_PROMPT_9	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_DECIMAL_2	数値	7.2			
JPM_PROMPT_10	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_PCT_2	数値	3			
JPM_PROMPT_11	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_YN_2	文字列	1	トランスレート値 Y/N		
JPM_PROMPT_12	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_YN_3	文字列	1	トランスレート値 Y/N		
JPM_PROMPT_13	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_DATE_3	日付				PERSON プロファイルの検証。
JPM_PROMPT_14	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_DATE_4	日付				

コンテンツ プロパティ	データ タイプ	最大長	プロンプト値のソース	国別セクション	処理オプション
JPM_PROMPT_15	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_YN_4	文字列	1	トランスレート値 Y/N		
JPM_PROMPT_16	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_YN_5	文字列	1	トランスレート値 Y/N		
JPM_PROMPT_17	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_DATE_5	日付				
JPM_PROMPT_18	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_DATE_6	日付				
JPM_PROMPT_19	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_PROMPT_20	文字列	12	ユーザー定義		
JPM_TEXT254_1	文字列	254			
JPM_TEXT254_2	文字列	254			
JPM_TEXT254_3	文字列	254			
JPM_TEXT254_4	文字列	254			
JPM_TEXT254_5	文字列	254			
JPM_TEXT1325_1	文字列	1325			PERSON プロファイルの検証。
JPM_TEXT1325_2	文字列	1325			
PRACTIC_GRADE_GER	文字列	4		DEU	
THEORY_GRADE_GER	文字列	4		DEU	
IPE_SW	文字列	1	トランスレート値 Y/N	DEU	
EDUC_LVL_AUS	文字列	1	最終学歴のトランスレート値	AUS	
APS_HEDUC_CD_AUS	文字列	2	高等教育学歴のトランスレート値	AUS	

コンテンツ プロパティ	データ タイプ	最大長	プロンプト値のソース	国別セクション	処理オプション
FACULTY_CODE	文字列	10	学部テーブル JPN	JPN	PERSON プロファイルの初期化および検証。
FACULTY_DESCR	文字列	100		JPN	FACULTY_TBL_JPN にない学部のエントリを許可する場合は、FACULTY_CODE プロパティとともに FACULTY_DESCR を使用します。 FACULTY_CODE の値を入力した場合、PERSON プロファイルの初期化では学部の説明が自動的にデフォルトに設定されます。
SUBFACULTY_CODE	文字列	10	学科テーブル JPN	JPN	PERSON プロファイルの初期化および検証。
SUBFACULTY_DESCR	文字列	100		JPN	SBFCLTY_TBL_JPN にない学部のエントリを許可する場合は、SUBFACULTY_CODE プロパティとともに SUBFACULTY_DESCR を使用します。 SUBFACULTY_CODE の値を入力した場合、PERSON プロファイルの初期化では学部の説明が自動的にデフォルトに設定されます。
MAJOR_CATEGORY	文字列	1	学歴カテゴリのトランスレート値	JPN	
GVT_CREDIT_HOURS	文字列	3		USF	PERSON プロファイルの検証。
GVT_CRED_HRS_TYPE	文字列	1	履修時間単位のトランスレート値	USF	PERSON プロファイルの検証。
FP_SUBJECT_CD	文字列	3	FPS 学位学科テーブル	FPS	
FP_SKIL_HIR	文字列	1	トランスレート値 Y/N	FPS	
FP_SKIL_PRM	文字列	1	トランスレート値 Y/N	FPS	
FP_SKIL_TEN	文字列	1	トランスレート値 Y/N	FPS	

コンテンツ プロパティ	データ タイプ	最大長	プロンプト値のソース	国別セクション	処理オプション
FP_DEGR_REQUIRED	文字列	1	トランスレート値 Y/N	FPS	
BONUS_AMOUNT_FRA	数値	5.2		FRA	
BONUS_DT_FRA	日付			FRA	
JPM_SOURCE_ID2	文字列	12			シンジケートのソース プロファイル ID が入力されます。このプロパティは常に表示専用です。
JPM_WF_STATUS	文字列	1	トランスレート値「承認済」、「却下」、「未承認」、「保存済」、「新規」		プロフィール アイテムのシステム更新ワークフロー ステータス。このプロパティは常に表示専用です。
LASTUPDDTTM	日付時刻				プロフィール アイテムの追加または更新時に自動的に設定されます。
LASTUPDOPRID	文字列	30			プロフィール アイテムの追加または更新時に自動的に設定されます。

プロパティの初期化と検証

次に示す初期化と検証は、PERSON プロファイル タイプ定義で使用できるように標準で提供されています。JPM_PKG_TYPES テーブルには、このプロフィール タイプでアプリケーション クラス ControllerPerson の検証がアクティブであることを示すエントリが含まれています。これらの検証が不要の場合は、JPM_PKG_TYPES からこの PERSON プロファイル タイプのエントリを削除できます。新しいプロフィール タイプを作成するときに、標準の PERSON プロファイル タイプからプロフィール タイプをコピーした場合は、これらの検証が組み込まれ、「検証結果をコピー」チェック ボックスが選択されます。

プロパティ	プロフィール	コンテンツ タイプ	検証/初期化
JPM_TEXT1325_1	PERSON	コンピテンシー	コンテンツ アイテムの内容が入力されます。
JPM_INTEGER_1 JPM_INTEGER_2	PERSON	コンピテンシー	取得年は、前回使用年以前である必要があります。
EFFDT JPM_DATE_3	PERSON	会員資格 表彰/報奨	発行日は、終了日より後にできません。

プロパティ	プロフィール	コンテンツ タイプ	検証/初期化
EFFDT JPM_DATE_3	PERSON	免許	発行日は、期限より後にできません。
JPM_DATE_3 JPM_DATE_2	PERSON	会員資格	任務終了日は、任務開始日より後にできません。
JPM_YN_1 JPM_INTEGER_2	PERSON	学位	取得年が過去の場合は、卒業インジケータが自動的に選択されます。
GVT_CRED_HRS_TYPE GVT_CREDIT_HOURS	PERSON	学位	履修時間を入力する場合は、履修時間タイプが必要です
COUNTRY STATE SCHOOL_CODE	PERSON	学位 学歴	国、都道府県/州および学校コードの値が関連していることを確認します。
COUNTRY STATE	PERSON	免許	国と都道府県/州の値が関連していることを確認します。
BUSINESS_UNIT LOCATION COUNTRY	PERSON	現在の勤務地	主要職務から値を初期化します。
JPM_YN_1 JPM_DATE_3	PERSON	免許	コンテンツ カタログから「更新必須」フィールドを設定します。 更新が必要な場合は、期限を発行日 + 更新周期に設定します。
FACULTY_DESCR	PERSON	学位	コードが指定された場合は、学部テーブル JPN から学部名をロードします。
SUBFACULTY_DESCR	PERSON	学位	コードが指定された場合は、学部テーブル JPN から学科名をロードします。
MAJOR_DESCR	PERSON	学位	コードが指定された場合は、専攻テーブルから専攻名をロードします。
MINOR_DESCR	PERSON	学位	コードが指定された場合は、専攻テーブルから副専攻名をロードします。

プロパティ	プロフィール	コンテンツ タイプ	検証/初期化
SCHOOL_DESCR	PERSON	学位 学歴	コードが指定された場合は、 学校テーブルから SCHOOL_ DESCR をロードします。